

マリ共和国
第四次小学校建設計画
準備調査報告書

平成23年7月
(2011年)

独立行政法人
国際協力機構 (JICA)

株式会社 毛利建築設計事務所

人間
CR (1)
11-070

マリ共和国
第四次小学校建設計画
準備調査報告書

平成23年7月
(2011年)

独立行政法人
国際協力機構 (JICA)

株式会社 毛利建築設計事務所

序 文

独立行政法人国際協力機構は、マリ共和国の第四次小学校建設計画にかかる協力準備調査を実施することを決定し、同調査を株式会社毛利建築設計事務所に委託しました。

調査団は平成22年3月から平成23年7月までマリの政府関係者と協議を行うとともに、計画対象地域における現地調査を実施し、帰国後の国内作業を経て、ここに本報告書完成の運びとなりました。

この報告書が、本計画の推進に寄与するとともに、両国の友好親善の一層の発展に役立つことを願うものです。

終わりに、調査にご協力とご支援をいただいた関係各位に対し、心より感謝申し上げます。

平成23年7月

独立行政法人国際協力機構
人間開発部
部長 萱島 信子

要 約

1. 国の概要

マリ共和国（以下「マリ」と記述）は、124万km²（日本の約3.3倍）の国土面積を有する内陸国家で、アルジェリア、ブルキナファソ、ギニア等7つの国と国境を接する。人口は1,430万人で、うち首都バマコ特別区の人口は約138万人である（2007年）。また、総人口の90%程度が総国土面積の30%に相当する南部6州に集中しており、人口増加率は3.0%と推定されている。マリにはバンバラ、プル、マリンケ、トゥアレグ等の23以上の民族が存在する。

マリの2007年度の国民一人あたりの国民所得（GNI）は500ドルとサブサハラ諸国の平均GNIである952ドルの約半分に留まっており、後発発展途上国の一つとなっている¹。農業・鉱業を中心とした産業構造のため、天候や一次産品の国際価格の影響を受け経済基盤は脆弱であるが、2005年以降、好天候による穀物・綿花生産増、新たな鉱山開発による金生産量の増加により、経済成長は回復基調にある。なお、2008年の経済成長率は5.6%であった。

2. プロジェクトの背景・経緯及び概要

2-1. プロジェクトの背景

マリは教育分野において、1998年に「教育開発10ヵ年計画（PRODEC）」を策定した。右計画は開始および実施に遅れが生じたため実施期間を2012年までとし、初等教育総就学率を95%に向上させる目標を掲げ、合計18,000教室の建設が計画されている。また、PRODECの具体的な投資計画である「教育セクター投資プログラム(PISE)」は第3フェーズを迎え、2010年から2012年までに年間2,103教室建設、721教室の修繕、男女別トイレ1,000ブース建設などを目標としている。

マリでは上述の教育政策により、基礎教育第一サイクル総就学率は2001年の60.9%から2008年の82%に向上した。しかしながら、PRODECおよびPISEの実行は計画よりも遅れていることなどから、同国の教室不足は依然として深刻である。教育現場では入学制限を設ける学校、2部制、複式学級、過密教室での授業を余儀なくされる学校が多数存在する。また、コミュニティの自助努力により建設された日干し煉瓦造りの教室や仮設教室の老朽化は進み、継続的な使用は難しいため、マリにおいて教室建設は喫緊の課題となっている。このような背景からマリ政府は我が国に対し、第四次小学校建設計画に係る無償資金協力を要請した。

2-2. 要請内容

当初マリ側からはバマコ特別区（80教室）、カイ州（70教室）、シカソ州（100教室）、

¹ 2007年 世界銀行

クリコロ州（150 教室）およびセグー州（100 教室）の 5 州（500 教室）の初等教室の建設が要請された。また、機材コンポーネントとして、教育家具および関連教具の供与が要請された。

しかし、日本側はコミュニティ開発支援無償スキームにおける実施を考えた場合、2~3 州程度とすることが適当との考えの下、マリ側に対象地域の絞込みを依頼した。その結果、クリコロ州（57 校）、カイ州（23 校）、バマコ特別区（17 校）の 3 州（97 校）が最終要請校となった。

また、最終要請コンポーネントは、①教室、②校長室・倉庫、③トイレ、④教室家具で合意された。

3. 調査結果の概要とプロジェクトの内容

マリ側からの要請を受けて、JICA は準備調査団を 2010 年 4 月 3 日～22 日（現地調査 I）、2010 年 8 月 28 日～10 月 8 日（現地調査 II）、2011 年 3 月 5 日～23 日（現地調査 III）、2011 年 4 月 4 日～10 日（概略設計概要説明）、2011 年 6 月 11 日～26 日（入札参考資料説明）と 5 度にわたりマリに派遣した。マリ側の要請と、現地調査及び協議の結果を踏まえて、以下の通り計画することとした。

3-1. 計画対象校の絞込み

(1) 調査対象校

現地調査 I の結果及び事業規模から計画対象校は 50 校程度と判断された。このため、マリ側と協議し、最終要請校の 97 校から 60 校を調査対象校とした。

州別調査対象校

州	調査対象学校数
クリコロ州	35 校
カイ州	10 校
バマコ特別区	15 校
合計	60 校

(2) 計画対象校の選定

全調査対象校 60 校を踏査し、以下の選定条件を満たす 46 校を計画対象校とした。①土地所有権または使用権が書面で確認できること、②他ドナー又は政府による整備計画と重複のないこと、③自然災害による被災可能性や治安上の問題がないこと、④施工および施工監理上の支障がないこと（アクセス、広さ、地勢等）、⑤就学需要、施設整備のニーズが明確なこと、⑥対象となる学校への教員が担保されていること。

なお、州別の計画対象校数は以下の通りである。

州別計画対象校

州	計画対象学校数
クリコロ州	27校
カイ州	9校
バマコ特別区	10校
合計	46校

3-2. 施設規模の設定

各学校の現状生徒数に基に、1教室あたりの標準生徒数（50人）に則って必要教室数を算出した。右必要教室数から既存の継続使用可能な教室数を減じて不足教室を算定し、最終的には、各校6教室を上限として調整したものを計画教室数とした。

3-3. 計画コンポーネント

計画コンポーネントは、（1）施設、（2）家具、（3）ソフトコンポーネントとする。それぞれの計画内容は下表の通りである。

（1）施設コンポーネント

州	学校数	教室数	校長室	トイレ棟	トイレブース数
クリコロ州	27校	111	19	36	108
カイ州	9校	45	6	14	42
バマコ特別区	10校	60	0	20	60
合計	46校	216	25	70	210

（2）家具コンポーネント

No.	品目	仕様	単位数量	施設数	合計数量
①	生徒用机・椅子	机・椅子一体型 2人掛け（最大3人） 脚部スチールパイプ 天板木製	24セット/教室	216教室	5,184セット
②	教師用机・椅子	脚部スチールパイプ 天板木製	1セット/教室	216教室	216セット
③	校長用机・椅子	同上	1セット/校長室	25校長室	25セット
④	打合せ用椅子	同上	2脚/校長室	25校長室	50脚
⑤	ロッカー	スチール製、取手金物及び鍵付き	1個/教室、 1個/校長室	216教室＋ 25校長室	241個

(3) ソフトコンポーネント

本プロジェクトでトイレ棟および手洗いタンクを設置するにあたり、両者が、適切かつ継続的に使用されるための維持管理や、学校衛生啓蒙活動に関するソフトコンポーネントを計画する。

4. プロジェクトの工期及び概略事業費

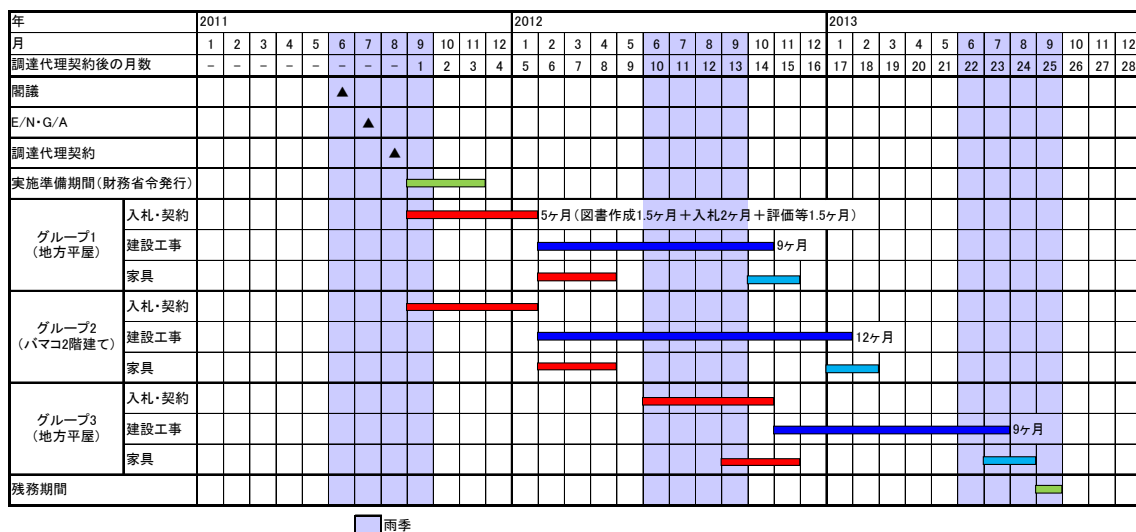
4-1. プロジェクトの工期

調達代理契約および施工監理コンサルタント契約の後、施工業者選定のための入札図書を作成し、入札、入札評価、契約交渉、関係機関の承認等の過程を経て、施工業者と工事契約を締結する。これに要する作業期間は5.0ヶ月と想定される。

建設工期は、平屋建ての学校校舎の場合は約9ヶ月（免税+準備：1ヶ月、工期：8ヶ月）、2階建て校舎の場合は約12ヶ月（免税+準備：1ヶ月、工期：11ヶ月）を要する。

本プロジェクトは、バマコ首都圏（2階建て含む）および2つの地方部（平屋建てのみ）の計3グループに分けて工事を実施する。調達代理契約締結から完工、事務所閉鎖までの期間（瑕疵期間を含まない）は、25.0ヶ月を要する。

事業実施工程表



4-2. 概略事業費

本協力対象事業を実施する場合に必要な事業費総額は10.16億円（日本側負担分10.13億円、マリ側負担分330万円）と見込まれる。

5. プロジェクトの評価

5-1. 妥当性

本プロジェクトは、計画対象地域における第一サイクル教育施設の建替え、増設を通して教育環境を整備し、マリにおける初等教育の質の改善を上位目標としている。これは、我が国の無償資金協力の目的である初等・中等教育などを含むベーシック・ヒューマン・ニーズ (BHN)、及び人造りに合致している。また、本プロジェクトは、教育・識字・国語省による 18,000 教室建設を目指す PRODEC の実行計画に資するものであり、特に対象 3 地域は教室建設のニーズが高い。

一方、本プロジェクトの各計画対象校における運営・維持管理は、ソフトコンポーネント活動を組み込むことで適切に行われると考えられ、我が国の無償資金協力の制度により特段の困難なく実施が可能である。

加えて、本プロジェクトは、マリにおける関連技術協力プロジェクトや、他国を含めた先行のコミュニティ開発支援無償案件からの教訓やフィードバックを有効活用することができ、それらの経験を基に、より効率的、効果的なプロジェクト運営・実施が可能といった優位性がある。

これらの理由により、本プロジェクトは我が国の無償資金協力による実施が妥当であると判断される。

5-2. 有効性

(1) 定量的効果

定量的効果については下表に示す指標に基づき、基準値から目標値への達成状況により確認される。なお目標年は事業実施 3 年後となる 2016 年とする。

プロジェクトの定量的効果

	基準値 (2011 年)	目標値 (2016 年)
対象校における継続使用可能な教室数	309 教室	525 教室
対象校において安全な環境で学べる生徒数	15,450 人 (50 人×309 教室)	26,250 人 (50 人×525 教室)

(2) 定性的効果

- 適切な教育環境を備えた施設が整備されることで、計画対象校の就学率、留年率の改善に寄与する。
- 教室が整備されることによって、2 部制および複式学級数が減少する。
- トイレおよび手洗いタンクを整備することにより、生徒の保健衛生の保持に寄与す

る。

- ・ ソフトコンポーネントの実施により、整備された施設の維持管理に対する意識が向上する。

目 次

序文

要約

目次

位置図／完成予想図／写真

図表リスト／略語集

第1章 プロジェクトの背景・経緯.....	1-1
1-1 当該セクターの現状と課題.....	1-1
1-1-1 現状と課題.....	1-1
1-1-1-1 マリ国教育制度.....	1-1
1-1-1-2 第一サイクルの現状と課題.....	1-4
1-1-2 開発計画.....	1-13
1-1-3 社会経済状況.....	1-14
1-2 無償資金協力の背景・経緯及び概要.....	1-14
1-3 我が国の援助動向.....	1-15
1-4 他ドナーの援助動向.....	1-15
第2章 プロジェクトを取り巻く状況.....	2-1
2-1 プロジェクトの実施体制.....	2-1
2-1-1 組織・人員.....	2-1
2-1-2 財政・予算.....	2-1
2-1-3 技術水準.....	2-2
2-1-4 既存施設・機材.....	2-2
2-2 プロジェクトサイト及び周辺の状況.....	2-4
2-2-1 関連インフラの整備状況.....	2-4
2-2-2 自然条件.....	2-4
2-2-3 環境社会配慮.....	2-5
第3章 プロジェクトの内容.....	3-1
3-1 プロジェクトの概要.....	3-1
3-1-1 上位目標とプロジェクト目標.....	3-1
3-1-2 プロジェクトの概要.....	3-1
3-2 協力対象事業の概略設計.....	3-1
3-2-1 設計方針.....	3-1
3-2-1-1 基本方針.....	3-1

3-2-1-2	自然環境条件に対する方針	3-2
3-2-1-3	社会経済条件に対する方針	3-2
3-2-1-4	建設事情に対する方針	3-3
3-2-1-5	調達に対する方針	3-3
3-2-1-6	運営・維持管理に対する方針	3-4
3-2-1-7	施設、機材等のグレード設定に係る方針	3-5
3-2-1-8	品質管理に関する方針	3-5
3-2-1-9	工期に係る方針	3-5
3-2-2	基本計画	3-6
3-2-2-1	要請内容	3-6
3-2-2-2	調査対象校の選定および調査内容	3-7
3-2-2-3	計画対象校の選定	3-9
3-2-2-4	計画規模	3-10
3-2-2-5	建築計画	3-13
3-2-3	概略設計図	3-22
3-2-4	施工計画	3-33
3-2-4-1	施工方針／調達方針	3-33
3-2-4-2	施工上／調達上の留意事項	3-35
3-2-4-3	品質管理計画	3-36
3-2-4-4	資機材等調達計画	3-36
3-2-4-5	ソフトコンポーネント計画	3-37
3-2-4-6	実施工程	3-38
3-3	相手側負担事業の概要	3-40
3-4	プロジェクトの運営・維持管理計画	3-42
3-4-1	教員雇用・配置	3-42
3-4-2	運営維持管理	3-44
3-5	プロジェクトの概略事業費	3-45
3-5-1	協力対象事業の概略事業費	3-45
3-5-2	運営・維持管理費	3-46
第4章	プロジェクトの評価	4-1
4-1	事業実施のための前提条件	4-1
4-2	プロジェクト全体計画達成のために必要な相手方投入（負担）事項	4-1
4-3	外部条件	4-1
4-4	プロジェクトの評価	4-1
4-4-1	妥当性	4-1
4-4-2	有効性	4-2

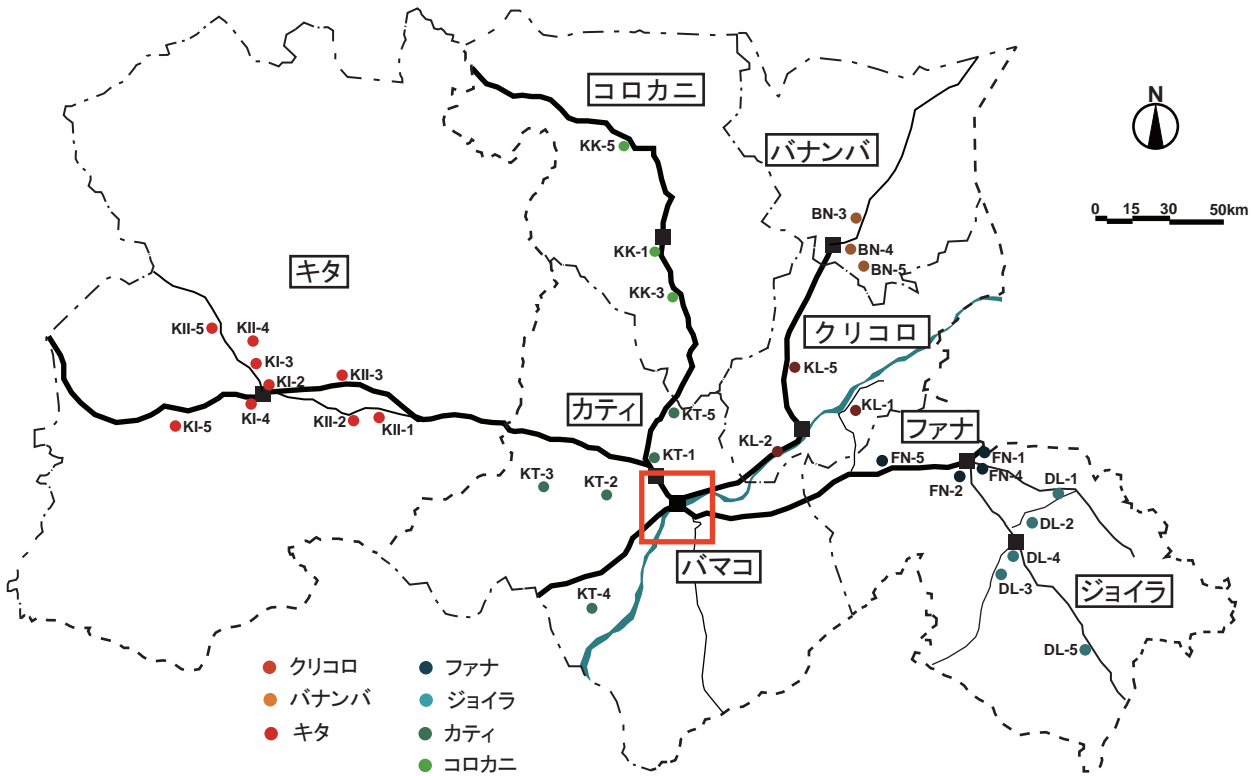
添付資料

1. 調査団員・氏名
2. 調査行程
3. 関係者（面会者）リスト
4. 討議議事録およびテクニカルノート
 - 4-1 現地調査 I
 - 4-2 現地調査 II
 - 4-3 現地調査 III
 - 4-4 現地調査 IV
 - 4-5 現地調査 V
5. ソフトコンポーネント計画書
6. 参考資料／入手資料リスト
7. 自然条件調査（地質調査結果）
8. 計画対象校データ・配置図
9. 計画除外校データ

マリ国第四次小学校建設計画対象地域位置図

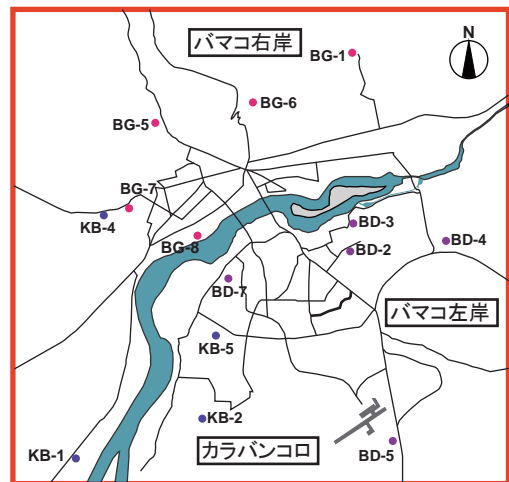


- クリコロ州 ■ カティ・カラバンコロ ■ カイ州 ■ キタ
- コロカニ ■ クリコロ・バナンバ ■ バマコ特別地区
- ファナ・ジョイラ



- クリコロ
- バナンバ
- キタ
- ファナ
- ジョイラ
- カティ
- コロカニ

計画対象校位置図



- バマコ左岸
- バマコ右岸
- カラバンコロ



完成予想図

写 真



写真-1：バマコ特別区（左岸）の Samé 校
政府仕様の建物であるが老朽化が進んでいる。



写真-2：バマコ特別区（左岸）の Camp Para 校
新校舎建設予定地。雨季は水はけが悪いので注意を
要する。



写真-3：バマコ特別区（右岸）Baco Djicoroni 校
フランス政府支援で建設された 2 階建校舎の様
子。現地業者による施工であるが問題はない。



写真-4：クリコロ州（カティ）の Diana 校
住民の自助努力により建設された日干し煉瓦造の
校舎の様子。老朽化が進んでいる。



写真-5：クリコロ州（カティ）FanaCI 校
建設予定地の中庭の様子。樹木の伐採が必要。ま
た、雨季は水はけが悪いので注意を要する。



写真-6：クリコロ州（カティ）SongonII 校
住民の自助努力により建設された校舎内部。黒板も
粗末で、建物は老朽化が進んでいる。



写真-7：クリコロ州（カティ）Gonsolo 校
住民により建設された教室用テントの様子。教育
環境としては劣悪。



写真-8：クリコロ州（クリコロ）Balla 校
ワールドビジョンの支援により 2009 年に建設され
た 3 教室校舎。当該 3 教室のみのため、増設が必要。



写真-9：カイ州（キタ）Kouléko 校
住民支援により建設された日干し煉瓦造の 3 教室
校舎。教育環境としては劣悪で使用不可能。



写真-10：カイ州（キタ）Kabé 校
住民の自助努力により建設された日干し煉瓦造教
室内部の様子。壁に亀裂が入り、非常に危険な状態。



写真-11：バマコ特別区内小学校の様子
過密状態の中授業が行われている。



写真-12：バマコ特別区内第二次計画による教室棟
の様子。非常に綺麗に使用されている。

図表リスト

表 1-1	第一サイクル就学者数の変遷.....	1-4
表 1-2	2008-9 年 州別就学者所属学校内訳	1-4
表 1-3	州別総就学率変遷.....	1-5
表 1-4	2008-9 年男女別総就学率	1-5
表 1-5	2008-9 年度州別純就学率	1-5
表 1-6	州別学校数変遷.....	1-6
表 1-7	5 年間（2004-5～2008-9 年度）の学校種別増加率	1-6
表 1-8	2008-9 年度州別学校数内訳	1-6
表 1-9	全国公立学校学年別留年率変遷.....	1-8
表 1-10	2008-9 年度州別公立学校クラス形式	1-8
表 1-11	州別公立学校の教室、学級、教員あたり生徒数 (2004-5、2008-9 年度).....	1-9
表 1-12	2008-9 年州別公立学校教室状態	1-9
表 1-13	2004-5、2008-9 年度州別教員内訳	1-11
表 1-14	2009-2010 年度 IFM 在籍者数	1-11
表 1-15	公立学校教員採用形態.....	1-12
表 1-16	州別基礎教育新規採用教員数変遷.....	1-12
表 1-17	我が国の対マリ援助（教育分野）	1-15
表 1-18	他ドナーによる対マリ支援概要.....	1-16
表 1-19	PISEII 期間中の州別教室建設計画および実際に建設された教室数	1-17
表 2-1	教育・識字・国語省予算の変遷.....	2-2
表 2-2	国家予算に占める教育セクター予算割合の変遷.....	2-2
表 2-3	バマコ特別区 1950 年~2000 年の平均気温・降雨量.....	2-4
表 3-1	建設業者のカテゴリー別契約金額および必要技術者数.....	3-4
表 3-2	現地調査 I 要請校数.....	3-6
表 3-3	調査対象校数.....	3-7
表 3-4	調査対象校リスト.....	3-8
表 3-5	計画対象に含めない学校.....	3-10
表 3-6	計画対象校の協力内容.....	3-12
表 3-7	地域別の協力内容・規模.....	3-13
表 3-8	計画施設の面積比較.....	3-16
表 3-9	施設タイプ図.....	3-16
表 3-10	工法、仕様資材比較表.....	3-20
表 3-11	家具リスト.....	3-20

表 3-12	計画対象校の施設整備内容.....	3-21
表 3-13	調達代理機関の要員配置.....	3-34
表 3-14	コンサルタントの要員配置.....	3-35
表 3-15	躯体工事段階における主な品質管理項目案.....	3-36
表 3-16	主要資材調達情報.....	3-37
表 3-17	ロットリスト.....	3-38
表 3-18	事業実施工程表.....	3-39
表 3-19	計画対象サイト別先方工事負担リスト.....	3-41
表 3-20	計画対象校の増員が必要な教員数.....	3-43
表 3-21	日本側負担経費内訳.....	3-45
表 3-22	マリ国側負担経費内訳.....	3-45
表 3-23	維持管理費試算（1校分）.....	3-46
表 4-1	プロジェクトの定量的効果.....	4-2
図 1-1	マリの教育制度.....	1-1
図 1-2	各行政レベルおよび教育・識字・国語省の相関関係.....	1-2
図 1-3	グループ学校概念図.....	1-3
図 1-4	契約教員採用の流れ.....	1-13
図 3-1	教室平面図.....	3-14
図 3-2	校長室・倉庫平面図.....	3-15
図 3-3	トイレ平面図.....	3-15
図 3-4	施設タイプ図.....	3-17
図 3-5	標準断面図.....	3-18
図 3-6	トイレ棟断面図.....	3-19
図 3-7	事業実施体制図（案）.....	3-33

略 語 集

略語	正式名称	和訳
ADARS	Appui direct pour l'amélioration d'apprentissage scolaire	学習環境に関する直接支援
AE	Académie d'Enseignement	州教育アカデミー
AfD	Agence Française de Développement	フランス開発庁
AfDB	African Development Bank	アフリカ開発銀行
ANICT	Agence Nationale d'investissement des Collectivités Territoriales	地方自治体投資公団
APE	Association des Parents d'élèves	保護者会
BAC	Baccalauréat	バカロレア
CADDE	Celleule d'Appui à la Décentralisation/Déconcentration de l'Education	教育地方分権化・分散化推進室
CAP	Centre d'Animation Pédagogique	地区教育振興センター
CGS	Comité Gestion Scolaire	学校運営委員会
DEF	Diplôme des Etudes Fondamentales	基礎教育修了証
E/N	Exchange of Notes	交換公文
ENSEC	Ecole normale secondaire	中等師範学校
ENSUP	Ecole normale supérieure	高等師範学校
FAEF	Fonds d'Appui à l'Enseignement Fondamental	基礎教育支援基金
FCFA	Franc de la Communauté Financière Africaine	セーファーフラン
G/A	Grant Agreement	贈与契約
GNI	Gross National Income	国民総所得
IFM	Institut de formation des maîtres	教員養成学校
IMF	International Monetary Fond	国際通貨基金
IPEG	Institut pédagogiques d'enseignement général	旧教員養成学校
JICS	Japan International Cooperation System	財団法人国際協力システム
MEALN	Ministère de l'Education, de l'Alphabétisation et des Langues Nationales	教育・識字・国語省
NGO	Non Governmental Organization	非政府系組織
PAOEFM	Projet d'amélioration de l'offre d'enseignement fondamental au Mali	基礎教育供給改善プロジェクト
PC	Pédagogie Convengente	二言語教育
PISE	Programme d'investissement pour le secteur de l'éducation	教育セクター投資計画
PRODEC	Programme Denenal pour le Développement de l'Education	教育開発10ヵ年計画
SAPRE	La Stratégie Alternative de Recrutement de Personnel Enseignant	教員採用に関する代替戦略
UNICEF	United Nations Children's Fund	国連児童基金
WB	World Bank	世界銀行

第1章 プロジェクトの背景・経緯

第1章 プロジェクトの背景・経緯

1-1 当該セクターの現状と課題

1-1-1 現状と課題

1-1-1-1 マリ国教育制度

(1) 教育制度

マリでは基礎教育の9年間は義務教育と定められており、この9年間は第一サイクル(6学年)、第二サイクル(3学年)に分かれている。2010年4月に第一サイクルと第二サイクルを統合する法案が採択され、これに伴い、従来行われていた第一サイクル修了試験は廃止された。その一方で、公立学校を9年制で運営するためには大規模な教室整備や運営の再編成などを行う必要がある。

また、第二サイクルを修了した生徒には基礎教育修了証(DEF²)が与えられ、教員養成(4年間)を含む職業コースまたは、日本の普通高校に順ずるリセへの進学資格を付与される。リセ修了者にはバカロレア(BAC³)が与えられ、高等教育課程に進学または、2年間の教員養成課程に進むことができる。

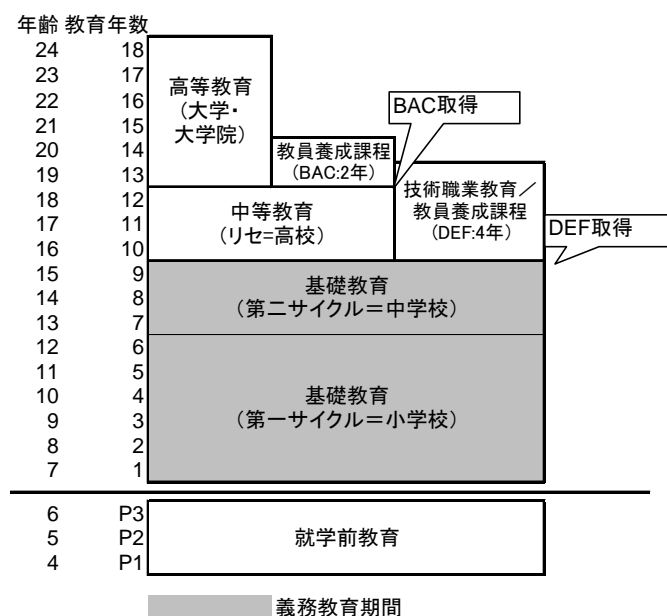


図 1-1 マリの教育制度

なお、マリの学期は10～6月で、7～9月の3ヶ月間が夏休みとなっている。

² Diplôme des Etudes Fondamentales

³ Baccalauréat

(2) 教育行政

「教育開発 10 年計画(PRODEC⁴) 2000-2010」による教育行政の地方分権化・分散化政策に伴い、教育・識字・国語省は州レベルに州教育アカデミー (AE⁵)、県レベルに地区教育振興センター (CAP⁶) という出先機関を設置している⁷。同時にかかる地方分権化・分散化政策によって、小学校教育および就学前教育はコミューン (最小行政単位：市・町レベル) の管轄下に置かれ、コミューンは、就学前教育および小学校に関する「コミューン開発計画」を策定し、小学校教員採用を含む人事管理や、学校インフラ整備等を行う。CAP はコミューンに対し、教員採用や開発計画等の策定に関し技術的支援を提供すると共に、管轄内の私立学校などを含む全小学校を巡回し、教育面での指導を行う。

なお、中学校教育は県が管轄し、高校教育は州が管轄する。

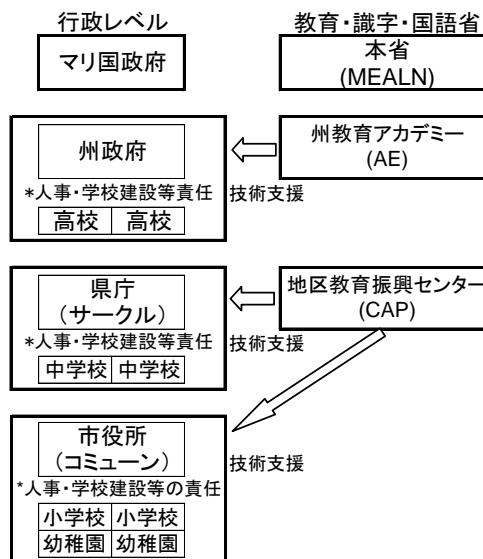


図 1-2 各行政レベルおよび教育・識字・国語省の相関関係

2011 年 6 月の教育・識字・国語省令により、全国の CAP が再編成されることが決定した。これに伴い、CAP の数は 70 から 97 に増加する。

⁴ Programme Denenal pour le Developpement de l'Education (PRODEC) は 2010 年で終了予定であったが、実施期間は 2012 年 (状況次第では 2013 年) まで延長された。

⁵ Académie d'Enseignement

⁶ Centre d'Animation Pédagogique

⁷ AE も CAP も各州および各県に必ずしも 1 つではない。例えば計画対象地域であるカイ州、クリコロ州、バマコ特別区にはそれぞれ 2 つの AE が設置されているが、ガオ州やキダル州などではそれぞれ 1 つの AE のみの設置となっている。

(3) 教授法

第一サイクルの教授方法は「クラシック教育」、「PC⁸教育」、「カリキュラム教育」の3タイプが混在しており、それぞれ1960年代、1987年、2004年に教育現場に導入された。「クラシック教育」は全て仏語による教育であることに加えて、自動進級制を採用していないため、留年者や退学者が非常に多くなることが問題とされてきた。これに対し、教育・識字・国語省は母国語、仏語によるバイリンガル教育である「PC教育」や母国語で基礎知識を形成する「カリキュラム教育」を導入した。なお、既にPC教育の新規導入は停止されており、その代わりに2005-6年度に本格導入された「カリキュラム教育」を採用する学校が急増している。

教育・識字・国語省は「カリキュラム教育」の更なる普及を掲げているが、現職教員への研修など課題は多い。また、保護者の間では「クラシック教育」の人气が高く、次項目で述べる「グループ学校」内で異なる教授法で教えられている場合は「クラシック教育」採用校に生徒が集中することもある。

(4) グループ学校

マリの学校運営形態の特徴の一つに、同一敷地内に複数の第一サイクル、第二サイクル校が運営されていることがあり、これらはグループ学校と呼ばれている。グループ学校内にはそれぞれに校長や教員が配置されており、運営は別々に行われている。ただし、教室、校長棟、トイレなどをグループ学校内で共同使用したり、共通の学校運営委員会(CGS⁹)を持ったりする場合もある。グループ学校は都市に多く見られ、バマコ特別区内には10校以上で構成されるグループ学校もある。グループ内で、教授法や教員の違いによって、生徒の過密に大きな相違が見られるケースもある。

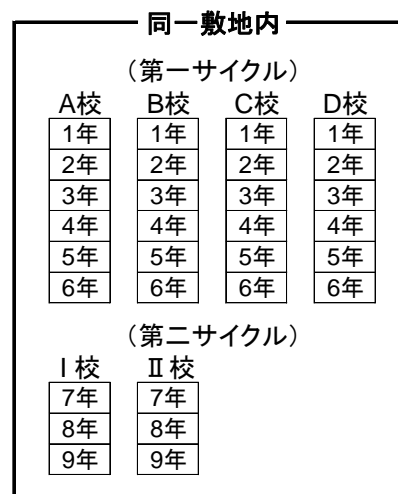


図 1-3 グループ学校概念図

⁸ Pédagogie Convengente

⁹ Comité Gestion Scolaire

1-1-1-2 第一サイクルの現状と課題

1-1-1-2-1 教育へのアクセス

(1) 就学者数

マリの第一サイクル就学者数は過去5年間比較的高いペースで増加中である。これは後述するように学校数が同時期に増加しているのと相関している。州別および全国の就学者数内訳を表1-1に示す。(網掛け部分は本プロジェクト対象州。)

表1-1 第一サイクル就学者数の変遷

年度	州									全国
	クリコロ	カイ	バマコ	ガオ	キダル	モプティ	セゲー	シカソ	トンボクトゥ	
2004-5	284,201	203,225	259,149	59,308	3,927	137,976	227,091	283,182	47,844	1,505,903
2005-6	298,005	218,853	269,692	64,110	4,532	151,091	246,371	305,572	51,753	1,609,979
2006-7	318,599	229,417	280,806	69,778	4,743	159,100	265,406	333,570	55,537	1,716,956
2007-8	335,045	244,943	291,364	74,152	5,274	170,691	283,911	358,447	59,210	1,823,037
2008-9	354,446	258,117	303,155	76,795	5,342	180,852	303,466	380,934	63,135	1,926,242
平均増加率(5年間)	6.2%	6.8%	4.2%	7.4%	9.0%	7.8%	8.4%	8.6%	8.0%	7.0%

(出典：教育・識字・国語省発行「基礎教育統計年鑑」2004-5, 2005-6, 2006-7, 2007-8, 2008-9)

マリの基礎教育第一サイクルは、①コミュニティ学校、②マドラサ学校、③私立学校、④公立学校に分けられる。2008-9年度における第一サイクル就学者の所属学校別内訳は表1-2の通りで、1,160,709人が所属する公立学校が第一サイクル教育機関として中心的存在であることがわかる。その一方で、首都であるバマコ特別区においては、私立学校に所属する生徒が38%を占める。また、本プロジェクトの対象であるクリコロ州やカイ州においては、コミュニティが建設、運営するコミュニティ学校やアラビア語教育に注力するマドラサ学校に所属する生徒も非常に多い。マリにおいては、いずれの学校も基礎教育普及の大きな役割を担っている。

表1-2 2008-9年 州別就学者所属学校内訳

学校種別	州									全国
	クリコロ	カイ	バマコ	ガオ	キダル	モプティ	セゲー	シカソ	トンボクトゥ	
コミュニティ	77,541	35,087	18,015	517	57	20,037	86,641	85,475	5,212	328,582
マドラサ	33,789	49,075	35,763	9,033	151	14,120	47,180	46,511	4,957	240,579
私立	36,959	5,035	115,622	3,453	0	4,808	13,146	15,880	1,469	196,372
公立	206,157	168,920	133,755	63,792	5,134	141,887	156,499	233,068	51,497	1,160,709
合計	354,446	258,117	303,155	76,795	5,342	180,852	303,466	380,934	63,135	1,926,242

(出典：教育・識字・国語省発行「基礎教育統計年鑑」2008-9)

(2) 就学率

【総就学率】

マリの第一サイクルの総就学率の推移を表1-3に示す。PRODECで当初目指していた2010年までに初等教育就学率95%を達成するという目標には届かないペースであるも

の、全国的には5年間一貫して上昇している。他方、州間格差も顕著で、特にキダル州、モプティ州の就学率の低さは際立っている。また、本プロジェクト対象のカイ、クリコロ州の総就学率は全国平均と同程度である。

表 1-3 州別総就学率変遷

年度	州									全国
	クリコロ	カイ	バマコ	ガオ	キダル	モプティ	セグー	シカソ	トンボクトゥ	
2004-5	80%	74%	127%	83%	42%	52%	68%	64%	63%	74%
2005-6	75%	72%	110%	83%	77%	57%	71%	70%	70%	74%
2006-7	81%	77%	121%	92%	47%	56%	74%	69%	70%	78%
2007-8	82%	80%	119%	96%	51%	59%	77%	72%	74%	80%
2008-9	84%	82%	117%	98%	50%	62%	81%	74%	78%	82%

(出典：教育・識字・国語省発行「基礎教育統計年鑑」2004-5, 2005-6, 2006-7, 2007-8, 2008-9)

【男女別総就学率】

2008-9年度の男女別総就学率の内訳は表 1-4 の通りである。バマコ特別区およびモプティ州以外では男女差が10～34ポイントと非常に大きく、本プロジェクトの対象州であるカイ州の就学率男女間格差(34ポイント)は全国で最も大きい。マリ全体の総就学率向上のためには州間格差だけでなく、男女格差の縮小に向けた意識向上や環境づくりが肝要であることが読み取れる。

表 1-4 2008-9年男女別総就学率

	州									全国
	クリコロ	カイ	バマコ	ガオ	キダル	モプティ	セグー	シカソ	トンボクトゥ	
男子	96%	100%	117%	108%	55%	63%	91%	85%	83%	91%
女子	71%	66%	118%	89%	45%	61%	71%	64%	73%	73%
男女差(男子-女子)ポイント	25	34	▲1	19	10	2	21	21	10	18

(出典：教育・識字・国語省発行「基礎教育統計年鑑」2008-9)

【純就学率】

2008-9年度の純就学率の州別内訳を表 1-5 に示す。上表 1-3 と比較して、各州共に総就学率と10～30ポイント程度の差があり、学齢外の生徒がかなり多いことを示している。これには①村内に学校がなく、隣村に通学する体力がつく年齢を待つ、②学校の教室不足、過密による入学制限で入学が遅れる、③留年によるオーバーエイジ化、などの理由が考えられる。(ただし、保護者が子どもに早期教育を施したいなどの理由で5、6歳から入学させる例もある。)

表 1-5 2008-9年度州別純就学率

年度	州									全国
	クリコロ	カイ	バマコ	ガオ	キダル	モプティ	セグー	シカソ	トンボクトゥ	
2008-9	65%	63%	89%	76%	37%	47%	60%	57%	61%	63%

(出典：教育・識字・国語省発行「基礎教育統計年鑑」2008-9)

(3) 学校数

前述のようにマリの第一サイクル学校には、①コミュニティ学校、②マドラサ学校、③私立学校、④公立学校がある。表 1-6 に①～④学校の合計数推移を示す。全州で過去 5 年間第一サイクル学校数が増加していることがわかる。

表 1-6 州別学校数変遷

年度	州									全国
	クリコロ	カイ	バマコ	ガオ	キダル	モブティ	セグー	シカソ	トンボクトウ	
2004-5	1,571	1,090	802	287	33	749	1,183	1,785	276	7,776
2005-6	1,637	1,165	834	316	35	807	1,239	1,825	291	8,149
2006-7	1,711	1,217	888	340	38	871	1,338	2,000	306	8,709
2007-8	1,795	1,285	936	368	39	918	1,420	2,144	338	9,243
2008-9	1,884	1,352	990	409	39	1,012	1,544	2,281	351	9,862
平均増加率	5.0%	6.0%	5.9%	10.6%	4.5%	8.8%	7.6%	6.9%	6.8%	6.7%

(出典：教育・識字・国語省発行「基礎教育統計年鑑」2004-5, 2005-6, 2006-7, 2007-8, 2008-9)

2004-5 から 2008-9 年度の 5 年間では、全国的に私立学校およびマドラサ校の増加が著しく、それぞれ 62%、53%増加しており、公立学校、コミュニティ学校の増加率よりも高い。なお、バマコ特別区以外の全州でマドラサ学校の増加率は非常に高く、地方ではマドラサ学校の存在感が高まっていることを特記しておきたい。

表 1-7 5 年間 (2004-5～2008-9 年度) の学校種別増加率

学校種別	州									全国
	クリコロ	カイ	バマコ	ガオ	キダル	モブティ	セグー	シカソ	トンボクトウ	
コミュニティ	13.7%	31.6%	20.8%	-28.6%	-50.0%	8.9%	21.9%	4.3%	-1.9%	13.4%
マドラサ	43.7%	41.0%	-0.6%	37.7%	0.0%	50.7%	107.7%	132.5%	22.2%	62.3%
私立	60.3%	92.9%	46.0%	-14.3%	0.0%	61.5%	52.8%	80.0%	133.3%	53.1%
公立	11.0%	14.3%	9.6%	47.7%	23.3%	42.6%	14.3%	28.4%	34.2%	23.0%
合計	19.9%	24.0%	23.4%	42.5%	18.2%	35.1%	30.5%	27.8%	27.2%	26.8%

(出典：教育・識字・国語省発行「基礎教育統計年鑑」2004-5, 2005-6, 2006-7, 2007-8, 2008-9 より作成)

2008-9 年の学校数内訳を表 1-8 に示す。公立学校が最も多いが、続くコミュニティ学校も全体学校数の 3 割強を占める。コミュニティ学校の多くは農村の小規模校と考えられ、マリでの基礎教育普及に大きな役割を果たしており、詳細を次項目に述べる。

表 1-8 2008-9 年度州別学校数内訳

学校種別	州									全国
	クリコロ	カイ	バマコ	ガオ	キダル	モブティ	セグー	シカソ	トンボクトウ	
コミュニティ	699	396	58	5	1	208	730	1,023	52	3,172
マドラサ	283	227	157	73	1	104	295	458	33	1,631
私立	194	27	489	6	0	21	55	72	7	871
公立	708	702	286	325	37	679	464	728	259	4,188
合計	1,884	1,352	990	409	39	1,012	1,544	2,281	351	9,862

(出典：教育・識字・国語省発行「基礎教育統計年鑑」2008-9 より作成)

(4) コミュニティ学校

本プロジェクトの調査対象となった60校においても10校でコミュニティ学校の存在が確認された。マリでは PRODEC の1村=1 第一サイクル学校の政策に基づき、多くの村やコミュニティが自助努力で学校を建設し、生徒から授業料を徴収することによって教員を直接雇用してきた¹⁰。現在、教育・識字・国語省は全てのコミュニティ学校を公立化する政策を推進中であるが、全コミュニティ学校が公立化されるまでにはしばらく時間がかかる様子である。

コミュニティ学校の抱える問題点は、①教員不足、②教員の質が低い(村人を教員とすることが多いため)、③授業料が掛かる、④規格外の教室が殆どであることに集約される。特に④に関しては、日干し煉瓦によるバンコ造建物が殆どで、耐久性が低いため崩壊しかかっている教室も多く見られる。

1-1-1-2-2. 内部効率

内部効率に関する指標には、留年率、退学率、修了率などがあるが、入手可能であった統計を基に、ここでは留年率をもって内部効率の分析を行う。

(1) 留年率

マリの公立学校における学年別留年率の変遷を表 1-9 に示す。過去5年間の傾向として、学年が上がるにつれ、留年率が高くなるのがわかる(ただし、6年生の留年率は5年生のそれより低い)。特に3年生以降に急増する。

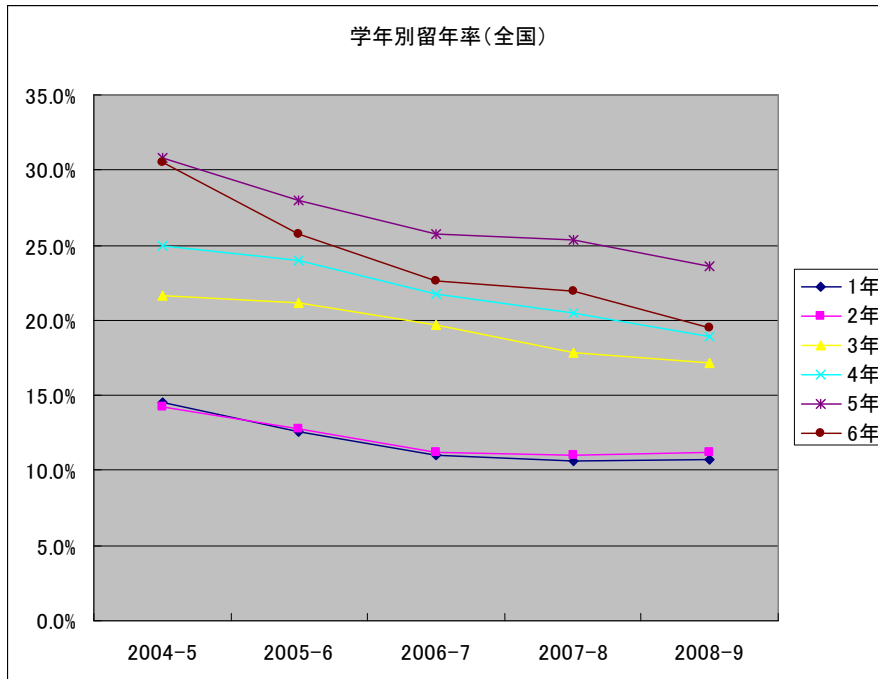
過去5年間に留年率の改善が読み取れるが、今でも留年率は非常に高く、内部効率は良くない。また施設不足に加え留年者が滞留する為に、多くの学校では1年生に新規生徒を迎え入れられない「入学制限」の問題を起こしている。教育・識字・国語省は、留年および退学の原因として、教員および教材不足、遠距離通学、生徒の家事労働等を指摘している¹¹。

なお、留年率改善の理由としては、①2005-6年度より本格導入されたカリキュラム教育による教授法の普及、②同教授法が1~3年生を自動進級としたこと、③後述するように教室および教員あたり生徒数も改善されつつあること、④学校数増加に伴う通学距離短縮、などが考えられる。

¹⁰ 政府から 25,000FCFA/月/教員の給与補填が支給される場合もある。

¹¹ PISE (Programme d'investissement pour le secteur de l'éducation : 教育セクター投資計画) III ドラフト (2010年3月18日版) より。

表 1-9 全国公立学校学年別留年率変遷



(出典：教育・識字・国語省発行「基礎教育統計年鑑」 2004-5, 2005-6, 2006-7, 2007-8, 2008-9)

1-1-1-2-3 教育の質

(1) 複式学級・2部制

第一サイクルでは教室数や教員数の不足の為、複式学級や2部制を行う学校が非常に多い。2008-9年度の第一サイクル公立学校の単式学級、複式学級、2部制学級の数を表1-10に示す。バマコ特別区以外の地方州においては複式学級や2部制学級を実施している割合が高く、教育の質の低下や授業内容などの教育の質が懸念されている。ただし、バマコ特別区に関していえば、次項(2)で述べるように、2部制を回避しているために一学級あたり生徒数が非常に多い。

表 1-10 2008-9年度州別公立学校クラス形式

	クリコロ	カイ	バマコ	ガオ	キダル	モブティ	セゲー	シカソ	トンボクトゥ	全国
単式学級数	2,504	2,265	1,655	938	113	1,914	2,163	2,696	723	14,971
複式学級数	1,312	1,173	67	599	79	1,006	444	888	607	6,175
2部制実施学級数	285	195	142	99	0	299	64	640	10	1,734
合計学級数	4,101	3,633	1,864	1,636	192	3,219	2,671	4,224	1,340	22,880
複式+2部制実施学級数割合	39%	38%	11%	43%	41%	41%	19%	36%	46%	35%

(出典：教育・識字・国語省発行「基礎教育統計年鑑」2008-9)

なお、1部制の平均授業時間数が週26.5時間であるのに対し、2部制のそれは18.75時間である。短い授業時間は生徒の学習達成度にも負の影響を及ぼしていると考えられる。

(2) 教室あたり生徒数・教員あたり生徒数

2004-5年および2008-9年の第一サイクル公立学校の教室あたり、一学級、教員あたり生徒数の州別平均を表1-11に示す。全国的に見て5年間で数値が改善されており、就学者数の増加率を上回る教室建設、教員配置がなされたことがわかる。

他方、教育・識字・国語省は教員・教室あたり生徒数50人とすることを目標としているが、多くの州において目標が達成されていない。また、下表より多くの州では2部制を採用することによって一学級あたり生徒数を50人に近づけていることがわかる。2部制採用を回避する傾向の高いバマコ特別区における各指標の数値は高く、サイト調査では一学級あたり生徒数が100人を超える学校も見られた。

表 1-11 州別公立学校の教室、学級、教員あたり生徒数 (2004-5、2008-9年度)

年度	指標	州									全国合計
		クリコロ	カイ	バマコ	ガオ	キダル	モプティ	セグー	シカソ	トンボクトウ	
2004-5	生徒数/教室	69	65	83	72	34	76	72	79	55	72
	生徒数/学級	49	48	73	45	27	49	57	57	40	52
	生徒数/教員	68	63	78	67	32	66	67	73	51	68
2008-9	生徒数/教室	65	58	79	57	34	61	68	71	57	65
	生徒数/学級	50	46	72	39	27	44	59	55	38	51
	生徒数/教員	65	58	75	55	34	56	64	65	54	62

(出典：教育・識字・国語省発行「基礎教育統計年鑑」2004-5、2008-9より作成)

(3) 学校施設

全国的に第一、第二サイクルの公立学校教室¹²の1割強は「劣悪」と分類されている。これらの多くは、コミュニティにおいて教室不足に対応する為に日干し煉瓦などで建設したバンコ造りの建物や、葦葺きの仮設教室や、老朽のため半崩壊した石造りの建物である。いずれも暗い、狭い、家具も粗末であるなど、政府標準仕様からは程遠く、教育環境としては劣悪である。

本プロジェクト対象地域ではカイ州において「劣悪」教室の割合が全国平均よりも高く、約15%の教室が「劣悪」に分類される。他州においては、ガオ州、モプティ州、トンボクトウ州などで「劣悪」教室の割合が非常に高く、学校インフラの改善は喫緊の課題である。

表 1-12 2008-9年州別公立学校教室状態

	州									全国
	クリコロ	カイ	バマコ	ガオ	キダル	モプティ	セグー	シカソ	トンボクトウ	
良好教室	3,753	3,153	2,482	1,121	178	2,454	2,802	4,025	963	20,931
劣悪教室	476	547	207	339	3	452	291	281	175	2,771
劣悪教室の割合	11.3%	14.8%	7.7%	23.2%	1.7%	15.6%	9.4%	6.5%	15.4%	11.7%

(出典：教育・識字・国語省発行「基礎教育統計年鑑」2008-9)

¹²公立学校教室数については、第一、第二サイクル教室数の合計に関する統計のみ入手可能のためここでは合計の統計を使用し分析する。

(4) 教員と資格

【有資格教員】

マリにおける有資格教員とは原則的に教員養成学校(IFM¹³)を修了したものである。IFMの前身である教員養成学校(IPEG¹⁴)や、中等師範学校(ENSEC¹⁵)、高等師範学校(ENSUP¹⁶)修了資格を持つ教員も有資格者とされている。

【無資格教員】

マリでは、90年代初頭から半ばにかけて、IMFおよび世界銀行の構造調整下で教員養成校が2校を残し閉鎖された。このためマリの基礎教育は深刻な正規教員不足事態に陥り、政府は中等教育修了者に対して約3ヶ月の研修を実施し臨時教員として雇用してきた。

また、2000年からは「教員採用に関する代替戦略(SAPRE¹⁷)」という国家戦略の下で職業専門学校卒業生に対し、原則6ヶ月の教員養成研修を行い教員として採用している。

【有資格・無資格教員の割合】

2004-5年度および2008-9年度の公立学校第一サイクル教員の資格別内訳の比較を表1-13に示す。無資格教員の割合は2004-5年度で57%であるのに対し、2008-9年度で58%と改善が見られず、その割合も非常に高い。また、2008-9年度バマコ特別区の無資格教員者の割合が23%であるのに対し、残りの8州が軒並み55%以上であるなどバマコ特別区以外への有資格教員配置に問題が見られる。

一方で、2008-9年度にはIFM修了者や、SAPRE教員の割合が非常に高くなってきており、教育・識字・国語省による政策実行の努力が垣間見られる。なお、SAPREは6ヶ月の研修とされているが、2008-9年度の統計によると公立学校のSAPRE教員7,200人のうち、6,592人が6ヶ月未満の研修しか受けていない。

¹³ Institut de formation des maîtres

¹⁴ Institut pédagogiques d'enseignement général

¹⁵ Ecole normale secondaire

¹⁶ Ecole normale supérieure

¹⁷ La Stratégie Alternative de Recrutement de Personnel Enseignant

表 1-13 2004-5、2008-9 年度州別教員内訳

年度	教員資格有無 (有資格者の場合、資格取得先)	州									全国	
		クリコロ	カイ	バマコ	ガオ	キダル	モプティ	セゲー	シカソ	トンボクトゥ		
2004-5	有資格	IPEG他	738	464	1,037	173	4	323	555	847	162	4,303
		IFM	276	114	269	61	16	183	205	223	32	1,379
		ENSUP	13	9	3	3	1	9	7	14	1	60
		ENSEC他	27	14	10	2	0	15	5	7	6	86
	無資格	研修経験なし	1,577	1,534	317	487	92	1,070	1,034	1,377	567	8,055
	不明	-	4	109	13	9	0	17	2	7	0	161
	合計教員数		2,635	2,244	1,649	735	113	1,617	1,808	2,475	768	14,044
	無資格教員割合 (%)	60%	68%	19%	66%	81%	66%	57%	56%	74%	57%	
2008-9	有資格	IPEG他	434	297	664	156	5	165	323	510	77	2,631
		IFM	807	565	673	241	47	756	614	1,091	198	4,992
		ENSUP	14	2	3	1	0	1	7	1	2	31
		ENSEC他	26	15	20	9	1	5	12	11	9	108
	無資格	SAPRE	1,100	1,574	260	598	89	1,222	997	819	541	7,200
	研修経験なし	813	481	155	159	10	369	475	1,153	123	3,738	
	合計教員数		3,194	2,934	1,775	1,164	152	2,518	2,428	3,585	950	18,700
	無資格教員割合 (%)	60%	70%	23%	65%	65%	63%	61%	55%	70%	58%	

(出典：教育・識字・国語省発行「基礎教育統計年鑑」2004-5, 2008-9)

1-1-1-2-4 教員養成・採用・配置

(1) 教員養成

【教員養成校】

PRODEC は、基礎教育第一、第二サイクルにおいて IFM と SAPRE 研修によって年間平均 2,450 人の新規教員を養成・採用し、そのうち 2,000 人を自治体契約教員として公立学校に配属することを目標としている。現在マリ全国には 15 の IFM があり、第一サイクル教員資格が取得できる「ジェネラリストコース」及び、第二サイクル教員資格が取得できる「スペシャリストコース」に合計 14,648 名が在籍しており、向こう 4 年間で平均 3,662 人/年が有資格者として輩出される予定である。ただし農村への配置を望まない教員資格保持者も多く、結果としてバマコ特別区などに有資格教員が集中したり、教員として就職しないなどの問題もある。

なお、教員資格を得るには、DEF 修得者は 4 年間、BAC 修得者は 2 年間のコース履修が必要となる。

表 1-14 2009-2010 年度 IFM 在籍者数

	1学年	2学年	3学年	4学年	合計
ジェネラリストコース	2,936	2,607	1,587	1,789	8,919
スペシャリストコース	3,137	1,293	672	627	5,729
合計	6,073	3,900	2,259	2,416	14,648

(出典：教育・識字・国語省 調査団質問票への回答)

【SAPRE】

「教育セクター投資計画 II (PISEII : 2006~2008)」においては、SAPRE は 2010 年までに終了し、2010 年以降は IFM 卒業生のみを新規教員として採用する予定としていた。しかし、現在でも IFM 卒業生のみでは教員不足に対応できないため、教育・識字・国

語省は PISEIII（2010~2012）期間中も SAPRE を継続する方針を打ち出している。

（２）教員雇用形態

マリの基礎教育分野の教員雇用形態は主に以下の３タイプに分類され、第一サイクルでは、タイプ②の教育・識字・国語省契約教員が最も多い。

表 1-15 公立学校教員採用形態

分類	備考
①国家公務員	第一サイクルでは新規雇用廃止
②教育・識字・国語省契約教員	教育・識字・国語省の予算でコミューンに雇用されている契約教員。PRODEC では基礎教育（第一、第二サイクル）公立学校に毎年新規 2,000 人の配置を目標としている
③コミューン、村契約教員	コミューンや村の自主財源で雇用されている契約教員。学校予算から一部給与が賄われているものもいる。

②の基礎教育第一、第二サイクル新規契約教員の過去 5 年間の推移は表 1-16 の通りである。教育・識字・国語省は PRODEC に従い毎年 2,000 人の新規雇用を行ってきたが、2007-8 年より採用人数を拡大している。

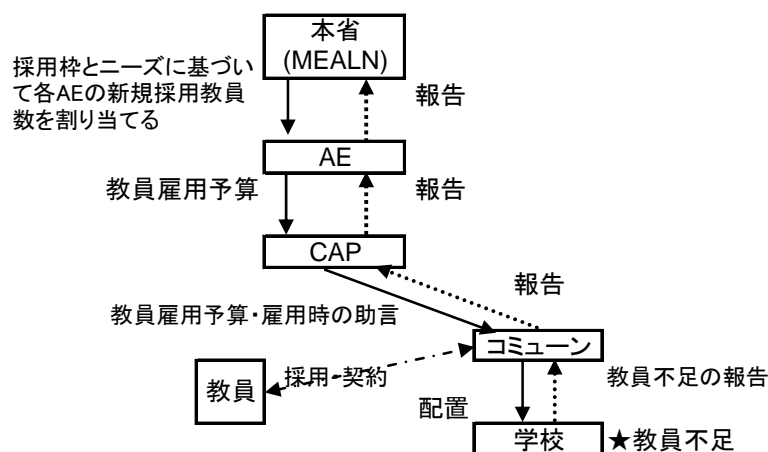
表 1-16 州別基礎教育新規採用教員数変遷

年度	州									全国
	ケリコロ	カイ	バマコ	ガオ	キダル	モプティ	セグー	シカソ	トンボクトゥ	
2005-6	398	323	162	124	29	281	239	333	111	2,000
2006-7	355	335	200	125	30	265	220	350	120	2,000
2007-8	529	434	298	170	66	350	339	450	164	2,800
2008-9	595	525	293	200	22	433	362	570	165	3,165
2009-10	520	465	290	175	90	450	465	500	165	3,120

（出典：教育・識字・国語省 調査団質問票への回答）

（３）新規教員の採用・配置方法

前述のように第一サイクル新規教員の採用・配置はコミューンの責任範囲であり、コミューンは各学校の不足教員数を把握し CAP に報告する。CAP は各コミューンからの報告を取りまとめ、AE に報告する。同様に AE は各 CAP の報告を取りまとめ教育・識字・国語省に通知する。教育・識字・国語省は、各 AE のニーズに応じて教員採用枠（2009-10 年度は 3,120 名）内で各 AE の教員採用数を決定する。コミューンは割当分の教員を採用し、雇用契約を結ぶ。採用試験の公示、実施等について CAP がコミューンに対して技術的支援を行う。なお割当人数が少ない場合、コミューンや村、あるいは学校が自主財源で教員を雇用する場合もある。



(注)割当て予算で足りない場合は、コミュニティや村が自主財源で教員を直接雇用する。

図 1-4 契約教員採用の流れ

1-1-2 開発計画

現在の教育分野の主な上位計画は「教育開発 10 年計画(PRODEC)」、および「教育セクター投資プログラム(PISE) III」である。

(1) 教育開発 10 年計画 (PRODEC)

当初の実施期間は 2000～2010 年であったが、実施開始および進捗が遅れたため 2012 年 (あるいは 2013 年) までが実施期間となった。主な内容は、「総就学率を 95%に向上させ、地域間、都市部と地方部、男女間の格差を是正する」という目標が掲げられている。主な量的・質的目標としては、以下が示されている。

- ① 18,000 教室の建設
- ② 毎年 2,450 名の契約教員の養成・採用
- ③ 仏語と母国語の併用
- ④ 能動的な授業法・実践的な授業内容の導入
- ⑤ 新任および現職教員研修の強化

(2) 教育セクター投資プログラム III (PISE III : 2010-2012)

上述の PRODEC の具体的な投資計画である PISE は第 3 フェーズを迎え、現在教育・識字・国語省は実施の為のアクションプランを策定中である。PISE III では 2012 年までに、基礎教育 (第一サイクル) に関して、以下の数値目標を打ち出している。

- ①総就学率を 90%に引き上げる

- ②総入学率(Taux brut d'admission)を 91.2%に引き揚げる。
- ③修了率(Taut brut d'achevement) を 69.3%に引き揚げる。

また、主な実施計画内容として、以下が挙げられている。

- ① 1,000 ブースのトイレ建設（男女別）
- ② 年間平均 2,103 教室建設、721 教室の修繕
- ③ 700 の水場建設
- ④ 17,850 名の教員に対するカリキュラム教育研修
- ⑤ 年間 2,175 名の IFM 卒業生の輩出
- ⑥ 学校保健政策の策定、実行

1-1-3 社会経済状況

マリは、124 万km²（日本の約 3.3 倍）の国土面積を有する内陸国家で、アルジェリア、ブルキナファソ、ギニア等 7 つの国と国境を接する。人口は 1,430 万人で、うち首都バマコ特別区の人口は約 138 万人である（2007 年）。また、総人口の 90%程度が総国土面積の 30%に相当する南部 6 州に集中しており、人口増加率は 3.0%と推定されている。マリにはバンバラ、プル、マリンケ、トゥアレグ等の 23 以上の民族が存在する。

マリの 2007 年度の国民一人あたりの国民所得（GNI）は 500 ドルとサブサハラ諸国の平均 GNI である 952 ドルの約半分に留まっており、後発発展途上国の一つとなっている¹⁸。農業・鉱業を中心とした産業構造のため、天候や一次産品の国際価格の影響を受け経済基盤は脆弱であるが、2005 年以降、好天候による穀物・綿花生産増、新たな鉱山開発による金生産量の増加により、経済成長は回復基調にある。なお、2008 年の経済成長率は 5.6%であった¹⁹。

1-2 無償資金協力の背景・経緯及び概要

マリでは上述の教育政策により、基礎教育第一サイクル総就学率は 2001 年の 60.9%から 2008 年の 82%に向上した。しかしながら、PRODEC および PISE の実行は計画よりも遅れていることなどから、同国の教室不足は依然として深刻である。教育現場では入学制限を設ける学校、2 部制、複式学級、過密教室での授業を余儀なくされる学校が多数存在する。また、コミュニティの自助努力により建設された日干し煉瓦造りの教室や仮設教室の老朽化は進み、継続的な使用は難しいため、マリにおいて教室建設は喫緊の課題となっている。

このような背景からマリ政府は我が国に対し、第四次小学校建設計画に係る無償資金協力を要請した。これを受けて、JICA はコミュニティ開発支援無償資金協力で事業を実施する為、準備調査団を 2010 年 4 月 3 日～22 日（現地調査 I）、2010 年 8 月 28 日～

¹⁸ 2007 年 世界銀行

¹⁹ 2008 年 世界銀行

10月8日（現地調査Ⅱ）、2011年3月5日～23日（現地調査Ⅲ）、2011年4月4日～10日（概略設計概要説明）、2011年6月11日～26日（入札参考資料説明）と5度にわたりマリに派遣した。

1-3 我が国の援助動向

我が国はマリの教育分野に対して技術協力を含む無償資金協カスキームにより、以下の援助を行ってきた。

表 1-17 我が国の対マリ援助（教育分野）

計画名	支援金額	実施期間	支援内容
小学校建設計画	32.76 億円	1997~2000 年度	462 教室、校長室 104 室、トイレ 387 ブースの建設（クリコロ州、モプティ州、セグー州、バマコ特別区）
第二次小学校建設計画	24.03 億円	2002~2005 年度	405 教室、校長室 32 室、トイレ 415 ブースの建設（クリコロ州、シカソ州、セグー州、バマコ特別区）
第三次小学校建設計画	17.92 億円	2006~2008 年度	303 教室、校長室 36 室、トイレ 303 ブース建設（クリコロ州、セグー州、シカソ州、モプティ州）
カティ市教員養成学校建設計画	6.87 億円	2008 年度～ 2011 年度	カティ市教員養成学校の建設支援
学校運営委員会支援プロジェクト	-	2008 年度～ 2011 年度	学校運営委員会（CGS）のキャンペーンビルディング支援

1-4 他ドナーの援助動向

マリでは「教育セクター投資計画（PISE）」に対し、各ドナーが支援を行っている。主なドナーによる支援の概要は表 1-18 のとおり。

表 1-18 他ドナーによる対マリ支援概要

ドナー名	プロジェクト名	援助内容	期間	援助金額
WB	教育セクター投資計画 II	<ul style="list-style-type: none"> 基礎教育の質改善（第一サイクル学校へ読書室設立、5つの教員養成校へ図書室設立、教員研修、小学校への文具・機材購入費支給等） 就学機会の拡充（小中学校 970 教室の建設、設備供与等） 組織管理能力強化等 	2006 ～ 2010	US\$50 百万
AfDB	教育プロジェクト IV	<ul style="list-style-type: none"> 主に不利な状況に置かれた地域における第二サイクル教育施設 560 教室の建設 	2005 ～	US\$23 百万
UNICEF AfD/	基礎教育供給改善プロジェクト (PAOEFM)	<ul style="list-style-type: none"> 郊外における第一サイクルのアクセス改善（280 教室の建設、100 教室の修繕、CAP6 箇所の建設） 第一サイクルの教員研修 教育の地方分権化に伴うマネジメント強化支援（ユニセフとの共同出資によるコミュニティ教育開発計画策定支援、施設維持管理支援、CGS、APE 支援等） 	2004 ～ 2010	€9.817 百万

なお、教室建設に関しては、PISE II（2006~2008）期間中には国庫負担およびドナー支援により、全国で 6,411 教室の建設が計画されたものの、実際に建設されたのは 3,062 教室にとどまり、教室建設計画実行の遅れが指摘されている。

表 1-19 に州別の地方自治体投資公団（ANICT²⁰）およびその他ドナーによる計画教室数および実際の建設数を記す。ANICT は、地方におけるドナーや地方自治体の実施する公共事業案件の資金管理を行う団体の 1 つで、小中学校の建設などを担当している。なお、ANICT による教室建設は、国庫からの資金のみならず、世界銀行、オランダ等の財政支援が含まれる。「その他ドナー」はイスラム開発銀行、アフリカ開発銀行、フランス、UNICEF、日本の無償資金協力支援による教室建設が含まれる。

²⁰ Agence Nationale d'investissement des Collectivités Territoriales

表 1-19 PISEII 期間中の州別教室建設計画および実際に建設された教室数

	PISE2 計画値			実際に建設された教室数			
	ANICT	その他 ドナー	合計	2006	2007	2008	合計
クリコロ	1,115	473	1,588	105	138	180	423
カイ	532	225	757	70	6	177	253
バマコ	468	199	667	12	139	264	415
ガオ	84	37	121	24	48	78	150
キダル	16	8	24	0	12	9	21
モプティ	487	206	693	52	42	462	556
セグー	763	324	1,087	264	87	324	675
シカソ	923	392	1,315	106	58	315	479
トンボクトゥ	112	47	159	6	33	51	90
合計	4,500	1,911	6,411	639	563	1,860	3,062

(出典：教育・識字・国語省 調査団の質問票への回答)

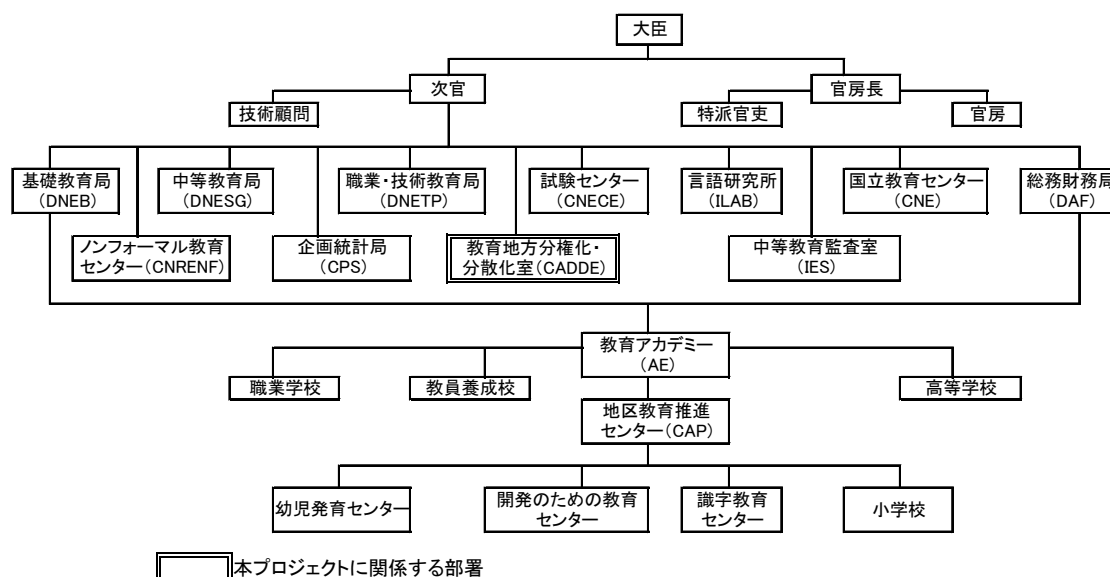
第2章プロジェクトを取り巻く状況

第2章 プロジェクトを取り巻く状況

2-1 プロジェクトの実施体制

2-1-1 組織・人員

本プロジェクトの主管官庁は教育・識字・国語省であり、プロジェクトの実施部局は教育地方分権化・分散化推進室(CADDE)である。



プロジェクト実施後の運営・維持管理主体は各校のCGSとなる。CGSは全対象校で生徒から徴収する入学金、生徒会費等で構成される学校予算を活用し、施設維持管理を行っていることが確認された。なお、各CGSは原則として投票で選ばれた14人のメンバーから構成されている。

2-1-2 財政・予算

マリア教育・識字・国語省の予算は下表の通り変遷している。2010年の予算総額は前年度割れしているものの、人件費・運営費のリカレントコストは過去3年間一貫して増額されている。なお、教育の分権化・分散化に伴い、教育予算の多くは州予算に計上されている。

表 2-1 教育・識字・国語省予算の変遷

(単位:億 FCFA)

	2008	2009	2010
人件費	47.8	104.9	116.4
運営費	121.8	153.4	198.1
投資予算	178.8	300.4	122.0
合計	348.4	558.7	436.5

(出典：教育・識字・国語省 調査団質問票への回答より)

また、国家予算に占める教育セクター予算の割合は以下の通り推計されている。教育セクター予算の割合は非常に高いといえる。

表 2-2 国家予算に占める教育セクター予算割合の変遷

	2008	2009	2010
割合	17.7%	19.1%	18.4%

(出典：マリ財務省ホームページ 2010年予算書より)

2-1-3 技術水準

本プロジェクトの担当部署である CADDE の室長は実施中の技術協力「学校運営委員会支援プロジェクト」を担当している。また、学校施設計画・監理担当者はコミュニティ開発支援スキームによって実施中の「カティ市教員養成学校建設計画」を担当している。このため CADDE は日本の援助プロジェクトとの協働経験が豊富であり、コミュニティ開発支援無償スキームを熟知している為、本プロジェクトの実施に問題はないと判断される。

また、本プロジェクトでは、運営・維持管理主体となる CGS メンバーに対し、トイレ棟維持管理にかかるソフトコンポーネントを実施する。これに加えて、実施中の技術協力「学校運営委員会支援プロジェクト」の全国展開により、計画対象校における CGS の維持管理能力がさらに高まることが期待される。従って、本プロジェクトで整備される施設も CGS によって適切に維持管理されると考えられる。

2-1-4 既存施設・機材

(1) プロジェクトサイト

計画対象の 46 校は全て既存校である。これら計画対象校は、首都圏から農村部まで広範囲に分散しているため、学校の規模、施設状況は様々である。以下に 46 校の既存

施設の概要を示す²¹。

なお、項目 9 の「継続使用不可能教室」とは、粗悪なバンコ（日干し煉瓦）造りの教室や、葦葺きの仮設小屋などであり、継続的に教室として使用することは困難と判断されるものである。これらの施設の大半は住民が建設したもので、構造面、機能面で学習環境としては劣悪である。

1. グループ学校数	22 校
2. コミュニティ学校数	7 校
3. 入学制限実施学校数	19 校
4. 2 部制実施学校数	15 校
5. 複式学級実施学校数	9 校
6. 生徒数	合計 32,921 人 (最小校:98 人~最大校:4,162 人/校、平均 716 人)
7. 教員数 (校長含む)	合計 490 人 (最小校:3 人~最大校:52 人、平均 11 人)
8. 教室数	合計 420 教室 (未使用・建設中教室含む) (最小校:3 教室~最大校 37 教室、平均 9 教室)
9. 継続使用不可能教室数	合計 106 教室 (全教室数の 25%)
10. 教室あたり生徒数	平均 78 人 (最小:28 人/校~最大 182 人)
11. トイレを有する学校数	31 校 (68%)
12. 電気使用中の学校数	8 校 (17%)
13. 敷地内に水源を有する学校数	32 校 (70%)

(2) 過去の無償資金協力による学校施設状況

過去の無償資金協力により建設された小学校に関し、学校施設状況を確認した。

- ・ 教室施設については、AE、CAP などの関係者から高い評価を得ていることを確認した。特にマリの教育関係者は無償校舎の堅固な構造を評価している。
- ・ 第 1 次、2 次計画で建設された教室については、壊れた天井からコウモリが侵入し、糞尿による腐食や悪臭の問題が見られた。
- ・ 一方、簡素な設計を追及した第 3 次計画の教室施設は、天井がないため、隣の教室の音が聞こえやすいことや、黒板の白墨受けがないためチョークの粉が床に落ちることが指摘された。

²¹ グループ学校の場合は、第一サイクル学校に限った情報を記載している。第二サイクルを含む各校の敷地全体の情報に関しては添付資料 8 を参照のこと。

2-2 プロジェクトサイト及び周辺の状況

2-2-1 関連インフラの整備状況

(1) 電気

計画対象 46 校のうち、バマコ特別区およびその周辺のカティ AE に属する首都圏 8 校で電気使用が確認された。また、16 校では、敷地周辺に配電設備が整備されている。

(2) 給水設備

計画対象 46 校のうち、32 校で敷地内に井戸を含む給水設備が確認された。残りの 14 校についても、敷地周辺に井戸などがあり、生徒達が学校に水を運び使用している。

(3) アクセス道路

計画対象 46 校のうち、アクセス道路が十分整備されていない学校が 16 校ある。その内 1 校の敷地アクセスはバマコ特別区内にあるものの非常に悪い。

2-2-2 自然条件

(1) 気象条件

本プロジェクトの対象地域であるバマコ特別区、クリコロ州、カイ州はサバンナ気候に属し、雨季（5 月～10 月）と乾季（11 月～4 月）が明確に分かれている。乾季の終了時期が最も暑く、最高気温は 40 度を越えることもある。また、年間を通じて日中の気温格差が激しい。バマコ特別区の気温、降水量を表 2-3 に示す。

表 2-3 バマコ特別区 1950 年~2000 年の平均気温・降水量

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
月平均最低気温(°C)	17.0	19.9	22.9	25.2	25.4	23.6	22.2	21.8	21.6	21.3	18.4	16.8
月平均最高気温(°C)	33.4	36.4	38.5	39.6	38.5	35.3	32.1	31.1	32.2	34.6	35.3	33.4
月平均降水量(mm)	0.6	0.7	2.1	19.7	54.1	132.1	224.1	290.2	195.9	66.1	5.2	0.5
月平均降雨日数 (0.1mm以上の降雨)	0.2	0.2	0.6	3.3	6.3	7.7	16.7	17.9	14.7	5.7	0.3	0.1

(出典：World Meteorological Organization HP より)

(2) 地質

計画対象地の地盤は概ね良好であり、平屋建ての建設には特段の問題はない。

一方で、2 階建校舎を計画するバマコ首都圏の 6 サイトについては、地質調査を実施し、調査が行われた 6 サイトで深さ 0.2m~1.2m の間に約 60N/mm² の硬い支持層が確認されている。なお、地質調査結果を添付資料 7 に示す。

2-2-3 環境社会配慮

本プロジェクトの優先計画対象校 46 校は全て既存校であり、住民移転や農地転用は伴わない。また、敷地によっては盛土や樹木撤去を行う必要があるが、いずれも小規模な作業であるため、動植物の生態系を乱したり、地下水系に影響を与えることはない。

第3章 プロジェクトの内容

第3章 プロジェクトの内容

3-1 プロジェクトの概要

3-1-1 上位目標とプロジェクト目標

本プロジェクトは、PRODEC が掲げる「18,000 教室の建設」という実行計画の一部を担うものであり、「マリの初等教育の質の改善」を上位目標とし、「対象地域における学校環境の改善」をプロジェクト目標とする。

3-1-2 プロジェクトの概要

本プロジェクトは上記目標を達成するために、カイ州、クリコロ州、バマコ特別区の小学校に対し、216 教室（建替えを含む）、25 校長室、70 トイレ棟および必要家具を整備するものである。これにより、対象校において施設が整備され、学校環境が改善されることが期待される。また、本プロジェクトでは、本計画で整備される衛生施設が適切かつ継続的に使用されることを目的とし、適切なトイレの使用方法や維持管理方法を学校関係者に伝えるためのソフトコンポーネントを実施する。

3-2 協力対象事業の概略設計

3-2-1 設計方針

3-2-1-1 基本方針

(1) 計画対象

計画対象校は、マリから要請のあったバマコ特別区、クリコロ州、カイ州の 60 校の小学校から、調査結果に基づき選定する。なお、マリでは地方自治体であるコミューンが、ANICT を活用し小学校建設を行っているが、本プロジェクト開始後に計画対象サイトにおいてコミューン-ANICT による学校建設が行われた場合は、本計画の対象から除外することを検討する。

(2) 計画コンポーネント

計画コンポーネントは、既存小学校における教室、校長室・倉庫およびトイレの建設、ならびに教育家具の整備とする。

(3) 対象校の規模設定

計画対象校には、各学校のニーズに基づき、各校 6 教室を上限として不足教室数を計画する。なお、不足教室数は 1 教室あたりの生徒数をマリ国の標準に則り 50 人として算出する。

3-2-1-2 自然環境条件に対する方針

(1) 気象条件

計画対象地域は、サヘル気候からサバンナ気候に属し雨季と乾季が明確である。雨季の中でも 8 月の降雨量は最も多く、約 280mm になる。一方、乾季の 4 月には平均気温が 40℃以上になることもある。このため、建築計画に際しては雨季の冠水や、乾季の輻射熱対策を考慮した設計とする。

(2) 敷地条件

バマコ特別区などの都市部では敷地が狭く、土地の高度利用が求められている。このため、バマコ特別区およびその近郊の教室棟の一部は 2 階建とする。他方、地方部の学校は平屋建てとする。

(3) 地盤

計画対象校の地盤は概ね良好といえる。建築計画に際しては、建物の強度を十分に保ち、かつ過大な基礎深さと基礎形状とならない設計とする。また、2 階建て校舎を建設するサイトでは適切な地質調査を行い、基礎の設計を行う。

(4) 鳥獣被害

対象地域の多くの学校でコウモリの被害が確認されていることから、天井裏へのコウモリの進入防止を図るとともに、天井裏の点検、清掃が容易な施設計画を行う。

(5) 地震

マリには地震の記録がないことから、構造設計において地震力は想定しない。

3-2-1-3 社会経済条件に対する方針

(1) 宗教とジェンダー

マリ人の多くはイスラム教徒である。男女分離の習慣は見られないが、ジェンダー配慮として、トイレが男女別に使用されるよう設計する。

(2) 身体障害者配慮

マリには、公共施設における身体障害者配慮に関する基準はないが、近年ユニバーサルデザインが主流となってきており、マリでも教育施設に身体障害者配慮が求められるようになってきている。本計画では、身体障害者対応として、教室棟にスロープを設置する。

3-2-1-4 建設事情に対する方針

(1) 建設工法

工法は、現地において一般的で施工が容易な鉄筋コンクリート造を主構造とする。

(2) 建築資機材

建築資材は、耐久性、コスト削減およびメンテナンスを考慮し選定する。

マリでは、骨材以外の大半の建設資材は輸入に頼っているが、輸入資機材は一般的に国内市場に流通しているため、本プロジェクトに必要な資機材は国内で調達可能である。したがって全ての資機材を国内調達することを原則とする。

(3) 基準・法規

施設計画は、マリの学校施設建設基準（FAEF マニュアル）を基本とし、過去の無償資金協力案件の設計内容に準じた設計とする。本プロジェクトでは、現地の建築基準、フランスの基準および現地の類似施設の状況を参照し、施設設計を行う。

3-2-1-5 調達に対する方針

本プロジェクトは、コミュニティ開発支援無償により実施することとし、日本の調達代理機関がマリの代理人として、施工監理コンサルタント、建設会社および調達業者を調達する。

(1) 施工監理コンサルタント

施工監理コンサルタントは、JICA の推薦を受け、協力準備調査を担当した本邦コンサルタントが選定される。本邦コンサルタントは、日本人技術者をマリに派遣、常駐させるとともに、マリの現地コンサルタント会社を下請け（サブコン）として活用しつつ業務を統括管理する。

(2) 建設業者

建設業者は、マリ国の建設業者を対象とした競争入札により選定する。

本プロジェクトは、全体の施工規模が大きく、また多数の建設サイトが広範囲に分散しているため、建設は複数の建設業者を活用する必要がある。このため、地理的要因、

施工量、アクセス状況といった要因により契約ロットを複数に分割し発注する。

マリの建設会社は全般的に小規模であり、品質、工程、安全管理などを実施するために必要な技術力を持たない業者が多い。したがって、建設業者の選定においては、適切な入札参加資格の設定や技術審査による技術力の確認が求められる。

マリの建設業者は技術者数等に応じて7つのカテゴリーに分かれており、各カテゴリーによって契約上限額が定められている。従って、本計画では、ロットの建設規模を大きくし入札参加資格をカテゴリーAに絞るなど、上位業者を対象とした入札参加資格の設定を行う。また、入札においては、過去実績、技術者数、保有機材および技術提案などを技術審査項目として応募業者に求め、適切な技術力を有する建設業者を選定する。

表 3-1 建設業者のカテゴリー別契約金額および必要技術者数

カテゴリー	契約金額上限 (FCFA)	必要技術者等
A	制限なし	技師：4名、技術者:8名
B	10億	技師：4名、技術者:8名
C	7.5億	技師：3名、技術者:6名
D	5億	技師：2名、技術者:4名
E	2.5億	技師：1名、技術者:2名
F	5000万	技術者:1名
G	1000万	技術者:1名

(3) 機材調達業者

マリの学校建設現場では、教育家具の調達は校舎建設と一括して建設会社に発注されることが多い。しかし、一般に建設会社は家具製造を専門業者に委託せず、独自に木材を調達し、建築の木工職人に製造させるため、建設会社の違いによる家具品質のばらつきが大きい。したがって、本プロジェクトでは家具の品質を確保するため、家具調達は建設工事とは別ロットとして専門業者に発注する。

(4) ソフトコンポーネント

ソフトコンポーネント実施は、本準備調査を担当した本邦コンサルタントが行う。同時に、NGOを下請けとして活用しつつ業務を遂行する。

3-2-1-6 運営・維持管理に対する方針

マリの小学校では、各学校のCGSが、生徒からの入学登録料や、政府補助金で構成される学校予算を利用し、学校運営・維持管理を実施する体制が確立されている。さらに対象地域においては、我が国の技術協力プロジェクトがCGSの能力向上を目的とした活動を実施しており、CGSを通じて、対象学校の運営・維持管理体制が強化されることが期待される。

なお、トイレについては、多くの小学校で十分な維持管理体制が確立されていないため、本プロジェクトにおいて維持管理方法を学校関係者に伝えるためのソフトコンポー

ネットを実施する。

また、本プロジェクトの対象校にはコミュニティ学校も含まれているが、これら学校については教育・識字・国語省が2011年3月9日付けの決定書(No.11-00174/MEALN-SG)において公立学校化を決定するとともに、当該校に政府契約教員を配置することが確約されている。

3-2-1-7 施設、機材等のグレード設定に係る方針

施設・家具については、無償資金協力により建設された小学校や、マリや他ドナーにより建設された建物の仕様を比較参照し、機能性、経済性、維持管理の観点から無償資金協力として適切なグレードを設定する。

3-2-1-8 品質管理に関する方針

施工監理においては、本邦コンサルタントの指導の下で、現地コンサルタントが各現場の品質管理を実施する。特に建築物の主要構造体となるコンクリート工事については、適切な資材の選定、調合および打設方法が実施されるよう現地コンサルタントを指導するとともに、マリの地方部ではあまり実施されていないコンクリートの強度試験を実施するなど、品質管理に細心の注意を払う必要がある。

また、本邦コンサルタント、現地コンサルタントおよび現地建設会社といった関係者が設計内容、工程や品質について共通認識を持つため、①設計内容、工程、品質の確認や、完工済類似案件の実例の紹介を目的とした合同キックオフミーティングの開催や、②先行する工事現場に関係者を招き、実際の建設現場を通しての定例学習会などを実施する。

3-2-1-9 工期に係る方針

本プロジェクトではサイトが広範囲に分散しているため、施工監理の観点から全校を同時に建設することは困難である。従って、施工グループを3グループに分け、工事を実施する。

本計画は、1契約ロットのサイト数が多いことから、資機材や技術者等の転用を考慮した工期設定を行う。また、マリは6月から9月が雨季となるため、雨の影響を受けやすい土工事や基礎工事は雨期をはずした工程計画を策定する。

3-2-2 基本計画

3-2-2-1 要請内容

(1) 最終要請校

要請時は、バマコ特別区(80 教室)、カイ州 (70 教室)、シカソ州 (100 教室)、クリコロ州 (150 教室) およびセグー州 (100 教室) の 5 州 (500 教室) の初等教室の建設がマリ側より要請された。

しかし、日本側はコミュニティ開発支援無償スキームでの実施を考えた場合、2~3州程度とすることが適当との考えの下、マリ側に対象地域の絞込みを依頼した。その結果、他州と比べて教室建設計画の充足率 (PISE II 期間の計画値に対する実績値) が低いクリコロ州及びカイ州、また教室の過密度が高いバマコ特別区の 3 州がマリ側から提示された。これを受け、2010 年 4 月の現地調査 I においては、上記 3 州の 86 校 (295 教室) を要請校とすることがミニッツで確認されたが、ミニッツ締結後にマリ側より進行中の技術協力プロジェクト (学校運営委員会支援プロジェクト) との連携の観点から 11 校が追加要請され、最終的に 97 校が要請校となった。

表 3-2 現地調査 I 要請校数

州	AE	CAP	要請校数	備考
クリコロ	カティ	ジョイラ	10	
		ファナ	9	
		カラバンコロ	8	
		カティ	9	
	クリコロ	クリコロ	5	
		バナンバ	5	
		ナラ	5	遠隔地 CAP
		コロカニ	6	中学校 1 校含む
カイ	キタ	バフォラベ	6	遠隔地 CAP
		ディエマ	5	遠隔地 CAP
		キタ I	7	中学校 1 校含む
		キタ II	5	
バマコ特別区	左岸	ディエリブグ	1	
		バンコニ	1	
		イッポドローム	1	
		ボゾラ	1	
		バマコクラ	1	
		セントルコマーシャル	1	
		ラフィアブグ	1	
		セベニコロ	1	
	右岸	バナンカブグ	2	
		ファラジェ	5	
		カラバンクラ	2	
		合計	5AE	23CAP

(2) 最終要請コンポーネント

当初の要請は、初等教室の建設、教室家具および関連教具であったが、現地調査 I において、施設コンポーネントは教室の他、校長室・倉庫及びトイレを含めることとし、関連教具は過去の無償案件の活用状況に鑑み要請コンポーネントから除外することとし、機材コンポーネントは教室家具に限ることが合意された。

3-2-2-2 調査対象校の選定および調査内容

(1) 調査対象校の選定

現地調査 I 後の国内解析では、事業規模等に鑑み調査対象校を 60 校程度とすることとし、さらに事業全体の施工効率の観点から、バマコから遠隔にある各地区教育振興センター (CAP) (ナラ、パフォラベ、ディエマ) の 16 校を対象外とし、また中学校 2 校を除外することとした。その上で、地域間バランスを考え、CAP の割当数 (原則 1 CAP あたり 5 校とし、教室需要の高いバマコ特別区については多めの割当数を設定) をマリ側に提示し、これに従ってマリ側で調査対象校の絞り込みを行った。

現地調査 II では、最終的に表 3-3、3-4 に記す 60 校が調査対象校としてミニッツで確認され、同 60 校のサイト調査を実施した。

表 3-3 調査対象校数

州	AE	CAP	ID	学校数
クリコロ	カティ	ジョイラ	DL	5
		ファナ	FN	5
		カラバンコロ	KB	5
		カティ	KT	5
	クリコロ	クリコロ	KL	5
		バナンバ	BN	5
コロカニ		KK	5	
カイ	キタ	キタ I	KI	5
		キタ II	KII	5
バマコ 特別区	バマコ 左岸	ディエリブグ	BG	1
		バンコニ		1
		イッポドローム		1
		ボゾラ		1
		バマコクラ		1
		セントルコマーシャル		1
		ラフィアブグ		1
		セベニコロ		1
	バマコ 右岸	バナンカブグ	BD	2
		ファラジェ		3
		カラバンクラ		2
合計		-	-	60

表 3-4 調査対象校リスト

州	AE	CAP	ID番号	学校名
クリコロ	カティ	ジョイラ	DL 1	Diarani
			DL 2	Zéta
			DL 3	Diana
			DL 4	Fadabougou
			DL 5	Banco
		ファナ	FN 1	Werekela
			FN 2	Fana CI
			FN 3	Fana Extention Ouest
			FN 4	Fana B
			FN 5	Ouolodo
		カラバンコロ	KB 1	Samalé
			KB 2	Kalabancoro E
			KB 3	Kalabancoro I Nérékoro
			KB 4	Taliko II
			KB 5	Adeken (Fraternite Kene)
	カティ	KT 1	Camp B	
		KT 2	Sirablo Dogoba	
		KT 3	SongonII	
		KT 4	Gonsolo	
		KT 5	Yélékébougou	
	クリコロ	クリコロ	KL 1	Diaguinabougou Central
			KL 2	Tlomadio
			KL 3	Kolébougou
			KL 4	Chola
			KL 5	Kossaba
バナンバ		BN 1	Tota	
		BN 2	Kokoni	
		BN 3	Kiban 1 cycle B	
		BN 4	GSID	
		BN 5	Touba 1 cycle B	
コロカニ	KK 1	Kolokani B		
	KK 2	Guihoyo		
	KK 3	N'tiobougou		
	KK 4	Djinadjabougou		
	KK 5	Balla		
カイ	キタ	キタ I	KI 1	Dialakoni
			KI 2	Ségoubougouni
			KI 3	Farabala 1 cycle
			KI 4	Kofoulabé 1 cycle
			KI 5	Kantila
	キタ II	KII 1	Kouléko	
		KII 2	Sangarébougou	
		KII 3	Badinko II	
		KII 4	Kabé	
		KII 5	Boulouli	
バマコ特別区	バマコ左岸	ディエリブグ	BG 1	Nafadji
		バンコニ	BG 2	Sourakabougou
		イッポドローム	BG 3	Hippodrome extension
		ボゾラ	BG 4	Bougouba
		バマコクラ	BG 5	Samé
		セントルコマーシャル	BG 6	Point G.
		ラフィアブグ	BG 7	Taliko
		セベニコロ	BG 8	Camp Para
	バマコ右岸	バナンカブグ	BD 1	Ecole de Sagoninko
			BD 2	Groupe scolaire de Magnambougou Projet
		ファラジェ	BD 3	Groupe scolaire de Dianeguela
			BD 4	Groupe scolaire de Yirimadio
			BD 5	Groupe scolaire de Senou Base
		カラバンクラ	BD 6	Groupe scolaire de Sabalibougou
BD 7			Groupe scolaire de Baco Djicoroni	

(2) サイト調査の内容

調査団は、調査対象校全 60 校を踏査し、以下の情報を収集した。

- | | |
|------------|---|
| ① 基本情報 | 学校名、所在地、公立校またはコミュニティ校の区別 |
| ② 学校運営状況 | グループ校、2 部制有無、複式学級有無、入学制限有無、CGS 有無、入学金・登録料の有無 |
| ③ 生徒数 | 2009/10 年度学年別生徒数およびクラス数 |
| ④ 教員数 | 公務員教員数、契約教員数 |
| ⑤ 既存施設内容 | 教室数（使用不可、継続使用可能別）、校長室・倉庫有無、トイレ棟数、浄化槽、その他の部屋有無 |
| ⑥ インフラ | 電気、給水、下水道、電話の有無 |
| ⑦ 敷地 | 土地所有者、敷地の大きさ、自然災害の有無、自然災害の有無、造成の必要性、その他準備工事の必要性 |
| ⑧ 建設中教室 | ANICT またはドナーによる進行中の建設教室数の確認 |
| ⑨ コミュニティ関連 | 学校への寄付・支援有無 |
| ⑩ アクセス状況 | CAP および幹線道路からの距離 |

3-2-2-3 計画対象校の選定

(1) 選定条件

現地調査では、以下の選定条件に基づき計画対象校を選定する事が合意された。

- ① 土地所有権または使用権が書面で確認できること。
- ② 他ドナー又は政府による整備計画と重複のないこと。
- ③ 自然災害による被災可能性や治安上の問題がないこと。
- ④ 施工および施工監理上の支障がないこと。(アクセス、広さ、地勢等)
- ⑤ 就学需要、施設整備のニーズが明確なこと。
- ⑥ 対象となる学校への教員の確保が担保されていること。

(2) 選定結果

サイト調査の結果、表 3-5 に記す 14 校については、上記選定条件を満たさないことから計画対象校には含めない事とし、同 14 校を除く 46 校を計画対象校とした。

表 3-5 計画対象に含めない学校

選定条件	理由	学校名
① 土地所有権または使用権が書面で確認できること	建設候補地となる敷地拡張部分の所有権が民間に帰属	BG-4: Bougouba
② 施工および施工監理上の支障がないこと。(アクセス、広さ、地勢等)	アクセスの悪い学校(首都圏から遠く、幹線道路から悪路で1.5時間以上要する)	BN-1 : Tota
		BN-2 : Kokoni
		KK-2 : Guihoyo
		KK-4 : Djinadjabougou
	敷地が狭小な学校	BG-2 : Sourakabougou
③ 就学需要、施設整備のニーズが明確なこと。	不足教室が0または1の学校	BD-1 : Ecole de Sogoniko-1
		KB-3 : Kalabancoro I Nerekero
		KL-3 : Kolebougou
		KL-4 : Chola
		KI-1 : Dialakoni
	未使用教室が多数ある学校	BD-6 : Group scolaire de Sabalibougou
新設校で学校建設の需要が不明確な学校	BG-3 : Hippodrome extension	
	FN-3 : Fana Extension Ouest	

3-2-2-4 計画規模

(1) 計画教室数

計画対象校には、各学校のニーズに基づき、各校6教室を上限として不足教室数を計画する。不足教室数は、以下の順序で算出した。

① 前提条件

- ・ 生徒数は2009/10年度の生徒数を基に算出する。
- ・ 小中学校が併設された学校の場合は、生徒数、教室数は小学校と中学校を分け、本プロジェクトでは小学校のみを対象とする。
- ・ 小学校が複数あるグループ校の場合は、グループ校全体の小学校生徒数、小学校用施設を基にグループ校全体としての不足教室数を算出する。
- ・ 不足教室数は1教室あたりの生徒数をマリ国の標準に則り50人として算出する。

② 不足教室数算出

不足教室数は以下の式で算出する。

$$\text{不足教室数} = \text{必要教室数} - \text{使用可能教室数}$$

使用可能教室数はサイト調査において中・長期的な使用が可能と判断された教室数とする。また、必要教室数は以下の方法で算出する。

- ・ 全生徒数が301人以上の場合: 必要教室数 = 全校生徒数 ÷ 50 (小数点以下切捨)

て)

- ・ 全生徒数が 300 人以下の場合：必要教室数 = 現在クラス数

(2) 校長室・倉庫

校長室の不足している計画対象校に不足校長室分の校長室・倉庫を計画する。

$$\text{不足校長室数} = \text{必要校長室数} - \text{既存校長室数}$$

なお、必要校長室数は以下の方法で設定する。

- ・ グループ学校の場合：グループ内の小学校数と同数
- ・ グループ校以外の場合：1

(3) トイレ棟

全計画対象校に以下の規模のトイレ棟を計画する。

- ・ 計画教室数が 2～5 の対象校：1 棟（3 ブース）
- ・ 計画教室数が 6 の対象校：2 棟（6 ブース）

各計画対象校の協力内容・規模を表 3-6 に、地域別の協力内容・規模を表 3-7 に記す。

表 3-6 計画対象校の協力内容

地域			ID	学校名	小学校・生徒数	小学校・クラス数	教室				校長室・倉庫				トイレ棟（ブース数）	
州	AE	CAP					必要教室数①	継続使用可能教室数②	不足教室数（①-②）	計画教室数（最大6）	グループ学校数③	既存校長室数④	不足校長室数（③-④）	計画校長室・倉庫数		
クリココ	カティ	ジョイラ	DL-1	Diarani	161	4	4	0	4	4	1	0	1	1	3	
			DL-2	Zéta	324	5	6	3	3	3	1	1	0			3
			DL-3	Diana	117	3	3	0	3	3	1	0	1	1	1	3
			DL-4	Fadabougou	304	6	6	0	6	6	1	0	1	1	1	6
			DL-5	Banco	682	12	13	0	13	6	2	0	2	2	2	6
		ファナ	FN-1	Werekela	147	3	3	0	3	3	1	0	1	1	1	3
			FN-2	Fana C I	389	7	7	4	3	3	1	1	0			3
			FN-4	Fana B	1,397	17	27	6	21	6	2	1	1	1	1	6
			FN-5	Ouolodo	195	4	4	0	4	4	1	0	1	1	1	3
		カラバンコロ	KB-1	Samalé	174	6	6	3	3	3	1	0	1	1	1	3
			KB-2	Kalabancoro E	636	9	12	6	6	6	1	0	1	1	1	6
			KB-4	Taliko II	546	11	10	3	7	6	1	0	1	1	1	6
			KB-5	Adeken (Fraternite Kene)	643	8	12	9	3	3	1	1	0			3
		カティ	KT-1	Camp B	325	6	6	0	6	6	1	0	1	1	1	6
			KT-2	Sirablo Dogoba	204	5	5	3	2	2	1	0	1	1	1	3
	KT-3		Songon II	359	3	7	0	7	6	1	0	1	1	1	6	
	KT-4		Gonsolo	168	3	3	0	3	3	1	0	1	1	1	3	
	KT-5		Yélékébougou	568	6	11	4	7	6	1	0	1	1	1	6	
	クリココ	クリココ	KL-1	Diaguinabougou Central	215	5	5	3	2	2	1	1	0		3	
			KL-2	Tlomadio	284	6	6	3	3	3	1	1	0		3	
			KL-5	Kossaba	98	3	3	0	3	3	1	0	1	1	3	
		バナンバ	BN-3	Kiban 1 cycle B	812	12	16	13	3	3	2	1	1	1	1	3
			BN-4	GSID	773	-	15	9	6	6	2	1	1	1	1	6
			BN-5	Touba 1 cycle B	881	11	17	12	5	5	2	2	0			3
		コロカニ	KK-1	Kolokani B	501	8	10	6	4	4	1	1	0			3
KK-3			N'tiobougou	169	3	3	0	3	3	1	1	0			3	
KK-5			Balla	210	6	6	3	3	3	1	1	0			3	
カイ	キタ	キタ I	KI-2	Ségoubougouni	1,725	33	34	24	10	6	5	5	0		6	
			KI-3	Farabala 1 cycle	482	6	9	3	6	6	1	1	0		6	
			KI-4	Kofoulabé 1 cycle	536	6	10	4	6	6	1	0	1	1	6	
			KI-5	Kantila	199	5	5	0	5	5	1	0	1	1	3	
		キタ II	KII-1	Kouléko	241	6	6	0	6	6	1	0	1	1	1	6
	KII-2		Sangaréougou	360	5	7	3	4	4	1	0	1	1	1	3	
	KII-3		Badinko II	1,132	20	22	9	13	6	2	2	0			6	
	KII-4		Kabé	139	5	5	2	3	3	1	0	1	1	1	3	
	KII-5		Boulouli	311	6	6	3	3	3	1	0	1	1	1	3	
	バマコ特別区	バマコ左岸	ディエリブグ	BG-1	Nafadji	703	6	14	7	7	6	1	1	0		6
バマコクラ			BG-5	Samé	879	12	17	9	8	6	1	1	0		6	
セントルコマーション			BG-6	Point G.	1,373	18	27	15	12	6	3	3	0		6	
ラフィアブグ			BG-7	Taliko	838	6	16	6	10	6	1	1	0		6	
セベニコロ			BG-8	Camp Para	1,448	17	28	15	13	6	2	2	0		6	
バマコ右岸		バナンカブグ	BD-2	Groupe scolaire de Magnambougou Projet	2,237	30	44	21	23	6	4	4	0		6	
		ファラジェ	BD-3	Groupe scolaire de Dianeguella	1,616	18	32	17	15	6	2	2	0		6	
カラバンクラ	BD-4	Groupe scolaire de Yirimadio	1,766	20	35	20	15	6	2	2	0			6		
	BD-5	Groupe scolaire de Senou Base	1,492	18	29	15	14	6	2	2	0			6		
		BD-7	Groupe scolaire de Baco Djicoroni	4,162	37	83	46	37	6	6	6	0		6		

表 3-7 地域別の協力内容・規模

州	AE	CAP	学校数	教室数	校長室	トイレ棟	トイレブース数
クリコロ	カティ	ジョイラ	5	22	5	7	21
		ファナ	4	16	3	5	15
		カラバンコロ	4	18	3	6	18
		カティ	5	23	5	8	24
	クリコロ	クリコロ	3	8	1	3	9
		バナンバ	3	14	2	4	12
コロカニ		3	10	0	3	9	
カイ	キタ	キタ I	4	23	2	7	21
		キタ II	5	22	4	7	21
バマコ特別区	左岸	ディエリブグ	1	6	0	2	6
		バマコクラ	1	6	0	2	6
		セントルコマーシャル	1	6	0	2	6
		ラフィアブグ	1	6	0	2	6
		セベニコロ	1	6	0	2	6
	右岸	バナンカブグ	1	6	0	2	6
		ファラジェ	3	18	0	6	18
		カラバンクラ	1	6	0	2	6
合計			46	216	25	70	210

3-2-2-5 建築計画

(1) 配置計画

計画対象校の中でも既存敷地内に増設するサイトは、殊に既存建物との位置関係に配慮する。バマコは概して敷地が狭小であり、工事範囲の分離が困難なサイトもあるが、工事中の安全確保のため、工事範囲と学校運営の動線が可能な限り干渉しないような配置計画とする。

また、各サイトの敷地条件や自然条件にあった建物の配置とし、自然採光や自然通風が確保できる計画とする。

(2) 平面計画

① 教室

マリ国の学校施設建設基準 (FAEF マニュアル) に定められた教室の大きさは、内法寸法 : $9.4\text{m} \times 7.2\text{m} = 67.68 \text{ m}^2$ が基準とされているが、第3次計画においては合理的な建設部材の活用や家具配置を勘案し内法寸法 : $8.8\text{m} \times 7.4\text{m} = 65.12 \text{ m}^2$ と改善しており、本計画も第3次計画に倣う。現地標準に倣い教室の入り口は1箇所、開口部は

各スパンに1箇所（1教室当たり5箇所）とする。第3次計画では教壇を設置しているが、多くの学校で教壇を設置しておらず、コスト削減の観点から本計画では教壇は設置しないこととする。黒板は教室前側の壁面（全幅）に設置するとともに、側壁の一部にも出欠簿用の黒板を設置する。また、白墨受けを設ける。

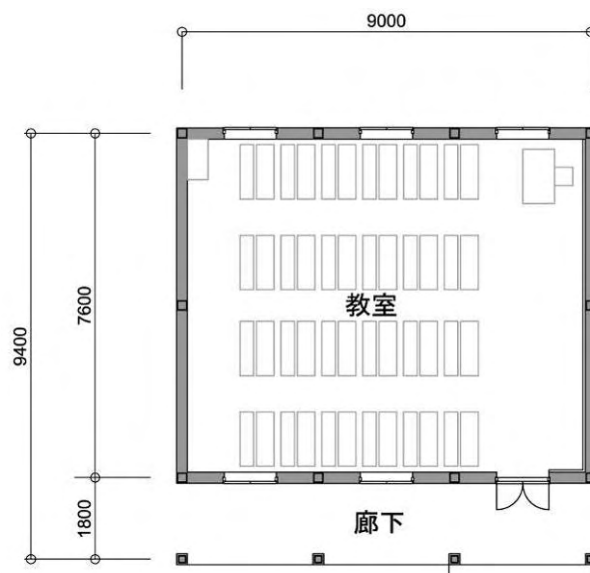
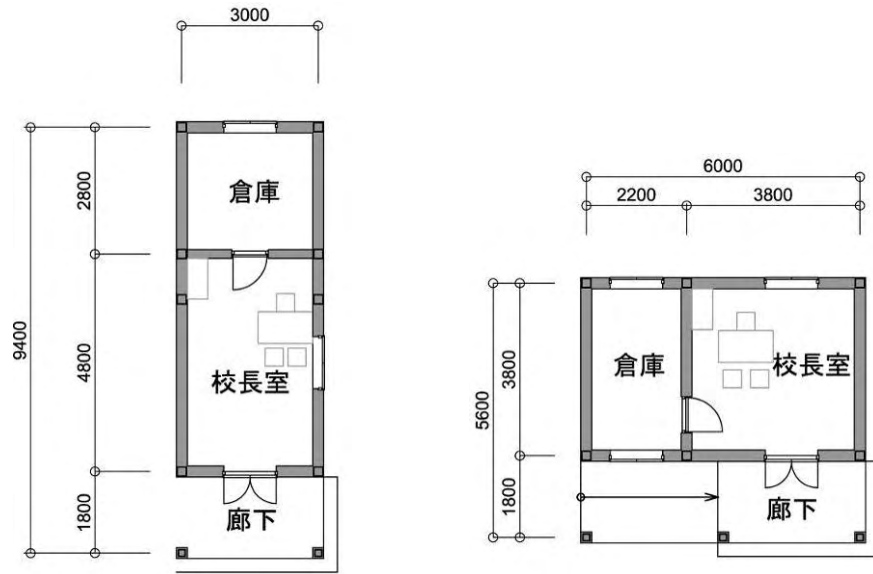


図 3-1 教室平面図

② 校長室・倉庫

校長室・倉庫は第3次計画と同様に、教室棟に併設するタイプその他、2階建て校舎用を設置する場合や、配置計画上教室棟に併設することが困難なサイト用に、管理棟として教室棟とは別棟に設置するタイプを設定する。大きさは、第3次計画と同様に校長室：14.4 m²、倉庫 8.4 m²とする。



教室棟併設タイプ

別棟タイプ (管理棟)

図 3-2 校長室・倉庫平面図

③ トイレ

トイレの平面計画は第 3 次計画に倣い、1 トイレ棟に 3 ブースを設置し、設置される棟数に応じて以下の 2 種類のタイプを計画する。

- 1 サイトに 1 棟を設置するタイプ：1 棟 3 ブース（女子用、男子用、教員用）
- 1 サイトに 2 棟以上を設置するタイプ：トイレ棟を女子用と男子用に区別し、各棟のブースを生徒用（2ブース）と教員用（1ブース）に分ける

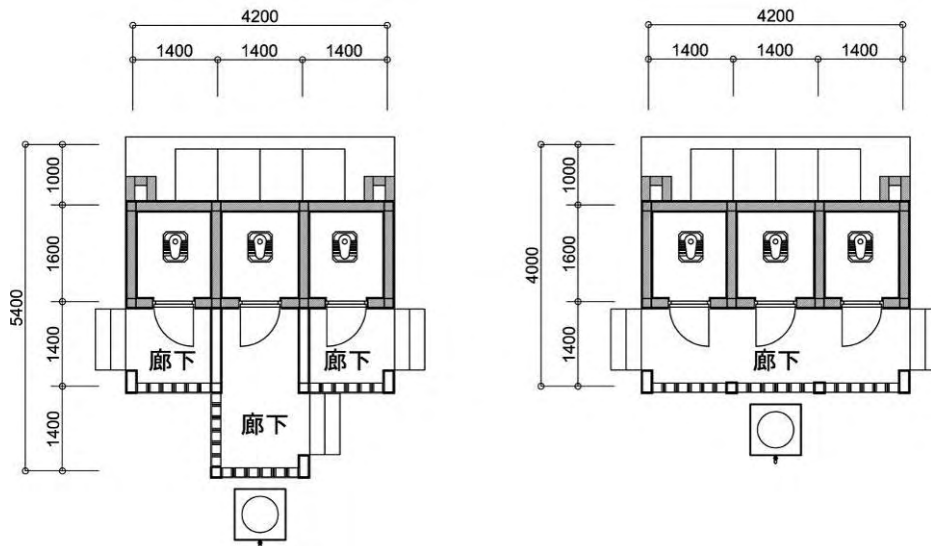


図 3-3 トイレ平面図

④ その他

教室棟、管理棟にはスロープを設置する。

⑤ 計画諸室の面積比較

EAEF マニュアル、他ドナーおよび一般無償案件と本計画施設の面積比較を表 3-8 に記す。

表 3-8 計画施設の面積比較

	FAEF	AFD	第2次計画	第3次計画	本計画
教室面積 (内法)	67.68 m ² 7.2×9.4m	63.0 m ² 7.00×9.00m	63.0 m ² 7.00×9.00m	65.12 m ² 7.4×8.8m	65.12 m ² 7.4×8.8m
校長室 (壁芯)	11.50 m ² 3.65×3.15m	11.27 m ² 3.67×3.07m	14.4 m ² 4.5×3.2m	14.40 m ² 4.8×3.0m	14.44 m ² (3.8×3.8)m
倉庫 (壁芯)	9.67 m ² 3.65×2.65m	10.81 m ² 3.52×3.07m	8.64 m ² 2.7×3.2m	8.40 m ² 2.8×3.0m	8.36 m ² (2.2×3.8)m
校長室・倉庫 合計面積	21.17 m ²	22.10 m ²	23.04 m ²	22.80 m ²	22.80 m ²

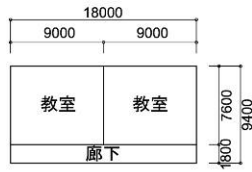
⑥ 施設プロトタイプ

施設は表 3-9 の 8 タイプの組み合わせで計画する。

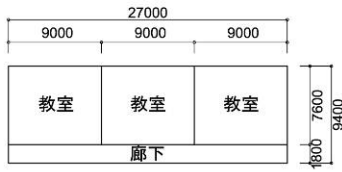
表 3-9 施設タイプ図

棟名	階数	教室数/部屋数	タイプ名	面積(m ²)
教室棟	平屋建て	2 教室	2C	169.20
		3 教室	3C	253.80
		2 教室+校長室・倉庫	2CD	197.40
		3 教室+校長室・倉庫	3CD	282.00
	2 階建て	6 教室	2-6C	552.38
管理棟	平屋建て(独立棟)	校長室+倉庫	BD	33.60
トイレ	平屋建て	1 サイト 1 棟	LA	14.56
		1 サイト 2 棟以上	LB	12.60

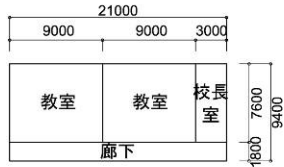
教室棟 平屋建て



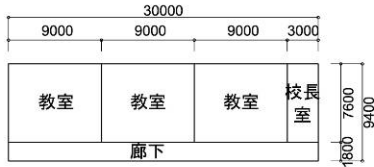
2C



3C

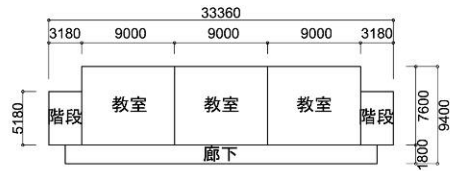


2CD



3CD

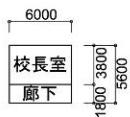
教室棟 二階建て



2-6C

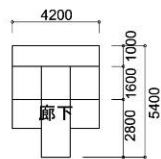


校長室

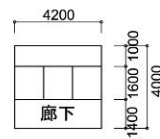


BD

トイレ



LA



LB

図 3-4 施設タイプ図

(3) 断面計画

断面計画に当たっては、現地事情を踏まえ以下の点に留意する。

- ・ 雨期の床の冠水を避けるため、1階の床は地盤面より40cm高床とする。
- ・ 屋根形状は本計画（第1～3次）と同様に切妻とする。
- ・ 屋根からの輻射熱を避けるため教室には天井を設置する（最上階のみ）。
- ・ 自然通風を有効に取り入れるため、窓を梁下まで設ける。
- ・ バマコ近郊など首都圏で土地の高度利用が求められる学校には2階建て校舎を計画する。
- ・ 階段の段鼻には損傷防止のためスチール製の靴づりを設置する。
- ・ コウモリが天井裏に進入してしまった場合の駆除、天井裏の点検及び清掃を容易とするため、天井材を取り外し可能なシステム天井を設置する。

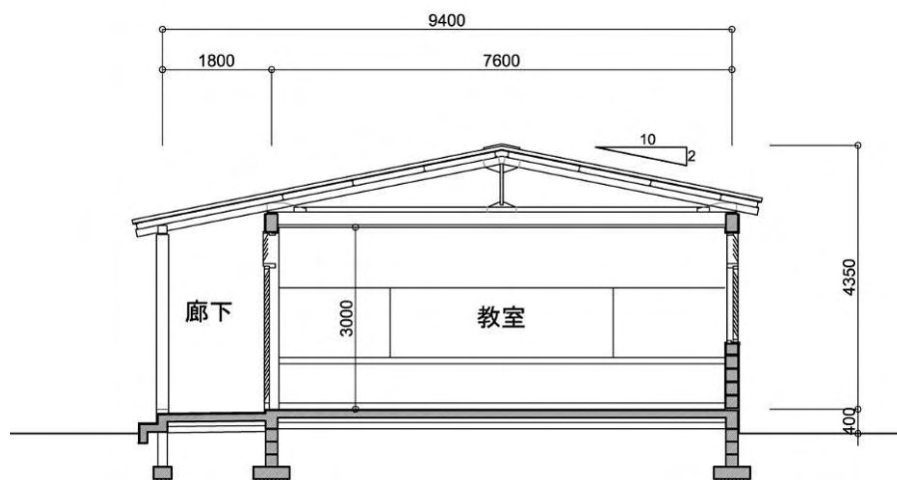


図 3-5 標準断面図

(4) 構造計画

マリには独自の構造計画基準はなく、基本的にフランスの基準や制度に準じ構造計画が行われている。

① 構造種別

構造形式は現地調達可能な材料を用い、現地で一般的な鉄筋コンクリート造を採用する。屋根は鉄骨造とする。

② 地盤および基礎

本プロジェクトサイトの地盤は各サイトにより異なるが、一般的に地質は花崗岩質（ラテライト）と粘土質が多い。ラテライト質の地盤は極めて強固であり、粘土質の地盤も乾期はラテライト質と同等の地耐力を示す。雨期の地耐力は乾期に比べて

劣る事があるものの、雨期の地耐力低下は表層部分に限られ、特に問題ないと考えられる。

本計画の基礎は、深さ 70cm を底盤とした鉄筋コンクリート造の布基礎とする。

(5) 設備計画

サイト調査時に電気を使用中の 8 校を対象に、教室内および校長室に電気設備（照明、天井扇、コンセント）を整備する。サイト調査時には電気を使用していないものの、サイト周辺に配電設備が整備されており、将来電気利用の可能性が高い 16 校を対象に、電気設備用の空配管を設置する。これら 24 校を除く 22 校には電気設備は設置しない。

トイレには、手洗い用の給水タンクを設置するが、給水は手運びとし給水設備は整備しない。トイレの排水は、コンクリート造の便槽を設け、糞尿を一定期間便槽に貯留させるくみ取り方式とする。

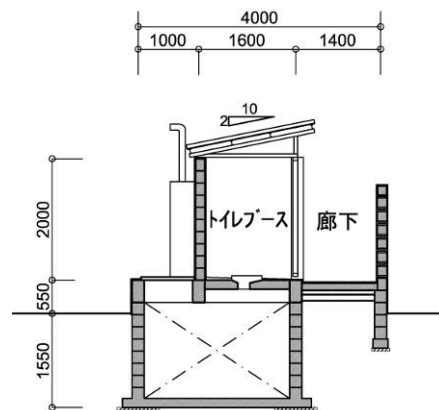


図 3-6 トイレ棟断面図

(6) 建築資材計画

本計画の仕様を表 3-10 に記す。

表 3-10 工法、仕様資材比較表

部位		一般現地工法	採用工法	採用理由
主要構造部	基礎	鉄筋コンクリート	同左	現地仕様に準じる
	柱・梁	鉄筋コンクリート	同左	現地仕様に準じる
	壁	コンクリートブロック	同左	現地仕様に準じる
	屋根構造	鉄骨トラス	同左	現地仕様に準じる
外部	外壁	モルタルチロリアン仕上げ	同左	現地仕様に準じる
	外廊下床	モルタル金ゴテ押さえ	同左	現地仕様に準じる
	屋根	亜鉛メッキ鋼板	アルミ・亜鉛合金メッキ鋼板	耐久性
	開口部	ルーバー式鋼製扉・窓塗装	同左	現地仕様に準じる
内部	床	モルタル金ゴテ押さえ	同左	現地仕様に準じる
	内壁	モルタル下地、塗装	同左	現地仕様に準じる
	幅木	モルタル	床幅木：モルタル 腰幅木：木製	壁面の損傷防止
	天井	木製下地、 木製合板の上に塗装	アルミ製下地、 石膏ボード	断熱性・吸音性確保、 天井裏の点検・清掃

(7) 家具・備品

第3次計画と同様の品目、仕様、単位数量の家具を整備する。

表 3-11 家具リスト

No.	品目	仕様	単位数量	施設数	合計数量
①	生徒用机・椅子	机・椅子一体型2人掛け (最大3人) 脚部スチールパイプ 天板木製	24セット/教室	216教室	5,184セット
②	教師用机・椅子	脚部スチールパイプ 天板木製	1セット/教室	216教室	216セット
③	校長用机・椅子	同上	1セット/校長室	25校長室	25セット
④	打合せ用椅子	同上	2脚/校長室	25校長室	50脚
⑤	ロッカー	スチール製、取手金物及 び鍵付き	1個/教室、1個/校 長室	216教室＋ 25校長室	241個

(8) 外構工事

建設において、敷地拡張のため既存フェンスを撤去し、新たにフェンスを設置する必要のある1校(KT-1)、および敷地が狭小で建設において既存フェンスを撤去し、建設後にフェンスを復旧する必要のある1校(BG-7)の2校は、バマコ特別区内もしくはバマコ近郊に位置し、いずれの学校も人口が密集し人の往来も激しく、フェンス設置の必然性が高いと判断できることから、本事業においてコンクリートブロック製のフェンスを設置する。他方、KII-5についても建設において既存フェンスの撤去が必要となるが、同校は農村部に位置し、既存フェンスは家畜よけを目的とした木製の簡易な構造であることから、新たなフェンスも学校関係者が容易に設置できると考えられるため、本事業では設置しない。

また、建物が敷地内の雨水経路に当たる場合は建物周囲に側溝を設ける(6校)。

(9) 計画対象校の施設整備内容

各計画対象校に整備する施設内容、施設タイプおよび面積を表 3-12 に記す。

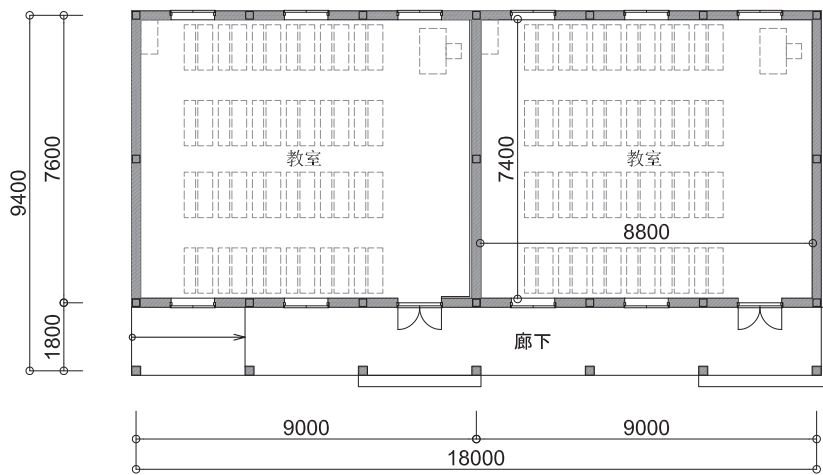
表 3-12 計画対象校の施設整備内容

グループ	ロット	ID	学校名	教室 教室数	校長室 校長室数	トイレ ブース数	電気設備 整備 状況	敷設 教室	床面積 (m ²)	施設タイプ/棟別金額								外構	
										教室棟					管理棟	トイレ棟		フェ ンス	側 溝
										2C	3C	2CD	3CD	2-6C	BD	LA	LB		
第1	ロット1	DL-1	Diarani	4	1	3	×		381.16	1		1				1			
		DL-2	Zeta	3		3	×		268.36		1					1			
		DL-3	Diana	3	1	3	×		296.56				1			1			
		DL-4	Fadabougou	6	1	6	×		561.00		1		1				2		
		DL-5	Banco	6	2	6	×		589.20				2				2		
		FN-1	Werekela	3	1	3	×		296.56				1			1			
		FN-2	Fana C I	3		3	△		268.36		1					1			
		FN-4	Fana B	6	1	6	△		561.00		1		1				2		
		FN-5	Ouolodo	4	1	3	×		381.16	1			1				1		
		KL-1	Diaguinabougou Central	2		3	×		183.76	1						1			
	10校		40	8	39			3,787.12	3	4	2	6	0	0	7	6	0	0	
	ロット2	BG-1	Nafadji	6		6	△		532.80		2					2		○	
		BG-5	Samé	6		6	○	6	532.80		2					2		○	
		BG-8	Camp Para	6		6	○	6	532.80		2					2			
		KB-1	Samalé	3	1	3	×		296.56				1			1			
		KB-4	Taliko II	6	1	6	△		566.40		2				1		2		
		KT-4	Gonsolo	3	1	3	×		296.56				1			1			
		BD-4	Groupe scolaire de Yirimadio	6		6	△		532.80		2					2		○	
		BD-5	Groupe scolaire de Senou Bas	6		6	○	6	532.80		2					2			
		KB-2	Kalabancoro E	6	1	6	△		561.00		1		1				2		
KB-5		Adeken (Fraternite Kene)	3		3	○	3	268.36		1					1			○	
10校		51	4	51			4,652.88	0	14	0	3	0	1	3	14	0	4		
第2	ロット3	BG-6	Point G.	6		6	○	6	577.58					1		2			
	首都圏2階	BG-7	Taliko	6		6	○	6	577.58					1		2		復旧	
	バマコ左岸	KT-1	Camp B	6	1	6	○	6	611.18					1	1	2		新設	
	カティ	BD-2	Groupe scolaire de Magnambougou Projet	6		6	○	6	577.58					1		2			
	バマコ右岸	BD-3	Groupe scolaire de Dianeguella	6		6	△		577.58					1		2			
		BD-7	Groupe scolaire de Baco Djicoroni	6		6	△		577.58					1		2			
		6校		36	1	36			3,499.08	0	0	0	0	6	1	0	12	2	0
第3	ロット4	KT-2	Sirablo Dogoba	2	1	3	×		211.96			1			1				
		KT-3	Songon II	6	1	6	×		561.00		1		1			2			
		KT-5	Yélékébougou	6	1	6	×		561.00		1		1			2		○	
		KK-1	Kolokani B	4		3	△		352.96	2						1			
		KK-3	N'tiobougou	3		3	×		268.36		1					1			
		KK-5	Balla	3		3	×		268.36		1					1			
		KL-2	Tlomadio	3		3	△		268.36		1					1			
		KL-5	Kossaba	3	1	3	×		296.56				1			1			
		BN-3	Kiban 1 cycle B	3	1	3	×		296.56				1			1			
		BN-4	GSID	6	1	6	△		561.00		1		1				2		
		BN-5	Touba 1 cycle B	5		3	△		437.56	1	1					1			
	11校		44	6	42			4,083.68	3	7	1	5	0	0	8	6	0	1	
	ロット5	KI-2	Ségoubougouni	6		6	△		532.80		2					2			
		KI-3	Farabala 1 cycle	6		6	△		532.80		2					2		○	
		KI-4	Kofoulabé 1 cycle	6	1	6	△		561.00		1		1			2			
		KI-5	Kantila	5	1	3	×		465.76		1	1				1			
		KII-1	Kouléko	6	1	6	×		561.00		1		1			2			
		KII-2	Sangarébougou	4	1	3	×		381.16	1		1				1			
		KII-3	Badinko II	6		6	△		532.80		2					2			
		KII-4	Kabé	3	1	3	×		296.56				1			1			
KII-5		Boulouli	3	1	3	×		296.56				1			1				
9校		45	6	42			4,160.44	1	9	2	4	0	0	4	10	0	1		
合計	46校			216	25	210		20,183.20	7	34	5	18	6	2	22	48	2	6	

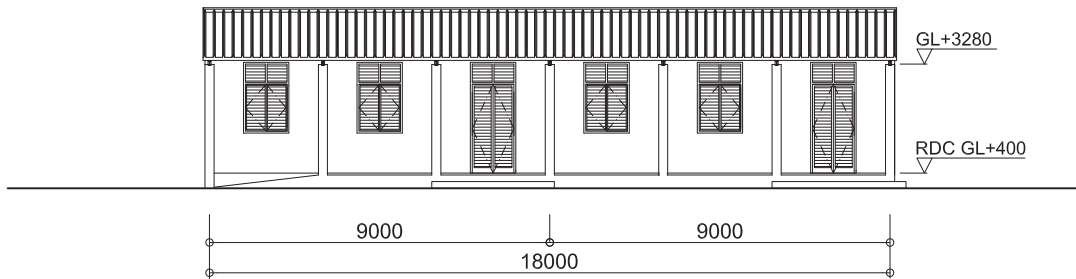
凡例：○電気設備設置、△空配管のみ設定、×電気設備は設置しない

3-2-3 概略設計図

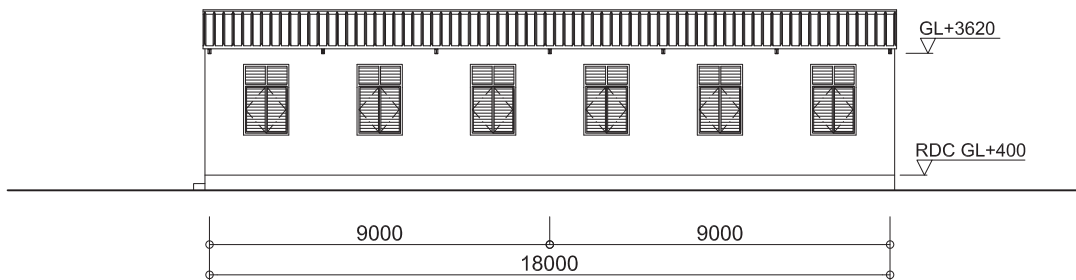
- ① 教室棟 2C タイプ
- ② 教室棟 3C タイプ
- ③ 教室棟 2CD タイプ
- ④ 教室棟 3CD タイプ
- ⑤ 教室棟平屋建て断面図
- ⑥ 教室棟 2-6C タイプ
- ⑦ 教室棟 2-6C タイプ立面図、断面図
- ⑧ 管理棟 BD タイプ
- ⑨ トイレ LA タイプ
- ⑩ トイレ LB タイプ



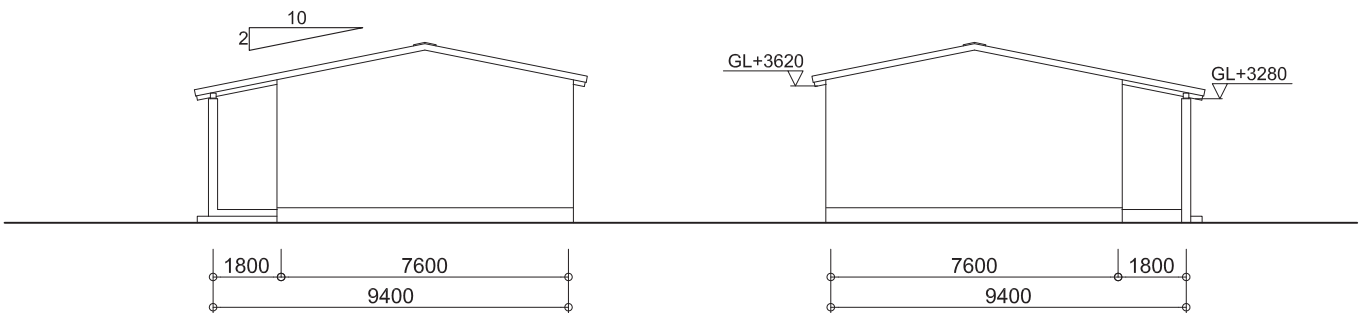
平面図



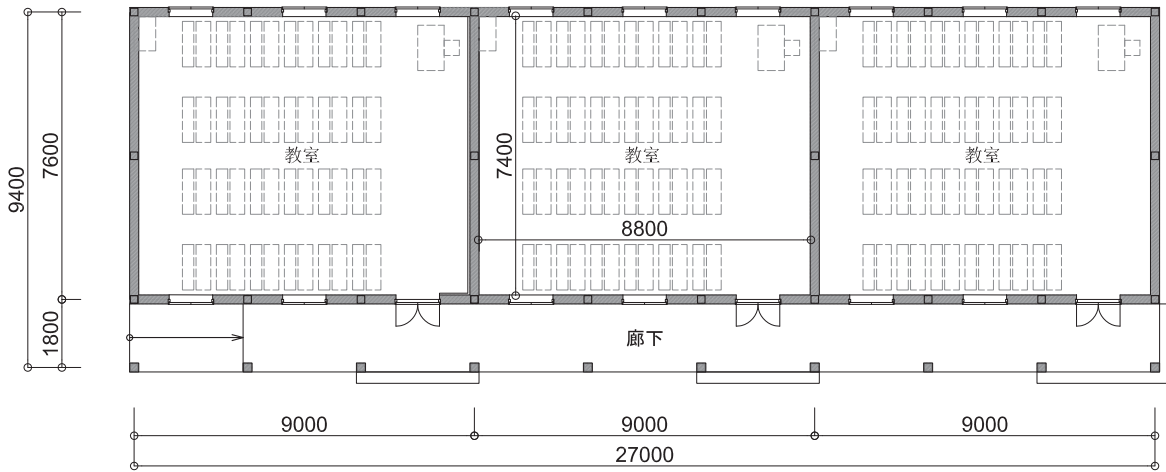
立面図 (廊下側)



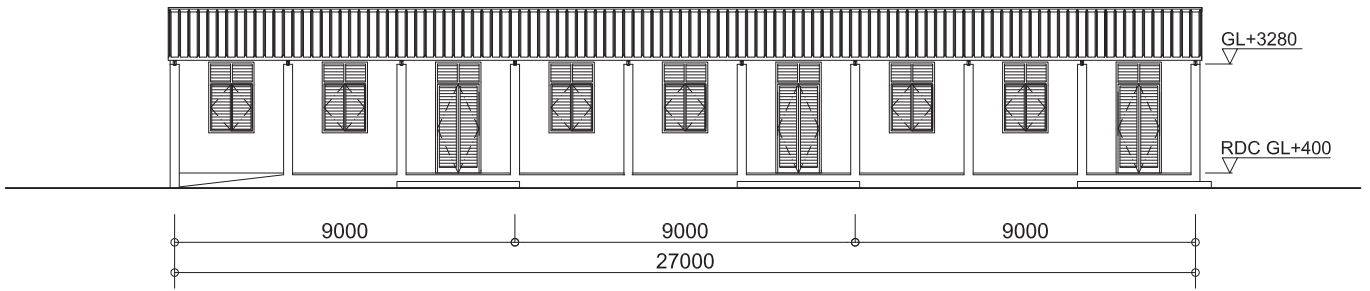
立面図 (教室側)



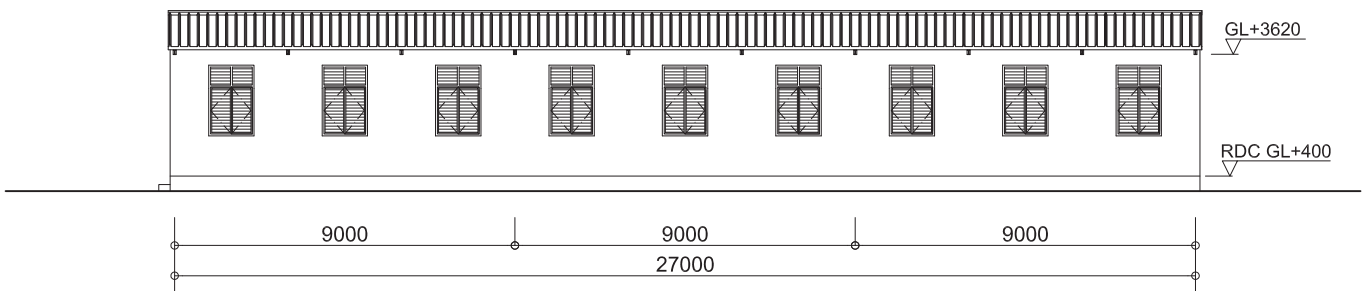
立面図 (妻側)



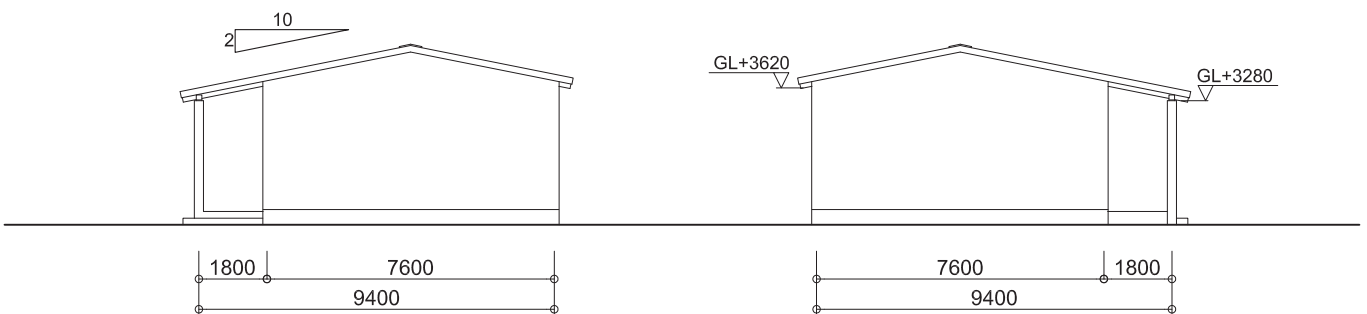
平面図



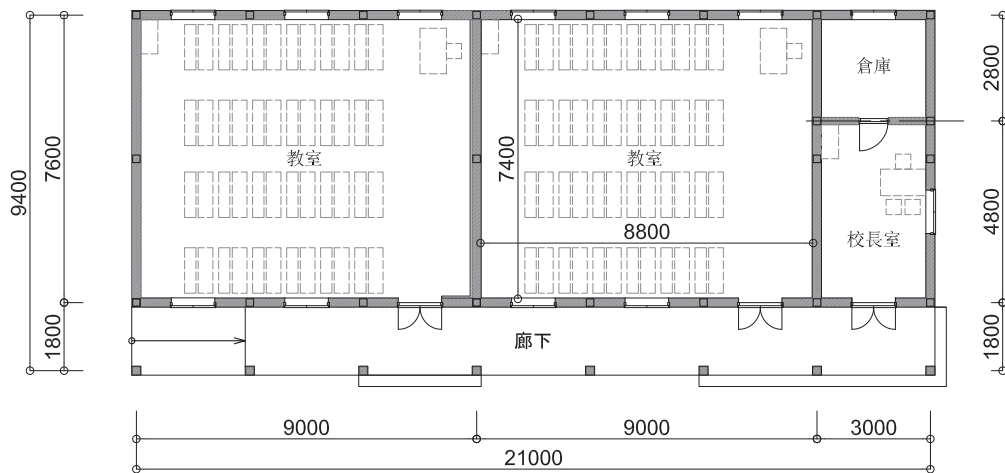
立面図 (廊下側)



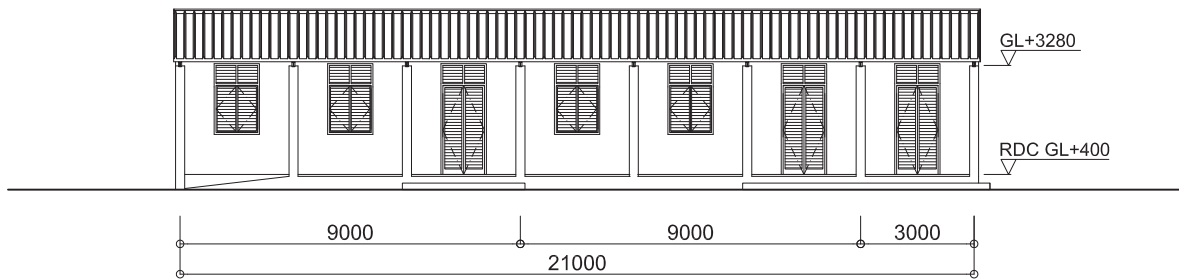
立面図 (教室側)



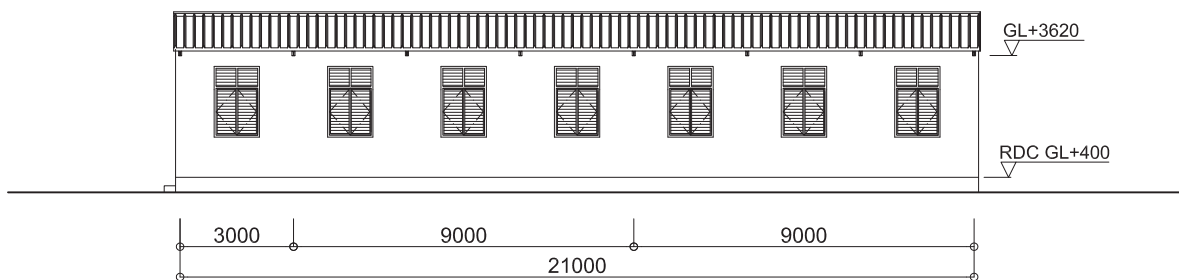
立面図 (妻側)



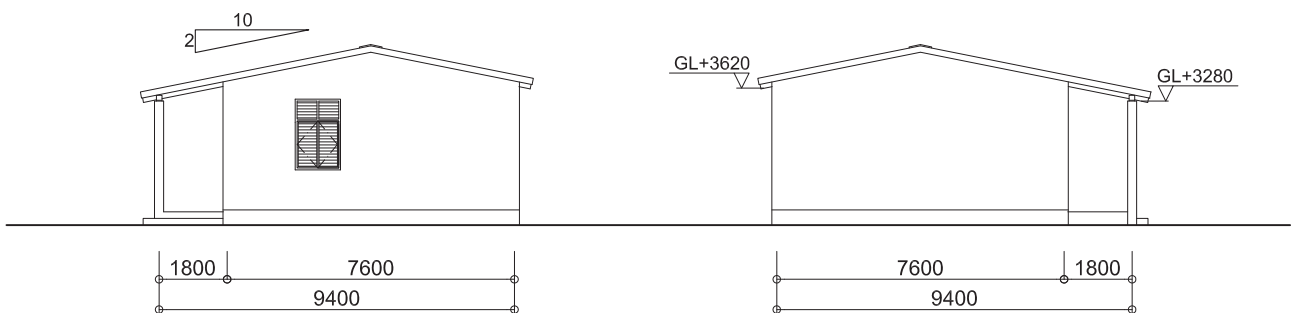
平面図



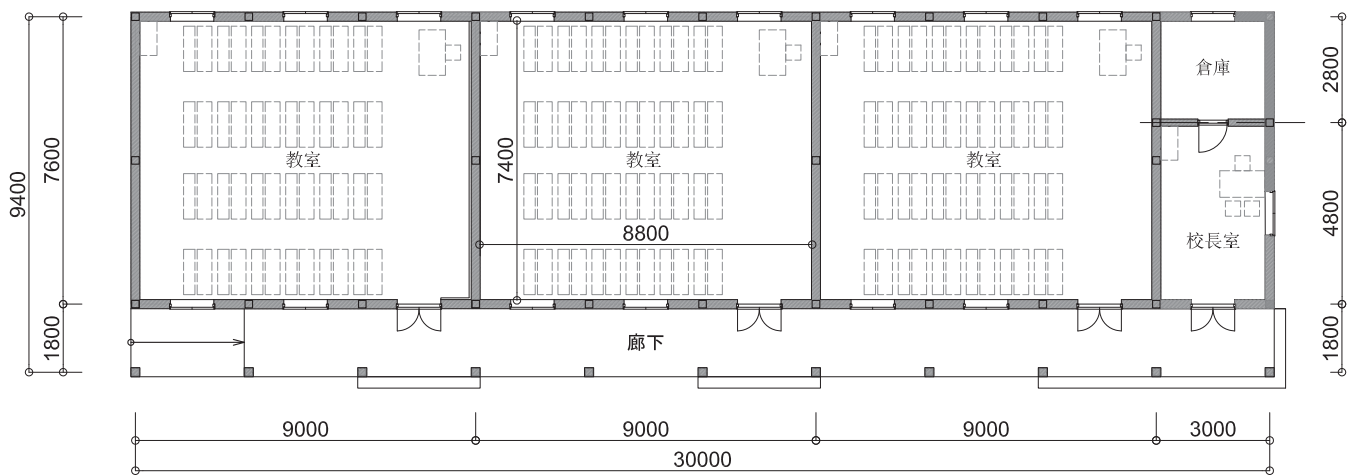
立面図 (廊下側)



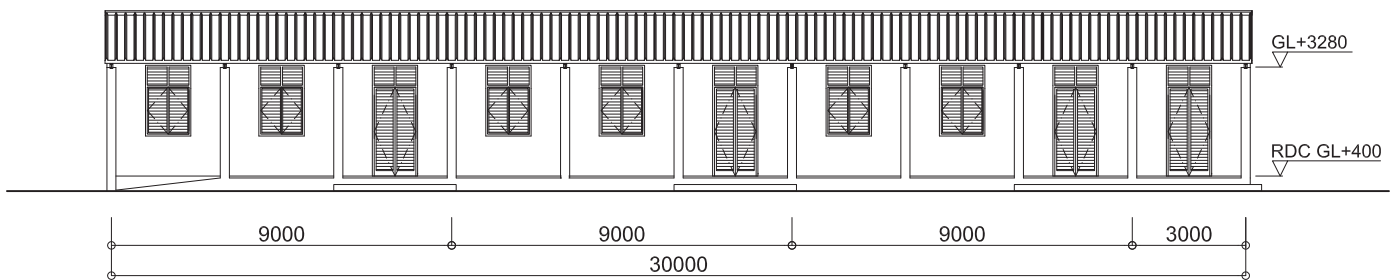
立面図 (教室側)



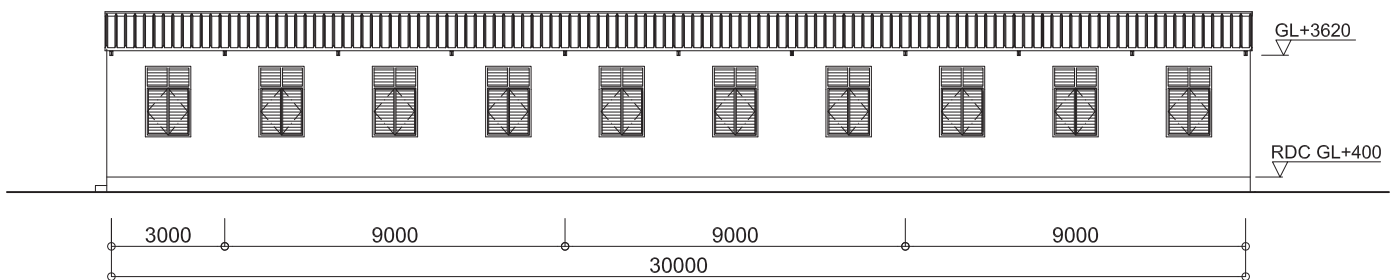
立面図 (妻側)



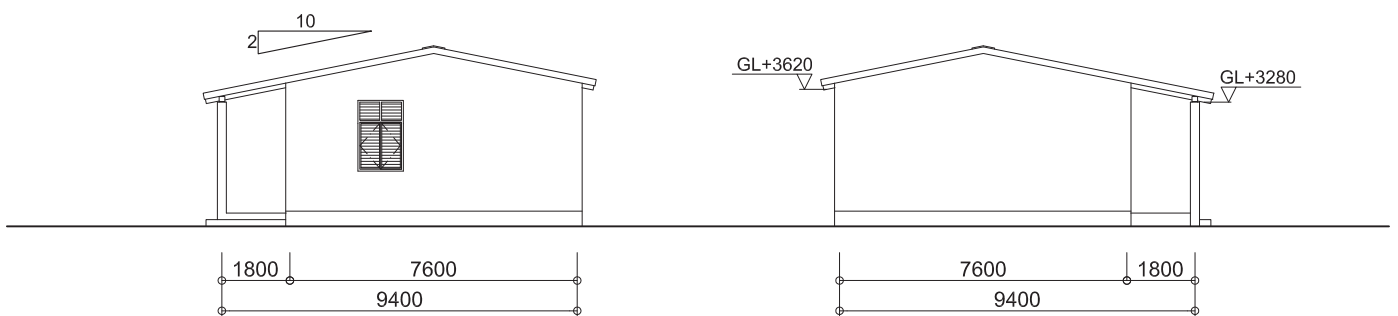
平面図



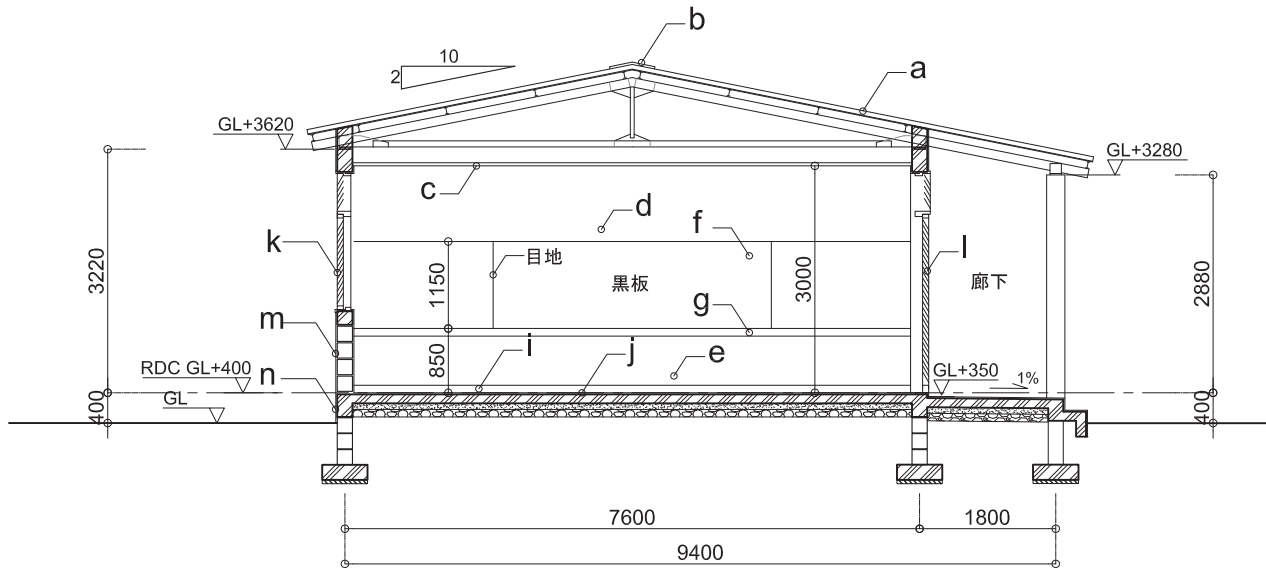
立面図 (廊下側)



立面図 (教室側)



立面図 (妻側)

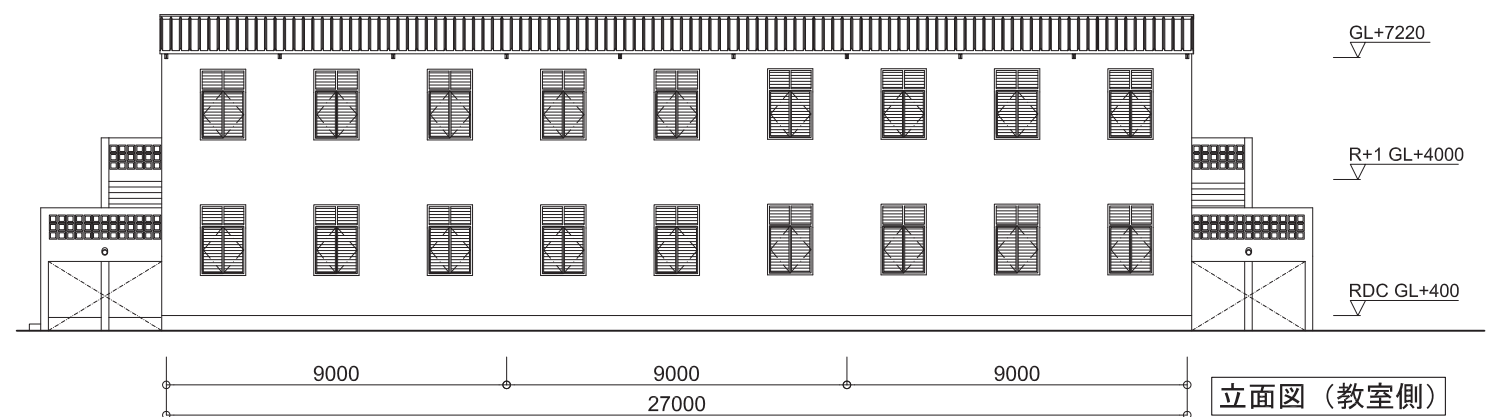
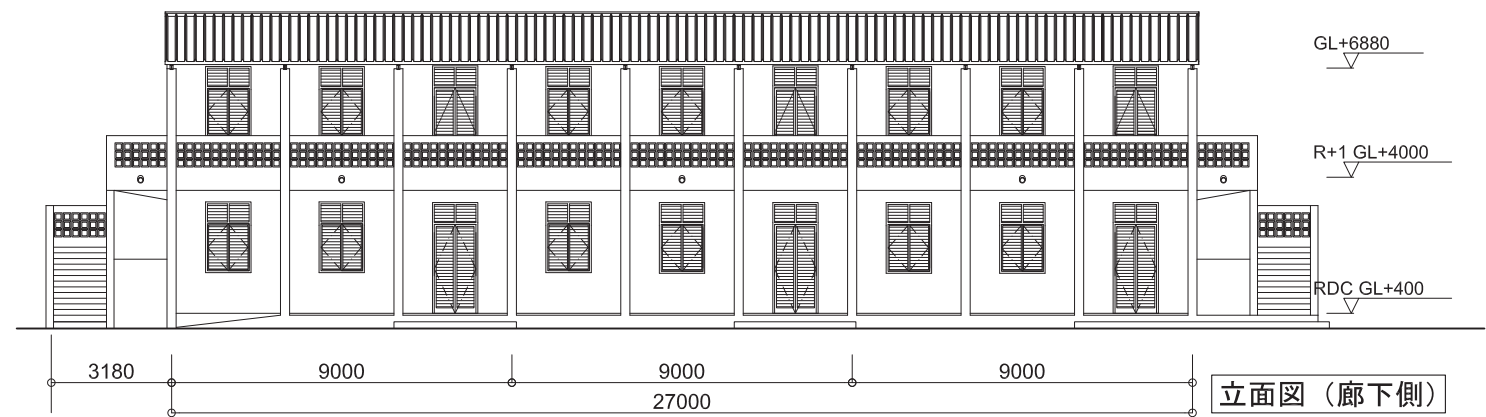
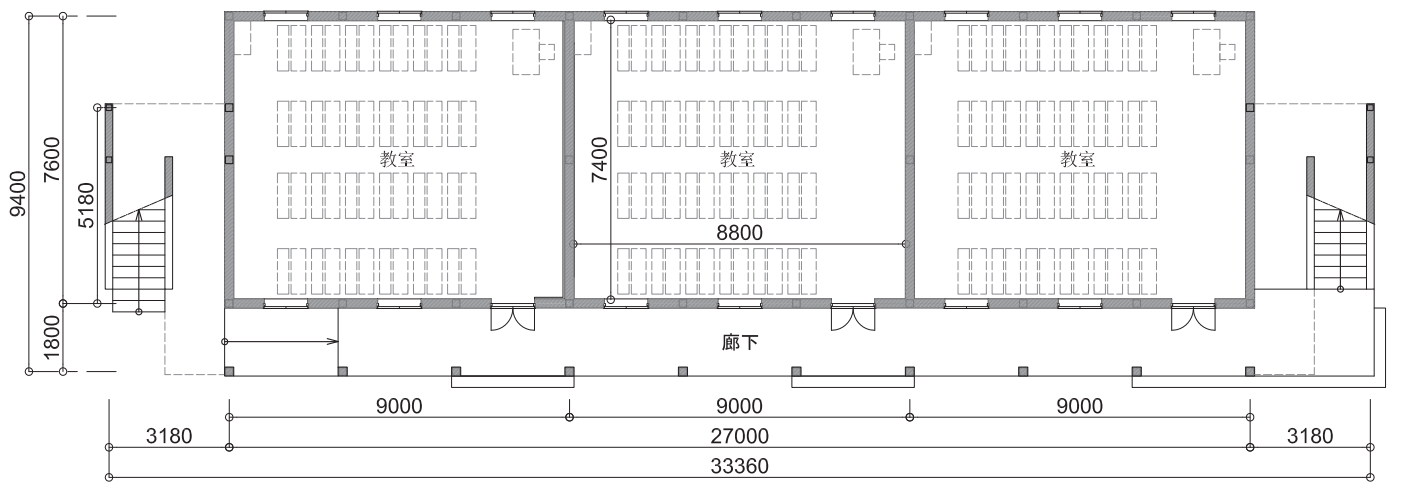
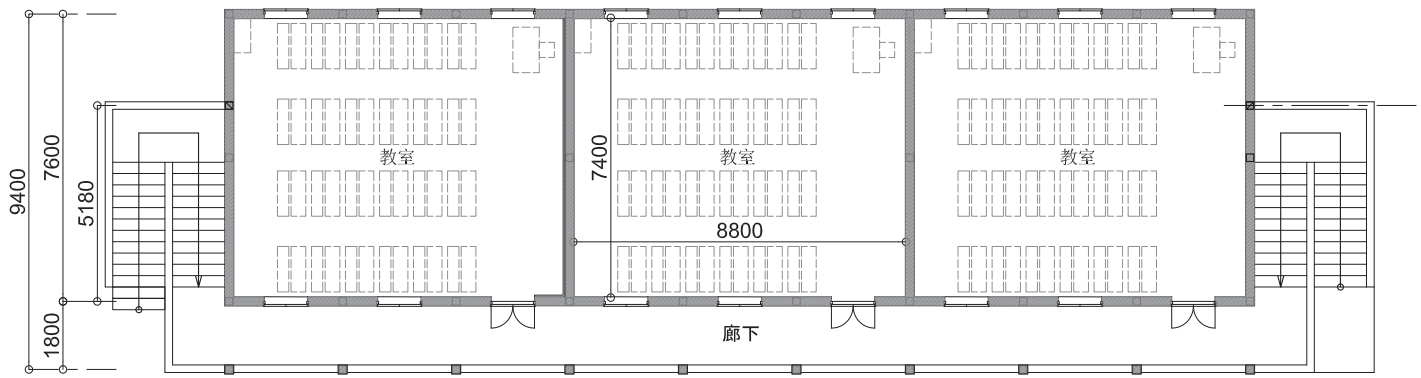


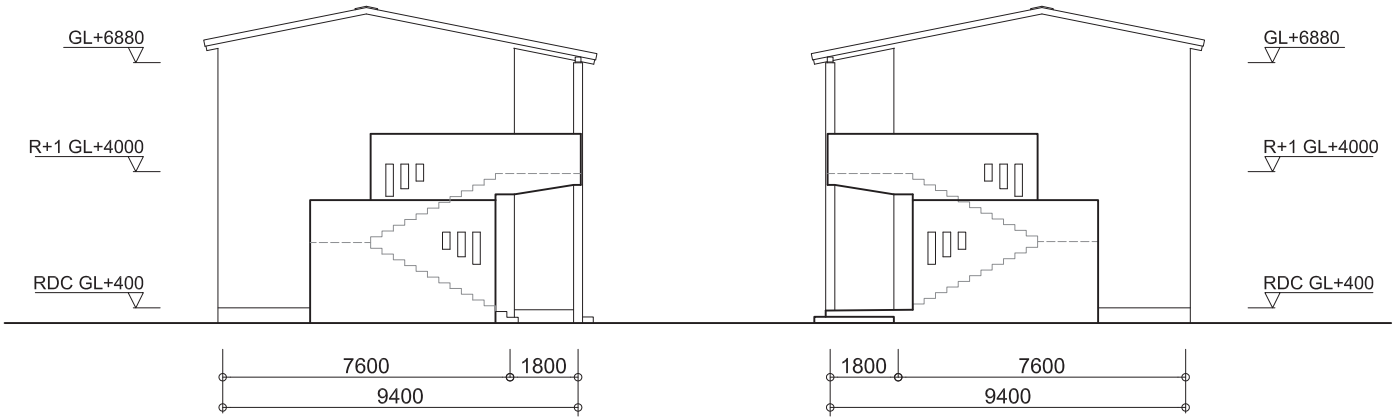
断面図 S=1/100

教室棟 仕上げ:

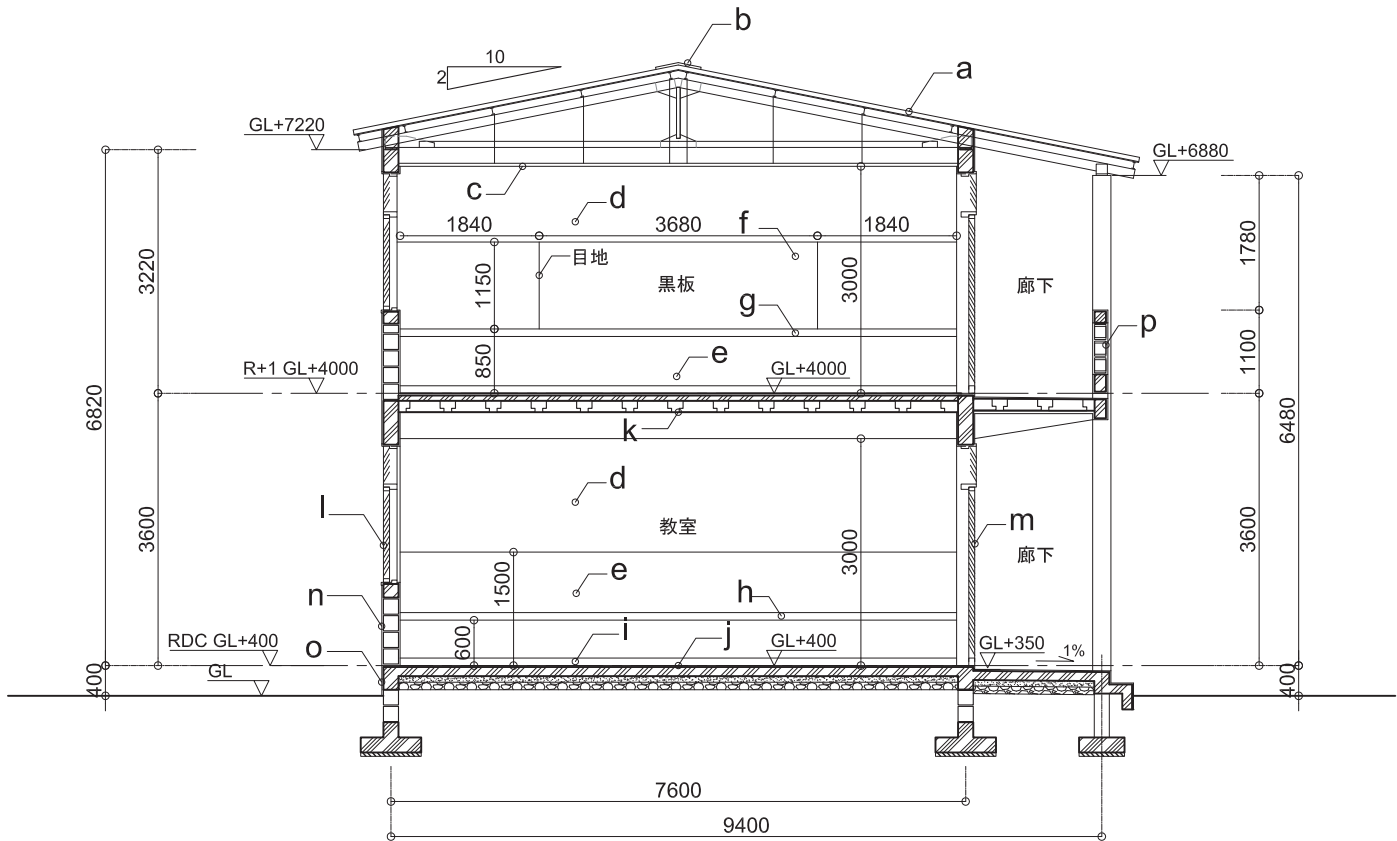
- a: 屋根 ガルバリウム鋼板 T=0.5 折板葺
- b: 棟 ガルバリウム鋼板 T=0.5
- c: 天井 石膏ボード
- d: 内部壁 モルタル下地の上 EP塗装
- e: 内部壁 EP-G塗装 h=1500
- f: 黒板 モルタル+塗装
- g: 白墨受け モルタル+塗装 100X100
- h: 腰幅木 木板150X15 CL塗装
- i: 幅木 モルタル金鋺T=20

- j: 床 土間鉄筋コンクリートの上
モルタル金鋺T=20 目地切り
- k: 鋼製窓 両開き+Fixガラリ、上部Fixガラリ
- l: 鋼製扉 両開き+Fixガラリ、上部Fixガラリ
- m: RC/CHB(D200xH200xW400)
- n: 外部幅木 モルタル仕上げ





立面図 (妻側)

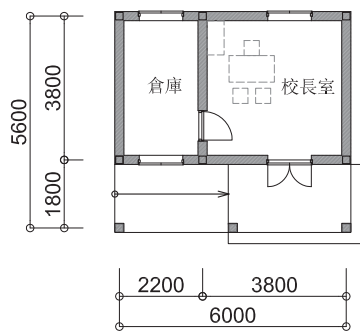


断面図 S=1/100

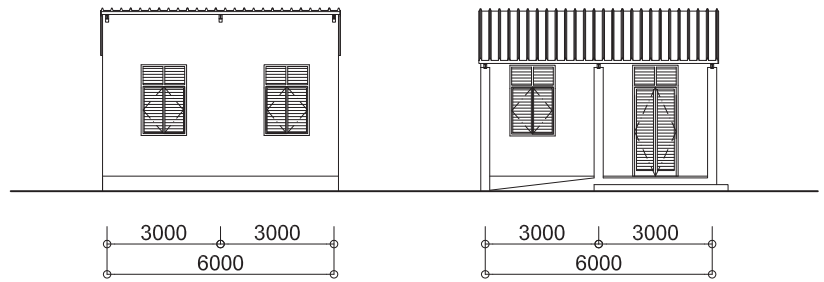
教室棟 仕上げ:

- a: 屋根 ガルバリウム鋼板 T=0.5 折板葺
- b: 棟 ガルバリウム鋼板 T=0.5
- c: 天井 石膏ボード
- d: 内部壁 モルタル下地の上 EP塗装
- e: 内部壁 EP-G塗装 h=1500
- f: 黒板 モルタル+塗装
- g: 白墨受け モルタル+塗装 100X100
- h: 腰幅木 木板150X15 CL塗装
- i: 幅木 モルタル金罫T=20

- j: 床 土間鉄筋コンクリートの上
モルタル金罫T=20 目地切り
- k: ウルディブロックスラブの上、鉄筋コンクリートT=70
モルタル金罫 T=30 目地切り
- l: 鋼製窓 両開き+Fixガラリ、上部Fixガラリ
- m: 鋼製扉 両開き+Fixガラリ、上部Fixガラリ
- n: RC/CHB(D200xH200xW400)
モルタル下地の上 吹付塗装(チロリアン)
- o: 外部幅木 モルタル仕上げ
- p: 穴あきブロック

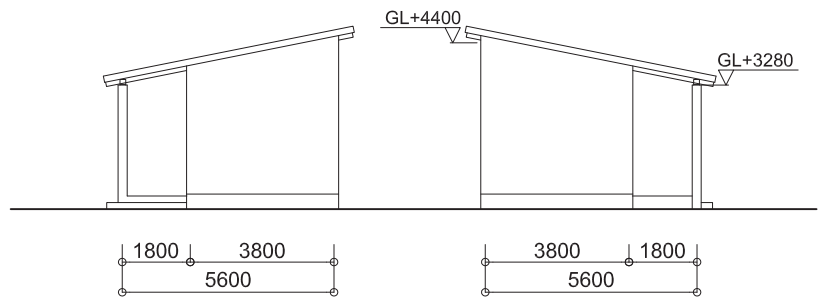


平面図

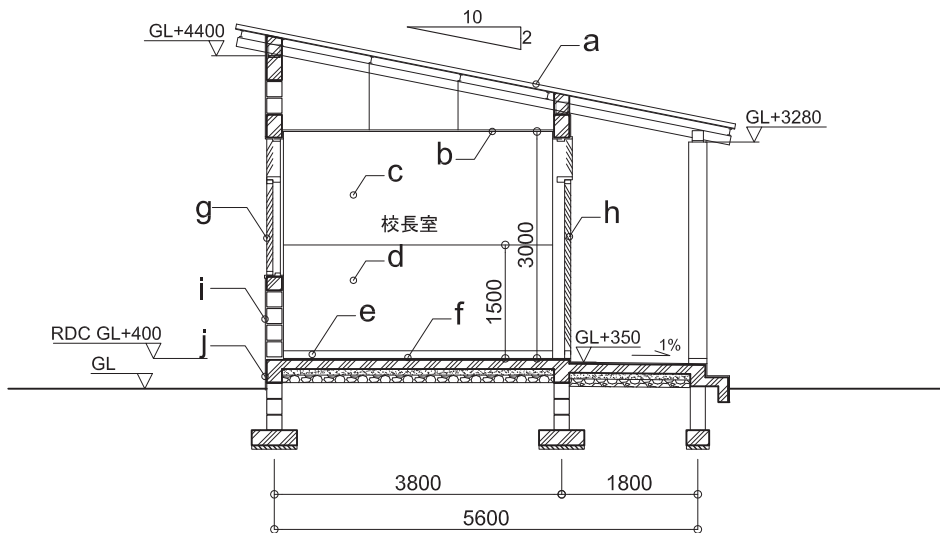


立面図 (校長室側)

立面図 (廊下側)



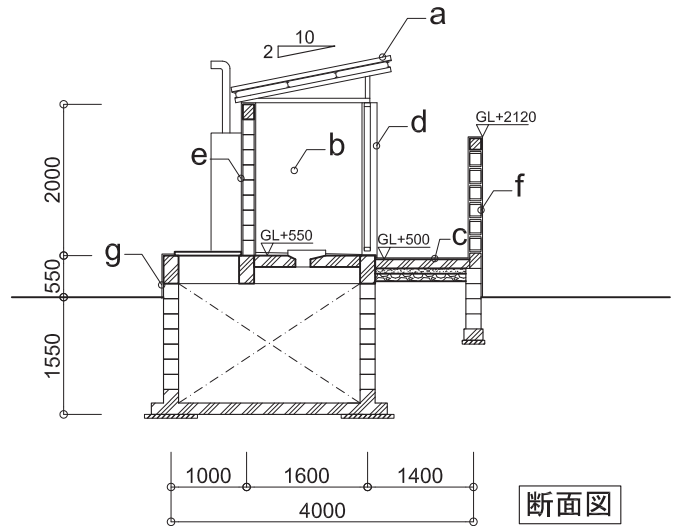
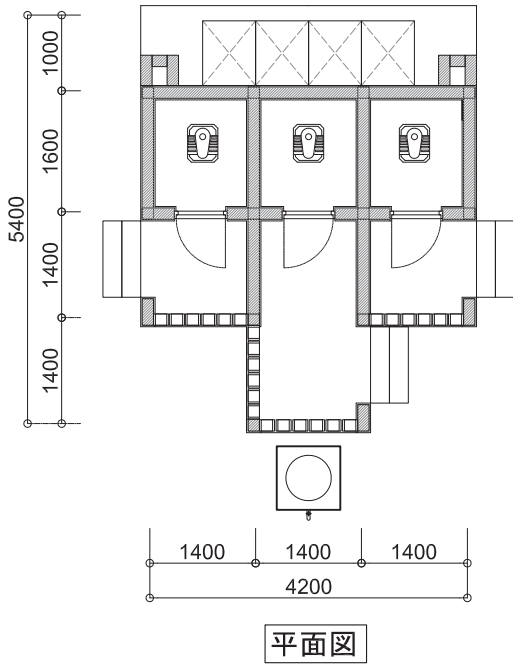
立面図 (妻側)



断面図 S=1/100

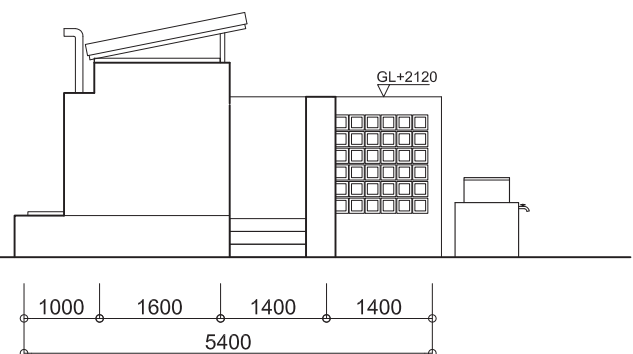
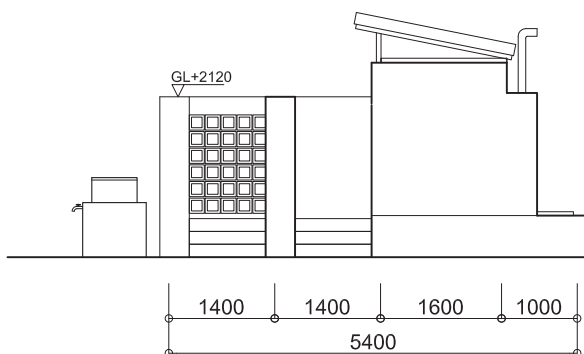
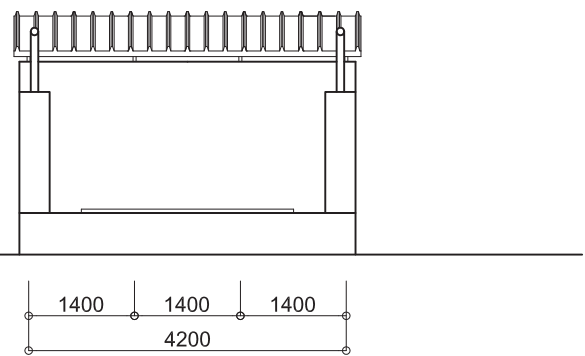
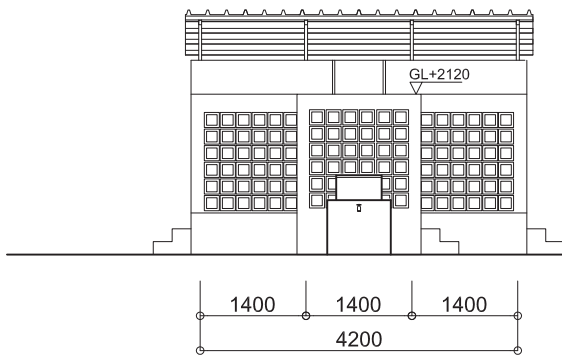
管理棟 仕上げ:

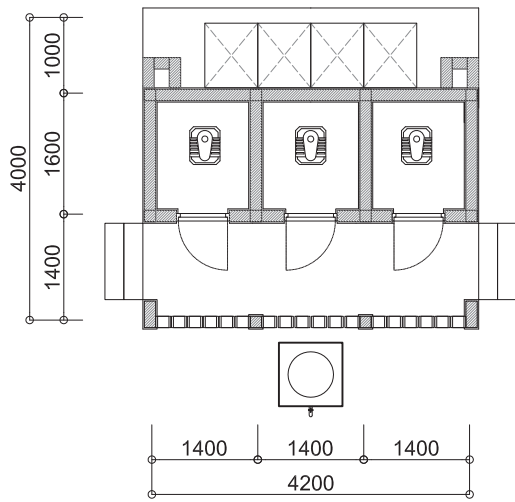
- a:屋根 ガルバニリム鋼板 T=0.5 折板葺
- b:天井 石膏ボード
- c:内部壁 モルタル下地の上 EP塗装
- d:内部壁 EP-G塗装 h=1500
- e:幅木 モルタル金鋳T=20
- f:床 土間鉄筋コンクリートの上 モルタル金鋳T=20 目地切り
- g:鋼製窓 両開き+Fixガラリ、上部Fixガラリ
- h:鋼製扉 両開き+Fixガラリ、上部Fixガラリ
- i:RC/CHB(D200xH200xW400) モルタル下地の上 吹付塗装(チロリアン)
- j:外部幅木 モルタル仕上げ



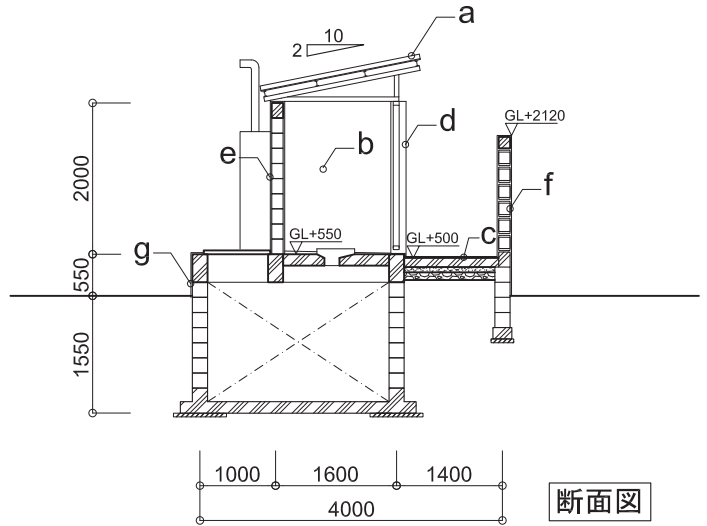
トイレ 仕上げ:

- a: 屋根 ガルバニリム鋼板 T=0.5 折板葺
- b: 内部壁 モルタル下地の上 EP-G塗装
- c: 床 土間鉄筋コンクリートの上
モルタル金鋳T=20 目地切り
- d: 鋼製扉
- e: RC/CHB(D150xH200xW400) モルタル下地の上
吹付塗装(チロリアン)
- f: 穴あきブロック
- g: モルタル仕上げ





平面図



断面図

トイレ 仕上げ:

a:屋根 ガルバニリム鋼板 T=0.5 折板葺

b:内部壁 モルタル下地の上 EP-G塗装

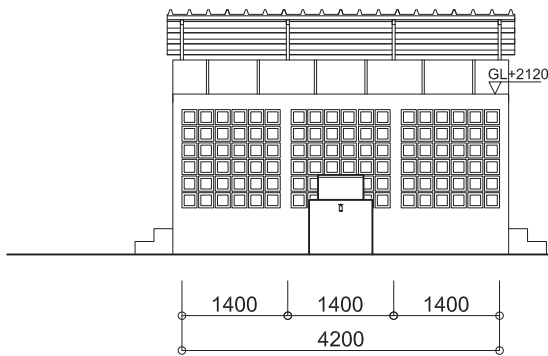
c:床 土間鉄筋コンクリートの上
モルタル金鍍T=20 目地切り

d:鋼製扉

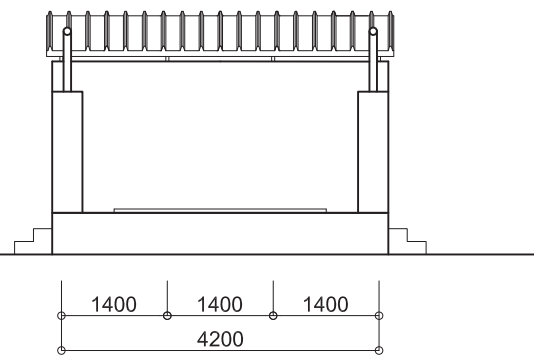
e:RC/CHB(D150xH200xW400) モルタル下地の上
吹付塗装(チロリアン)

f:穴あきブロック

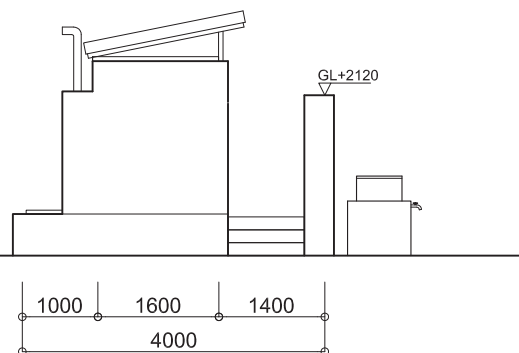
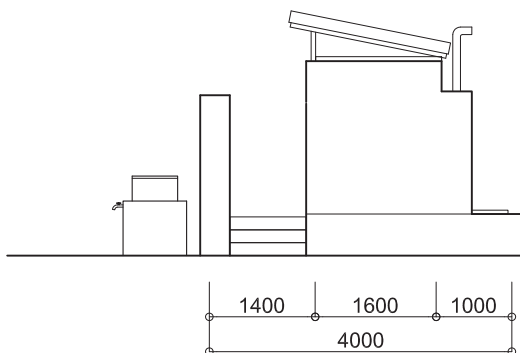
g:モルタル仕上げ



立面図 (廊下側)



立面図 (トイレース側)



立面図 (妻側)

3-2-4 施工計画

3-2-4-1 施工方針／調達方針

(1) 調達代理方式による事業実施

本プロジェクトの実施は、本報告書に基づいて日本国関係機関の検討を経た後に日本国政府の閣議決定を必要とする。閣議決定の後、両国政府間の事業実施に関する交換公文 (E/N) 及び JICA との間に締結する贈与契約 (G/A) に基づき、教育・識字・国語省は日本の調達代理機関 (JICS) と調達代理契約を結び、事業実施を委託する。

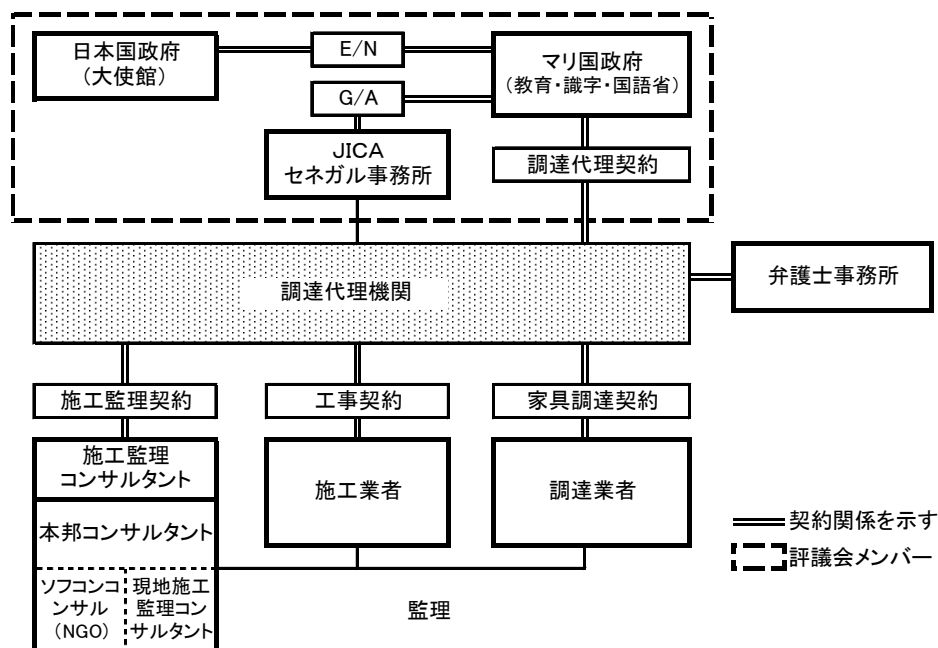


図 3-7 事業実施体制図 (案)

(2) 各機関の役割

1) 協議会 (コミッティ)

E/N 締結後、協議会を設置する。協議会は教育・識字・国語省および JICA セネガル事務所の代表者から構成され、日本国大使館の代表者がオブザーバーとして参加する。協議会は、必要に応じてプロジェクトの進捗を確認し、円滑な実施に必要な全ての措置を講じることを目的として開催される。

2) 調達代理機関

調達代理機関は教育・識字・国語省の代理人として、資金管理、現地事業実施者 (弁

護士、施工監理コンサルタント、家具業者)の調達、および実施監理を行う。調達代理機関の要員配置を表 3-13 に記す。

表 3-13 調達代理機関の要員配置

要員		役割
日本人	統括者	調達代理機関の業務全体を統括管理し、入札時および事業完了時に現地に派遣される。
	常駐統括補佐	調達代理機関の現地責任者として、入札業務期間及び工事管理期間中常駐する。
	入札図書作成者	日本国内にて、施設建設、機材調達の入札図書を作成する。
	契約関連・資金管理者	日本国内にて、業者契約、支払および資金管理に係る業務を実施する。
現地備人	事務員 1	事業の全期間に配置され、入札補助業務及び事業資金の管理実務を行う。

3) 施工監理コンサルタント

本プロジェクトでは調達代理機関が施工監理コンサルタントを援助資金により契約・雇用し、入札補助及び施工監理業務を行う。施工監理コンサルタントは、JICA の推薦を受け準備調査を担当した本邦コンサルタントが担当する。施工監理コンサルタントの業務は以下の通り。

【入札段階】

- ・ 全校を対象にサイト調査を行い事業開始の可否を確認する。
- ・ 詳細設計図、仕様書および数量表を作成する。
- ・ 調達代理機関が作成する入札図書を技術的な側面から補助する。
- ・ 調達代理機関が実施する入札、入札評価、契約交渉を技術的な側面から補助する。

【施工監理段階】

- ・ 現場を巡回し、発注仕様書に記される工事の品質確保、工程順守、安全管理に関する検査を行い、定期的に調達代理機関に報告する。
- ・ 施工業者が支払い請求を行った場合、施工進捗状況出来高検査を実施し、その結果を調達代理機関に報告する。
- ・ 竣工検査を実施し、結果を調達代理機関に報告する。
- ・ 1年後瑕疵検査を実施し、結果を調達代理機関に報告する。

施工監理コンサルタントとなった本邦コンサルタントは、マリの現地コンサルタント会社を下請け（サブコン）として活用し、業務を遂行する。

施工監理体制は、バマコに施工監理事務所を設置し全地域の施工監理を統括するとともに、バマコ首都圏の施工監理を実施する。また、コロカニ、バナンバ、ファナ・

ジョイラ、キタの4カ所に施工基地を設け、各サイトの施工監理を実施する。

表 3-14 コンサルタントの要員配置

要員		役割
本邦	技術監理者 1 (入札業務)	施工監理コンサルタントの業務全体を統括管理するとともに、入札業務を担当する。
	技術監理者 2 (施工監理建築)	建設工事着工時から工事完了時まで、施工監理事務所（バマコ）に常駐し、施工監理を実施する。また、完工1年後に瑕疵検査を実施する。
	技術監理者 3 (施工監理建築)	第1・2グループおよび第3グループ着手時にスポット的に施工監理を実施する。
	ソフコン監理者	ソフトコンポーネント業務を現地 NGO を活用しながら実施する。
現地	監理主任技術者	入札業務期間中は技術監理者 1 を補佐する。施工監理期間中は施工監理事務所に常駐し、監理技術者 1～6 を指揮する。
	監理技術者 1～6	バマコ 2 名、地方 4 名（各施工基地に 1 名）の計 6 名の監理技術者を配置する。監理事務所および各施工基地に常駐し、担当サイトを巡回し施工監理を行う。
	積算	入札期間は技術監理者 1 を補佐し、入札図書の作成、入札評価及び価格・契約交渉を実施する。施工監理期間中は、施工監理事務所に常駐し、各ロットの出来高確認を行う。
	通訳 1,2	入札業務期間および施工監理期間を通じ本邦技術監理者の通訳を行う。
	事務員 1	施工監理期間中に施工監理事務所に常駐し、事務処理を行う。
	ソフコン担当者 (NGO)	各サイトや CAP を巡回し、ソフトコンポーネント業務を実施する。

4) 施工業者

マリ国の建設業者を対象に一般競争入札により選定され、調達代理機関との契約図書にしたがって建設工事を行う。

5) 家具業者

一般競争入札により選定され、調達代理機関との契約図書にしたがって家具を製作・納入する。

6) 弁護士事務所

各種契約書の内容の確認、訴訟・紛争等の対処を目的とし、顧問弁護士を採用する。

3-2-4-2 施工上/調達上の留意事項

本プロジェクトの対象校は、多数のサイトが広範囲に分散しているため、監理の観点から全校を同時に建設することは困難である。このため、対象校を地方の平屋建て2グループ、首都圏の2階建て1グループの計3つの施工グループに分けて工事を実施する。

施工業者の調達については、業務不履行、工期遅延の問題を回避するため、一定水準

以上の業者を選定する必要がある。そのため、入札参加資格をカテゴリAに絞るなど、上位業者を対象とした入札参加資格の設定を行う。また、入札においては、過去実績、技術者数、保有機材および技術提案などを技術審査項目として応札業者に求め、適切な技術力を有する建設業者を選定する。

3-2-4-3 品質管理計画

品質管理では、設計図書および施工監理計画書に従い、施工計画書、施工図、見本品の確認、各種検査の実施、現場立会い検査等を行う。表 3-15 に躯体工事段階における主な品質管理項目を示す。

表 3-15 躯体工事段階における主な品質管理項目案

工事	品質管理項目	検査方法	検査頻度
土工事	床付面確認	目視	根切完了時
鉄筋・型枠工事	鉄筋材料	ミルシートの照合又は引張り強度試験	ロット毎 サイズ毎
	配筋	配筋検査	コンクリート打設前
	型枠	型枠検査	コンクリート打設前
コンクリート工事	材料	セメント：品種 骨材：粒度	配合計画時
	試験練り	供試体による圧縮試験	ロット毎に1回
	打設	供試体による圧縮試験	学校毎に1回
鉄骨工事	鉄骨材料	材料検査	鉄骨加工前

3-2-4-4 資機材等調達計画

マリでは、骨材以外の大半の建設資材は輸入に頼っているが、輸入資機材は一般的に国内市場に流通しているため、本プロジェクトに必要な資機材は国内で調達可能である。各主要資材の原産国は表 3-16 の通り。

表 3-16 主要資材調達情報

資機材名	調達先			備考（原産国）
	現地	日本	第三国	
セメント	○			国産、輸入品（セネガル、コートジボアール等）
コンクリート用骨材	○			国産
鉄筋	○			国産、輸入品（コートジボアール、ウクライナ、トルコ、インド、ポーランド、南アフリカ等）
鉄骨	○			輸入品（フランス、ウクライナ、トルコ等）
型枠用材	○			輸入木材（ガーナ、コートジボワール等）を現地で加工
合板	○			輸入木材（ガーナ、コートジボワール等）を現地で加工
コンクリートブロック	○			国産
木材	○			アフリカ近隣諸国（ガーナ、コートジボワール、等）から輸入
木製建具	○			輸入木材（コートジボワール、ベナン、モリタニア等）を用いて国内で製作
鋼製建具	○			輸入板材（フランス、ベルギー、中国等）を用いて国内で製作
アルミ製建具	○			フランス、中国等から輸入、国内で製作
ガラス類	○			フランス等から輸入、国内で加工
塗装用材	○			国産
屋根用金属板	○			輸入板材（フランス、ベルギー、トルコ、モロッコ、中国等）を用いて国内で製作
配電盤類	○			ヨーロッパ（フランス、ベルギー）、アジア（中国、韓国）からの輸入品
電線・ケーブル	○			ヨーロッパ（フランス、ベルギー）、アジア（中国、韓国）からの輸入品
コンジットパイプ	○			国産
照明器具	○			ヨーロッパ（フランス、ベルギー）、アジア（中国、韓国）からの輸入品
管材	○			国産
バルブ、配管付属金物	○			ヨーロッパ（フランス、ベルギー）、アジア（中国、韓国）からの輸入品

3-2-4-5 ソフトコンポーネント計画

本プロジェクトでは、クリコロ州、カイ州、バマコ特別区において、46校の既存校を対象に216教室、25校長室、および70トイレ棟を整備する。現地調査の結果、教室および校長室については、各学校のCGSにより概ね適切に管理されていることが判明した。しかし、トイレについては、特に農村部の小学校で適切な使用方法および維持管理方法が知られていない。従って、本プロジェクトでトイレ棟および手洗いタンクを設置するにあたり、両者が、適切かつ継続的に使用されるための維持管理や、学校衛生啓

蒙活動に関するソフトコンポーネントを計画する。詳細は添付のソフトコンポーネント計画書のとおり。

3-2-4-6 実施工程

(1) 契約ロット分け

本プロジェクトは、施設建設および家具調達に分けて業務を発注する。施設建設は、施工時期によって3グループに分けるとともに、地域・階数によって5ロットに分ける。施工業者は、国内業者を対象とした一般競争入札により選定する。家具調達は、各施設建設ロットに対応する5つのロットに分け調達業者を選定する。

表 3-17 ロットリスト

施工グループ	施設ロット	家具ロット	対象地域(CAP)	対象校数(教室数)	床面積(m ²)
1	1	6	ファナ、ジョイラ、クリコロ	10(40)	3,787.12
	2	7	バマコ首都圏(平屋建て)	10(51)	4,652.88
2	3	8	バマコ首都圏(二階建て)	6(36)	3,499.08
3	4	9	カティ、コロカニ、クリコロ、バナンバ	11(44)	4,083.68
	5	10	キタI、キタII	9(45)	4,160.44

(2) 事業実施工程

調達代理契約および施工監理コンサルタント契約の後、施工業者選定のための入札図書を作成し、入札、入札評価、契約交渉、関係機関の承認等の過程を経て、施工業者と工事契約を締結する。これに要する作業期間は5.0ヶ月と想定される。

建設工期は、平屋建ての学校校舎の場合は約9ヶ月（免税+準備：1ヶ月、工期：8ヶ月）、2階建て校舎の場合は約12ヶ月（免税+準備：1ヶ月、工期：11ヶ月）を要する。

本プロジェクトは、バマコ首都圏（2階建て含む）および2つの地方部（平屋建てのみ）の計3グループに分けて工事を実施する。調達代理契約締結から完工、事務所閉鎖までの期間（瑕疵期間を含まない）は、25.0ヶ月を要する。

表 3-18 事業実施工程表

年	2011												2012												2013											
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
調達代理契約後の月数	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
閣議						▲																														
E/N・G/A						▲																														
調達代理契約							▲																													
実施準備期間(財務省令発行)																																				
グループ1 (地方平屋)	入札・契約																																			
	建設工事																																			
	家具																																			
グループ2 (バマコ2階建て)	入札・契約																																			
	建設工事																																			
	家具																																			
グループ3 (地方平屋)	入札・契約																																			
	建設工事																																			
	家具																																			
残務期間																																				

■ 雨季

3-3 相手側負担事業の概要

本計画を日本国のコミュニティ開発支援無償資金協力で実施する上で、マリ政府が負担すべき項目は下記の通りである。なお、各サイトのマリ側負担工事は次ページを参照のこと。

- (1) 本プロジェクトに必要な土地を用意し、教育・国語・識字省が建物を建設する権利を確保すること
- (2) 必要なサイトに関し、本プロジェクトの実施に先立ち、既存施設および障害物の解体撤去工事を実施するとともに、盛り土、整地を行うこと
- (3) 必要なサイトに関し、工事完成後に囲い塀の新設または補修、門扉の設置、造園、その他付属的な外構工事を実施すること
- (4) 必要なサイトに関し、工事完了までに電力の接続工事を行うこと
- (5) 日本にある銀行との銀行取り決めに基づき包括的支払い授權書にかかる通知手数料、および支払手数料を負担すること
- (6) プロジェクトに使用される資機材の通関が速やかに実施されるよう、必要な措置を講じること
- (7) 調達代理契約および調達代理機関と交わす各契約に基づいて、本プロジェクトに携わる個人または法人に対し、マリへの入国ならびに滞在に必要な便宜を供与すること
- (8) 調達代理契約および調達代理機関と交わす各契約に基づいた物品および役務の提供に関し、マリ内で課される関税、国内税、およびその他課税を免除すること
- (9) 本プロジェクトで供与される施設機材を適切かつ効果的に使用し維持すること
- (10) 本プロジェクトの範囲内で日本のコミュニティ開発支援無償資金協力によって負担される費用以外の全ての費用を負担すること
- (11) 本プロジェクトにより整備される学校の運営に必要な教職員の確保及び配置を行うこと
- (12) 本プロジェクトの対象に含まれているコミュニティ学校を公立化すること

表 3-19 計画対象サイト別先方工事負担リスト

地域			ID	学校名	マリ側負担工事			日本側負担工事	
					既存施設撤去、樹木 伐採・抜根、整地	フェンスの撤去	電気配線 接続工事		
州	AE	CAP							
クリココ	カティ	ジョイラ	DL-1	Diarani					
			DL-2	Zéta					
			DL-3	Diana					
			DL-4	Fadabougou					
			DL-5	Banco	樹木2本撤去				
		ファナ	FN-1	Werekela					
			FN-2	Fana C I					
			FN-4	Fana B					
			FN-5	Ouolodo					
			KB-1	Samalé					
		カラバン コロ	KB-2	Kalabancoro E					
			KB-4	Taliko II					
			KB-5	Adeken (Fratemite Kene)			○	側溝 (47m)	
			カティ	KT-1	Camp B	樹木8本撤去、 整地(224㎡) 既存建物撤去(50㎡) 給水管の移設(18m)	フェンス撤去(38m)	○	フェンス新設(70m)
				KT-2	Sirablo Dogoba				
	KT-3	SongonII							
	KT-4	Gonsolo							
	KT-5	Yélékébougou					側溝 (67.3m)		
	クリココ	クリココ	KL-1	Diaguiniabougou Central	畑の整地(380㎡)				
			KL-2	Tlomadio	樹木1本撤去				
			KL-5	Kossaba					
		バナンバ	BN-3	Kiban 1 cycle B					
			BN-4	GSID	樹木6本撤去				
BN-5			Touba 1 cycle B						
コロカニ		KK-1	Kolokani B	フラッグポール移設					
		KK-3	N'tiobougou						
		KK-5	Ballá						
カイ	キタ I	KI-2	Ségoubougouni	樹木3本撤去					
		KI-3	Farabala 1 cycle				側溝 (66m)		
		KI-4	Kofoulabé 1 cycle	樹木2本撤去					
		KI-5	Kantila						
		キタ II	KII-1	Kouléko					
	KII-2		Sangarébugou						
	KII-3		Badinko II						
	KII-4		Kabé						
	KII-5		Boulouli		フェンス撤去(27m)				
	バマコ 特別区	バマコ 左岸	ディエリブグ	BG-1	Nafadji			側溝 (33m)	
バマコクラ			BG-5	Samé	樹木30本撤去		○	側溝 (64.3m)	
セントルコマーシャル			BG-6	Point G.	樹木8本撤去		○		
ラフィアブグ			BG-7	Taliko	樹木6本撤去 守衛室撤去	フェンス撤去(39m)	○	フェンス復旧(39m)	
セベニコロ		BG-8	Camp Para	盛土30cm (1042㎡)		○			
バマコ 右岸		バナンカブグ	BD-2	Groupe scolaire de Magnambougou Projet	樹木14本撤去		○		
		ファラジェ	BD-3	Groupe scolaire de Dianeguella	樹木6本撤去 守衛室撤去				
	BD-4		Groupe scolaire de Yirimadio	樹木7本撤去 バスケットコート移設			側溝 (64.3m)		
	カラバンクラ	BD-5	Groupe scolaire de Senou Base	樹木7本撤去		○			
		BD-7	Groupe scolaire de Baco Djicoroni						

3-4 プロジェクトの運営・維持管理計画

3-4-1 教員雇用・配置

(1) 新規教員雇用・配置

マリの小学校では、1教室あたり最低1名の教員が配置されているため、各校で必要最小限の教員数は、各校の教室数と同数と考えることができる。本プロジェクトで教室が増設される対象校においては、教員の増員が必要となる。したがって、マリ側は不足する教員数を新たに雇用する必要がある。

各計画対象校の不足教員数は、以下の計算により算出される。

$$\text{不足教員数} = \text{必要教員数（計画実施後の教室数）} - \text{本調査時の教員数}$$

※ 計画実施後の教員数は、各計画対象校の教員数が調査時と同数と仮定する。

※ 計画実施後の教室数 = 継続使用可能教室数 + 計画教室数

(2) コミュニティ学校の公立化

本プロジェクト対象校には7校のコミュニティ学校が含まれている。コミュニティ学校は、基本的に生徒から徴収した授業料で教員給与が賄われており、公立学校と比べて運営基盤が脆弱である。本プロジェクトで新たな教室を増設することとなれば、教員の増員など運営管理の負担が大きくなる場所、本プロジェクトの計画対象に含まれるコミュニティ学校については公立化することが望ましい。

教育・識字・国語省は本プロジェクトの計画対象に含まれるコミュニティ学校については優先的に公立化する旨を表明し、さらに2011年3月9日付けの決定書(No.11-00714/MEALN-SG)により同7校の公立化を決定した。

また、公立化に伴い必要な教員数を政府契約教員として雇用する必要があるが、新たに雇用する必要がある教員数は上記(1)の必要教員数と同様に、計画実施後の教室数と同数として算出することができる。

(3) 新規契約雇用

本計画の実施に伴い増員が必要な教員数は、表3-20のとおり108名と試算される。教育・識字・国語省は、PRODECに則り毎年2,000人程度の新規契約教員枠を、AE、CAPを通じ小学校教員を管轄する県、コミュニオン²²に振り分けている。教育・識字・国語省は、本計画対象校において増員が必要となる教員を、新規契約教員枠から確保し、AE、CAPを通じ各計画対象校に配置することを確約している。

²²公務員教員は県との雇用関係にあり、契約教員はコミュニオンとの雇用関係にある。給与は国家教育予算より配分される。

表 3-20 計画対象校の増員が必要な教員数

地域			ID	学校名	コミュニ ティ学校	①継続使用可 能教室数	②計画教室数	③計画後教室 数 (①+②) =必要教員数	④現在教員数 (校長+教員)	不足教員数 (③-④) コミュニティ校の場合は③
州	AE	CAP								
クリココ	ジョイラ	DL-1	Diarani	○	0	4	4	4	4	
		DL-2	Zeta		3	3	6	5	1	
		DL-3	Diana	○	0	3	3	3	3	
		DL-4	Fadabougou		0	6	6	4	2	
		DL-5	Banco		0	6	6	11		
	ファナ	FN-1	Werekela	○	0	3	3	3	3	3
		FN-2	Fana C I		4	3	7	9		
		FN-4	Fana B		6	6	12	17		
		FN-5	Ouolodo		0	4	4	4	0	
		KB-1	Samaté		3	3	6	6	0	
	カラバン コロ	KB-2	Kalabancoro E		6	6	12	13		
		KB-4	Taliko II		3	6	9	13		
		KB-5	Adeken (Fraternite Kene)	○	9	3	12	13	12	
		KT-1	Camp B		0	6	6	8		
		KT-2	Sirablo Dogoba		3	2	5	5	0	
	カティ	KT-3	Songonli		0	6	6	4	2	
		KT-4	Gonsolo		0	3	3	3	0	
		KT-5	Yélékébougou		4	6	10	7	3	
		KL-1	Diaguinabougou Central		3	2	5	5	0	
		KL-2	Tiomadio		3	3	6	7		
	クリココ	バナンバ	KL-5	Kossaba		0	3	3	4	
			BN-3	Kiban 1 cycle B		13	3	16	17	
			BN-4	GSID		9	6	15	14	1
			BN-5	Touba 1 cycle B		12	5	17	11	6
			KK-1	Kolokani B		6	4	10	12	
		コロカニ	KK-3	N'tiobougou		0	3	3	3	0
			KK-5	Balla		3	3	6	3	3
			KL-2	Ségoubougouni		24	6	30	31	
			KL-3	Farabala 1 cycle		3	6	9	4	5
			KL-4	Kofoulabé 1 cycle		4	6	10	4	6
カイ	キタ I	KL-5	Kantila	○	0	5	5	3	5	
		KII-1	Kouléko		0	6	6	4	2	
		KII-2	Sanqarébougou		3	4	7	5	2	
		KII-3	Badinko II		9	6	15	14	1	
		KII-4	Kabé		2	3	5	6		
	キタ II	KII-5	Boulouli		3	3	6	6	0	
		BG-1	Nafadij	○	7	6	13	8	13	
		BG-5	Samé		9	6	15	8	7	
		BG-6	Point G.	○(1校)	15	6	21	14	7	
		BG-7	Taliko		6	6	12	7	5	
バマコ 特別区	バマコ 左岸	BG-8	Camp Para		15	6	21	17	4	
		BD-2	Groupe scolaire de Magnambougou Projet		21	6	27	33		
		BD-3	Groupe scolaire de Dianeguella		17	6	23	20	3	
	バマコ 右岸	BD-4	Groupe scolaire de Yirimadio		20	6	26	20	6	
		BD-5	Groupe scolaire de Senou Base		15	6	21	19	2	
		BD-6	Groupe scolaire de Senou Base		15	6	21	19	2	
		BD-7	Groupe scolaire deBaco Djicoroni		46	6	52	52	0	
合計									108	

注 1) 教室数に対して、教員が余剰する学校は空欄。

注 2) BG-6 Point G校はグループ学校で、3校のうち1校がコミュニティ学校。当該コミュニティ学校の教員7名も政府契約教員とする必要がある。

3-4-2 運営維持管理

(1) 学校運営

マリの公立小学校では教員人件費以外の運営費は全て CGS の管理する学校予算で賄われている。学校予算は、生徒や保護者から徴収する入学金、年間生徒会費、また世界銀行が資金援助する ADARS 補助金などから構成されている。なお、入学金や年間生徒会費は学校によって異なり、現地調査による聞き取りによれば、前者は 1 生徒当たり 250～7,500FCFA、後者は 1 生徒当たり 250～2,500FCFA である。また、本プロジェクトの計画対象校の 1 校あたり平均年間学校予算は約 807,000FCFA である。

(2) 施設維持管理

マリの学校には原則的に全て CGS があり、学校施設の整備および管理は CGS の担当となっている。このため、本プロジェクトによって建設される教室、校長棟、トイレの維持管理も CGS が学校予算を用いて行う。

また、日常の清掃活動については、教室、校長棟は生徒によってほぼ毎日清掃されている。トイレについても、週 1～3 回の頻度で生徒が清掃していることが確認されている。

本計画施設には、コウモリが天井裏に進入してしまった場合の駆除、天井裏の点検及び清掃を容易とするため、取り外し可能な天井が設置されている。ソフトコンポーネントにおいては、学校関係者を対象としたワークショップにおいて、天井の取り外し方法の説明を行うとともに、定期的な天井裏の点検、清掃の必要性等を説明し、点検・清掃活動の学校活動計画への取り入れを促す。

3-5 プロジェクトの概略事業費

3-5-1 協力対象事業の概略事業費

本協力対象事業を実施する場合に必要な事業費総額は10.16億円となり、先に述べた日本とマリ国との負担区分に基づく双方の経費内訳は下記(3)に示す積算条件によれば、次のとおりと見積られる。ただし、この額は交換公文上の供与限度額を示すものではない。

(1) 日本側負担経費 概略総事業費 約1,013.5百万円

表 3-21 日本側負担経費内訳

費目		概算事業費 (百万円)	
施設	施設建設費	714.0	762.4
	家具費	47.0	
	銘板・ステッカー費	1.4	
調達代理機関費		103.5	
設計監理費		135.5	
ソフトコンポーネント費		10.0	
弁護士費用		2.1	
合計		1,013.5	

(2) マリ国側負担経費 18,767,000 FCFA (約3.3百万円)

表 3-22 マリ国側負担経費内訳

費目	金額 (FCFA)	日本円換算 (円)
敷地既存施設撤去 (樹木除却等)	5,007,000	868,000
正門、囲い塀整備	1,144,000	198,000
電気設備接続工事	2,000,000	347,000
給水整備移設工事	11,000	2,000
ソフコン実施費用 ²³	3,195,000	554,000
施設建設にかかる実施費用 ²⁴	1,425,000	247,000
銀行手数料	5,985,000	1,037,000
合計	18,767,000	3,253,000

²³ ワークショップ等にかかる交通費として積算

²⁴ コミッティ、毎月のサイト訪問への同行、竣工検査への同行にかかる交通費 (州をまたぐ移動の場合は旅費) を積算

なお、この額は 2010 年 10 月の現地調査時に得た情報を基に日本側が試算した概算額である。

(3) 積算条件

- ① 積算時点 : 平成 22 年 10 月
- ② 為替交換レート : 1US\$ = 89.91 円
: 1 現地通貨 (FCFA : フラン・セーファー) = 0.17326 円
: 1 ユーロ = 115.31 円
- ③ 施工・調達期間 : 工事の期間は、業務実施工程に示したとおり。
- ④ その他 : 積算は日本国政府の無償資金協力の制度を踏まえて行うこととする。

3-5-2 運営・維持管理費

(1) 新規教員雇用にかかる運営費

前項で述べたように、本プロジェクト実施に伴い、最低 108 名の教員増員が必要である。他方、教育・識字・国語省は PRODEC に則り、毎年 2000 名以上の新規採用予算枠を確保しているため、増員分の新規予算措置は必要としない。

(2) 施設維持管理費

本プロジェクトで建設する施設は、引渡し後数年間は維持管理を必要としないと考えられるが、その後に予想される維持管理費としては再塗装工事費用およびトイレの便槽清掃費用がある。想定される頻度、経費は以下のとおりである。この経費は上述の平均学校予算 (約 807,000FCFA) の 33% であるため、十分負担可能な額である。

表 3-23 維持管理費試算 (1 校分)

項目		頻度	1 年間に換算した経費 (FCFA)
再塗装	外壁	10 年に 1 回	46,000
	内壁	7 年に 1 回	71,000
	黒板	1 年に 1 回	56,000
	建具	7 年に 1 回	51,000
	鉄骨	10 年に 1 回	25,000
便槽清掃		2 年に 1 回	19,000
合計			268,000

(約 4.6 万円)

第4章 プロジェクトの評価

第4章 プロジェクトの評価

4-1 事業実施のための前提条件

事業実施開始の前提条件として、各計画対象校で以下が満たされている必要がある。

- (1) 3-3 で示された、障害物等撤去や整地が、CGS やコミュニケーションにより遅滞なく実施されること
- (2) ソフトコンポーネント活動主体である GCS が存続していること
- (3) ANICT-コミュニケーションによる追加的な学校建設計画がないこと

4-2 プロジェクト全体計画達成のために必要な相手方投入（負担）事項

- (1) 各計画対象校に対し、必要な教員の配置が遅滞なく行われること
- (2) 現在コミュニティ学校である 7 校が、遅滞なく公立学校になり、他の計画対象校と同様に必要数の政府契約教員が配置されること
- (3) 各計画対象校に対し、その規模に応じた、適正な生徒の受け入れ、及び適切なクラス編成が行われること
- (4) 各計画対象校で、学校予算が継続的に生徒より徴収され、学校施設の運営・維持管理費用として使用されること
- (5) 各計画対象校で、学校施設の運営・維持管理が適切に行われること

4-3 外部条件

- (1) 計画対象地域において、就学人口が想定以上に増加しないこと
- (2) 想定以上の物価高騰が起こらず、必要資機材の調達が計画通り行われること

4-4 プロジェクトの評価

4-4-1 妥当性

本プロジェクトは以下の理由により、我が国の無償資金協力による協力対象事業の実施が妥当であると判断される。

- (1) 本プロジェクトの裨益対象は、マリにおける生徒や教職員など 33,000 人を超える一般国民である。
- (2) 本プロジェクトは、マリのニーズならびに PRODEC や PISE などの開発政策と

合致している。今回の対象地域であるクリコロ州とカイ州は、他州と比べて教室建設の充足率(PISEII 期間の計画地に対する実績値)が低く、また、バマコ特別区は教室の過密度が高いため、本プロジェクトの対象地域として妥当と判断できる。

- (3) 本プロジェクトのプロジェクト目標は、マリの計画対象地における小学校施設の建替・増設を通して学校環境を整備することであり、我が国の無償資金協力の目的である BHN、教育および人造りに合致する。
- (4) 本プロジェクトの各計画対象校における運営・維持管理は、日常の学校活動において対応可能な、高度な技術を必要としないものであり、マリ側独自の資金と人材・技術で実施することができる。
- (5) 本プロジェクトは、長期的かつマクロ的観点からの経済効果は期待されるものの、プロジェクト実施に伴う直接的な収益性はない。
- (6) プロジェクト実施にあたり、環境社会面における特筆すべき負の影響はない。
- (7) 我が国の無償資金協力（コミュニティ開発支援無償）の制度により、特段の困難なくプロジェクトの実施が可能である。
- (8) 本プロジェクトは、一般無償資金協力による三次に渡る小学校建設計画や、コミュニティ開発支援無償による「カティ市教員養成学校建設計画」、実施中の技術協力「学校運営委員会支援プロジェクト」からの教訓やフィードバックを有効活用することができ、それらの経験を基により効率的、効果的なプロジェクト運営・実施が可能といった優位性がある。

4-4-2 有効性

(1) 定量的効果

定量的効果については表 4-1 に示す指標に基づき、基準値から目標値への達成状況により確認される。なお目標年は事業実施 3 年後となる 2016 年とする。

表 4-1 プロジェクトの定量的効果

	基準値 (2011 年)	目標値 (2016 年)
対象校における継続使用可能な教室数	309 教室	525 教室
対象校において安全な環境で学べる生徒数	15,450 人 (50 人 x 309 教室)	26,250 人 (50 人 x 525 教室)

(2) 定性的効果

- ・ 適切な教育環境を備えた施設が整備されることで、計画対象校の就学率、留年率の改善に寄与する。

- 教室が整備されることによって、2部制および複式学級数が減少する。
- トイレおよび手洗いタンクを整備することにより、生徒の保健衛生の保持に寄与する。
- ソフトコンポーネントの実施により、整備された施設の維持管理に対する意識が向上する。

資 料

資料 1. 調査団員・氏名

(1) 現地調査 I

氏名	業務内容	所属
丹原 一広	団長	JICA 人間開発部基礎教育グループ 基礎教育第二課 課長
徳田 真人	計画管理	JICA 人間開発部基礎教育グループ 基礎教育第二課
杉浦 晃	業務主任／施設計画	株式会社 毛利建築設計事務所
高橋美奈子	運営維持／教育計画	株式会社 毛利建築設計事務所
一番ヶ瀬佳昭	施工計画／調達事情／積算	株式会社 毛利建築設計事務所
田中 広美	通訳	株式会社 毛利建築設計事務所

(2) 現地調査 II

氏名	業務内容	所属
丹原 一広	団長	JICA 人間開発部基礎教育グループ 基礎教育第二課 課長
辻 恵子	調達監理計画	JICS 業務第一部 施設第三課
杉浦 晃	業務主任／施設計画	株式会社 毛利建築設計事務所
高橋 美奈子	運営維持／教育計画	株式会社 毛利建築設計事務所
福島 健	建築計画	株式会社 毛利建築設計事務所
榎本 久美子	施工計画／調達事情／積算	株式会社 毛利建築設計事務所
田中 広美	通訳	株式会社 毛利建築設計事務所

(3) 現地調査 III

氏名	業務内容	所属
増田 淳子	団長	JICA セネガル事務所次長
徳田 真人	計画管理	JICA 人間開発部基礎教育グループ 基礎教育第二課
杉浦 晃	業務主任／施設計画	株式会社 毛利建築設計事務所
榎本 久美子	施工計画／調達事情／積算	株式会社 毛利建築設計事務所
小林 美和子	通訳	株式会社 毛利建築設計事務所

(4)概略設計概要説明調査

氏名	業務内容	所属
丹原 一広	団長	JICA 人間開発部基礎教育グループ 基礎教育第二課 課長
杉浦 晃	業務主任／施設計画	株式会社 毛利建築設計事務所
小林 美和子	通訳	株式会社 毛利建築設計事務所

(5) 入札参考資料説明調査

氏名	業務内容	所属
杉浦 晃	業務主任／施設計画	株式会社 毛利建築設計事務所
榎本 久美子	施工計画／調達事情／積算	株式会社 毛利建築設計事務所
田中 広美	通訳	株式会社 毛利建築設計事務所

資料 2. 調査行程

(1) 現地調査 I

日時			官団員	a	b	d	e
			総括、計画管理	業務主任／施設計画	運営維持／教育計画	施工計画／調達事情 ／積算	通訳
			JICA	杉浦晃	高橋美奈子	一番ヶ瀬佳昭	田中 広美
			12日間	20日間	20日間	20日間	20日間
1	4/3	土	成田発→				
2	4/4	日	→バリ16:30 → 20:10バマコ着				
3	4/5	月	技プロ関係者協議、第2、3次計画校視察、カティ市教員養成校建設現場視察				
4	4/6	火	教育省(CADDE)表敬、教育省協議、日本大使館表敬、教育大臣表敬			Agetip面談、教育大臣表敬	aに同行
5	4/7	水	教育省協議、バマコ右岸・左岸内学校視察			経済産業省面談、住宅省面談	同上
6	4/8	木	ミニッツ協議、クリコロ州サイト視察(クリコロ)			ANICT面談、現地コンサルタント面談	同上
7	4/9	金	ミニッツ署名、JICS表敬、日本大使館報告	ミニッツ署名立会い、教育省面談		現地コントラクター面談、職人組合訪問	bに同行
8	4/10	土	カイ州キタAE協議、要請校視察				
9	4/11	日	資料整理				
10	4/12	月	JICAマリ事務所報告		キタAE、バマコ右岸AE協議	労働省面談、コンサルタント面談	bに同行
			バマコ→ダカール	教育省協議	教育省協議、バマコ左岸AE協議	教育省協議	bに同行
11	4/13	火	JICA事務所報告 ダカール→バリ→	バマコ右岸AE協議、要請校視察	バマコ右岸AE協議、要請校視察、技プロ関係者協議	現地コントラクター面談、JICS面談	aに同行
12	4/14	水	→成田着 06:30	バマコ左岸要請校視察、クリコロAE協議、要請校視察		現地コンサルタント面談	aに同行
13	4/15	木		教育省協議、カティAE協議、要請校視察		カティAE協議	aに同行
14	4/16	金		教育省協議、補足調査	aに同行	教育省協議、地理局面談	aに同行
15	4/17	土		クリコロ州FANA県訪問	補足調査	aに同行	aに同行
16	4/18	日		バマコ発→ダカール	資料整理		
17	4/19	月		JICA事務所報告	教育省協議、バマコ左岸AE協議	現地コンサルタント面談	bに同行
18	4/20	火		ダカール⇒アディスアベバ⇒バンコク⇒	バマコ⇒アディスアベバ⇒バンコク	バマコ⇒アディスアベバ⇒バンコク	バマコ⇒アディスアベバ⇒バンコク
19	4/21	水		バンコク⇒	バンコク⇒	バンコク⇒	バンコク⇒
20	4/22	木		→成田着	→成田着	→成田着	→成田着

(2) 現地調査Ⅱ

日時	官団員											
	総括、調達監理計画	a	b	c	d	e						
	JICA/JICS	業務主任/施設計画	運営維持/教育計画	建築設計	施工計画/調達事情 /積算	通訳						
		9日間	42日間	39日間	37日間	34日間	42日間	杉浦晃	高橋美奈子	福島健	榎本久美子	田中 広美
1	8/28	土	成田発→バリ	成田発→バリ							成田発→	
2	8/29	日	バリ→バマコ着	バリ→バマコ着							→バリ→バマコ着	
3	8/30	月	教育省CADDE表敬訪問、教育次官表敬訪問、日本大使館表敬訪問									
4	8/31	火	UNICEF表敬訪問、教育省協議、UNESCO表敬訪問									
5	9/1	水	教育省協議、ミッツ署名		AE協議(バマコ左・クリコロ)						同上	
6	9/2	木	ANICT訪問、FANA Cap訪問		AE協議(バマコ右・カティ)		成田発 →				同上	
7	9/3	金	学校視察、バマコ発→	学校視察等	AE協議(キタ)		0415 バリ1630 → 2010バマコ				同上	
8	9/4	土	→バリ→	サイト調査準備	サイト調査準備	サイト調査準備	地方調査準備				同上	
9	9/5	日	→成田着	資料整理、社内協議								
10	9/6	月		サイト調査1(バマコ左)	サイト調査1(バマコ左)	サイト調査1(バマコ左)	地方施工調査1(バマコ左)				aに同行	
11	9/7	火		サイト調査2(バマコ左)	サイト調査2(バマコ左)	サイト調査2(バマコ左)	地方施工調査2(バマコ左)				同上	
12	9/8	水		サイト調査3(バマコ右)	サイト調査3(バマコ右)	サイト調査3(バマコ右)	地方施工調査3(バマコ右)				同上	
13	9/9	木	資料整理(断食明け休日)									
14	9/10	金	同上									
15	9/11	土		サイト補足調査	サイト補足調査	サイト補足調査	サイト補足調査				同上	
16	9/12	日	資料整理、社内協議									
17	9/13	月		サイト調査4(バマコ右)	サイト調査4(バマコ右)	サイト調査4(バマコ右)	地方施工調査4(バマコ右)				aに同行	
18	9/14	火		サイト調査5(クリコロ)	サイト調査5(クリコロ)	サイト調査5(クリコロ)	地方施工調査5(クリコロ)				同上	
19	9/15	水		サイト調査6(ハナンハ)	サイト調査6(ハナンハ)	サイト調査6(ハナンハ)	地方施工調査6(ハナンハ)				同上	
20	9/16	木		サイト調査7(カラハンコロ)	サイト調査7(カラハンコロ)	サイト調査7(カラハンコロ)	地方施工調査7(カラハンコロ)				同上	
21	9/17	金		サイト調査8(ファナ)	サイト調査8(ファナ)	サイト調査8(ファナ)	地方施工調査8(ファナ)				同上	
22	9/18	土		サイト調査9(ジョイ)	サイト調査9(ジョイ)	サイト調査9(ジョイ)	地方施工調査9(ジョイ)				同上	
23	9/19	日	資料整理、社内協議									
24	9/20	月		サイト調査10(クリコロ)	サイト調査12(クリコロ)	サイト調査12(クリコロ)	地方施工調査12(クリコロ)				aに同行	
25	9/21	火		教育省協議	aに同行	教育省協議、建築関連調査	教育省協議、調達調査				同上	
26	9/22	水	資料整理、社内協議 (独立記念日)									
27	9/23	木		サイト調査11(キタ1)	サイト調査11(キタ1)	サイト調査11(キタ1)	地方施工調査11(キタ1)				aに同行	
28	9/24	金		サイト調査12(キタ1-2)	サイト調査12(キタ1-2)	サイト調査12(キタ1-2)	地方施工調査12(キタ1-2)				同上	
29	9/25	土		サイト調査13(カティ)	サイト調査13(カティ)	サイト調査13(カティ)	地方施工調査13(カティ)				同上	
30	9/26	日	資料整理、社内協議									
31	9/27	月		サイト調査14(カティ)	サイト調査14(カティ)	サイト調査14(カティ)	地方施工調査14(カティ)				aに同行	
32	9/28	火		教育省協議	教育省協議、保健省協議	建築関連調査	施工関連調査				同上	
33	9/29	水		サイト補足調査	NGO協議、保健省協議	同上	同上				bに同行	
34	9/30	木		施設計画調査	NGO協議、教育省協議	同上	同上				同上	
35	10/1	金		教育省協議	同上	同上	同上				同上	
36	10/2	土	資料整理、社内協議									
37	10/3	日	資料整理									
38	10/4	月		バマコ発→	→バリ→	建築関連調査	→バリ→				資料整理	
39	10/5	火		テクニカルノート署名	→成田着	同上	→成田着				aに同行	
40	10/6	水		バマコ→ダカール JICAセネガル事務所報告、ダカール発→		同上、バマコ発→					cに同行	
41	10/7	木		→バリ→							→バリ→	
42	10/8	金		→成田着							→成田着	

現地祝日 9月9日、10日 ラマダン明け休暇、9月22日 独立記念日

(3) 現地調査 III

			官団員		コンサルタント		
			(a)	(b)	(c)	(d)	(e)
			団長	計画管理	業務主任/施設計画	施工計画/調達事情/積算	通訳
			増田 淳子	徳田 真人	杉浦 晃	榎本 久美子	小林美和子
1	3/5	土			東京→		東京→パリ
2	3/6	日	ダカール→バマコ	東京→パリ→バマコ	→パリ→バマコ		パリ→バマコ
3	3/7	月	日本大使館表敬、教育・識字・国語省表敬・協議				(c)に同行
4	3/8	火	教育・識字・国語省協議、外務・国際関係省訪問				(c)に同行
5	3/9	水	教育・識字・国語省協議、ミニッツ協議				(c)に同行
6	3/10	木	教育・識字・国語省協議ミニッツ署名、大使館報告				(c)に同行
7	3/11	金	バマコ→ダカール	バマコ→ダカール	教育・識字・国語省打合せ、現地コンサルタント打合せ		(c)に同行
8	3/12	土			現地コンサルタント打合せ		(c)に同行、バマコ→
9	3/13	日			資料整理		→パリ→
10	3/14	月			教育・識字・国語省打合せ、バマコ→		→東京
11	3/15	火			→パリ→	東京→パリ	
12	3/16	水			→東京	パリ→バマコ	
13	3/17	木				教育・識字・国語省テクニカルノート協議、現地コンサルタント打合せ	
14	3/18	金				教育・識字・国語省テクニカルノート協議、署名	
15	3/19	土				現地コンサルタント打合せ	
16	3/20	日				資料整理	
17	3/21	月				現地コンサルタント打合せ、バマコ→	
18	3/22	火				→パリ→	
19	3/23	水				→東京	

(4) 概略設計概要説明調査

			官団員		コンサルタント	
			(a)	(b)	(c)	
			団長	業務主任/施設計画	通訳	
			丹原 一広	杉浦 晃		小林美和子
1	4/4	月	東京→パリ→バマコ	アディスアベバ→バマコ		東京→パリ→バマコ
2	4/5	火	日本大使館表敬、世銀協議	日本大使館表敬、教育・識字・国語省協議		(b)に同行
3	4/6	水	教育・識字・国語省協議			(b)に同行
4	4/7	木	教育・識字・国語省表敬、協議			(b)に同行
5	4/8	金	教育・識字・国語省協議ミニッツ署名、外務省報告、日本大使館報告			(b)に同行
6	4/9	土	バマコ→	現地コンサルタント打合せ		バマコ→
7	4/10	日	→パリ→	バマコ→アディスアベバ		→パリ→
			→東京			→東京

(5) 入札参考資料説明調査

日時			施工計画／調達事情／積算	業務主任／施設計画	通訳
			榎本久美子 (a)	杉浦晃 (b)	田中広美 (c)
			9日間	9日間	9日間
1	6月11日	土	成田発→		
2	6月12日	日	→パリ→バマコ着		
3	6月13日	月	教育省表敬、 ローカルコンサル打合せ		
4	6月14日	火	同上		
5	6月15日	水	同上		
6	6月16日	木	同上		
7	6月17日	金	教育省図書案提出・説明 バマコ発		
8	6月18日	土	→パリ→	成田発→パリ	同左
9	6月19日	日	→成田着	パリ→バマコ着	同左
10	6月20日	月		教育省表敬・協議	同左
11	6月21日	火		教育省協議、補足調査	同左
12	6月22日	水		同上	同左
13	6月23日	木		教育省協議、 テクニカルノート署名	同左
14	6月24日	金		関係機関報告、バマコ発	同左
15	6月25日	土		→パリ→	バマコ発→
16	6月26日	日		→成田着	

資料 3. 関係者（面会者）リスト

【教育・識字・国語省】

次官	M. Denis DOUGNON
技術顧問	M. Bonaventure MAIGA
教育地方分権化・分散化室長	M. Abou DIARRA
学校施設計画・監理部長	M. Adama S. KEITA
企画統計室 副室長	M. Issiaka M. NIAMBELE
企画統計室 統計課長	M. Oumar CISSE
企画統計室 統計課 エンジニア	M. Abdoulaye MAIGA
基礎教育局長	Mamadou DIABATE
基礎教育部長	M. Yaranga TRAORE
総務財務部	M. Hassane SAMASSEKOU
国家教育局長	M. Mamadou Lamine SISSOUMA
プログラム部長	M. Youssouf KONANDJI
学校保健担当	M. Fodé SIDIBE
学校保健担当	M. Bazi MAIGA
学校保健担当	Mme. Cissé Mariétou TRAORE

【バマコ左岸アカデミー】

局長	Mme. Diallo Fadimata B. TOURE
基礎教育部長	M. Abdelkarim A. MAIGA
Banconi CAP長	M. Mamadou KEITA
Diélibougou CAP長	M. Moussa GORO
Hippodrome CAP長	M. Néguedougou SANOGO
Bozola CAP長	M. Issoufi DICKO
Lafiabougou CAP長	M. Ibrahima H. DICKO
Sebenikoro 副CAP長	M. Fablan DOUMBIA
Bamako Coura 副CAP長	M. Ahmed WANGARA
Centre Commercial 副CAP長	Mme Minata COULIBALY

【バマコ右岸アカデミー】

局長	Mme. Diama Cissouma TOGOLA
基礎教育部長	M. Kodiougou DIABATI
Banankabougou CAP長	M. Demba CISSOKO

Faradié CAP長	M. N'go Zia DEMBERE
Kalaban coura CAP長	M. Soumama NIARE

【クリコロ・アカデミー】

中等教育部長	M. Amadou SIDIBE
基礎教育担当部長	M. Ousmane BOUARE
Koulikoro CAP長	M. Mohamed Agoumour TOURE
Banamba CAP長	M. Moussa NIANG
Kolokani CAP指導主事	M. Jean-Pierre KONARE

【カティ・アカデミー】

局長	M. Djibrilla MAIGA
CAF 部長	M. Boukary TOMBOURO
基礎教育担当	M. Mamadou SANGARE
Dioila CAP長	M. Abdoul Wahidou MAIGA
Fana CAP長	Pr. Galledou BABRI
Kalabancoro副CAP長	M. Oumar TOGO
Kati Cap長	Mme Aissata BOCOUM

【キタ・アカデミー】

アカデミー長	M. Toumani SOGORE
通信・総務・財務課長	M. Alassane Demba SIDIBE
識字課長	M. Madibo SANOGO
Kita I 副CAP長	M. Amadou BORE
Kita II 副CAP長	M. Mibimba DEMBELE

【アフリカ開発銀行】

アフリカ開発基金プロジェクト実施室長	M. Mamadou Yorodian DIAKITE
資金管理担当	M. Mamadou Moulaye TRAORE

【イスラム開発銀行】

BID教育プロジェクト実施室コーディネーター	M. Youssouf BERTHE
------------------------	--------------------

【保健省】

保健総局 衛生・水・排水課長	M. Sory Ibrahima BOUARE
労働・学校スポーツ健康課長	Dr. Moussa GUINDO

保健情報教育広報センター長	M. Aboubakar Hamidou MAIGA
プログラム課長	M. Ladj Sidi TRAORE

【経済財務省 公共調達総局】

副総局長	M. Youssouf DIARRA
広報担当	M. Sahadati MAIGA

【UNICEF】

教育課長	M. Assane AMADOU
基礎教育担当	M. Idrissa DIARRA
開発コミュニケーション担当	Mme Marte Paloneque
就学前教育担当	Mme Haleinta THIAM-TRAORE

【Unicef Koulikoro】

教育専門官	M. Mohamed Kanté
教育担当官	Mme. Cissé Mariam Mbarakou Touré

【UNESCO】

マリ事務所所長	M. Juma SHABANI
教育プログラム担当	M. Sidiki KONATE

【ANICT】

経理・財務部長	M. Arouna TOURE
---------	-----------------

【CDIFME(NGO)】

主席マネージャー	M. Fofofana TOUANY
コーディネーター	M. Mamadou SANOGO

【World Education (NGO)】

-	M. Djoukou COULIBALY
---	----------------------

【C.A.E.B. (NGO)】

代表	M. Gahoussou Traore
CGSプロジェクトアシスタント	M. Boua Mamadou KONE
CGSプロジェクトスーパーバイザー	M. Drissa FAYE

【日本大使館】

大使	中川 幸子
----	-------

【学校運営委員会支援プロジェクト】

チーフアドバイザー	尾上 公一
専門家	齊藤 由紀子

【JICAマリフィールドオフィス】

ボランティア調整員	加藤 聡子
セネガル事務所 ボランティア調整員	杉野 和也

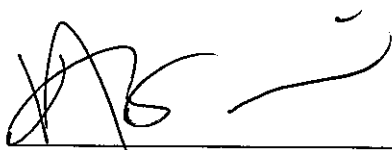
**PROCES-VERBAL DES DISCUSSIONS
RELATIVES A L'ETUDE DU CONCEPT SOMMAIRE I
POUR LE PROJET DE CONSTRUCTION ET D'EQUIPEMENT
D'ECOLES FONDAMENTALES PREMIER CYCLE
PHASE IV
EN REPUBLIQUE DU MALI**

En réponse à la requête présentée par le gouvernement de la République du Mali (ci-après désignée « le Mali »), le gouvernement du Japon a décidé de mener une étude du concept sommaire relative au Projet de construction et d'équipement d'écoles fondamentales premier cycle phase IV (ci-après désigné « le Projet ») et a confié l'exécution de l'étude à l'Agence Japonaise de Coopération Internationale (ci-après désignée « la JICA »).

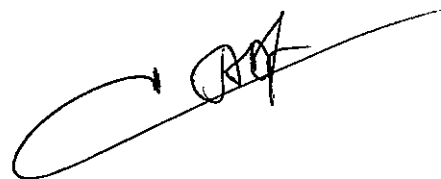
La JICA a délégué au Mali une mission d'étude du concept sommaire (ci-après désignée « la Mission »), conduite par Monsieur Kazuhiro TAMBARA, Directeur de la 2^{ème} section d'enseignement de base, Groupe d'enseignement de base, Département de développement humain, qui y séjournera du 4 au 18 avril 2010.

A l'issue des discussions et des études sur le terrain, les deux parties ont confirmé les points essentiels mentionnés en Appendice ci-joint.

Fait à Bamako, le 9 avril 2010



Kazuhiro TAMBARA
Chef de Mission
Mission d'étude du concept sommaire
Agence Japonaise de Coopération
Internationale
Japon



Abou DIARRA
Chef de la Cellule
Cellule d'Appui à la
Décentralisation/Déconcentration de
l'Education
Ministère de l'Education, de
l'Alphabétisation et des Langues Nationales
République du Mali

Appendice

1. Objectif du Projet

L'objectif du Projet est d'améliorer l'environnement scolaire des écoles fondamentales premier cycle dans les Régions de Koulikoro et Kayes ainsi que le District de Bamako à travers la construction, le remplacement ou l'extension de salles de classe existantes et la fourniture du mobilier scolaire.

2. Zones faisant l'objet du Projet

Les zones faisant l'objet du Projet sont les régions de Koulikoro (Académies d'enseignement de Kati et de Koulikoro), et de Kayes (Académie d'enseignement de Kita) ainsi que le District de Bamako (Académies d'enseignement de Bamako Rive gauche et Rive droite). (cf. Annexe-1).

3. Organisme responsable et organisme d'exécution du Projet

3-1. L'organisme responsable du Projet est le Ministère de l'Education, de l'Alphabétisation et des Langues Nationales (MEALN).

3-2. L'organisme d'exécution du Projet est la Cellule d'Appui à la Décentralisation/Déconcentration de l'Education (CADDE) du MEALN.

3-3. L'organigramme du MEALN est tel qu'il est présenté dans l'Annexe-2.

4. Contenu de la requête

A l'issue des discussions, la partie malienne a présenté les éléments indiqués ci-dessous comme la requête définitive, et la partie japonaise l'a confirmée. Les deux parties ont également confirmé que le contenu de la coopération faisant l'objet de l'aide financière non remboursable du Japon sera déterminé suite à l'étude sur le terrain suivi de l'analyse au Japon, et que tout le contenu demandé ne fera pas forcément l'objet du Projet .

4-1. Ecoles cibles du Projet

Les deux parties ont convenu que les écoles cibles seront sélectionnées parmi celles qui se trouvent dans les régions de Koulikoro (Académies d'enseignement de Kati et de Koulikoro), et de Kayes (Académie d'enseignement de Kita) ainsi que le District de Bamako (Académies d'enseignement de Bamako Rive gauche et Rive droite) qui sont indiquées dans l'Annexe-3, et selon les critères mentionnés dans l'Annexe-4. Suite aux résultats de l'étude I sur le terrain, les écoles cibles (environ 50 établissements) faisant l'objet de l'étude II sur le terrain seront sélectionnées. Et suite aux résultats de l'étude II sur le terrain, les écoles cibles seront définitivement déterminées.

4-2. Installations demandées

En principe, les salles de classe seront construites. Toutefois, pour les écoles cibles, le bureau-magasin et les latrines pourraient être construits selon les besoins.

4-3. Equipement demandé

Le mobilier scolaire sera fourni.

5. Système de la coopération financière non remboursable du Japon

5-1. La partie malienne a pris bonne connaissance du système de la coopération financière non remboursable pour le développement communautaire du Japon, mentionné dans les Annexes-5, 6, 7 et 8.

5-2. La partie malienne s'est engagée à prendre des mesures nécessaires pour le bon déroulement du Projet, comme indiquées dans l'Annexe-8, au cas où le Projet serait exécuté dans le cadre de l'aide financière non remboursable du Japon.

6. Calendrier de l'étude

6-1. Les membres consultants poursuivront l'étude jusqu'au 18 avril 2010.

6-2. Suite aux résultats de la présente étude et après l'élaboration du projet de plan de coopération, la JICA enverra au Mali une mission d'étude du concept sommaire II vers le mois de mai 2010.

6-3. Après avoir établi le rapport de l'étude du concept sommaire, la JICA enverra au Mali une mission d'étude d'explication du contenu dudit rapport vers le mois de octobre 2010.

6-4. Au cas où le gouvernement du Mali accepterait le contenu du rapport de l'étude du concept sommaire, la JICA finalisera ledit rapport pour le faire parvenir au gouvernement du Mali vers le mois de mars 2011.

7. D'autres points discutés

La partie malienne a expliqué que suite à la mise en œuvre de la nouvelle politique éducative du Mali, le système actuellement divisé en premier et second cycles sera supprimé et remplacé par l'enseignement fondamental d'un bloc unique de neuf ans.

Annexe-1 : Plan des sites faisant l'objet du Projet

Annexe-2 : Organigramme du MEALN

Annexe-3 : Liste des écoles cibles

Annexe-4 : Critères de sélection (projet)

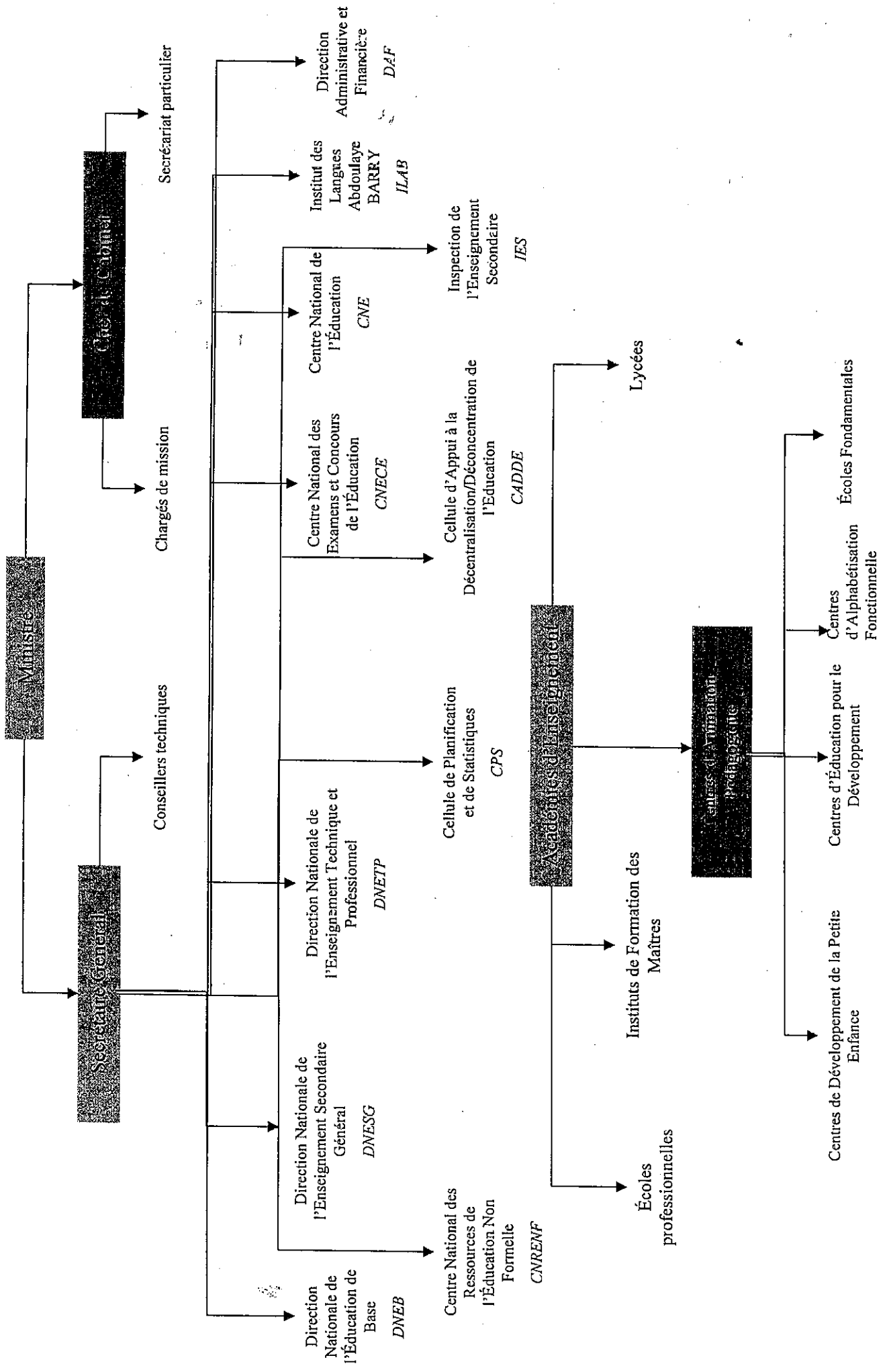
Annexe-5 : Aperçu du système de coopération financière non remboursable pour le développement communautaire

Annexe-6 : Circuit du fonds relatif à l'exécution du projet sous le système de l'aide financière non remboursable pour le développement communautaire

Annexe-7 : Schéma d'exécution de l'Aide financière non remboursable pour le développement communautaire

Annexe-8 : Principales dispositions à prendre par les gouvernements des deux pays

ORGANIGRAMME DU MINISTRE DE L'EDUCATION, DE L'ALPHABETISATION ET DES LANGUES NATIONALES



Annexe-3 : Liste des écoles cibles

Régions de Koulikoro				
	AE	CAP	Ecole	Salles
1	KATI	Fana	Werekela	3
2			Fana C II	3
3			Fana Extention Ouest	3
4			Fana B	3
5			Fana A1	3
6			Fana A2	3
7			Zanguènèbougou	3
8			Marka coungo A	3
9			Ouolodo	1
10		Kalabancoro	Samalé	3
11			Sodiéni	3
12			Kalabancoro Extention	3
13			Kalabancoro I Nérékoro	3
14			Taliko II	3
15			Kabalabougou	3
16			Adeken	3
17			Samaya	4
18		Kati	Camp B	3
19			Sirablo Dogoba	3
20			Kalifabougou 1 cycle	3
21			Mariko I	3
22			Tongon II	3
23			Konsolo	3
24			Yélékébougou	3
25			Sognébougou	3
26		Hawala	1	
27	Koulikoro	Koulikoro	Dianéguebougou Central	3
28			Tomadio	3
29			Kolébougou	3
30			Cholabougou	3
31		Kossaba	3	
32		Banamba	Tota	3
33			Kokoni	3
34			Kiban 1 cycle B	3
35			Soya Kagaro	3
36		Touba 1 cycle B	3	
37	Nara	Nara 1 cycle A	3	
38		Nara 1 cycle D	3	
39		Kabida Bambara	3	
40		Guiré 1 cycle	3	
41		Goumbou 1 cycle A	3	
42	Kolokani	Kolokani 2 cycle D	3	
43		Kodian	3	
44		Nonkon 1 cycle	3	
45		Ouolodiédo	3	
46		Didiéni 1 cycle C	3	
				135

ATB

40

Régions de Kayes				
	AE	CAP	Ecole	Salles
1	KITA	Bafoulabé	Bafoulabé I	4
2			Mahina 2 cycle	4
3			Manantali 2 cycle	3
4			Bangassi	3
5			Mahina III	3
6			Badoumebé	3
7		Diéma	Koungo	3
8			Diangounté Camara	3
9			Fangouné Kagaro	3
10			Guémou	3
11			Dailibéra	3
12		Kita I	Dialakoni	3
13			Ségoubougouni	3
14			Farabala 1 cycle	3
15			Kofoulabé 1 cycle	3
16			Kofoulabé 2 cycle	3
17			Kantila	2
18		Kita II	Mansala 1 cycle	3
19			Kouléko	3
20			Sangarébourgou	3
21			Bandiko I	3
22			Kabé	3
23		Boulouli	3	
				70
District de Bamako				
	AE	CAP	Ecole	Salles
1	Rive Gauche	Diélibougou	Nafadji	6
2		Banconi	Sourakabougou	6
3		Hippodrome	Hippodrome extension	6
4		Bozola	Bougouba	6
5		Bamako Coura	Samé	6
6		Centre Commercial	Point G.	6
7		Lafiabougou	Taliko	8
8		Sebenikoro	Camp Para	6
9	Rive droite	Banankabougou	Ecole de Sagoninko	6
10			Groupe scolaire de Magnambougou Projet	4
11		Faladié	Groupe scolaire de Dianeguela	3
12			Groupe scolaire de Yirimadio A	3
13			Groupe scolaire de Senou Base	3
14			Cité 759	6
15			Cité 330	6
16		Kalaban coura	Groupe scolaire de Sabalibougou	6
17			Groupe scolaire de Baco Djicoroni	3
				90

AS

AS

Annexe 4 : Critères de sélection (projet)

【Conditions indispensables】

- ✓ Le droit de propriété ou celui d'utilisation des sites peuvent être confirmés par un document.
- ✓ Il n'y a pas de duplication avec les projets de construction menés par d'autres bailleurs de fonds ou par le gouvernement.
- ✓ Les sites n'ont pas de risque de subir des dégâts par les catastrophes naturelles ou de rencontrer des problèmes de sécurité.
- ✓ Il n'y a pas d'obstacles sur l'exécution et le suivi des travaux de construction (accès au site, superficie suffisante et conditions géographiques, etc.).
- ✓ Les besoins de scolarisation et de construction des installations sont évidents.
- ✓ L'affectation des enseignants aux écoles faisant l'objet du Projet est assurée.

【Critères relatifs à la priorisation des écoles】

- ✓ La priorité est donnée à des établissements dont les besoins de scolarisation sont élevés (augmentation remarquable des effectifs, amélioration du taux de scolarisation, etc.).
- ✓ La priorité est donnée à des établissements dont les besoins en construction des installations sont élevés (congestion en salles de classe, écoles incomplètes, classes multigrades, restriction d'admission, classe à double vacation, vétusté des installations, etc.).
- ✓ La priorité est donnée à des établissements où le Comité de gestion scolaire (CGS) est mis en place et que la gestion et la maintenance des écoles fonctionnent bien.
- ✓ Du point de vue du suivi des travaux de construction, la priorité est donnée à des établissements dont l'accès est facile.

ATG

Annexe-5 : Aperçu du système de coopération financière non remboursable pour le développement communautaire

Aide Non-Remboursable au Développement Communautaire

Le Don japonais est un programme d'aide qui met à la disposition des pays bénéficiaires des fonds, et ce sans obligation de remboursement. Il consiste à accorder en application des lois et des ordonnances du Japon, le financement nécessaire permettant aux pays bénéficiaires de se procurer des installations, des équipements et services (technologie, transport, etc.) utiles au développement socio-économique national. Le gouvernement japonais n'offre pas de programmes d'approvisionnement direct de matériaux, d'équipements et d'installations ni de contributions en nature.

Le Don japonais comporte plusieurs schémas suivant l'objectif de l'aide. L'Aide Non-Remboursable au Développement Communautaire est un des schémas du Don qui consiste à fournir un soutien au renforcement des compétences globales des communautés qui sont confrontées à des menaces sur la vie et sur la sécurité, notamment la pauvreté, la famine, les épidémies, etc.

L'Aide Non-Remboursable au Développement Communautaire permet à exécuter plusieurs composantes (écoles, routes, eau, etc.) de manière cohérente en tant que programme en vue d'assurer une meilleure efficacité des démarches par une articulation organique entre elles. De même, lorsqu'il s'agit d'une aide dans un seul secteur, le projet est mis en œuvre par l'adoption de spécifications et de conceptions locales et l'utilisation positive d'entreprises, matériels et matériaux locaux pour améliorer la compétitivité, et ce, afin de pouvoir réduire sensiblement les coûts et assurer une meilleure efficacité par rapport aux aides générales.

(1) Procédures de l'Aide Non-Remboursable au Développement Communautaire

L'Aide Non-Remboursable au Développement Communautaire du Japon est exécutée selon les procédures suivantes.

A la première étape, la « requête » présentée par le gouvernement du pays bénéficiaire, y compris les organismes internationaux (cette remarque s'applique chaque fois que le terme « pays bénéficiaire » est utilisé) est examinée par le gouvernement japonais (le Ministère des Affaires étrangères) afin de déterminer si celle-ci est pertinente dans le cadre du Don japonais. Dans le cas où il serait confirmé que la requête est prioritaire en tant que projet du Don, le gouvernement japonais demande à la JICA de procéder à une étude.

A la deuxième étape, l'étude (étude du concept sommaire) est exécutée par la JICA, qui en principe aura conclu un contrat avec un consultant japonais chargé de sa réalisation.

A la troisième étape qui consiste en l'examen et l'approbation, le présent projet est examiné par le gouvernement japonais qui déterminera, sur la base du résultat de l'étude du concept sommaire menée par la JICA à la deuxième étape, si celui-ci est pertinent en tant qu'Aide Non-Remboursable au Développement

ATC

Communautaire, avant d'être soumis à l'approbation du Conseil des ministres du gouvernement japonais.

A la quatrième étape, le projet approuvé par le Conseil des ministres est officiellement déterminé par la signature de l'Echange de Notes (E/N) entre les deux gouvernements, et le projet de l'Aide Non-Remboursable au Développement Communautaire entre en phase d'exécution après la signature de l'Accord de Don (A/D) entre la JICA et le gouvernement du pays bénéficiaire.

A la cinquième étape, le projet de l'Aide Non-Remboursable au Développement Communautaire est exécuté par le gouvernement du pays bénéficiaire. Le projet constitué entre autre de la construction d'installations est exécuté par l'entremise d'un agent japonais chargé de l'approvisionnement (ci-après dénommé « Agent ») qui intervient de manière neutre pour que le Don japonais puisse être exécuté de façon adéquate et dans les meilleures conditions possibles. L'Agent fournira, en tant que mandataire du gouvernement du pays bénéficiaire, en vertu du contrat pour les services d'approvisionnement conclu entre le gouvernement du pays bénéficiaire et l'Agent, les services relatifs à l'appel d'offres, à la conclusion des contrats avec les adjudicataires et d'autres services, pour le compte du gouvernement du pays bénéficiaire.

(2) Statut de l'étude

1) Contenu de l'étude préparatoire (étude du concept sommaire)

Le but de l'étude (étude du concept sommaire) exécutée par la JICA est de fournir un document de base permettant au gouvernement japonais de déterminer si le projet est viable ou non dans le cadre du programme de l'Aide Non-Remboursable au Développement Communautaire. Le contenu de l'étude est le suivant :

- Confirmer l'arrière plan de la requête, les objectifs et les effets du projet ainsi que les capacités de gestion et de maintenance du pays bénéficiaire nécessaires à l'exécution du projet ;
- Evaluer la pertinence de l'Aide Non-Remboursable au Développement Communautaire du point de vue technologique et socio-économique ;
- Confirmer le concept de base du projet convenu après discussions entre les deux parties ;
- Elaborer un concept sommaire du projet ;
- Estimer les coûts approximatifs du projet ;
- Exécuter un concept détaillé consécutif au concept sommaire et élaborer au cours de l'étude « les documents de base de la soumission » d'un niveau à répondre à la soumission sur place.

Il est bien entendu que le contenu de la requête n'est pas obligatoirement approuvé en tant que contenu pouvant faire l'objet d'une aide. Le concept de base du projet est examiné par rapport au cadre du Don japonais.

Par ailleurs, le gouvernement japonais demande au gouvernement du pays bénéficiaire de prendre toutes les mesures qui pourraient s'avérer nécessaires pour assurer son appropriation lors de l'exécution du projet. Ces mesures doivent être garanties, même si elles n'entrent pas dans la juridiction de l'organisme en charge

de l'exécution du projet du pays bénéficiaire. Par conséquent, l'exécution du projet doit être confirmée par toutes les organisations concernées du pays bénéficiaire par la signature des procès verbaux des discussions.

2) Sélection du consultant

Pour la mise en œuvre de l'étude, la JICA effectue une sélection parmi les consultants de nationalité japonaise enregistrés auprès de la JICA, après avoir procédé à un examen des propositions soumises par ces derniers. Le consultant sélectionné procède à l'étude du concept sommaire et élabore le rapport sur la base de références fournies par la JICA.

(3) Schéma de l'Aide Non-Remboursable au Développement Communautaire

1) Echange de Notes (E/N)

Le Don est accordé conformément aux Notes échangées entre les deux gouvernements et dans lesquelles sont confirmés, entre autres, les objectifs, le montant, les conditions d'exécution du Don.

2) Signature de l'Accord de Don (A/D)

Conformément aux Note échangées entre les deux gouvernements, la JICA et le gouvernement du pays bénéficiaire conclut un Accord de Don (A/D) dont lequel sont conformés, entre autres, les produits et les services à approvisionner, le détail des procédures.

3) Banque

Le gouvernement du pays bénéficiaire ou son représentant autorisé devra ouvrir un compte à son nom dans une banque au Japon (ci-après dénommée la « Banque »). La JICA exécutera le Don en procédant au transfert du montant total approuvé par le Conseil des ministres en Yens japonais dans le compte bancaire susmentionné.

4) Durée de validité

Le montant octroyé doit être utilisé avant la date limite stipulée dans l'Accord de Don (A/D) à compter de la date du transfert pour la passation des marchés et les contrats. Toutefois la durée de validité peut être prolongée sur l'accord entre la JICA et le gouvernement du pays bénéficiaire.

5) Emploi de l'Agent

Après que l'exécution du Don aura été déterminée par la conclusion de l'Echange de Notes ainsi que l'Accord de Don, le montant total du Don sera mis à la disposition, et le projet qui consiste entre autres en la supervision de l'approvisionnement en produits et services, la gestion financière, et la construction des installations sera exécuté par l'Agent, afin de réaliser le développement de communautés de manière prompte et flexible. L'Agent est une entité chargée de l'exécution du projet en tant que mandataire du

ATB

gouvernement du pays bénéficiaire pour le compte de ce dernier, et à ce titre il assure la gestion financière, l'approvisionnement en produits et services et la supervision de l'exécution. Le gouvernement du pays bénéficiaire et l'Agent concluront un contrat de prestation de service pour l'approvisionnement, et le gouvernement du pays bénéficiaire paiera sur le Don à l'Agent les frais encourus pour les services rendus. Dans le cas du présent projet, Japan International Coopération System (ci-après désignée par « JICS »), qui est l'unique organisme spécialisé en approvisionnement au Japon, sera chargée des services d'approvisionnement, d'autant plus qu'une communication et une coordination étroites entre le gouvernement du Japon et la JICA seront nécessaires pour que le Don puisse être exécutée dans les meilleures conditions possibles.

6) « Approbation » de l'Accord d'Agent

L'Accord entre le gouvernement du pays bénéficiaire ou son représentant autorisé et l'Agent sera conclu en « Yens japonais » et doit être « approuvé » par la JICA.

7) Rôle respectif de la JICA et de l'Agent

La JICA exécutera l'étude préparatoire (étude du concept sommaire) du présent projet, assurera la gestion d'exécution et fournira les conseils techniques à l'Agent. L'Agent exécutera le projet, en tant que mandataire du gouvernement du pays bénéficiaire, en lieu et place de celui-ci. La répartition de rôles des différents intervenants sera confirmée par l'Accord de Don (A/D) à conclure avec le gouvernement du pays bénéficiaire après la conclusion de l'Echange de Notes et de l'Arrangement concernant les Modalités d'Application.

8) Sélection du consultant pour la supervision des travaux de construction

Pour la supervision des travaux de construction des installations, l'Agent engagera contractuellement un consultant ayant des connaissances professionnelles sur le Don.

Au cas où il serait jugé indispensable d'utiliser pour le concept sommaire et la supervision des travaux de construction le même consultant que celui qui aura réalisé l'étude du concept sommaire, pour que le projet puisse être exécuté dans les meilleures conditions possibles, la JICA peut recommander au pays bénéficiaire d'utiliser le consultant qui aura été envoyé au pays bénéficiaire pour l'étude du concept sommaire comme consultant pour la supervision des travaux de construction.

Les rôles du consultant chargé de la supervision des travaux de construction sont tels qu'ils sont décrits ci-après :

【Stade de la soumission】

Le consultant chargé de la supervision des travaux de construction effectuera une évaluation technique de l'appel d'offres exécutée par l'Agent.

【Stade de la supervision des travaux de construction】

En principe le consultant chargé de la supervision des travaux de construction assumera les responsabilités concernant la qualité des travaux exécutés, la maîtrise de sécurité et la maîtrise du planning d'exécution des travaux. Toutefois, l'étendue de sa responsabilité sera définie séparément en tenant compte des lois, règlements et coutumes du pays bénéficiaire.

- a) Il effectuera la visite des chantiers de construction dont la fréquence et le contenu des activités doivent être conformes aux cahiers des charges de la commande, réalisera les inspections sur la qualité des travaux exécutés, le respect du planning d'exécution des travaux et la maîtrise de sécurité et élaborera périodiquement un rapport destiné à l'Agent ;
- b) Lorsque l'entreprise de construction effectue la demande de paiement à l'Agent, il effectuera une inspection sur l'état d'avancement des travaux et communiquera le résultat de ladite inspection à l'Agent ;
- c) Il effectuera les inspections de réception et communiquera leurs résultats à l'Agent ;
- d) Il effectuera les inspections de défauts un (1) an plus tard et communiquera leurs résultats à l'Agent.

9) Organisation de mise en œuvre du projet

La partie japonaise et la partie djiboutienne mettront en place un comité consultatif (ci-après dénommé « Comité ») pour l'exécution rapide et adéquate du Projet du projet, conformément à l'Echange de Notes et à l'Accord de Don. En outre, selon les besoins, comme structure relevant dudit comité, un groupe de travail présidé par le gouvernement du pays bénéficiaire sera aussi mis en place pour confirmer les orientations du projet en concertation entre les membres.

10) Dispositions à prendre par le gouvernement du pays bénéficiaire

Lors de l'exécution de l'Aide Non-Remboursable au Développement Communautaire, le pays bénéficiaire devra prendre les dispositions suivantes :

- (1) Effectuer un virement au compte de l'Agent du Don et de son intérêt couru pour l'approvisionnement en produits et services en se basant sur l'Accord d'Agent ;
- (2) Les démarches relatives au débarquement et au dédouanement dans le port de débarquement et le transport intérieur des produits achetés au titre du Don doivent être assurées promptement ;
- (3) Les droits de douane, taxes intérieures et/ou autres levées fiscales imposés sur les produits et services approvisionnés au titre des contrats doivent être exonérés ;
- (4) Le Don et son intérêt couru doivent être utilisés de façon pertinente et efficace pour le renforcement de la compétence globale des communautés ;
- (5) Les facilités nécessaires doivent être accordées aux personnes dont les services pourraient être requis en relation avec la fourniture des services au titre des contrats, pour leur entrée et leur séjour dans le pays bénéficiaire pour l'exécution des travaux ;
- (6) A l'expiration de la durée de validité ou au moment où le Don et son intérêt couru auront été complètement utilisés, le relevé de compte doit être remis à la JICA avec les documents

ATG

justificatifs ;

- (7) S'il s'agit de la construction d'infrastructures, les terrains nécessaires à la construction doivent être acquis ;
- (8) Les travaux tels que le terrassement des terrains, les branchements au réseau d'alimentation électrique, au réseau d'eau courante et au réseau d'évacuation des eaux usées et d'autres travaux d'infrastructures et équipements connexes qui auront été jugés nécessaires à travers l'étude menée par la partie japonaise doivent être exécutés.

11) « Usage adéquat »

Le pays bénéficiaire est tenu d'entretenir et d'utiliser les installations construites et les équipements achetés au titre du Don de manière adéquate et efficace et d'affecter le personnel nécessaire pour son exploitation et sa maintenance.

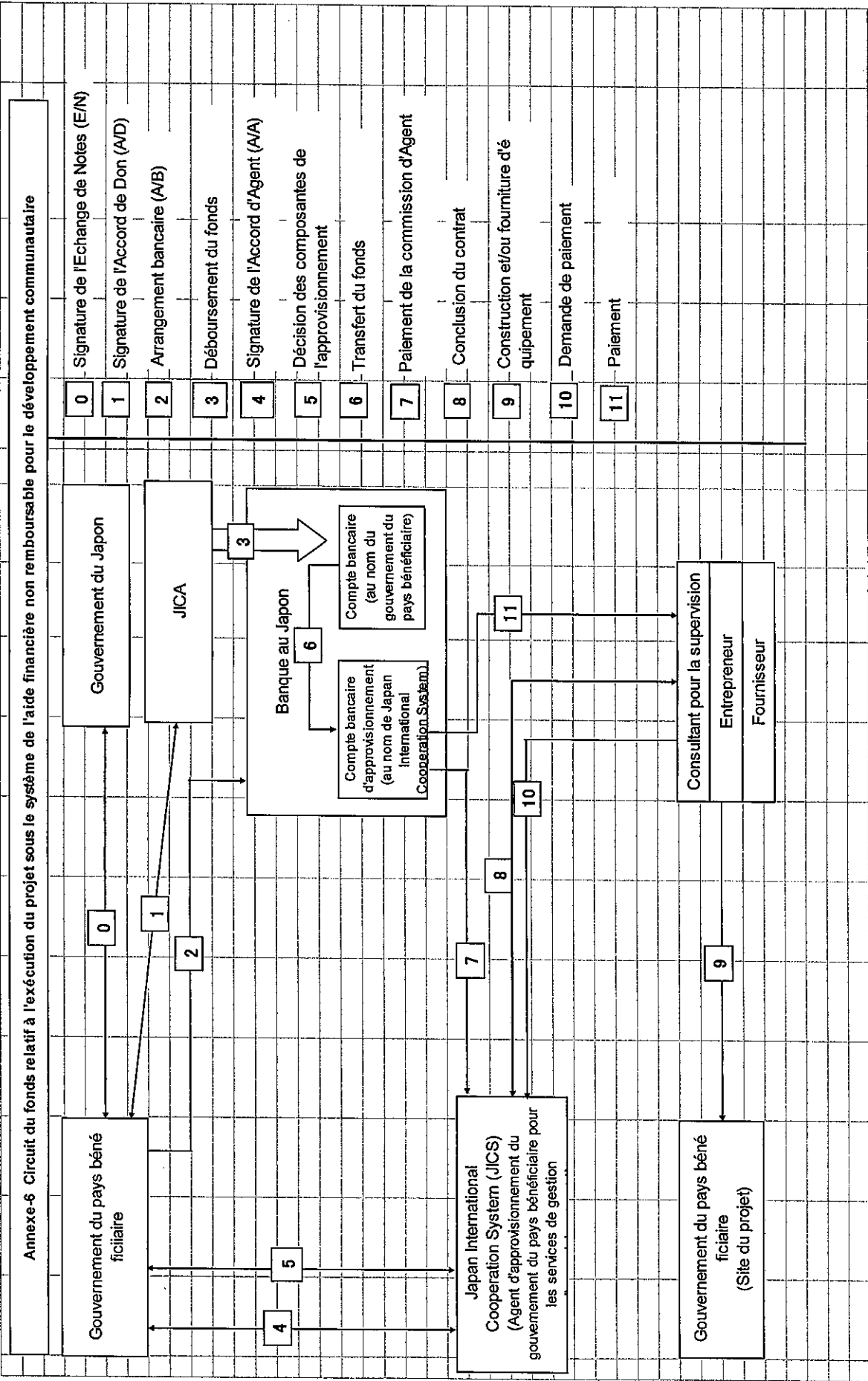
Il est également tenu de prendre en charge toutes les dépenses relatives à l'exploitation et à la maintenance nécessaires à la mise en œuvre du projet autres que celles couvertes par le Don.

12) « Réexportation »

Les produits achetés par le biais du Don ne doivent pas être réexportés du pays bénéficiaire.

4726

AS



Handwritten initials or signature in the bottom left corner.

Handwritten initials or signature in the bottom right corner.

Annexe-7 : Schéma d'exécution de l'Aide financière non remboursable pour le développement communautaire		
1	Conclusion de l'Echange de Notes (E/N)	Le gouvernement du pays bénéficiaire et le gouvernement du Japon concluent l'Echange de Notes (E/N) après approbation de l'aide financière non remboursable pour le développement communautaire par le gouvernement du Japon
2	Conclusion de l'Arrangement bancaire (A/B)	Le gouvernement du pays bénéficiaire et une banque japonaise (Banque Tokyo-Mitsubishi-UFJ) concluent l'arrangement bancaire (A/B) pour ouvrir un compte bancaire au nom du gouvernement du pays bénéficiaire. Ce compte bancaire est appelé "le compte du bénéficiaire".
3	Déversement du fonds	Suite à l'E/N, l'A/D et l'A/B, le montant total de l'aide financière non remboursable est transféré dans le "compte du bénéficiaire".
4	Conclusion de l'Accord d'Agent (A/A)	Dès que l'E/N et l'A/D sont signés, JICS conclut un Accord d'Agent (A/A) avec le gouvernement du pays bénéficiaire. JICS va expliquer sur les procédures d'approvisionnement, la responsabilité du gouvernement du pays bénéficiaire et de JICS, et la rémunération de JICS comme un Agent.
5	Transfert du fonds de l'Aide financière non remboursable	Avant de commencer les services d'approvisionnement, le fonds de l'aide est transféré du "compte du bénéficiaire" au "compte d'approvisionnement de JICS". JICS prend alors toute la responsabilité pour gérer le fonds de l'aide financière non remboursable jusqu'à la fin du paiement pour les services d'approvisionnement. Avec la signature de l'autorisation de déboursement global (ADG), le gouvernement du pays bénéficiaire désigne JICS comme son représentant et donne mandat pour transférer tout le fonds de ce projet au nom du gouvernement du pays bénéficiaire.
6	Paiement de la commission de l'Agent	Le gouvernement du pays bénéficiaire doit payer à JICS la commission d'Agent pour ses services à rendre selon l'Accord d'Agent. La commission d'Agent doit être payé à JICS à partir du fonds transféré au compte d'approvisionnement de JICS.
7	Sélection du consultant pour la supervision	JICA recommande le même consultant pour la supervision qui a assuré l'étude du concept sommaire.
8	Sélection de l'entrepreneur	JICS sélectionne l'entrepreneur, suite au résultat de l'étude fourni par le consultant.
	(1) Préparation du dossier d'appel d'offres	JICS prépare le dossier d'appel d'offres pour sélectionner l'entrepreneur, suite au résultat de l'étude du concept sommaire et aux informations fournies par le consultant.
	(2) Notice général d'approvisionnement (NGA) et pré-qualification des soumissionnaires prévus	JICS publie l'avis d'appel d'offres par l'avis d'approvisionnement général dans les journaux largement lus et sur le site web de JICS. Ensuite JICS évalue l'éligibilité des entreprises enregistrées pour l'appel d'offres.
	(3) Soumission et évaluation de la soumission	JICS organise une séance de soumission par l'appel d'offres ouvert international ou par d'autres méthodes appropriées. La soumission est évaluée par JICS et un adjudicataire est déterminé selon l'accord entre les parties concernées.
	(4) Conclusion du contrat	Le contrat est conclu entre JICS et l'adjudicataire.
9	Approvisionnement des produits	JICS approvisionne les équipements dont la fourniture a été agréée pour le projet avec les manières suivantes.
	(1) Préparation du dossier d'appel d'offres	Même que le n°8.
	(2) Notice général d'approvisionnement (NGA) et pré-qualification des soumissionnaires prévus	
	(3) Soumission et évaluation de la soumission Evaluation	
	(4) Conclusion du contrat	
10	Construction des écoles et fourniture des équipements	JICS informe le gouvernement du pays bénéficiaire de la construction et du calendrier de livraison. S'il y a des problèmes, JICS coopère avec le gouvernement du pays bénéficiaire, la JICA et l'Ambassade du Japon afin de résoudre des problèmes conformément au contrat. Le gouvernement du pays bénéficiaire doit prendre des mesures nécessaires pour faciliter le dédouanement et l'exonération des taxes.
11	Paiement pour les produits et services	Lorsque les documents nécessaires pour le paiement sont présentés par l'entrepreneur (consultant et fournisseur), JICS examine leur contenu, et si les documents sont complets, il effectue le paiement à partir du compte d'approvisionnement de JICS au contractant.
12	Exécution du programme des composantes soft	Au cas où un programme des composantes soft serait exécuté, JICS sélectionne un (des) ONG ou d'autres agences pour exécution du programme, conclue un contrat et effectue le paiement.

ATC

AS

Annexe-8 : Principales dispositions à prendre par les gouvernements des deux pays

No	Elément	Couvert par le Don	Couvert par le pays bénéficiaire
1	Accueillir une(des) parcelle(s) de terrain nécessaires(s) pour l'exécution du projet, et aménager les sites.		●
2	Fournir les installations et équipements auxiliaires		
	1) Toilettes et source d'eau		
	a. Toilettes	●	
	b. Distribution de l'eau jusqu'au site/puit dans le site.		●
	2) Mobilier et équipement	●	
3	Prendre en charge les commissions de paiement à la banque au Japon pour les services bancaires sur la base de l'A/B		●
4	Assurer le dédouanement rapide, et assister le transport intérieur des produits dans le pays bénéficiaire		●
	1) Transport maritime (aérien) des produits au pays bénéficiaire jusqu'à l'entrée du pays bénéficiaire.	●	
	2) Transport interne entre le port de débarquement et le site du projet	●	
5	Assurer l'exonération des droits de douane, des taxes intérieures et d'autres levées fiscales qui pourraient être imposées dans le pays bénéficiaire en matière d'achat des composantes du projet ainsi que l'emploi de l'Agent.		●
6	Accorder aux nationaux japonais et/ou aux nationaux du pays tiers, y compris ceux qui sont employés par l'Agent, dont les services seront nécessaires pour la fourniture des composantes, les facilités nécessaires pour leur entrée et séjour dans le pays bénéficiaire, en vue du fonctionnement de leur travail.		●
7	Assurer que les installations et les composantes soient maintenues et utilisées adéquatement et efficacement pour l'exécution du projet		●
8	Supporter toutes les dépenses, autres que celles sont couvertes par le Don et ses intérêts courus, nécessaires pour l'exécution du projet		●

ATL6

NS

マリ共和国
第四次小学校建設計画
概略設計調査Ⅰ
協議議事録

マリ共和国政府より提出された要請に基づき、日本政府は「第四次小学校建設計画」（以下「プロジェクト」と称する）に関する概略設計調査を行うことを決定し、本調査の実施を独立行政法人国際協力機構（以下「JICA」と称する）に委託した。

JICAは、マリ共和国へ人間開発部基礎教育グループ基礎教育第二課長丹原一広を団長とする概略設計調査団（以下「調査団」と称する）を派遣し、2010年4月4日より2010年4月18日まで同国に滞在する予定である。

協議および現地調査の結果、両者は付属書に記載された主要な項目を確認した。

マリ共和国バマコ市 2010年4月9日

丹原 一広
団長
概略設計調査団
独立行政法人国際協力機構
日本

Abou DIARRA
教育地方分権化・分散化推進室長
教育・識字・国語省
マリ共和国

付属書

1. プロジェクトの目的

本プロジェクトの目的は、教室施設の建設・建替え・拡充、及び家具の供与を通して、クリコロ州、カイ州、バマコ特別区における小学校の教育環境を改善することである。

2. プロジェクト対象地域

本プロジェクトの対象地域は、クリコロ州（クリコロ及びカティの教育アカデミー管轄下）、カイ州（キタ教育アカデミー管轄下）、バマコ特別区（バマコ右岸及び左岸の教育アカデミー管轄下）とする。（別紙1参照）

3. 相手国実施責任機関

3-1. 本プロジェクトの責任機関は、マリ国教育・識字・国語省である。

3-2. 本プロジェクトの実施機関は、マリ国教育・識字・国語省／教育地方分権化・分散化推進室が行う。

3-3. 教育・識字・国語省の組織図は、別紙2に示すとおりである。

4. 要請内容

協議を通じて、マリ国側は以下に示す内容を最終的な要請内容として提示し、日本側はこれを確認した。両者は、日本の無償資金協力の対象となる協力内容はサイト調査および国内解析を通じて決定され、要請のあった全ての内容が必ずしも計画の対象とはならないことを確認した。

4-1. 対象校

別紙3に示されるクリコロ州、カイ州、バマコ特別区内の要請校の中から、別紙4に示される選定基準に従って対象校を選定することで両者合意した。なお、今回の現地調査Ⅰの結果に基づき、次回の現地調査Ⅱで踏査を行う調査対象校案（50校程度）を選定する。また、次回の現地調査Ⅱの結果に基づき、最終的な対象候補校が決定される。

4-2. 要請施設

教室の建設を基本とする。ただし、マリ国の小学校施設標準に基づき、校長室・トイレ・倉庫が未整備の対象校についてはこれらの施設を建設することとする。

4-3. 要請機材

教室家具を供与する。

5. 日本の無償資金協力制度

5-1. マリ国側は、別紙5、別紙6、別紙7、および別紙8に記載されている日本のコミュニティ開発支援無償資金協力制度について十分に理解した。

5-2. マリ国側は、無償資金協力が実施される場合、プロジェクトの円滑な実施のために別紙8に記載されているとおりの必要な措置を行う。

6. 調査のスケジュール

- 6-1. 本調査団コンサルタントは、引き続き 2010 年 4 月 18 日まで調査を継続する。
- 6-2. JICA は本調査を踏まえ協力計画案を作成した上で、2010 年 5 月頃にマリ国へ概略設計Ⅱ調査団を派遣する。
- 6-3. JICA は概略設計概要書を作成したのち、その内容説明のため 2010 年 10 月頃にマリ国へ概略設計概要書説明調査団を派遣する。
- 6-4. 概略設計概要書がマリ国政府に合意された場合、JICA は概略設計調査最終報告書を完成し、これを 2011 年 3 月頃マリ国政府へ送付する。

7. その他協議事項

新教育政策の実施により、現行のサイクル 1・サイクル 2 という区分を廃止し、9 年間の一貫した基礎教育制度になることをマリ側は説明した。

別紙 1：対象サイト地図

別紙 2：教育・識字・国語省組織図

別紙 3：要請校リスト

別紙 4：選定基準案

別紙 5：コミュニティ開発支援無償資金協力制度概要

別紙 6：コミュニティ開発支援無償資金協力における資金の流れ

別紙 7：コミュニティ開発支援無償資金協力における実施の流れ

別紙 8：被援助国に求められる主な措置

(※本和訳には別紙 4 の和訳のみ添付。)

別紙4：選定基準案

【選定条件】

- 土地所有権または使用権が書面で確認できること。
- 他ドナー又は政府による整備計画と重複のないこと。
- 自然災害による被災可能性や治安上の問題がないこと。
- 施工および施工監理上の支障がないこと。(アクセス、広さ、地勢等)
- 就学需要、施設整備のニーズが明確なこと。
- 対象となる学校への教員の確保が担保されていること。

【優先順位付けの基準】

- 就学需要の高い学校を優先する(生徒数の急増、就学率の向上など)。
- 施設整備のニーズが高い学校を優先する(教室混雑度、不完全校、複式学級、入学制限、2部制、老朽化など)。
- 施工管理の観点から幹線道路からのアクセスのよい学校を優先する。
- 学校運営委員会(CGS)が設置されており、学校運営・維持管理体制がよい学校を優先する。

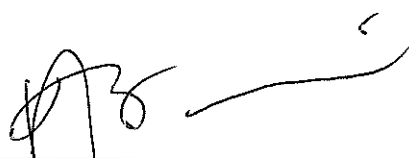
**PROCES VERBAL DES DISCUSSIONS
RELATIF A L'ETUDE DU CONCEPT SOMMAIRE II
POUR LE PROJET DE CONSTRUCTION ET D'EQUIPEMENT
D'ECOLES FONDAMENTALES PREMIER CYCLE
PHASE IV
EN REPUBLIQUE DU MALI**

En réponse à la requête introduite par le gouvernement de la République du Mali (ci-après désignée « le Mali »), le gouvernement du Japon a décidé d'exécuter une étude du concept sommaire relative au Projet de construction et d'équipement d'écoles fondamentales premier cycle phase IV (ci-après désigné « le Projet ») et a confié l'exécution de l'étude à l'Agence Japonaise de Coopération Internationale (ci-après désignée « la JICA »).

La JICA a envoyé au Mali une mission d'étude du concept sommaire (ci-après désignée « la Mission ») dirigée par Monsieur Kazuhiro TAMBARA, Directeur de la 2^{ème} Division d'enseignement de base, Groupe d'enseignement de base, Département de développement humain, qui y séjournera du 29 août au 6 octobre 2010.

Au terme des discussions et de l'étude sur le terrain, les deux parties ont confirmé les principaux éléments indiqués en Appendice.

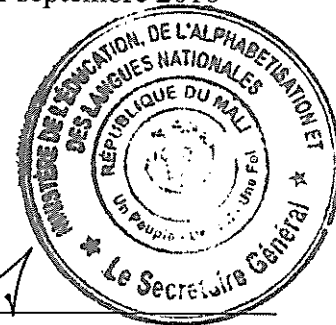
Fait à Bamako, le 1er septembre 2010



M. Kazuhiro TAMBARA
Chef de Mission
Mission d'étude du concept sommaire
Agence Japonaise de Coopération
Internationale (JICA)
Japon



Pr. Denis DOUGNON
Secrétaire Général
Ministère de l'Education, de
l'Alphabétisation et des
Langues Nationales
République du Mali



APPENDICE

1. Objectif du Projet

L'objectif du Projet est d'améliorer l'environnement scolaire des écoles fondamentales premier cycle dans les Régions de Koulikoro et Kayes ainsi que le District de Bamako à travers la construction, le remplacement ou l'extension de salles de classe existantes et la fourniture du mobilier scolaire.

2. Ecoles faisant l'objet de l'étude

A travers des discussions, les deux parties ont confirmé les écoles faisant l'objet de l'étude comme mentionnées dans l'Annexe 1. Les écoles de Kolokani B, Guihoyo, N'tiobougou, Djinadjabougou dans le CAP de Kolokani de la Région de Koulikoro ne figuraient pas dans la requête lors de l'Etude du concept sommaire I. Cependant, la partie malienne a formulé son souhait d'intégrer ces quatre établissements dans la liste des écoles faisant l'objet de l'étude, étant donné que celles-ci sont couvertes par le projet d'Appui au Comité de Gestion Scolaire appuyé aussi par la JICA. La prise en compte des dites écoles dans ce projet permettrait de créer une meilleure synergie entre les deux projets. Et la Mission l'a accepté.

3. Système de la coopération financière non remboursable du Japon

La Mission a expliqué à nouveau à la partie malienne le système et les procédures d'exécution concernant ce Projet, et la partie malienne a pris bonne note. D'autre part, la partie malienne a compris et accepté les mesures à prendre pour le bon déroulement du Projet (cf. Annexe 2).

4. Calendrier de l'étude

4-1 Les membres consultants de la Mission poursuivront l'étude jusqu'au 6 octobre 2010.

4-2 Suite aux résultats de la présente étude et après avoir établi le rapport abrégé de l'étude du concept sommaire, la JICA enverra au Mali une mission d'étude d'explication du contenu dudit rapport vers le mois de janvier 2011.

4-3 Au cas où le gouvernement du Mali accepterait le contenu du rapport abrégé de l'étude du concept sommaire, la JICA finalisera ledit rapport et le fera parvenir au gouvernement du Mali vers le mois de mai 2011.

5. Autres points discutés

5-1 Les deux parties ont confirmé l'importance de l'exécution rapide des procédures d'exonération des taxes et des droits de douane en vue de l'achèvement du Projet dans le délai prévu. La partie malienne s'est engagée à faire le nécessaire pour l'obtention de l'arrêté d'exonération dans un délai de trois mois après l'approbation du contrat avec l'agent d'approvisionnement.

5-2 La Mission a expliqué que la partie malienne doit ouvrir un compte bancaire au nom du gouvernement du Mali dans un délai stipulé dans l'Accord de Don (A/D) (dans 14 jours en général) et devra informer par écrit le Bureau de la JICA au Sénégal dans un délai prescrit (dans 7 jours en général). Et la partie

maliennne l'a accepté.

- 5-3 En plus des infrastructures et des équipements qui ont été confirmés comme les composantes du Projet par le Procès-verbal des discussions signé le 9 avril 2010, les deux parties ont convenu d'envisager d'ajouter une composante soft.

Annexe 1 : Liste des écoles faisant l'objet de l'étude

Annexe 2-1 : Aperçu du système de la coopération financière non remboursable pour le développement communautaire

2-2 : Circuit du fonds relatif à l'exécution du projet sous le système de l'aide financière non remboursable pour le développement communautaire

Annexe 1 : Liste des écoles faisant l'objet de l'étude

Région de Koulikoro

	AE	CAP	Ecole
1	KATI	Dioila (5)	Diarani
2			Zéta
3			Diana
4			Fadabougou
5			Banco
6		Fana (5)	Werekela
7			Fana CII
8			Fana Extension Ouest
9			Fana B
10			Ouolodo
11		Kalabancoro (5)	Samaké
12			Kalabancoro Extension
13			Kalabancoro I Nérékoro
14			Talko II
15			Adeken
16		Kati (5)	Camp B
17			Sirablo Dogoba
18			Tongon II
19			Konsolo
20			Yélékébougou
21	Koulikoro	Koulikoro (5)	Dianégoubougou Central
22			Tiomadio
23			Kolébougou
24			Cholabougou
25			Kossaba
26		Baramba (5)	Tota
27			Kokoni
28			Kiban I cycle B
29			Soya Kagaro
30			Touba I cycle B
31		Kolokani (5)	Kolokani B
32			Guihoyo
33			N'tiobougou
34			Djindjabougou
35			Balka

Région de Kayes

	AE	CAP	Ecole
1	Kita	Kital (5)	Dialakoni
2			Ségoubougouni
3			Farabala I cycle
4			Kofoulabé I cycle
5			Kantila
6		KitalI (5)	Kouléko
7			Sangarébougou
8			Bandikol
9			Kabé
10			Bouloufi

District de Bamako

	AE	CAP	Ecole
1	Rive Gauche (8)	Dielbougou	Nafadjji
2		Barconi	Sourakabougou
3		Hippodrome	Hippodrome extension
4		Bozola	Bougouba
5		Bamako Coura	Samé
6		Centre Commercial	Point G.
7		Lafiabougou	Talko
8		Sebenikoro	Camp Para
9	Rive droite (7)	Barankabougou	Ecole de Sagoninko
10			Groupe scolaire de Magnambougou Projet
11		Faladié	Groupe scolaire de Dianeguela
12			Groupe scolaire de Yirimadio A
13			Groupe scolaire de Senou Base
14		Kalaban coura	Groupe scolaire de Sabalibougou
15			Groupe scolaire de Baco Djicoroni

Handwritten signatures and initials:

Annexe 2-1 : Aperçu du système de la coopération financière non remboursable pour le développement communautaire

Aide Non-Remboursable au Développement Communautaire

Le Don japonais est un programme d'aide qui met à la disposition des pays bénéficiaires des fonds, et ce sans obligation de remboursement. Il consiste à accorder en application des lois et des ordonnances du Japon, le financement nécessaire permettant aux pays bénéficiaires de se procurer des installations, des équipements et services (technologie, transport, etc.) utiles au développement socio-économique national. Le gouvernement japonais n'offre pas de programmes d'approvisionnement directs de matériaux, d'équipements et d'installations ni de contributions en nature.

Le Don japonais comporte plusieurs schémas suivant l'objectif de l'aide. L'Aide Non-Remboursable au Développement Communautaire est un des schémas du Don qui consiste à fournir un soutien au renforcement des compétences globales des communautés qui sont confrontées à des menaces sur la vie et sur la sécurité, notamment la pauvreté, la famine, les épidémies, etc.

L'Aide Non-Remboursable au Développement Communautaire permet d'exécuter plusieurs composantes (écoles, routes, eau, etc.) de manière cohérente en tant que programme en vue d'assurer une meilleure efficacité des démarches par une articulation organique entre elles. De même, lorsqu'il s'agit d'une aide dans un seul secteur, le projet est mis en œuvre par l'adoption de spécifications et de conceptions locales et l'utilisation positive d'entreprises, matériels et matériaux locaux pour améliorer la compétitivité, et ce, afin de pouvoir réduire sensiblement les coûts et assurer une meilleure efficacité par rapport aux aides générales.

(1) Procédures de l'Aide Non-Remboursable au Développement Communautaire

L'Aide Non-Remboursable au Développement Communautaire du Japon est exécutée selon les procédures suivantes.

A la première étape, la « requête » présentée par le gouvernement du pays bénéficiaire, y compris les organismes internationaux (cette remarque s'applique chaque fois que le terme « pays bénéficiaire » est utilisé) est examinée par le gouvernement japonais (le Ministère des Affaires étrangères) afin de déterminer si celle-ci est pertinente dans le cadre du Don japonais. Dans le cas où il serait confirmé que la requête est prioritaire en tant que projet du Don, le gouvernement japonais demande à la JICA de procéder à une étude.

A la deuxième étape, l'étude (étude du concept sommaire) est exécutée par la JICA, qui en principe aura conclu un contrat avec un consultant japonais chargé de sa réalisation.

A la troisième étape qui consiste en l'examen et l'approbation, le présent projet est examiné par le gouvernement japonais qui déterminera, sur la base du résultat de l'étude du concept sommaire menée par la JICA à la deuxième étape, si celui-ci est pertinent en tant qu'Aide Non-Remboursable au Développement Communautaire, avant d'être soumis à l'approbation du Conseil des ministres du gouvernement japonais.

A la quatrième étape, le projet approuvé par le Conseil des ministres est officiellement déterminé par la signature de l'Echange de Notes (E/N) entre les deux gouvernements, et le projet de l'Aide Non-Remboursable au Développement Communautaire entre en phase d'exécution après la signature de

l'Accord de Don (A/D) entre la JICA et le gouvernement du pays bénéficiaire.

A la cinquième étape, le projet de l'Aide Non-Remboursable au Développement Communautaire est exécuté par le gouvernement du pays bénéficiaire. Le projet constitué entre autre de la construction d'installations est exécuté par l'entremise d'un agent japonais chargé de l'approvisionnement (ci-après dénommé « Agent ») qui intervient de manière neutre pour que le Don japonais puisse être exécuté de façon adéquate et dans les meilleures conditions possibles. L'Agent fournira, en tant que mandataire du gouvernement du pays bénéficiaire, en vertu du contrat pour les services d'approvisionnement conclu entre le gouvernement du pays bénéficiaire et l'Agent, les services relatifs à l'appel d'offres, à la conclusion des contrats avec les adjudicataires et d'autres services, pour le compte du gouvernement du pays bénéficiaire.

(2) Statut de l'étude

1) Contenu de l'étude préparatoire (étude du concept sommaire)

Le but de l'étude (étude du concept sommaire) exécutée par la JICA est de fournir un document de base permettant au gouvernement japonais de déterminer si le projet est viable ou non dans le cadre du programme de l'Aide Non-Remboursable au Développement Communautaire. Le contenu de l'étude est le suivant :

- Confirmer l'arrière plan de la requête, les objectifs et les effets du projet ainsi que les capacités de gestion et de maintenance du pays bénéficiaire nécessaires à l'exécution du projet ;
- Evaluer la pertinence de l'Aide Non-Remboursable au Développement Communautaire du point de vue technologique et socio-économique ;
- Confirmer le concept de base du projet convenu après discussions entre les deux parties ;
- Elaborer un concept sommaire du projet ;
- Estimer les coûts approximatifs du projet ;
- Exécuter un concept détaillé consécutif au concept sommaire et élaborer au cours de l'étude « les documents de base de la soumission » d'un niveau à répondre à la soumission sur place.

Il est bien entendu que le contenu de la requête n'est pas obligatoirement approuvé en tant que contenu pouvant faire l'objet d'une aide. Le concept de base du projet est examiné par rapport au cadre du Don japonais.

Par ailleurs, le gouvernement japonais demande au gouvernement du pays bénéficiaire de prendre toutes les mesures qui pourraient s'avérer nécessaires pour assurer son appropriation lors de l'exécution du projet. Ces mesures doivent être garanties, même si elles n'entrent pas dans la juridiction de l'organisme en charge de l'exécution du projet du pays bénéficiaire. Par conséquent, l'exécution du projet doit être confirmée par toutes les organisations concernées du pays bénéficiaire par la signature des procès verbaux des discussions.

2) Sélection du consultant

Pour la mise en œuvre de l'étude, la JICA effectue une sélection parmi les consultants de nationalité japonaise enregistrés auprès de la JICA, après avoir procédé à un examen des propositions soumises par ces derniers. Le consultant sélectionné procède à l'étude du concept sommaire et élabore le rapport sur la base

de références fournies par la JICA.

(3) Schéma de l'Aide Non-Remboursable au Développement Communautaire

1) Echange de Notes (E/N)

Le Don est accordé conformément aux Notes échangées entre les deux gouvernements et dans lesquelles sont confirmés, entre autres, les objectifs, le montant, les conditions d'exécution du Don.

2) Signature de l'Accord de Don (A/D)

Conformément aux Note échangées entre les deux gouvernements, la JICA et le gouvernement du pays bénéficiaire conclut un Accord de Don (A/D) dont lequel sont conformés, entre autres, les produits et les services à approvisionner, le détail des procédures.

3) Banque

Le gouvernement du pays bénéficiaire ou son représentant autorisé devra ouvrir un compte à son nom dans une banque au Japon (ci-après dénommée la « Banque »). La JICA exécutera le Don en procédant au transfert du montant total approuvé par le Conseil des ministres en Yens japonais dans le compte bancaire susmentionné.

4) Durée de validité

Le montant octroyé doit être utilisé avant la date limite stipulée dans l'Accord de Don (A/D) à compter de la date du transfert pour la passation des marchés et les contrats. Toutefois la durée de validité peut être prolongée sur l'accord entre la JICA et le gouvernement du pays bénéficiaire.

5) Emploi de l'Agent

Après que l'exécution du Don aura été déterminée par la conclusion de l'Echange de Notes ainsi que l'Accord de Don, le montant total du Don sera mis à la disposition, et le projet qui consiste entre autres en la supervision de l'approvisionnement en produits et services, la gestion financière, et la construction des installations sera exécuté par l'Agent, afin de réaliser le développement de communautés de manière prompte et flexible. L'Agent est une entité chargée de l'exécution du projet en tant que mandataire du gouvernement du pays bénéficiaire pour le compte de ce dernier, et à ce titre il assure la gestion financière, l'approvisionnement en produits et services et la supervision de l'exécution. Le gouvernement du pays bénéficiaire et l'Agent concluront un contrat de prestation de service pour l'approvisionnement, et le gouvernement du pays bénéficiaire paiera sur le Don à l'Agent les frais encourus pour les services rendus. Dans le cas du présent projet, Japan International Coopération System (ci-après désignée par « JICS »), qui est l'unique organisme spécialisé en approvisionnement au Japon, sera chargée des services d'approvisionnement, d'autant plus qu'une communication et une coordination étroites entre le gouvernement du Japon et la JICA seront nécessaires pour que le Don puisse être exécutée dans les meilleures conditions possibles.

6) « Approbation » de l'Accord d'Agent

L'Accord entre le gouvernement du pays bénéficiaire ou son représentant autorisé et l'Agent sera

conclu en « Yens japonais » et doit être « approuvé » par la JICA.

7) Rôle respectif de la JICA et de l'Agent

La JICA exécutera l'étude préparatoire (étude du concept sommaire) du présent projet, assurera la gestion d'exécution et fournira les conseils techniques à l'Agent. L'Agent exécutera le projet, en tant que mandataire du gouvernement du pays bénéficiaire, en lieu et place de celui-ci. La répartition de rôles des différentes intervenants sera confirmée par l'Accord de Don (A/D) à conclure avec le gouvernement du pays bénéficiaire après la conclusion de l'Echange de Notes et de l'Arrangement concernant les Modalités d'Application.

8) Sélection du consultant pour la supervision des travaux de construction

Pour la supervision des travaux de construction des installations, l'Agent engagera contractuellement un consultant ayant des connaissances professionnelles sur le Don.

Au cas où il serait jugé indispensable d'utiliser pour le concept sommaire et la supervision des travaux de construction le même consultant que celui qui aura réalisé l'étude du concept sommaire, pour que le projet puisse être exécuté dans les meilleures conditions possibles, la JICA peut recommander au pays bénéficiaire d'utiliser le consultant qui aura été envoyé au pays bénéficiaire pour l'étude du concept sommaire comme consultant pour la supervision des travaux de construction.

Les rôles du consultant chargé de la supervision des travaux de construction sont tels qu'ils sont décrits ci-après :

【Stade de la soumission】

Le consultant chargé de la supervision des travaux de construction effectuera une évaluation technique de l'appel d'offres exécutée par l'Agent.

【Stade de la supervision des travaux de construction】

En principe le consultant chargé de la supervision des travaux de construction assumera les responsabilités concernant la qualité des travaux exécutés, la maîtrise de sécurité et la maîtrise du planning d'exécution des travaux. Toutefois, l'étendue de sa responsabilité sera définie séparément en tenant compte des lois, règlements et coutumes du pays bénéficiaire.

- a) Il effectuera la visite des chantiers de construction dont la fréquence et le contenu des activités doivent être conformes aux cahiers des charges de la commande, réalisera les inspections sur la qualité des travaux exécutés, le respect du planning d'exécution des travaux et la maîtrise de sécurité et élaborera périodiquement un rapport destiné à l'Agent ;
- b) Lorsque l'entreprise de construction effectue la demande de paiement à l'Agent, il effectuera une inspection sur l'état d'avancement des travaux et communiquera le résultat de ladite inspection à l'Agent ;
- c) Il effectuera les inspections de réception et communiquera leurs résultats à l'Agent ;
- d) Il effectuera les inspections de défauts un (1) an plus tard et communiquera leurs résultats à l'Agent.

9) Organisation de mise en œuvre du projet

La partie japonaise et la partie malienne mettront en place un comité consultatif (ci-après

dénoté « Comité ») pour l'exécution rapide et adéquate du Projet , conformément à l'Echange de Notes et à l'Accord de Don. En outre, selon les besoins, comme structure relevant dudit comité, un groupe de travail présidé par le gouvernement du pays bénéficiaire sera aussi mis en place pour confirmer les orientations du projet en concertation entre les membres.

10) Dispositions à prendre par le gouvernement du pays bénéficiaire

Lors de l'exécution de l'Aide Non-Remboursable au Développement Communautaire, le pays bénéficiaire devra prendre les dispositions suivantes :

- (1) Effectuer un virement au compte de l'Agent du Don et de son intérêt couru pour l'approvisionnement en produits et services en se basant sur l'Accord d'Agent ;
- (2) Les démarches relatives au débarquement et au dédouanement dans le port de débarquement et le transport intérieur des produits achetés au titre du Don doivent être assurées promptement ;
- (3) Les droits de douane, taxes intérieures et/ou autres levées fiscales imposés sur les produits et services approvisionnés au titre des contrats doivent être exonérés ;
- (4) Le Don et son intérêt couru doivent être utilisés de façon pertinente et efficace pour le renforcement de la compétence globale des communautés ;
- (5) Les facilités nécessaires doivent être accordées aux personnes dont les services pourraient être requis en relation avec la fourniture des services au titre des contrats, pour leur entrée et leur séjour dans le pays bénéficiaire pour l'exécution des travaux ;
- (6) A l'expiration de la durée de validité ou au moment où le Don et son intérêt couru auront été complètement utilisés, le relevé de compte doit être remis à la JICA avec les documents justificatifs ;
- (7) S'il s'agit de la construction d'infrastructures, les terrains nécessaires à la construction doivent être acquis ;
- (8) Les travaux tels que le terrassement des terrains, les branchements au réseau d'alimentation électrique, au réseau d'eau courante et au réseau d'évacuation des eaux usées et d'autres travaux d'infrastructures et équipements connexes qui auront été jugés nécessaires à travers l'étude menée par la partie japonaise doivent être exécutés.

11) « Usage adéquat »

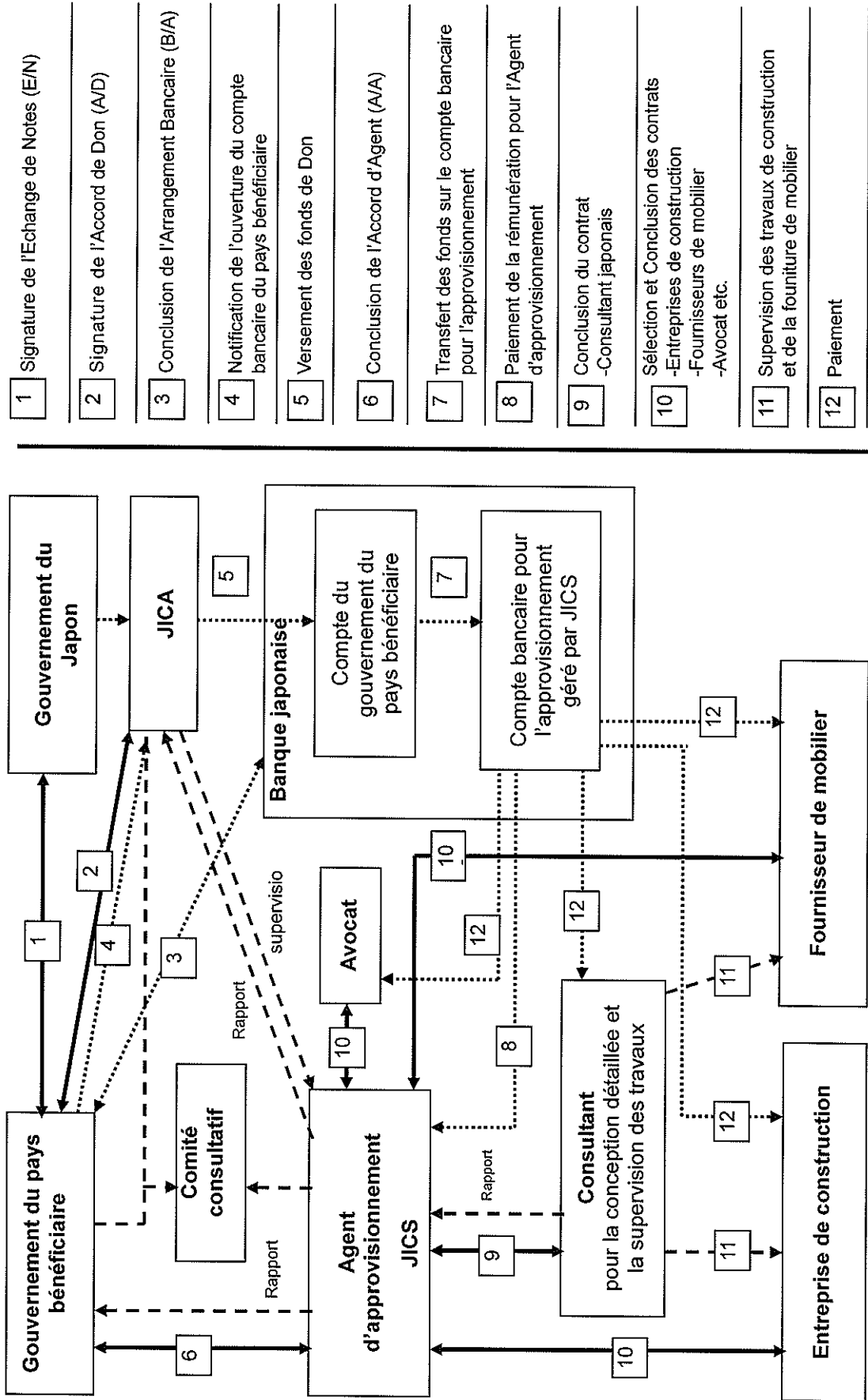
Le pays bénéficiaire est tenu d'entretenir et d'utiliser les installations construites et les équipements achetés au titre du Don de manière adéquate et efficace et d'affecter le personnel nécessaire pour son exploitation et sa maintenance.

Il est également tenu de prendre en charge toutes les dépenses relatives à l'exploitation et à la maintenance nécessaires à la mise en œuvre du projet autres que celles couvertes par le Don.

12) « Réexportation »

Les produits achetés par le biais du Don ne doivent pas être réexportés du pays bénéficiaire.

Annexe 2-2 : Circuit du fonds relatif à l'exécution du projet sous le système de l'aide financière non remboursable pour le développement communautaire



Handwritten signatures and initials: *ATG* and *dg*

マリ共和国
第四次小学校建設計画
概略設計調査Ⅱ
協議議事録

マリ共和国政府（以下「マリ」と称する）より提出された要請に基づき、日本政府は「第四次小学校建設計画」（以下「プロジェクト」と称する）に関する概略設計調査を行うことを決定し、本調査の実施を独立行政法人国際協力機構（以下「JICA」と称する）に委託した。

JICAは、マリ共和国へ人間開発部基礎教育グループ基礎教育第二課長丹原一広を団長とする概略設計調査団（以下「調査団」と称する）を派遣し、2010年8月29日より2010年10月6日まで同国に滞在する予定である。

協議および現地調査の結果、両者は付属書に記載された主要な項目を確認した。

マリ共和国バマコ市 2010年9月1日

丹原 一広
団長
概略設計調査団
独立行政法人国際協力機構
日本

Dénis DOUGNON
次官
教育・識字・国語省
マリ共和国

付属書

1. プロジェクトの目的

本プロジェクトの目的は、教室施設の建設・建替え・拡充、及び家具の供与を通して、クリコロ州、カイ州、バマコ特別区における小学校の教育環境を改善することである。

2. 協力対象候補校

協議を通じて、両者は協力対象候補校として別紙1のとおり合意した。なお、クリコロ州コロカニCAPのKolokani B, Guihoyo, N' tiobougou, Djinadjabougouについては現地調査Iで合意した要請校には含まれていなかったものの、マリ側より上記4校はJICAの支援による学校運営委員会支援プロジェクトの対象校となっており、これら4校を本プロジェクトに含めることで上記二つのプロジェクト双方に最良の相乗効果をもたらすことから、上記4校を対象候補校としたいとの説明がなされ、調査団としてその追加について了解した。

3. 日本の無償資金協力制度について

調査団側はマリ側に対して改めて、本事業の実施体制及び手続きについて説明を行い、マリ側はこれを理解した。また、別紙2に記載されているプロジェクトの円滑な実施のために必要な措置についても、マリ側はこれを理解し、合意した。

4. 調査のスケジュール

- 4-1. 本調査団コンサルタントは、引き続き2010年10月6日まで調査を継続する。
- 4-2. JICAは本調査を踏まえ概略設計概要書を作成したのち、その内容説明のため2011年1月頃にマリ国へ概略設計概要書説明調査団を派遣する。
- 4-3. 概略設計概要書がマリ国政府に合意された場合、JICAは概略設計調査最終報告書を完成し、これを2011年5月頃マリ国政府へ送付する。

5. その他協議事項

- 5-1. 両者は本プロジェクトの早期完工のため迅速な免税措置が行われることが重要であることを確認した。マリ側は、免税にかかる省令が調達代理機関との契約承認後3ヶ月以内に取得されるよう促進することを約束した。
- 5-2. 調査団は、G/Aに記載される期間（通常14日）までに政府口座を開設し、所定の期間（通常7日）内にJICAセネガル事務所に対して書面でその旨通知することを説明し、マリ側は合意した。
- 5-3. 施設・機材コンポーネントは本プロジェクト2010年4月9日付のミニッツで合意されているが、これに加えソフト支援を検討することを両者は合意した。

別紙1：協力対象候補校

別紙2-1：コミュニティ開発支援無償資金協力制度概要

2-2：コミュニティ開発支援無償資金協力における資金の流れ

NOTE TECHNIQUE
RELATIVE A
L'ETUDE PREPARATOIRE II
POUR LE PROJET DE CONSTRUCTION ET D'EQUIPEMENT
D'ECOLES FONDAMENTALES PREMIER CYCLE
PHASE IV
EN REPUBLIQUE DU MALI

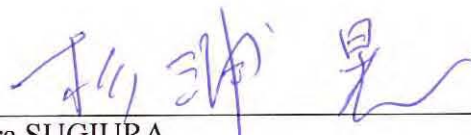
La JICA a envoyé au Mali une mission d'étude préparatoire pour le Projet de construction et d'équipement d'écoles fondamentales premier cycle phase IV (ci-après désigné « Projet »). Après la signature du Procès-verbal des discussions le 1^{er} septembre 2010, l'équipe des consultants (ci-après désignée « Equipe ») a poursuivi des études jusqu'au 6 octobre 2010.

L'Equipe a eu une série de discussions avec la partie malienne et effectué des études sur le terrain dans la zone faisant l'objet de l'étude.


A l'issue des discussions et des études sur le terrain, les deux parties ont confirmé les points principaux mentionnés dans l'Appendice.

Fait à Bamako, le 5 octobre 2010

L'original en français a été établi en deux exemplaires



Akira SUGIURA
Chef du Projet
Mission d'étude préparatoire
Mohri, Architect & Associates, Inc.
Japon



Abou DIARRA
Chef de la Cellule d'Appui à la
Décentralisation/Déconcentration de
l'Education
Ministère de l'Education, de
l'Alphabétisation et des Langues Nationales
République du Mali

APPENDICE

1. Changement de sites

La partie malienne a demandé le changement de sites pour quatre établissements ci-dessous indiqués, faisant l'objet de l'étude. L'Equipe a effectué des études sur lesdites écoles.

No.	AE	CAP	Nom d'école avant modification	Nom d'école après modification
1	KATI	Fana	Fana C II	Fana C I
2	Koulikoro	Koulikoro	Cholabougou	Chola
3	Koulikoro	Banamba	Soya Kagaro	Gsid
4	Kita	Kita II	Bandiko I	Badinko II

2. Liste définitive des écoles faisant l'objet de l'étude

La liste des écoles faisant l'objet de l'étude (60 établissements) est jointe en **Annexe-1**. Les écoles cibles du Projet seront sélectionnées parmi celles qui figurent dans cette liste. Chaque école est indiquée par un numéro de référence.

3. Récupération de questionnaire

L'Equipe n'ayant pas pu récupérer le questionnaire de 14 communes indiquées en **Annexe-2**, la partie malienne s'est engagée à récupérer ces questionnaires et les fera parvenir à l'Equipe.

4. Titre de propriété / droit d'utilisation de terrain

La partie malienne s'est engagée à récupérer tous les titres de propriété ou le droit d'utilisation du terrain par la commune compétente pour 43 écoles figurant en **Annexe-2**. L'équipe a indiqué que la fourniture de cette pièce avant la prochaine mission prévue pour la fin janvier 2011 est une condition pour que l'école soit éligible.

5. Priorisation des écoles faisant l'objet de l'étude

Les deux parties se sont mises d'accord sur la priorisation des écoles faisant l'objet de l'étude selon les critères ci-dessous :

« Facteurs favorisant l'ordre de priorité »

- (1) Ecole à cycle incomplet qui pourra être transformé en cycle complet à travers la construction et l'équipement de salles de classe.
- (2) Ecole dont le ratio maître/élèves est plus de 72 à cause de l'insuffisance de salles de classe.
- (3) Ecole pratiquant la double vacation à cause de l'insuffisance de salles de classe.
- (4) Ecole appliquant la double division à cause de l'insuffisance de salles de classe.
- (5) Ecole limitant le nombre d'élèves lors du recrutement à cause de l'insuffisance de salles de classe.
- (6) Ecole où les cours sont donnés dans les salles de classe délabrées ou provisoires.

« Facteurs défavorisant l'ordre de priorité »

- (1) Ecole nécessitant des travaux d'aménagement importants avant l'exécution du Projet.
- (2) Ecole ayant des salles de classe en construction.
- (3) Ecole ayant un accès difficile.
- (4) Ecole ayant des salles de classe non utilisées.

L'Equipe se référera à cet ordre de priorité lors de l'analyse des résultats au Japon, pour sélectionner les écoles cibles du Projet. La situation de chaque école notée dans le cadre de cette étude est indiquée en **Annexe-3**.

6. Calcul du nombre de salles de classe pour les écoles cibles du Projet

Les deux parties se sont mises d'accord sur le fait que le nombre de salles de classe pour les écoles cibles du Projet sera calculé en principe conformément à la méthode utilisée lors de la phase III du Projet de construction d'écoles primaires de la JICA (ci-après désignée « Phase III »). Toutefois, le nombre d'élèves dans la salle de classe sera estimé sur la base des chiffres collectés dans cette étude. D'autre part, trois types de bloc de salle de classe, à savoir celui de deux salles de classe, de trois salles de classe, de six salles de classe (à étage) seront prévus, en vue de satisfaire aux besoins de chaque école.

En outre, parmi les conditions préalables déterminées lors de la Phase III, les éléments suivants seront pris en considération par ce Projet.

- Nombre d'élèves fixé à 50 par salle de classe.
- Nombre maximum d'élèves par salle de classe fixé à 72.

7. Estimation du nombre d'élèves pour les écoles nouvellement construites

L'équipe a noté la création de deux nouvelles écoles suivantes :

- BG-3 - Hippodrome extension : neuf salles de classe en cours de construction.
- FN-3 - Fana Extension Ouest : aucune salle de classe en cours de construction.

L'Equipe a demandé à la partie malienne les informations suivantes :

- Nombre estimé d'élèves par classe pour les écoles nouvellement construites.
- Noms d'écoles existantes d'où les élèves seraient transférés à une nouvelle école après sa création, ainsi que le nombre d'élèves par classe de ces écoles existantes.
- Nombre d'enseignants nécessaire pour la gestion de la nouvelle école.

8. Plan des infrastructures

Les deux parties se sont mises d'accord sur les points ci-dessous en matière de plan des infrastructures.

- La dimension de la salle de classe ainsi que le type et la dimension des latrines seront conformes à ceux de la Phase III.
- Les spécifications et la quantité du mobilier scolaire seront conformes à ceux de la Phase III.
- Le bureau/magasin pourrait être séparé du bloc de salle de classe.

Les points à améliorer concernant les infrastructures, discutés dans le cadre de la présente étude, sont les suivants.

- Construction de la rampe d'accès.
- Equipement électrique (appareil d'éclairage, ventilateur de plafond, prise).
- Clôture : nécessité de clôturer certaines écoles
- Plinthe et plaque de bois sur le mur.
- Faux-plafond.
- Tableau noir (porte craie, dimension, mur latéral).
- Estrade.
- Grille et moustiquaire pour la fenêtre du bureau de directeur.
- Caniveau.
- Cornière à l'angle des marches.
- Forme et matériau de la toiture.
- Couleur du mur extérieur.
- Salle de classe à étage.
- Tuyau de ventilation pour la fosse septique.
- Réservoir d'eau pour les latrines.

Les deux parties se sont mises d'accord que la décision d'amélioration desdits points sera prise par

la partie japonaise.

9. Composantes « soft »

Les deux parties ont convenu d'envisager la mise en œuvre des composantes « soft », afin de sensibiliser les acteurs de l'école concernant l'utilisation appropriée des toilettes ainsi que leur gestion et leur maintenance. Pour ce faire, le guide et le manuel élaborés dans le cadre de la Phase II du Projet ainsi que les modules et les supports existants au Ministère de la santé seront utilisés dans la mesure du possible.

10. Ecole communautaire

La partie malienne a expliqué à l'Equipe qu'au cas où les écoles communautaires feraient l'objet du Projet, elles seront prioritairement transformées en écoles publiques.

11. Construction de nouvelles salles de classe par la partie malienne

L'Equipe a expliqué qu'au cas où le gouvernement du Mali ou un partenaire technique et financier entreprendrait la construction de nouvelles salles de classe dans des écoles faisant l'objet de ce Projet, le nombre de salles de classe à construire pourrait être réduit ou elles pourraient être éliminées du Projet. La partie malienne l'a accepté.

Annexe-1 : Liste des écoles faisant l'objet de l'étude

Annexe-2 : Etat de récupération des questionnaires et des documents attestant le titre de propriété de l'école

Annexe-3 : Tableau récapitulatif des données relatives aux écoles faisant l'objet de l'étude

Annexe-1 : Liste des écoles faisant l'objet de l'étude

Région de Koulikoro

	AE	CAP	réf.	Ecole
1	KATI	Dioila (5)	DL-1	Diarani
2			DL-2	Zéta
3			DL-3	Diana
4			DL-4	Fadabougou
5			DL-5	Banco
6		Fana (5)	FN-1	Werekela
7			FN-2	Fana CI *
8			FN-3	Fana Extension Ouest
9			FN-4	Fana B
10			FN-5	Oulodo
11		Kalabancoro (5)	KB-1	Samalé
12			KB-2	Kalabancoro Extension
13			KB-3	Kalabancoro I Nérékoro
14			KB-4	Taliko II
15			KB-5	Adeken
16		Kati (5)	KT-1	Camp B
17			KT-2	Sirablo Dogoba
18			KT-3	Tongon II
19			KT-4	Konsolo
20			KT-5	Yélékébougou
21	Koulikoro	Koulikoro (5)	KL-1	Dianéguébougou Central
22			KL-2	Tlomadio
23			KL-3	Kolébougou
24			KL-4	Chola *
25			KL-5	Kossaba
26		Banamba (5)	BN-1	Tota
27			BN-2	Kokoni
28			BN-3	Kiban 1 cycle B
29			BN-4	GICS *
30			BN-5	Touba 1 cycle B
31		Kolokani (5)	KK-1	Kolokani B
32			KK-2	Guihoyo
33			KK-3	N'tiobougou
34			KK-4	Djinadjabougou
35			KK-5	Balla

Région de Kayes

	AE	CAP	réf.	Ecole
1	KITA	Kital (5)	KI-1	Dialakoni
2			KI-2	Ségoubougouni
3			KI-3	Farabala 1 cycle
4			KI-4	Kofoulabé 1 cycle
5			KI-5	Kantila
6		Kitall (5)	KII-1	Kouléko
7			KII-2	Sangarébougou
8			KII-3	Bandiko II *
9			KII-4	Kabé
10			KII-5	Boulouli

District de Bamako

	AE	CAP	réf.	Ecole
1	Rive Gauche (8)	Dielibougou	BG-1	Nafadji
2		Banconi	BG-2	Sourakabougou
3		Hippodrome	BG-3	Hippodrome extension
4		Bozola	BG-4	Bougouba
5		Bamako Coura	BG-5	Samé
6		Centre Commercial	BG-6	Point G.
7		Lafiabougou	BG-7	Taliko
8		Sebenikoro	BG-8	Camp Para
9	Rive droite (7)	Banankabougou	BD-1	Ecole de Sagoninko
10			BD-2	Groupe scolaire de Magnambougou Projet
11		Faladié	BD-3	Groupe scolaire de Dianeguella
12			BD-4	Groupe scolaire de Yirimadio A
13			BD-5	Groupe scolaire de Senou Base
14		Kalaban coura	BD-6	Groupe scolaire de Sabalibougou
15			BD-7	Groupe scolaire de Baco Djicoroni

* Ecole qui ont été remplacé

Annexe-2 : Etat de récupération des questionnaires et des documents attestant le titre de propriété de l'école

AE	CAP	Commune	Récupération du questionnaire	réf.	Ecole	présentation de titre de propriété	
Bamako RG	Dielibougou Banconi	Commune I	X	BG 1	Nafadji		
				BG 2	Sourakabougou		
	Hippodorome Bozola	Commune II		BG 3	Hippodrome extension		
				BG 4	Bougouba		
	Bamako Coura Centre Commercial	Commune III		BG 5	Samé		
				BG 6	Point G.	X	
	Lafialaugou Sebenikoro	Commune IV	X	BG 7	Taliko	X	
				BG 8	Camp Para		
Bamako RD	Banankabougou	Commune VI		BD 1	Ecole de Sagoninko		
				BD 2	Groupe scolaire de Magnambougou Projet		
				BD 3	Groupe scolaire de Dianeguela		
				BD 4	Groupe scolaire de Yirimadio A		
	Faladie	Commune V	X	BD 5	Groupe scolaire de Senou Base		
				BD 6	Groupe scolaire de Sabalibougou		
				BD 7	Groupe scolaire de Baco Djicoroni		
Koulikoro	Koulikoro	Doumba	X	KL 5	Kossaba		
		Koulikoro	X	KL 3	Kolébougou	X	
		Meguetan	X	KL 1	Dianéguébougou Central		
		Sirakorola	X	KL 2	Tlomadio	X	
	Banamba	Madina-Sacko			BN 1	Tota	
					BN 2	Kokoni	X
					BN 3	Kiban 1 cycle B	
					BN 4	GICS	
					BN 5	Touba 1 cycle B	X
	Kolokani	Kolokani			KK 1	Kolokani B	
					KK 2	Ghiehoyo	
					KK 4	Djinadjabougou	
					KK 5	Balla	
Kati	Fana	Guegneka		FN 1	Werekela		
				FN 2	Fana CI	X	
				FN 3	Fana Extention Ouest	X	
				FN 4	Fana B2	X	
				FN 5	Ouolodo	X	
	Kalabancoro	kalabancoro	X		KB 1	Samalé	
					KB 2	Kalabancoro Extention	
					KB 3	Kalabancoro I Nérékoro	X
					KB 5	Adeken	
	Kati	Dombila	X		KT 3	Tongon II	
					KT 2	Sirablo Dogoba	
					KT 1	Camp B	
					KT 5	Yélékébougou	
					KT 4	Konsolo	X (photo)
	Dioilla	Wacoro	X		DL 1	Diarani	X
					DL 2	Zéta	X
					DL 3	Diana	X
DL 4					Fadabougou	X	
Banco	Banco	X		DL 5	Banco	X	
Kita	Kita I	Bendougouba	X	KI 1	Dialakoni		
				KI 2	Ségoubougouni		
				KI 3	Farabala 1 cycle		
				KI 4	Kofoulabé 1 cycle		
				KI 5	Kantila		
	Kita II	Sebekoro	X		KII 1	Kouléko	
					KII 2	Sangarébourgou	
					KII 3	Bandiko II	
Djidian Saboula	Djidian	X		KII 4	Kabé		
				KII 5	Boulouli		

X : déjà récupéré

Annexe-3 : Tableau récapitulatif des données relatives aux écoles faisant l'objet de l'étude

ID	Nom d'école	Type de gestion					Nombre d'élèves, nombre de classes										Nombre d'enseignant					
		Groupe scolaire	Nombre d'école	Ecole communautaire	Limite de recrutement	Double vacation	Multigrade	Gr.1	Gr.2	Gr.3	Gr.4	Gr.5	Gr.6	Gr.7	Gr.8	Gr.9	Total	Nombre de classes	Nombre d'élèves/classe	Nombre de directeurs d'école	Nombre d'enseignants	Nbr d'élèves/enseignant
BG-1	Nafadi	1er C	1				139	139	143	99	98	85					703	6	117	1	7	88
		2eme	1										114	108	63	285	3	95	1	5	48	
		total	2				139	139	143	99	98	85	114	108	63	988	9	110	2	12	71	
BG-2	Sourakabougou	1er C	2				178	125	199	179	225	142					1,048	13	81	2	13	70
		2eme	2										309	306	232	847	9	94	2	10	71	
		total	4				178	125	199	179	225	142	309	306	232	1,895	22	86	4	23	70	
BG-3	Hérodrome Nouvelle construction	1er C	1																			
		2eme	1																			
		total	2																			
BG-4	Bougouba	1er C	3				137	142	152	153	247	145	(A?)				1,501	20	75	3	17	75
		2eme	2											368	254	280	902	12	75	2	20	41
		total	5				137	142	152	153	247	145	368	254	280	2,403	32	75	5	37	57	
BG-5	Samé	1er C	1				158	157	151	154	157	102					879	12	73	1	7	110
		2eme	1																			
		total	2				158	157	151	154	157	102										
BG-6	Point G.	1er C	3				268	244	234	204	184	239					1,373	18	76	3	18	65
		2eme	1											165	178	232	576	8	96	1	8	64
		total	4				268	244	234	204	184	239	165	178	232	1,949	24	81	4	26	65	
BG-7	Groupe Scolaire Talko	1er C	1				149	158	143	158	120	110					838	6	140	1	6	120
		2eme	1											194	104	107	405	6	68	1	8	45
		total	2				149	158	143	158	120	110	194	104	107	1,243	12	104	2	14	78	
BG-8	Camp Para	1er C	2				208	222	263	242	335	178					1,448	17	85	2	15	85
		2eme	1																			
		total	3				208	222	263	242	335	178	309	275	174	758	8	95	1	10	69	
BD-1	Ecole de Sagoninko	1er C	1				47	25	18	7	7	5					109	4	27	1	3	27
BD-2	Groupe scolaire de	1er C	4				321	294	400	386	380	456					2,237	30	75	4	29	68
		2eme	4										395	288	305	988	13	76	3	29	31	
		total	8				321	294	400	386	380	456	395	288	305	3,225	43	75	7	58	50	
BD-3	Groupe scolaire de	1er C	2				188	220	291	319	330	268					1,616	18	90	2	18	81
		2eme	1										329	266	173	768	8	96	1	11	64	
		total	3				188	220	291	319	330	268	329	266	173	2,384	26	92	3	29	75	
BD-4	Groupe scolaire de Yr	1er C	2				182	271	384	322	356	251					1,766	20	88	3	17	88
		2eme	1										380	321	254	955	8	119	1	17	53	
		total	3				182	271	384	322	356	251	380	321	254	2,721	28	97	4	34	72	
BD-5	Groupe scolaire de Senou Base	1er C	2				181	167	276	229	326	313					1,492	18	83	2	17	79
		2eme	1										390	368	478	1,236	11	112	1	15	77	
		total	3				181	167	276	229	326	313	390	368	478	2,728	29	94	3	32	78	
BD-6	Groupe scolaire de Sabatbouou	1er C+2	1				527	598	585	586	626	607					3,529	36	98	6	39	78
		2eme	4										935	595	805	2,335	23	102	4	38	56	
		total	10+2				527	598	585	586	626	607	935	595	805	5,864	59	99	10	77	67	
BD-7	Groupe scolaire de Baco Diicoreni	1er C	6				630	743	693	766	644	686					4,162	37	112	6	46	80
		2eme	4										906	819	1056	2,781	24	116	4	29	84	
		total	10				630	743	693	766	644	686	906	819	1056	6,943	61	114	10	75	82	
DL-1	Diarani	1er C	1				0	48	22	42	22	27					161	4	40	1	3	40
DL-2	Zéta	1er C	1				0	48	109	0	123	44					324	5	65	1	4	65
DL-3	Diana	1er C	1				29	0	36	0	35	17					117	3	39	1	2	39
DL-4	Fadabougou	1er C	1				41	0	48	0	28	28					141	4	35	1	3	35
DL-5	Banco	1er C	2				105	83	145	110	128	111					682	12	57	2	9	62
		2eme	1										151	163	225	539	6	90	1	5	90	
		total	3				105	83	145	110	128	111	151	163	225	1,221	18	68	3	14	72	
FN-1	Werekela	1er C	1				40	25	19	21	23	19					147	3	49	1	2	49
FN-2	Fana C I	1er C	1				58	64	48	47	103	69					389	7	56	1	8	43
FN-3	Fana Extension Ouest	Nouveau																				
FN-4	Fana B	1er C	2				202	213	224	228	275	255					1,397	17	82	2	15	82
		2eme	2																			
		total	4				202	213	224	228	275	255	0	0	0	1,397	17	82	2	15	82	
FN-5	Ouolodo	1er C	1				42	51	34	33	9	26					195	4	49	1	3	49
KB-1	Samalá	1er C	1				16	28	47	31	36	16					174	6	29	1	5	
KB-2	Kalabancoro	1er C	1				74	57	78	177	123	127					636	9	71	1	12	49
		2eme	1										138	109	135	382	3	127	1	13	27	
		total	2				74	57	78	177	123	127	138	109	135	1,018	12	85	2	25	38	
KB-3	Kalabancoro I Néré	1er C	1				75	50	25	25	0	0					175	4	44	1	3	44
KB-4	Talko II	1+2	2				115	62	30	118	123	98	119	203	116		984	11	89	2	11	76
		1er C	2				77	77	187	99	75	129					643	8	90	1	12	49
KB-5	Grouo Scolaire	1er C	2										192	192	242	678	6	104	2	23	25	
		2eme	1																			
		total	3				77	77	187	98	75	129	192	192	242	1,269	14	91	3	35	33	
KT-1	Camp B	1er C	1				59	52	57	65	58	33					325	6	54	1	7	41
KT-2	Sirabou Dogoba	1er C	1				53	32	25	41	35	18					204	5	41	1	4	41
KT-3	Tonon II (Songonli)	1er C	1														0	0		1	3	0
KT-4	Konsolo (Gonsolo)	1er C	1				38	35	0	29	38	28					168	3	56	1	2	56
KT-5	Yékébéougou	1+2	1				98	83	82	144	60	81	106	145	90		909	10	91	1	13	65
KL-1	Dianéguéougou Central	1er C	1				73	0	75</													

マリ国
第4次小学校建設計画
準備調査Ⅱ
テクニカルノート

JICAは第4次小学校建設計画（以下「プロジェクト」と称する）の準備調査団をマリに派遣した。2010年9月1日のミニッツ署名後コンサルタントチーム（以下「チーム」と称す）は2010年10月6日まで調査を継続した。

「チーム」は、マリ国関係者と協議し、調査対象地域において現地調査を行った。

協議及び現地調査の結果、双方は付属書に記述された主要な項目を確認した。

バマコ 2010年10月5日
仏語にてオリジナル2部を作成

杉浦 晃
業務主任
準備調査団
株式会社毛利建築設計事務所

アブー ディアラ
マリ共和国
教育、識字、国家言語省
地方分権・教育地方分権支援課(セル)
長

付属書

1. サイト変更

マリ側は、以下の 4 校について調査対象サイトの変更を要請し、チームは変更された学校サイトを調査した。

No.	AE	CAP	変更前学校名	変更後学校名
1	KATI	Fana	Fana C II	Fana C I
2	Koulikoro	Koulikoro	Cholabougou	Chola
3	Koulikoro	Banamba	Soya Kagaro	Gsid
4	Kita	Kita II	Bandiko I	Badinko II

2. 最終調査対象校リスト

サイト調査対象校(60校)のリストを別添 1 に記す。計画対象校はこのリストの対象校の中から選定される。なお、各学校に ID 番号を設定する。

3. 調査票の回収

別添 2 に示した 14 のコミューンについては、質問票が回収出来なかったため、マリ側は同質問票を回収し、チーム側に提出することを約束した。

4. 土地所有権証書/土地所有権証書

マリ側は、別添 2 に記載した 43 校全てにつき管轄コミューンより土地所有権証書もしくは土地所有権証書を回収することを約束した。チームは本証書を 2011 年 1 月に予定されている次回の調査(ミッション)までに提出する事が対象校として選定される条件となっている事を伝えた。

5. 調査対象校の優先度

両者は以下のクライテリアに従い調査対象校の優先付けを行う事に合意した。

《優先度を上げる要因》

- ① 教室を整備することで完全校に移行可能な不完全校。
- ② 教室不足のため、1 クラス 72 人以上の過密クラスで授業を実施している学校。
- ③ 教室不足のため、2 部制授業を実施している学校。
- ④ 教室不足のため、複式学級を採用している学校。
- ⑤ 教室不足が入学制限の要因となっている学校。
- ⑥ 劣悪な老朽校舎や仮設校舎での授業を実施している学校。

《優先度を下げる要因》

- ① プロジェクト実施前に多大な造成を必要とする学校。
- ② 建設中の校舎がある学校。
- ③ アクセスの悪い学校。
- ④ 現在未使用の教室を有する学校。

チームは日本における結果解析においてこの優先順位を基にしてプロジェクト対象校選定を行う。本調査で確認した各校の状況を別添 3 に示す。

6. プロジェクト対象校の教室数の規模設定

両者は、計画校の教室数の規模設定について、基本的に JICA による第 3 次小学校建設(以下“第 3 次計画”と称する)の考え方を踏襲することを合意した。但し、就学生徒数は本調査において収集した生徒数をもとに算定する。また、施設タイプは 2 教室、3 教室、6 教室 (2 階建て) の 3 タイプを設け、各対象校の必要性に応じた教室数を設定する。

その他、第3次計画において定めた前提条件の中から以下の要素を本プロジェクトにおいて考慮するものとする。

- ・ 1教室あたりの生徒数は50人を基準値とする。
- ・ 1教室あたりの最大生徒数は72人を上限とする。

7. 新設校の想定生徒数

チームは以下の2校の新設校がある事を確認した。

- ・ BG-3: Hippodrome extension 9教室建設中。
- ・ FN-3: Fana Extention Ouest 建設中の教室なし。

チームはマリ側に以下の情報を要求した。

- ・ 新設校の学年別想定生徒数。
- ・ 新設校の設置に伴い生徒が移動すると想定される近隣学校名および学年別生徒数。
- ・ 新設校の運営に必要と想定される教職員数。

8. 施設計画

両者は、施設計画について以下の事項に合意した。

- ・ 教室の大きさ、便所棟のタイプや大きさは第3次計画の考え方を踏襲する。
- ・ 家具の仕様、個数は第3次計画の考え方を踏襲する。
- ・ 校長室・倉庫については教室棟と別とすることも検討する。

本現地調査において協議した施設の改善項目は以下の通り。

- ・ スロープの設置。
- ・ 電気設備(照明、天井扇、コンセント)。
- ・ フェンス；何校かにおけるフェンスの必要性。
- ・ 幅木、腰幅木の設置。
- ・ 天井。
- ・ 黒板（黒板受け、大きさ、側壁）。
- ・ 教壇。
- ・ 校長室の窓の鉄格子及び網戸。
- ・ 側溝。
- ・ 靴づり。
- ・ 屋根の形状及び屋根材。
- ・ 外壁の色彩。
- ・ 2階建て校舎。
- ・ トイレ浄化槽の通気パイプ。
- ・ トイレ給水タンク。

両者は上記改善項目の決定は日本側が行う事に合意した。

9. ソフトコンポーネント

両者は、適切なトイレの使用法や維持管理方法を学校関係者に伝えるためのソフトコンポーネントの実施を検討することを合意した。同ソフトコンポーネントにおいては、本計画第2次で策定されたガイド及びマニュアル、保健省などが有する既存のモジュールやツールを可能な限り活用する事とする。

10. コミュニティ学校

マリ側は、コミュニティ学校が計画対象となった場合は同校を優先的に公立校に変換する予定である事をチームに説明した。

11. マリ側による新校舎建設

チームは、本プロジェクト対象校においてマリ国もしくは他ドナーにより今後新たに教室が建設された場合は、計画教室数の削減や計画対象からの除外の可能性もあることを説明し、マリ側もこれを了解した。

別添1：プロジェクト対象校リスト

別添2：質問票及び学校所有権証明書類回収状況

別添3：調査対象校関連データまとめ表

**PROCES-VERBAL DES DISCUSSIONS
RELATIF A L'ETUDE PREPARATOIRE
(CONCEPT SOMMAIRE / ETUDE DE TERRAIN III)
POUR LE PROJET DE CONSTRUCTION ET D'EQUIPEMENT
D'ECOLES FONDAMENTALES PREMIER CYCLE
PHASE IV
EN REPUBLIQUE DU MALI**

En réponse à la requête introduite par le gouvernement de la République du Mali, le gouvernement du Japon a décidé d'effectuer une étude préparatoire relative au Projet de construction et d'équipement d'écoles fondamentales premier cycle phase IV (ci-après désigné « le Projet ») et a confié l'exécution de l'étude à l'Agence Japonaise de Coopération Internationale (ci-après désignée « la JICA »).

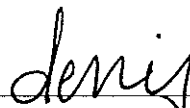
La JICA a envoyé au Mali deux missions d'étude préparatoire du 4 au 18 avril 2010 (ci-après désigné « l'étude de terrain I ») et du 29 août au 6 octobre 2010 (ci-après désigné « l'étude de terrain II »). Sur la base des discussions concernant ladite étude, une autre mission d'étude préparatoire (ci-après désignée « la Mission »), dirigée par Madame Junko MASUDA, Chef de Bureau de la JICA au Sénégal, a été envoyée du 6 au 18 mars 2011 dans l'objectif de confirmer les dispositions nécessaires pour la mise en œuvre du Projet.

Au terme des discussions et de l'étude de terrain, les deux parties ont confirmé les principaux éléments indiqués en Appendice.

Fait à Bamako, le 10 mars 2011



Junko MASUDA
Chef de Mission
Mission d'étude préparatoire
Agence Japonaise de Coopération
Internationale (JICA)
Japon



Pr. Denis DOUGNON
Secrétaire Général
Ministère de l'Education, de
l'Alphabétisation et des
Langues Nationales
République du Mali



APPENDICE

1. COMPOSANTES DU PROJET

(1) Critères de sélection des écoles cibles

- 1) Les deux parties ont convenu que les écoles cibles seront sélectionnées parmi les 60 écoles faisant l'objet de l'étude de terrain II sur la base des critères indiquées en Annexe-1.
- 2) La Mission a expliqué à la partie malienne que les écoles ayant satisfait aux critères (b) à (f) parmi les critères de sélection indiqués en Annexe-1 sont les 47 écoles indiquées en Annexe-2.

Les deux parties ont confirmé que la partie malienne a soumis les documents nécessaires attestant le droit de propriété ou celui d'usage des terrains pour 45 écoles parmi les 47 sélectionnées, conformément à l'article 4 de l'Appendice de la Note technique en date du 5 octobre 2010 signé lors de l'étude de terrain II.

La partie malienne s'est engagée à soumettre à la Mission lesdits documents pour 2 écoles restants parmi les 47 sélectionnées avant le 18 mars 2011.

Les deux parties ont convenu que les écoles pour lesquelles lesdits documents ne seront pas soumis avant le 18 mars 2011 pourraient être exclues du Projet.

- (2) La Mission a donné des explications à la partie malienne sur les autres aspects de la conception du Projet et la partie malienne lui a donné son accord de principe.

2. DISPOSITIONS NECESSAIRES POUR LE PROJET

(1) Système de l'Aide Financière Non-Remboursable du Japon

- 1) La partie malienne a pris bonne connaissance du système de l'Aide Financière Non-Remboursable au Développement Communautaire décrit respectivement en Annexe- 5, 6, 7 et 8 du procès-verbal des discussions signé le 9 avril 2010.
- 2) La partie malienne s'est engagée à prendre les mesures nécessaires indiquées à l'Annexe-3 du présent procès-verbal lorsque le Projet de l'Aide Financière Non-Remboursable du Japon.

(2) Transformation des écoles communautaires en écoles publiques

La partie malienne a expliqué à la Mission la procédure de la transformation des écoles communautaires en écoles publiques. La Mission a obtenu de la partie malienne la décision No.11-00714/MEALN-SG du 9 mars 2011 transformant les 7 écoles communautaires en écoles publiques (Annexe-4).

(3) Affectation des enseignants nécessaires

La partie malienne s'est engagée à affecter les enseignants additionnels nécessaires pour les 47 écoles citées en Annexe-2 dès la fin des travaux du Projet.

(4) Gestion et entretien des écoles cibles du Projet

La partie malienne s'est engagée à assurer la dotation budgétaire nécessaire à la gestion et à l'entretien des infrastructures scolaires construites dans le cadre du Projet et à mettre en place un système d'entretien adéquat.

(5) Exonération des droits de douane et de taxes

La partie malienne s'est engagée à prendre les mesures nécessaires pour l'exonération de droits de douane et autres taxes imposées en vue de l'exécution du Projet dans les délais.

3. COMMISSION DE CONCERTATION

(1) Les deux parties ont convenu de la mise en place d'une commission de concertation composée des représentants des organismes concernés de la partie malienne et de la partie japonaise en vue d'une bonne exécution du Projet. Les membres de cette commission sont les suivants :

- 1) Représentants du Ministère de l'Education, de l'Alphabétisation et des Langues Nationales du Mali
- 2) Représentants du bureau de la JICA au Sénégal
- 3) Représentant de l'Ambassade du Japon en qualité d'observateur

(2) Les deux parties ont convenu d'organiser la commission de concertation selon le besoin afin de suivre l'état d'exécution du Projet et de prendre toutes les mesures nécessaires pour son bon fonctionnement.

4. REVISION DE LA DIRECTIVE SUR L'AIDE NON-REMBOURSABLE AU DEVELOPPEMENT COMMUNAUTAIRE

Suite à la révision de la directive sur l'aide non-remboursable au développement communautaire, les deux parties ont convenu que les entreprises pour les travaux de construction seront des entreprises de droit malien.

5. PROCHAINE ETAPE DE L'ETUDE

- (1) Les consultants de la Mission poursuivront l'étude de terrain jusqu'au 18 mars 2011.
- (2) Se basant sur les résultats des discussions de l'étude de terrain et des justificatifs présentés par la



partie malienne, la JICA élaborera l'avant-projet du rapport abrégé de l'étude préparatoire du Projet. Elle enverra, en principe au début du mois d'avril 2011, une autre mission au Mali afin de présenter ledit rapport aux autorités maliennes.

Annexes :

1. Critères de sélection des écoles cibles
2. Liste des écoles candidates cibles du Projet et état de confirmation des documents attestant le droit de propriété ou celui d'usage des terrains
3. Dispositions à prendre par la partie malienne
4. Décision No.11-00714/MEALN-SG

Annexe-1 Critères de sélection des écoles cibles

- (a) Ecoles dont le droit de propriété ou celui d'usage des terrains peut être confirmé par un document officiel ;
- (b) Ecoles pour lesquelles il n'y a pas de duplication avec d'autres projets de construction financés par d'autres bailleurs de fonds ou le gouvernement malien ;
- (c) Ecoles pour lesquelles il n'y a pas de risques de subir des dégâts par les catastrophes naturelles ou de rencontrer des problèmes de sécurité ;
- (d) Ecole pour lesquelles il n'y a pas d'obstacle pour la construction et la supervision des travaux ;
 - <Les écoles qui correspondent aux critères ci-dessous seront éliminées >
 - Les écoles difficiles d'accès
 - Les écoles situées sur un terrain étroit
- (e) Ecole dont les besoins de scolarisation et de construction des infrastructures sont évidents ;
 - <Les écoles qui correspondent aux critères ci-dessous seront éliminées >
 - Les écoles dont le besoin en nombre de salles de classes est égal ou inférieur à une salle de classe.
 - Les écoles dont le nombre de salles de classes inutilisées est élevé.
- (f) L'affectation des enseignants des écoles faisant l'objet du Projet est assurée.



Annexe-2 Liste des écoles candidates cibles du Projet et état de confirmation des documents attestant le droit de propriété ou celui d'usage des terrain

AE	CAP	Commune	réf.	Ecole	Ecole communautaire	présentation de titre de propriété
Kati	Dioilla	Wacoro	DL 1	Diarani	○	X
			DL 2	Zéta		X
		Kaladougou	DL 3	Diana		X
			DL 4	Fadabougou		X
			DL 5	Banco		X
	Fana	Guegneka	FN 1	Werekela	○	X
			FN 2	Fana CI		X
		FN 4	Fana B2		X	
		Zan Coulibaly	FN 5	Ouolodo		X
	Kalabancoro	Mande	KB 1	Samalé		X
		kalabancoro	KB 2	Kalabancoro E		X
		Dogodouman	KB 5	Adeken	○	X
			KB 4	Taliko II		X
	Kati	Kati	KT 1	Camp B		X
		Doubabougou	KT 2	Sirablo Dogoba		X
Dombifa		KT 3	Tongon II		X	
Bancoumana		KT 4	Gonsolo		X	
Yélékébougou		KT 5	Yélékébougou		X	
Koulikoro	Koulikoro	Meguetan	KL 1	Dianéguébougou Central		X
			KL 2	Tlomadio		X
		Doumba	KL 5	Kossaba		X
	Banamba	Kiban	BN 3	Kiban 1 cycle B		X
		Boron	BN 4	GSID		X
		Duguwolowula	BN 5	Touba 1 cycle B		X
	Kolokani	Kolokani	KK 1	Kolokani B		X
		N'tiobougou	KK 3	N'tiobougou		X
Didieni	KK 5	Balla		X		
Kita	Kita I	Urbaine Kita	KI 2	Ségoubougouni	○	X
			KI 3	Farabala 1 cycle		X
			KI 4	Kofoulabé 1 cycle		X
		Tambaga	KI 5	Kantila	○	X
	Kita II	Sebekoro	KII 1	Kouléko		X
			KII 2	Sangarébourgou		X
		Djidian	KII 3	Bandiko II		X
			KII 4	Kabé		X
Saboula	KII 5	Boulouli		X		
Bamako RG	Dielibougou	Commune I	BG 1	Nafadji	○	X
	Bozola	Commune II	BG 4	Bougouba		
	Bamako Coura	Commune III	BG 5	Samé		X
	Centre Commercial		BG 6	Point G.	○	X
	Lafiabougou	Commune IV	BG 7	Taliko		X
	Sebenikoro		BG 8	Camp Para		(X)
Bamako RD	Banankabougou	Commune VI	BD 2	Groupe scolaire de Magnambougou Projet		(X)
	Faladie		BD 3	Groupe scolaire de Dianeguela		(X)
			BD 4	Groupe scolaire de Yirimadio A		(X)
			BD 5	Groupe scolaire de Senou Base		
	Kalaban Coura		Commune V	BD 7	Groupe scolaire de Baco Djicoroni	

○ : Ecole communautaire

X : Déjà récupéré

(X) : Uniquement le plan a été récupéré

Annexe-3 Dispositions à prendre par la partie malienne

- (1) Préparation des terrains nécessaires à la mise en œuvre du projet et obtention par le ministère de l'Éducation, de l'Alphabétisation et des Langues Nationales du droit de construire des bâtiments.
- (2) Avant la mise en œuvre du projet, la démolition des installations existantes et obstacles, le remblai, et le nivellement des terrains, pour les sites sur lesquels ces travaux s'avèrent nécessaires.
- (3) *Après l'achèvement des travaux, la construction ou la réparation de la clôture, la pose de portails, l'aménagement du paysage et les autres travaux d'installations extérieures connexes, pour les sites sur lesquels ces travaux s'avèrent nécessaires.*
- (4) Travaux de raccordement de l'électricité d'ici à l'achèvement des travaux, pour les sites sur lesquels ces travaux s'avèrent nécessaires.
- (5) *Prise en charge de la commission de notification de l'autorisation de déboursement global sur la base de l'arrangement bancaire avec une banque japonaise et de la commission des transferts bancaires.*
- (6) Appui nécessaire pour faciliter le dédouanement rapide des matériaux qui seront utilisés dans le cadre du projet.
- (7) Prise des dispositions nécessaires concernant l'entrée et le séjour au Mali des personnes physiques ou morales impliquées dans le projet sur la base de l'accord d'agent et des contrats avec l'agent de passation de marchés.
- (8) Exonération des droits de douane en vigueur au Mali, des impôts à l'intérieur du pays et autres taxes en relation avec la fourniture de biens et de services sur la base de l'accord d'agent et des contrats avec l'agent de passation de marchés.
- (9) Utilisation et entretien adéquats et efficaces des installations et matériels mis à disposition par le biais du projet.
- (10) Prise en charge de tous les frais à l'exception de ceux pris en charge par le Japon dans le cadre de l'aide financière non-remboursable pour le développement communautaire dans la limite du projet.
- (11) Affectation des enseignants nécessaires au fonctionnement des salles de classe aménagées dans le cadre du projet.
- (12) *Transformation des écoles communautaires incluses dans les écoles cibles du projet en écoles publiques.*

SECRETARIAT GENERAL

DECISION N° 11-00714 / MEALN-SG f

Portant autorisation de création d'écoles fondamentales publiques de premier cycle.

Le Ministre de l'Éducation, de l'Alphabétisation et des Langues Nationales,

- Vu la Constitution ;
 Vu la Loi n° 99-046/AN-RM du 28 décembre 1999 modifiée, portant Loi d'Orientation sur l'Éducation ;
 Vu l'Ordonnance n°00-048/P-RM du 25 septembre 2000 portant création de la Direction Nationale de l'Éducation de Base ;
 Vu le Décret n°09-157/P-RM du 09 avril 2009 modifié, portant nomination des membres du Gouvernement ;
 Vu les demandes des chefs des villages intéressés, accompagnées chacune de la lettre de motivation du Directeur du Centre d'Animation Pédagogique de Nara ;
 Vu les nécessités de service,

DECIDE :

Article 1^{er} : Est autorisée, la création d'une école fondamentale publique de premier cycle dans chacune des localités ci-dessous énumérées, conformément au tableau suivant :

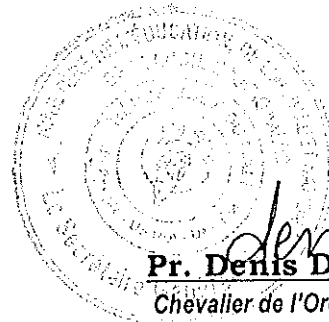
	CAP	Lieux d'implantations	Communes Rurales	Cercles
AE-Kati	Dioïla	Diarani	Wacoro	Dioïla
	Fana	Wérékela	Guegueka	Dioïla
	Kalabancoro	Kalabancoro-ADEKEN	Kalabancoro	Kati
AE Kita	Kita-I	Farabala	Kita	Kita
		Kantila	Tambaga	Kita
AE Bamako Rive Gauche	Diélibougou	Nafadji	Commune-I/DB	District de Bamako
	Centre commercial	Point G	C-III/DB	District de Bamako

Article 2 : La présente Décision, qui annule et remplace toutes dispositions antérieures, relatives à la création ou à l'ouverture d'une école fondamentale communautaire dans chacune des localités ci-dessus énumérées, sera enregistrée et communiquée partout où besoin sera./

Bamako, le 19 MARS 2011
 P/Le Ministre P.O,
 Le Secrétaire Général,

Ampliations :

Original.....	01
MEALN-CPS.....	02
DNEB-DEF.....	10
DAE-Kati-Kita-Bko RG.....	03
CAP-Dioïla-Kalabancoro-Fana-Kita-I- Djélibougou-Centre Commercial.....	06
Gouv.Régions de Kkoro-Kayes-District de Bko.....	03
Préfets/Cercles de Dioïla-Fana-Kati- Kita..	04
Mairies communes.....	07
Chefs- Villages intéressés.....	07
APE- Villages et c.r intéressés.....	14
Directions écoles.....	07
Archives.....	03



Pr. Denis DOUGNON
 Chevalier de l'Ordre National

マリ共和国
第四次小学校建設計画
準備調査（概略設計・現地調査 III）
協議議事録

マリ共和国政府より提出された要請に基づき、日本政府は「第四次小学校建設計画」（以下「プロジェクト」と称する）に関する協力準備調査を行うことを決定し、本調査の実施を独立行政法人国際協力機構（以下「JICA」と称する）に委託した。

JICA は 2010 年 4 月 4～18 日迄（以下「現地調査 I」と称する）と 2010 年 8 月 29 日～10 月 6 日迄（以下「現地調査 II」と称する）に協力準備調査団を派遣した。上記調査の協議結果を踏まえて、本計画に必要な措置について確認するために、JICA セネガル事務所次長 増田淳子を団長とする調査団（以下「調査団」と称する）を 2011 年 3 月 6～18 日の間、マリ国に派遣した。

協議および現地調査の結果、両者は付属書に記載された主要な項目を確認した。

マリ共和国バマコ市 2011 年 3 月 10 日

増田 淳子
団長
協力準備調査団
独立行政法人国際協力機構
日本

Denis DOUGNON
事務次官
教育・識字・国語省
マリ共和国

付属書

1. プロジェクトのコンポーネント

(1) 計画対象校の選定条件

1) 両者は、現地調査 II で対象とした 60 校のうち、別紙 1 の条件に基づいて計画対象校を選定することに合意した。

2) 調査団はマリ側に対し、別紙 1 の選定条件のうち (b) ~ (f) を満たす学校は別紙 2 に記載ある 47 校であることを説明した。

両者は、別紙 2 の 47 校のうち、現地調査 II で署名されたテクニカルノート (2010 年 10 月 5 日付) の付属書 4. 項を踏まえて、マリ側から調査団に土地所有権または使用権を証明する文書が提出されたのは 45 校分であることを確認した。

マリ側は、上記 47 校のうち残る 2 校についても、2011 年 3 月 18 日迄に上記文書を調査団に提出することを確約した。

両者は、2011 年 3 月 18 日迄に上記文書が取り付けられない学校についてはプロジェクトの計画対象から除外されうることについて合意した。

(2) 調査団は、その他の設計内容についてマリ側に説明し、マリ側は原則としてこれを受け入れた。

2. プロジェクトに必要な措置

(1) 無償資金協力の制度

1) マリ側は、2010 年 4 月 9 日付で署名されたミニッツの別紙 5~8 に記載されているコミュニティ開発支援無償の制度について十分理解した。

2) マリ側は、無償資金協力が実施される場合には、本ミニッツの別紙 3 にある必要な措置を講じることを確約した。

(2) コミュニティ学校の公立化

マリ側は、コミュニティ学校の公立化に必要な手続きを説明した。調査団は、マリ側から 7 つのコミュニティ校の公立化に関する 2011 年 3 月 9 日付の決定書 (No. 11-00714/MEALN-SG) を入手した。(別紙 4 参照)

(3) 必要とされる教員の配置

マリ側は、別紙 2 に記載ある 47 校について、追加で必要となる教員を完工次第直ちに配置することを確約した。

(4) プロジェクト対象校の運営・維持管理

マリ側は、プロジェクトで整備される教育施設の維持・管理に必要な予算措置を講じるとともに、運営・維持管理体制を確立することを確約した。

(5) 免税手続き

マリ側は、プロジェクトが工程どおり実施されるよう、関税及び諸税の免税手続きについて取り進めることを確約した。

3. 協議会

(1) 両者は、プロジェクトが適切に実施されるように、マリならびに日本側の関係機関の代表によ

り構成される協議会を設置することについて合意した。協議会の構成員は次のとおりである。

- 1) マリ国教育・識字・国語省の代表者
- 2) JICA セネガル事務所の代表者
- 3) 日本大使館の代表者のオブザーバー参加

(2) 両者は、必要に応じてプロジェクトの進捗を確認し、円滑な実施に必要なすべての措置を講じるために協議会を開催することについて合意した。

4. JICA コミュニティ開発支援無償調達ガイドラインの改訂

JICA コミュニティ開発支援無償調達ガイドラインの改訂を踏まえ、両者は施設の施工業者は原則としてマリ国の業者となることについて合意した。

5. 今後の調査予定

(1) 調査団のコンサルタント団員は、2011年3月18日迄調査を継続する。

(2) 現地での調査と協議ならびにマリ側から提出される証書を踏まえて、JICAは、プロジェクトの協力準備調査報告書(案)を作成する。JICAは、原則として2011年4月上旬にマリ関係者に報告書(案)を説明するための調査団を派遣する予定である。

別紙：1. 計画対象校の選定条件

2. 計画対象校候補校リストと土地使用权または所有権の書面での確認状況
3. マリ側負担事項
4. 決定書 No. 11-00714/MEALN-SG (※本和訳には添付無)

別紙1 計画対象校の選定条件

- (a) 土地所有権または使用権が書面で確認できること
 - (b) 他ドナーまたは政府による整備計画との重複がないこと
 - (c) 自然災害による被災可能性や治安上の問題がないこと
 - (d) 施工及び施工監理上の支障がないこと
- <以下に該当する学校は選定対象としない>
- ・ アクセスの悪い学校
 - ・ 敷地の狭小な学校
- (e) 就学需要、施設整備のニーズが明確なこと
- <以下に該当する学校は選定対象としない>
- ・ 不足教室が1教室以下の学校
 - ・ 既存の未使用教室が多数ある学校
- (f) 対象となる学校への教員の確保が担保されていること

別紙2 計画対象校候補校リストと土地所有権または所有権の書面での確認状況

教育アカデミー (AE)	教育振興センター (CAP)	コミューン	番号	学校名	コミュニティ学校	証書の提出状況
Kati	Dioilla	Wacoro	DL 1	Diarani	○	X
			DL 2	Zéta		X
		Kaladougou	DL 3	Diana		X
			DL 4	Fadabougou		X
			DL 5	Banco		X
	Fana	Guegneka	FN 1	Werekela	○	X
			FN 2	Fana CI		X
			FN 4	Fana B2		X
		Zan Coulibaly	FN 5	Ouologo		X
	Kalabancoro	Mande	KB 1	Samalé		X
		kalabancoro	KB 2	Kalabancoro E		X
			KB 5	Adeken	○	X
		Dogodouman	KB 4	Taliko II		X
	Kati	Kati	KT 1	Camp B		X
		Doubabougou	KT 2	Sirablo Dogoba		X
Dombila		KT 3	Tongon II		X	
Bancoumana		KT 4	Gonsolo		X	
Yélékébougou		KT 5	Yélékébougou		X	
Koulikoro	Koulikoro	Meguetan	KL 1	Dianéguebougou Central		X
			KL 2	Tlomadio		X
		Doumba	KL 5	Kossaba		X
	Banamba	Kiban	BN 3	Kiban 1 cycle B		X
		Boron	BN 4	GSID		X
		Duguwolowula	BN 5	Touba 1 cycle B		X
	Kolokani	Kolokani	KK 1	Kolokani B		X
		N'tiobougou	KK 3	N'tiobougou		X
		Didieni	KK 5	Balla		X
Kita	Kita I	Urbaine Kita	KI 2	Ségoubougouni		X
			KI 3	Farabala 1 cycle	○	X
			KI 4	Kofoulabé 1 cycle		X
		Tambaga	KI 5	Kantila	○	X
	Kita II	Sebekoro	KII 1	Kouléko		X
			KII 2	Sangaréougou		X
			KII 3	Bandiko II		X
		Djidian	KII 4	Kabé		X
		Saboula	KII 5	Boulouli		X
Bamako RG	Dielibougou	Commune I	BG 1	Nafadji	○	X
	Bozola	Commune II	BG 4	Bougouba		
	Bamako Coura	Commune III	BG 5	Samé		X
	Centre Commercial		BG 6	Point G.	○	X
	Lafiabougou	Commune IV	BG 7	Taliko		X
	Sebenikoro		BG 8	Camp Para		(X)
Bamako RD	Banankabougou	Commune VI	BD 2	Groupe scolaire de Magnambougou Projet		(X)
	Faladie		BD 3	Groupe scolaire de Dianeguela		(X)
			BD 4	Groupe scolaire de Yirimadio A		(X)
			BD 5	Groupe scolaire de Senou Base		
			Kalaban Coura	Commune V	BD 7	Groupe scolaire de Baco Djicroni

○ : コミュニティ学校
 X : 土地証書提出済み
 (X) : 地図のみ提出済み

別紙3 マリ側負担事項

- (1) 本プロジェクトに必要な土地を用意し、教育・国語・識字省が建物を建設する権利を確保すること
- (2) 必要なサイトに関し、本プロジェクトの実施に先立ち、既存施設および障害物の解体撤去工事を実施するとともに、盛り土、整地を行うこと
- (3) 必要なサイトに関し、工事完成後に囲い塀の新設または補修、門扉の設置、造園、その他付属的な外構工事を実施すること
- (4) 必要なサイトに関し、工事完了までに電力の接続工事を行うこと
- (5) 日本にある銀行との銀行取り決めに基づき包括的支払い授權書にかかる通知手数料、および支払手数料を負担すること
- (6) プロジェクトに使用される資機材の通関が速やかに実施されるよう、必要な措置を講じること
- (7) 調達代理契約および調達代理機関と交わす各契約に基づいて、本プロジェクトに携わる個人または法人に対し、マリへの入国ならびに滞在に必要な便宜を供与すること
- (8) 調達代理契約および調達代理機関と交わす各契約に基づいた物品および役務の提供に関し、マリ内で課される関税、国内税、およびその他課税を免除すること
- (9) 本プロジェクトで供与される施設機材を適切かつ効果的に使用し維持すること
- (10) 本プロジェクトの範囲内で日本のコミュニティ開発支援無償資金協力によって負担される費用以外の全ての費用を負担すること
- (11) 本プロジェクトにより整備される学校の運営に必要な教職員の確保及び配置を行うこと
- (12) 本プロジェクトの対象に含まれているコミュニティ学校を公立化する。

NOTE TECHNIQUE
RELATIVE A
L'ETUDE PREPARATOIRE
(CONCEPT SOMMAIRE / ETUDE DE TERRAIN III)
POUR LE PROJET DE CONSTRUCTION ET D'EQUIPEMENT
D'ECOLES FONDAMENTALES PREMIER CYCLE
PHASE IV
EN REPUBLIQUE DU MALI

Une mission d'étude préparatoire envoyée par la JICA au Mali pour le Projet de construction et d'équipement d'écoles fondamentales premier cycle phase IV (ci-après désigné « Projet ») a signé le Procès-verbal des discussions (ci-après désignée « Procès-verbal ») le 10 mars 2011. Après la signature du Procès-verbal, l'équipe des consultants (ci-après désignée « Equipe ») a poursuivi des études jusqu'au 18 mars 2011.

L'Equipe a eu une série de discussions avec la partie malienne et effectué des études sur le terrain dans la zone faisant l'objet de l'étude.

A l'issue des discussions et des études sur le terrain, les deux parties ont confirmé les points principaux mentionnés dans l'Appendice.

Fait à Bamako, le 18 mars 2011

榎本久美子

Kumiko ENOMOTO
Conception architecturale, planification de
l'approvisionnement, calcul
Mission d'étude préparatoire
Mohri, Architect & Associates, Inc.
Japon



Abou DIARRA
Chef de la Cellule d'Appui à la
Décentralisation/Déconcentration de
l'Éducation
Ministère de l'Éducation, de
l'Alphabétisation et des
Langues Nationales
République du Mali

APPENDICE

1. Présentation des documents attestant le droit de propriété ou celui d'usage des terrains

Conformément à l'article 1.(1) 2) de Procès-verbal, la partie malienne a soumis à l'Equipe le document pour l'école « BD-5:Groupe scolaire de Senou Base » parmi les 2 écoles dont les documents attestant le droit de propriété ou celui d'usage des terrains n'ont pas été soumis.

La partie malienne a également soumis à l'Equipe les documents pour 4 écoles qui avaient présenté uniquement ses plans avant la signature de Procès-verbal.

Par conséquent, l'Equipe a confirmé que les documents pour 46 écoles parmi les 47 écoles candidates cibles du Projet ont été soumis.

La partie malienne a expliqué à l'Equipe que le document attestant le droit de propriété ou celui d'usage des terrains pour une école « BG-4:Bougouba » restant n'est pas disponible.

L'Equipe a expliqué que l'école en question pourra être exclue du Projet comme indiqué dans l'article 1.(1) 2) de Procès-verbal, et la partie malienne l'a accepté.

2. Ecoles cibles du Projet

La partie japonaise décidera définitivement les écoles cibles du Projet sur la base de résultats confirmés dans la présente note technique suite à la présente étude. La prochaine mission les annoncera à la partie malienne.

マリ共和国
第四次小学校建設計画
準備調査（概略設計・現地調査 III）
テクニカルノート

JICA が派遣した「第四次小学校建設計画」（以下「プロジェクト」と称する）の準備調査団は、2011年3月10日のミニッツ（以下「ミニッツ」と称す）署名後、2011年3月18日までコンサルタントチーム（以下「チーム」と称す）が調査を継続した。

「チーム」は、マリ国関係者と協議し、調査対象地域において現地調査を行った。

協議及び現地調査の結果、双方は付属書に記述された主要な項目を確認した。

マリ共和国バマコ市 2011年3月18日

榎本 久美子
施工計画/調達事情/積算
協力準備調査団
株式会社毛利建築設計事務所
日本

アブー ディアラ
マリ共和国
教育・識字・国語省
地方分権・教育地方分権支援課長

付属書

1. 土地所有権または使用権を証明する文書の提出

「ミニッツ」の付属書1.(1)2)項を踏まえ、マリ側は土地の所有権または使用権を証明する文書が提出されていなかった2校のうち、「BD-5:Groupe scolaire de Senou Base」校の文書を「チーム」に提出した。

また、マリ側は「ミニッツ」署名時に地図のみが提出されていた4校分の文書を「チーム」に提出した。

「チーム」は計画対象候補47校のうち46校の文書を受領したことを確認した。

マリ側は、残る1校(BG-4:Bougouba)については、土地の所有権または使用権を証明する文書が取りつけられない事を「チーム」に説明した。

「チーム」は、ミニッツの付属書1.(1)2)項を踏まえ同校についてはプロジェクトの計画対象から除外されうることをマリ側に説明し、マリ側はこれに合意した。

2. 計画対象校

最終的な計画対象校は、本テクニカルノートで確認された結果をもとに本調査終了後に日本側が決定し、次回派遣が予定されている調査団がマリ側に説明する。

**PROCES-VERBAL DES DISCUSSIONS
RELATIF A L'ETUDE PREPARATOIRE
(EXPLICATION DU RAPPORT AVANT-PROJET)
POUR LE PROJET DE CONSTRUCTION ET D'EQUIPEMENT
D'ECOLES FONDAMENTALES PREMIER CYCLE
PHASE IV
EN REPUBLIQUE DU MALI**

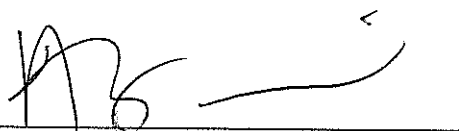
En réponse à la requête introduite par le gouvernement de la République du Mali, le gouvernement du Japon a décidé d'effectuer une étude préparatoire relative au Projet de construction et d'équipement d'écoles fondamentales premier cycle phase IV (ci-après désigné « le Projet ») et a confié l'exécution de l'étude à l'Agence Japonaise de Coopération Internationale (ci-après désignée « la JICA »).

La JICA a exécuté trois études de terrains afin de confirmer le contenu de la requête du Projet et de collecter les informations nécessaires à l'élaboration du Projet. Suite à l'examen de la planification du Projet effectué au Japon sur la base des résultats des études, le rapport de l'étude préparatoire (avant-projet) a été élaboré.

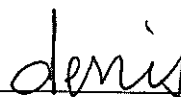
Par conséquent, la JICA a envoyé au Mali, du 4 au 9 avril 2011, une mission de l'étude préparatoire (explication du rapport avant-projet) (ci-après désignée « la Mission »), dirigée par M. TAMBARA Kazuhiro, Directeur de la 2ème Division d'enseignement de base, Groupe d'enseignement de base, Département de développement humain, pour présenter le contenu du rapport de l'étude préparatoire (avant-projet) et en discuter avec la partie malienne.

Au terme des discussions et de l'étude de terrain, les deux parties ont confirmé les principaux éléments indiqués en Appendice.

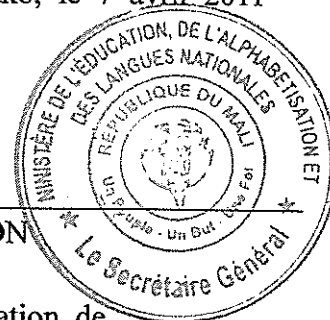
Fait à Bamako, le 7 avril 2011



M. Kazuhiro TAMBARA
Chef de Mission
Mission d'étude préparatoire
Agence Japonaise de Coopération
Internationale (JICA)
Japon



Pr. Denis DOUGNON
Secrétaire Général
Ministère de l'Éducation, de
l'Alphabétisation et des
Langues Nationales
République du Mali



APPENDICE

1. CONTENU DU RAPPORT DE L'ÉTUDE PRÉPARATOIRE (avant-projet)

La partie malienne a donné son accord de principe sur le contenu du rapport de l'étude préparatoire (avant-projet) présenté par la Mission et l'a accepté.

2. SYSTEME DE LA COOPERATION FINANCIERE NON REMBOURSABLE DU JAPON

La Mission a expliqué de nouveau le système de l'Aide Financière Non-Remboursable au Développement Communautaire décrit dans les annexes 5, 6, 7 et 8 du procès-verbal des discussions signé le 9 avril 2010, la partie malienne a pris bonne note. D'autre part, conformément au procès-verbal des discussions signé le 10 mars 2011, les deux parties ont convenu que les entrepreneurs seront des nationaux maliens, à moins qu'il n'en soit convenu autrement entre les autorités intéressées des deux gouvernements. De plus, la Mission a expliqué à la partie malienne que le terme « nationaux maliens » signifie des personnes physiques maliennes ou des personnes morales maliennes contrôlées par des personnes physiques maliennes, et la partie malienne n'a pas d'objection à cela.

3. INFRASTRUCTURES ET EQUIPEMENTS FAISANT L'OBJET DU PROJET

La mission a expliqué le contenu des écoles cibles et des infrastructures à construire dans le cadre du Projet (Annexe-1), la partie malienne en a pris bonne note.

4. COMPOSANTE SOFT

Les deux parties ont convenu que la sensibilisation sur la gestion et la maintenance de blocs sanitaires et de réservoirs permettant de se laver les mains est mise en œuvre dans le cadre de la composante soft du Projet.

5. COUTS ESTIMATIFS DU PROJET

La Mission a expliqué les coûts estimatifs du Projet (Annexe-2). Les deux parties ont convenu que les coûts estimatifs du Projet ne devront être en aucune manière divulgués à des parties tierces autres que les personnes concernées avant l'adjudication des contrats pour le Projet. La Mission a signalé que les coûts estimatifs du Projet sont susceptibles de modification. La partie malienne en a pris bonne note.

6. TRAVAUX ET PRESTATION À LA CHARGE DE LA PARTIE MALIENNE

La Mission a expliqué le contenu et le calendrier des travaux et prestations (respectivement indiqués dans les Annexes 3 et 4) devant être assurés par la partie malienne à sa charge pour la mise en œuvre du Projet. La partie malienne s'est engagée à assurer la dotation budgétaire nécessaire à leur réalisation et à les exécuter suivant le calendrier.



7. ORGANISATION DE GESTION ET DE MAINTENANCE A ASSURER

La partie malienne s'est engagée à assurer avant l'achèvement de construction, l'affectation du personnel additionnel requis suite à l'intervention du Projet. Et elle a promis aussi de mettre en place un système de gestion et de maintenance ainsi que d'assurer le budget nécessaire pour la gestion et la maintenance et de le répartir sans encombre.

8. CONFIDENTIALITE

Les deux parties ont confirmé qu'aucune information relative au Projet, ne devra être divulguée à des parties tierces avant l'achèvement des processus d'appel d'offres et de soumission du Projet.

9. PROCHAINE ETAPE DE L'ETUDE

La Mission a expliqué que la période d'approbation du projet n'est pas encore déterminée en raison du séisme qu'a connu récemment le Japon. Elle a promis d'informer la partie malienne dès que le calendrier d'approbation du Projet sera précisé. La partie malienne en a pris bonne note.

Annexe-1 : Contenu des écoles cibles et des infrastructures à construire dans le cadre du Projet

Annexe-2 : Coûts estimatifs du Projet

Annexe-3 : Travaux et prestations à la charge de la partie malienne

Annexe-4 : Calendrier d'exécution des travaux

Annexe-1 : Contenu des écoles cibles et des infrastructures à construire dans le cadre du Projet

Region	AE	CAP	ID	Nom de l'école	Nombre de salles de classe du projet (maximum 6)	Nombre de bureaux de directeur/magasin du projet	Latines prévues
Koulikoro	Kati	Dioila	DL-1	Diarani	4	1	3
			DL-2	Zéta	3		3
			DL-3	Diana	3	1	3
			DL-4	Fadabougou	6	1	6
			DL-5	Banco	6	2	6
		Fana	FN-1	Werekéfa	3	1	3
			FN-2	Fana C I	3		3
			FN-4	Fana B	6	1	6
			FN-5	Ouolodo	4	1	3
		Kalabancoro	KB-1	Samalé	3	1	3
			KB-2	Kalabancoro E	6	1	6
			KB-4	Taliko II	6	1	6
			KB-5	Adeken (Fratemite Kene)	3		3
		Kati	KT-1	Camp B	6	1	6
			KT-2	Sirablo Dogoba	2	1	3
	KT-3		Songon II	6	1	6	
	KT-4		Gonsolo	3	1	3	
	KT-5		Yélékébougou	6	1	6	
	Koulikoro	Koulikoro	KL-1	Diaguiniabougou Central	2		3
			KL-2	Tomadio	3		3
			KL-5	Kossaba	3	1	3
		Banamba	BN-3	Kiban 1 cycle B	3	1	3
			BN-4	GSID	6	1	6
			BN-5	Touba 1 cycle B	5		3
		Kolokani	KK-1	Kolokani B	4		3
KK-3			N'lobougou	3		3	
KK-5			Balla	3		3	
Kayes	Kita I	KI-2	Ségoubougouni	6		6	
		KI-3	Farabala 1 cycle	6		6	
		KI-4	Kofoufou 1 cycle	6	1	6	
		KI-5	Kantila	5	1	3	
		KI-5	Kantila	5	1	3	
	Kita II	KII-1	Kouléko	6	1	6	
		KII-2	Sangaréougou	4	1	3	
		KII-3	Badinko II	6		6	
		KII-4	Kabé	3	1	3	
		KII-5	Boulouli	3	1	3	
Bamako	Rive Gauche	Dielibougou	BG-1	Nafadji	6		6
		Bamako Coura	BG-5	Samé	6		6
		Centre Commercial	BG-6	Point G.	6		6
		Lafiabougou	BG-7	Taliko	6		6
		Sebenikoro	BG-8	Camp Para	6		6
	Rive Droite	Banankabougou	BD-2	Groupe scolaire de Magnambougou Projet	6		6
		Faladié	BD-3	Groupe scolaire de Dianeguella	6		6
			BD-4	Groupe scolaire de Yirimadio	6		6
			BD-5	Groupe scolaire de Senou Base	6		6
			BD-5	Groupe scolaire de Senou Base	6		6
		Kalaban coura	BD-7	Groupe scolaire de Baco Djicroni	6		6

Annexe-2 : Coûts estimatifs du Projet

Dans le cas de la mise en œuvre des travaux cibles du projet, le montant total des coûts nécessaires sera de 1 013,5 millions de yens, et le détail des frais des deux pays sur la base de la répartition des tâches entre le Japon et le Mali indiquée dans ce qui précède est estimé comme suit, d'après les conditions de calcul indiquées ci-après au point (3). Toutefois, ce montant ne représente guère le plafond figurant sur l'Échange de Notes.

(1) Coût à la charge de la partie japonaise Coût total estimatif du projet 1 013,5 millions de yens

Tableau Détails des coûts à la charge de la partie japonaise

Rubriques des dépenses		Coût estimatif (million de yens)	
Installations	Coût de construction des installations	714,0	762,4
	Coût du mobilier	47,0	
	Coût des plaques / stickers	1,4	
Coût de l'agent de passation de marchés		103,5	
Coût de supervision de la conception		135,5	
Coût de la composante soft		10,0	
Frais d'avocats		2,1	
Total		1 013,5	

(2) Coûts à la charge de la partie malienne 18 767 000 FCFA (environ 3,3 millions de yens)

Tableau Détails des coûts à la charge de la partie malienne

Rubriques des dépenses	Montant (FCFA)	Conversion en yens (yens)
Aménagement des terrains (Abattage des arbres, etc.)	5 007 000	868 000
Aménagement des portails et clôtures	1 144 000	198 000
Travaux de raccordement des installations électriques	2 000 000	347 000
Travaux d'éménagement d'un point d'eau	11 000	2 000
Coût de mise en œuvre de la composante soft	3 195 000	554 000
Coût de mise en œuvre relatif à la construction des installations	1 425 000	247 000
Commissions bancaires	5 985 000	1 037 000
Total	18 767 000	3 253 000

Par ailleurs, ce montant est le montant estimatif calculé par la partie japonaise sur la base des informations recueillies lors de l'étude sur le terrain au mois d'octobre, 2010.

(3) Conditions de calcul

① Date du calcul : Octobre 2010

② Taux de change : 1\$ÉU = 89,91 yens

: 1 FCFA (monnaie locale) : = 0,17326 yens

: 1 euro = 115,31 yens

③ Durée des travaux de construction / approvisionnement : La durée des travaux est celle indiquée dans le processus de mise en œuvre du projet.

④ Autre : Le calcul est effectué en s'appuyant sur les mécanismes de l'aide financière non remboursable du gouvernement japonais.



Annexe-3 : Travaux et prestations à la charge de la partie malienne

- (1) Préparation des terrains nécessaires à la mise en œuvre du projet et obtention par le Ministère de l'Éducation, de l'Alphabétisation et des Langues Nationales du droit de construire des bâtiments.
- (2) Avant la mise en œuvre du projet, la démolition des installations existantes et obstacles, le remblai, et le nivellement des terrains, pour les sites sur lesquels ces travaux s'avèrent nécessaires.
- (3) Après l'achèvement des travaux, la construction ou la réparation de la clôture, la pose de portails, l'aménagement du paysage et les autres travaux d'installations extérieures connexes, pour les sites sur lesquels ces travaux s'avèrent nécessaires.
- (4) Travaux de raccordement de l'électricité d'ici à l'achèvement des travaux, pour les sites sur lesquels ces travaux s'avèrent nécessaires.
- (5) Prise en charge de la commission de notification de l'autorisation de déboursement global sur la base de l'arrangement bancaire avec une banque japonaise et de la commission des transferts bancaires.
- (6) Appui nécessaire pour faciliter le dédouanement rapide des matériaux qui seront utilisés dans le cadre du projet.
- (7) Prise des dispositions nécessaires concernant l'entrée et le séjour au Mali des personnes physiques ou morales impliquées dans le projet sur la base de l'accord d'agent et des contrats avec l'agent de passation de marchés.
- (8) Exonération des droits de douane en vigueur au Mali, des impôts à l'intérieur du pays et autres taxes en relation avec la fourniture de biens et de services sur la base de l'accord d'agent et des contrats avec l'agent de passation de marchés.
- (9) Utilisation et entretien adéquats et efficaces des installations et matériels mis à disposition par le biais du projet.
- (10) Prise en charge de tous les frais à l'exception de ceux pris en charge par le Japon dans le cadre de l'aide financière non-remboursable pour le développement communautaire dans la limite du projet.
- (11) Affectation des enseignants nécessaires au fonctionnement des salles de classe aménagées dans le cadre du projet.
- (12) Transformation des écoles communautaires incluses dans les écoles cibles du projet en écoles publiques.

Liste des travaux pris en charge par la partie malienne par site cible du projet

Region	AE	CAP	ID	Nom de l'école	Démolition des installations existantes, abattage/déracinement des troncs et nivellement du terrain	Démolition	Travaux de raccordement des câbles électriques	Travaux à la charge de la partie japonaise	
Koulikoro	Kali	Dioula	DL-1	Diarani					
			DL-2	Zéta					
			DL-3	Diana					
			DL-4	Fadabougou					
			DL-5	Banco	Abattage de 2 arbres				
		Fana	FN-1	Wereketa					
			FN-2	Fana C I					
			FN-4	Fana B					
			FN-5	Ouolodo					
			KB-1	Samalé					
		Kalabancoro	KB-2	Kalabancoro E					
			KB-4	Taïko II					
			KB-5	Adekan (Fraternité Kene)				o	Caniveau (47m)
			KT-1	Camp B	Abattage de 8 arbres Nivellement du terrain (224m2) Démolition d'1 bâtiment existant (50m2) Déplacement d' 1 tuyau d'alimentation (1.8m)	Démolition de clôture (38 m)		o	Nouvelle construction de clôture (70 m)
		Kali	KT-2	Sirabo Dogoba					
	KT-3		Songonil						
	KT-4		Gonsolo						
	KT-5		Yélékébougou					Caniveau (67.3m)	
	Koulikoro		Koulikoro	KL-1	Diaguinabougou Central	Defrichage du terrain (380m2)			
		KL-2		Tiomadio	Abattage de 1 arbre				
		KL-5		Kossaba					
		Banamba	BN-3	Kban 1 cycle B					
			BN-4	GSID	Abattage de 6 arbres				
			BN-5	Touba 1 cycle B					
		Kolokani	KK-1	Kolokani B	Déplacement du mât de drapeau				
KK-3			Ntibougou						
KK-5			Bella						
KI-2			Ségoubougou	Abattage de 3 arbres					
Kayes	Kita I	KI-3	Farabala 1 cycle				Caniveau (66m)		
		KI-4	Koloulabé 1 cycle	Abattage de 2 arbres					
		KI-5	Kantila						
		Kita II	KII-1	Kouléko					
			KII-2	Sangarébougou					
	KII-3		Badinko II						
	KII-4		Kabé						
	KII-5		Boulouli		Démolition de clôture (27 m)				
	Bamako	Rive Gauche	Dieébougou	BG-1	Nafadj				Caniveau (33m)
			Bamako Coura	BG-5	Samé	Abattage de 30 arbres		o	Caniveau (64.3m)
Centre Commercial			BG-6	Point G.	Abattage de 8 arbres		o		
Lafabougou			BG-7	Taïko	Démolition de la loge de gardien Abattage de 6 arbres	Démolition de clôture(39 m)	o	Restauration de la clôture (39 m)	
Sebenikoro			BG-8	Camp Para	Remblai de 30cm (1042m2)		o		
Rive Droite		Bananabougou	BD-2	Groupe scolaire de Magnambougou Projet	Abattage de 14 arbres		o		
		Faladié	BD-3	Groupe scolaire de Dianegueta	Démolition de la loge de gardien Abattage de 6 arbres				
			BD-4	Groupe scolaire de Yirimadio	Abattage de 7 arbres Déplacement du terrain de sport			Caniveau (64.3m)	
			BD-5	Groupe scolaire de Senou Base	Abattage de 7 arbres		o		
		Kataban coura	BD-7	Groupe scolaire de Baco Djcoroni					

Handwritten signature or initials.

Handwritten signature or initials.

Annexe-4 : Calendrier d'exécution des travaux

Année	2011												2012												2013												
	Jan	Fév	Mars	Av	Mai	Jun	Juil	Août	Sep	Oct	Nov	Déc	Jan	Fév	Mars	Av	Mai	Jun	Juil	Août	Sep	Oct	Nov	Déc	Jan	Fév	Mars	Av	Mai	Jun	Juil	Août	Sep	Oct	Nov	Déc	
Mots																																					
Nombre de mots après l'accord d'ajert	-	-	-	-	-	-	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29		
Cabinet					▲																																
EN/AAD						▲																															
Accord d'ajert						▲																															
Période des préparatifs pour la mise en œuvre (publication de l'acte du ministre des Finances)																																					
Groupe 1 (Plain-pied (régions rurales))	Appel d'offres / contrats																																				
	Travaux de construction																																				
Groupe 2 (Banque 2 étages)	Appel d'offres / contrats																																				
	Travaux de construction																																				
Groupe 3 (Plain-pied (régions rurales))	Appel d'offres / contrats																																				
	Travaux de construction																																				
Période restante	Appel d'offres / contrats																																				
	Travaux de construction																																				

26

dg

マリ共和国
第四次小学校建設計画
準備調査（報告書案説明）
協議議事録

マリ共和国政府より提出された要請に基づき、日本政府は「第四次小学校建設計画」（以下「プロジェクト」と称する）に関する協力準備調査を行うことを決定し、本調査の実施を独立行政法人国際協力機構（以下「JICA」と称する）に委託した。

JICAはこれまで3回の現地調査を実施し、本プロジェクトの要請内容の確認や事業計画策定に必要な情報収集を行った。その後、調査結果を踏まえて、日本で事業計画の検討を行い、協力準備調査報告書（案）を作成した。

今般、JICAは協力準備調査報告書（案）の内容をマリ側に説明し、またその内容に関する意見を聴取するため、2011年4月4日から4月9日まで、人間開発部基礎教育第二課課長 丹原一広を団長とする協力準備調査（報告書案説明）調査団（以下、「調査団」と称する）を派遣した。

協議および現地調査の結果、両者は付属書に記載された主要な項目を確認した。

マリ共和国バマコ市 2011年4月7日

丹原 一広
団長
協力準備調査団
独立行政法人国際協力機構
日本

Denis DOUGNON
事務次官
教育・識字・国語省
マリ共和国

付属書

1. 協力準備調査報告書（案）の内容

マリ側は、調査団によって説明された協力準備調査報告書（案）の内容に関して原則合意し、これを受け入れた。

2. 日本の無償資金協力制度

調査団は、2010年4月9日付で署名されたミニッツの別紙5～8に記載されているコミュニティ開発支援無償の制度について改めてマリ側に説明し、マリ側はこれを了解した。なお、両者は2011年3月10日付けで署名されたミニッツにも記載のとおり、施設の施工業者は、両政府機関の間で他の取り決めがなされない限りマリ国籍となることを合意した。また、調査団はマリ側に対して、「マリ国籍」とはマリ人もしくはマリ人によって管理されているマリ法人を意味する旨を説明し、マリ側は異論ない旨回答した。

3. 本プロジェクトの計画対象校及び整備施設内容

調査団は、本プロジェクトの計画対象校及び整備施設内容（別紙1）について説明し、マリ側はこれを了解した。

4. ソフトコンポーネント

両者は、本プロジェクトのソフトコンポーネントとして、整備するトイレ棟及び手洗いタンクの利用及び維持管理方法にかかる啓蒙活動を実施することに合意した。

5. プロジェクトの概算事業費

調査団は本プロジェクトの概算事業費（別紙2）について説明した。双方は概算事業費について受注者決定まで関係者以外の第三者に開示しないことを確認した。調査団は、概算事業費は概算であり変更する可能性があることを説明し、マリ側はこれを了解した。

6. マリ側負担工事

調査団は、本プロジェクトの実施にあたって必要となるマリ側負担事項の内容（別紙3）及び事業実施工程案（別紙4）について説明した。マリ側はかかる事項の実施に必要な予算を確保し、スケジュールに則って確実に実施することを確約した。

7. 運営・維持管理の遵守

マリ側は、建設が終了するまでに、本計画の実施に伴い追加で必要となる人員を配置することを確約した。また、運営・維持管理体制の確立や運営・維持管理に必要な予算の確保・配分を遅滞なく実施することを確約した。

8. 秘密保持

双方は、本プロジェクトに関連するあらゆる資料をプロジェクトの入札終了まで関係者以外の第三者に開示しないことを確認した。

9. 今後の予定

調査団は、日本政府によるプロジェクトの最終承認は、昨今日本を襲った地震の影響により不確定である旨説明した。調査団は、今後のスケジュールが確定次第マリ側に通知すると説明し、マリ側はこれを了解した。

別紙1：計画対象校及び整備施設内容

別紙2：概算事業費

別紙3：マリ側負担事項

別紙4：事業実施工程表

別紙1：計画対象校及び整備施設内容

地域			ID	学校名	計画教室数	計画校舎・倉庫数	トイレ棟(ブース数)
州	AE	CAP					
クリコロ	カティ	ジョイラ	DL-1	Diarani	4	1	3
			DL-2	Zéta	3		3
			DL-3	Diana	3	1	3
			DL-4	Fadabougou	6	1	6
			DL-5	Banco	6	2	6
		ファナ	FN-1	Werekela	3	1	3
			FN-2	Fana C I	3		3
			FN-4	Fana B	6	1	6
			FN-5	Ouolodo	4	1	3
		カラバンコロ	KB-1	Samalé	3	1	3
			KB-2	Kalabancoro E	6	1	6
			KB-4	Taliko II	6	1	6
			KB-5	Adeken (Fraternite Kene)	3		3
		カティ	KT-1	Camp B	6	1	6
			KT-2	Sirablo Dogoba	2	1	3
	KT-3		Songon II	6	1	6	
	KT-4		Gonsolo	3	1	3	
	KT-5		Yélékébougou	6	1	6	
	クリコロ	クリコロ	KL-1	Diaguinabougou Central	2		3
			KL-2	Tlomadio	3		3
			KL-5	Kossaba	3	1	3
		パナンバ	BN-3	Kiban 1 cycle B	3	1	3
			BN-4	GSID	6	1	6
			BN-5	Touba 1 cycle B	5		3
		コロカニ	KK-1	Kolokani B	4		3
KK-3			N'tiobougou	3		3	
KK-5		Balla	3		3		
カイ		キタ I	KI-2	Ségoubougouni	6		6
	KI-3		Farabala 1 cycle	6		6	
	KI-4		Kofoulabé 1 cycle	6	1	6	
	KI-5		Kantila	5	1	3	
	KII-1		Kouléko	6	1	6	
	キタ II	KII-2	Sangarébourgou	4	1	3	
		KII-3	Badinko II	6		6	
		KII-4	Kabé	3	1	3	
		KII-5	Boulouli	3	1	3	
		バマコ特別区	バマコ左岸	ディエリブグ	BG-1	Nafadji	6
バマコクラ	BG-5			Samé	6		6
セントルコマーシャル	BG-6			Point G.	6		6
ラフィアブグ	BG-7			Taliko	6		6
セベニコ	BG-8			Camp Para	6		6
バマコ右岸	パナンカブグ		BD-2	Groupe scolaire de Magnambougou Projet	6		6
	ファラジェ		BD-3	Groupe scolaire de Dianeguella	6		6
			BD-4	Groupe scolaire de Yirimadio	6		6
			BD-5	Groupe scolaire de Senou Base	6		6
			カラバンクラ	BD-7	Groupe scolaire de Baco Djicoroni	6	
合計					216	25	210

別紙2：概算事業費

本協力対象事業を実施する場合に必要な事業費総額は 10.1 億円となり、先に述べた日本とマリ国との負担区分に基づく双方の経費内訳は下記(3)に示す積算条件によれば、次のとおりと見積られる。ただし、この額は交換公文上の供与限度額を示すものではない。

(1) 日本側負担経費 概略総事業費 約 1,013.5 百万円

日本側負担経費内訳

費目		概算事業費 (百万円)	
施設	施設建設費	714.0	762.4
	家具費	47.0	
	銘板・ステッカー費	1.4	
調達代理機関費		103.5	
設計監理費		135.5	
ソフトコンポーネント費		10.0	
弁護士費用		2.1	
合計		1,013.5	

(2) マリ国側負担経費 18,767,000 FCFA (約 3.3 百万円)

マリ国側負担経費内訳

費目	金額 (FCFA)	日本円換算 (円)
敷地既存施設撤去 (樹木除却等)	5,007,000	868,000
正門、囲い塀整備	1,144,000	198,000
電気設備接続工事	2,000,000	347,000
給水整備移設工事	11,000	2,000
ソフトコン実施費用	3,195,000	554,000
施設建設にかかる実施費用	1,425,000	247,000
銀行手数料	5,985,000	1,037,000
合計	18,767,000	3,253,000

なお、この額は 2010 年 10 月の現地調査時に得た情報を元に日本側が試算した概算額である。

(3) 積算条件

- ① 積算時点 : 平成 22 年 10 月
- ② 為替交換レート : 1US\$ =89.91 円
: 1 現地通貨 (FCFA : フラン・セーファー) =0.17326 円
: 1 ユーロ =115.31 円
- ③ 施工・調達期間 : 工事の期間は、業務実施工程に示したとおり。
- ④ その他 : 積算は日本国政府の無償資金協力の制度を踏まえて行うこととする。

別紙3 マリ側負担事項

- (1) 本プロジェクトに必要な土地を用意し、教育・国語・識字省が建物を建設する権利を確保すること
- (2) 必要なサイトに関し、本プロジェクトの実施に先立ち、既存施設および障害物の解体撤去工事を実施するとともに、盛り土、整地を行うこと
- (3) 必要なサイトに関し、工事完成後に囲い塀の新設または補修、門扉の設置、造園、その他付属的な外構工事を実施すること
- (4) 必要なサイトに関し、工事完了までに電力の接続工事を行うこと
- (5) 日本にある銀行との銀行取り決めに基づき包括的支払い授權書にかかる通知手数料、および支払手数料を負担すること
- (6) プロジェクトに使用される資機材の通関が速やかに実施されるよう、必要な措置を講じること
- (7) 調達代理契約および調達代理機関と交わす各契約に基づいて、本プロジェクトに携わる個人または法人に対し、マリへの入国ならびに滞在に必要な便宜を供与すること
- (8) 調達代理契約および調達代理機関と交わす各契約に基づいた物品および役務の提供に関し、マリ内で課される関税、国内税、およびその他課税を免除すること
- (9) 本プロジェクトで供与される施設機材を適切かつ効果的に使用し維持すること
- (10) 本プロジェクトの範囲内で日本のコミュニティ開発支援無償資金協力によって負担される費用以外の全ての費用を負担すること
- (11) 本プロジェクトにより整備される学校の運営に必要な教職員の確保及び配置を行うこと
- (12) 本プロジェクトの対象に含まれているコミュニティ学校を公立化すること

計画対象サイト別先方負担工事リスト

地域			ID	学校名	マリ側負担工事			日本側負担工事
					既存施設撤去、樹木伐採・抜根、整地	フェンスの撤去	電気配線接続工事	
州	AE	CAP						
クリココ	カティ	ジョイラ	DL-1	Diarani				
			DL-2	Zéta				
			DL-3	Diana				
			DL-4	Fadabougou				
			DL-5	Banco	樹木2本撤去			
		ファナ	FN-1	Werekela				
			FN-2	Fana C I				
			FN-4	Fana B				
			FN-5	Ouolodo				
			KB-1	Samalé				
		カラバン コロ	KB-2	Kalabancoro E				
			KB-4	Taliko II				
			KB-5	Adeken (Fraternite Kene)			○	側溝 (47m)
			KT-1	Camp B	樹木8本撤去、 整地 (224㎡) 既存建物撤去 (50㎡) 給水管の移設 (18m)	フェンス撤去 (38m)	○	フェンス新設 (70m)
		カティ	KT-2	Sirablo Dogoba				
	KT-3		SongonII					
	KT-4		Gonsolo					
	KT-5		Yélékébougou				側溝 (67.3m)	
	クリココ		クリココ	KL-1	Diaguiniabougou Central	畑の整地 (380㎡)		
		KL-2		Tlomadio	樹木1本撤去			
KL-5		Kossaba						
バナンバ		BN-3	Kiban 1 cycle B					
		BN-4	GSID	樹木6本撤去				
		BN-5	Touba 1 cycle B					
		KK-1	Kolokani B	フラッグポール移設				
		KK-3	N'tiobougou					
コロカニ		KK-5	Balla					
		カイ	キタ I	KI-2	Ségoubougouni	樹木3本撤去		
KI-3	Farabala 1 cycle						側溝 (66m)	
KI-4	Kofoulabé 1 cycle			樹木2本撤去				
KI-5	Kantila							
KII-1	Kouléko							
キタ II	KII-2		Sangarébourgou					
	KII-3		Badinko II					
	KII-4		Kabé					
	KII-5		Boulouli		フェンス撤去 (27m)			
	バマコ 特別区		バマコ 左岸	ディエリブグ	BG-1	Nafadji		
バマコクラ		BG-5		Samé	樹木30本撤去		○	側溝 (64.3m)
セントルコマーシャル		BG-6		Point G.	樹木8本撤去		○	
ラフィアブグ		BG-7		Taliko	樹木6本撤去 守衛室撤去	フェンス撤去 (39m)	○	フェンス復旧 (39m)
セベニコロ		BG-8	Camp Para	盛土30cm (1042㎡)		○		
バマコ 右岸		バナンカブグ	BD-2	Groupe scolaire de Magnambougou Projet	樹木14本撤去		○	
		ファラジェ	BD-3	Groupe scolaire de Dianeguella	樹木6本撤去 守衛室撤去			
			BD-4	Groupe scolaire de Yirimadio	樹木7本撤去 バスケットコート移設			側溝 (64.3m)
			BD-5	Groupe scolaire de Senou Base	樹木7本撤去		○	
			カラバンクラ	BD-7	Groupe scolaire de Baco Djicoroni			

別紙 4：事業実施工程表

年	2011												2012												2013												
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
月																																					
調達代理契約後の月数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																									
間議					▲																																
E/N・G/A						▲																															
調達代理契約							▲																														
実施準備期間(財務省令発行)																																					
グループ1 (地方平屋)																																					
入札・契約																																					
建設工事																																					
家具																																					
グループ2 (バマコ2階建て)																																					
入札・契約																																					
建設工事																																					
家具																																					
グループ3 (地方平屋)																																					
入札・契約																																					
建設工事																																					
家具																																					
残務期間																																					

**NOTES TECHNIQUES
RELATIVES A
L'ETUDE PREPARATOIRE
(EXPLICATION SUR PLACE DE L'AVANT-PROJET DU DOSSIER D'APPEL
D'OFFRE)
POUR LE PROJET DE CONSTRUCTION ET D'EQUIPEMENT
D'ECOLES FONDAMENTALES PREMIER CYCLE
PHASE IV
EN REPUBLIQUE DU MALI**

L'Agence Japonaise de Coopération Internationale (désignée ci-après par la « JICA ») a établi l'avant-projet de la conception détaillée des installations du Projet (désigné ci-après par l'«avant-projet du dossier d'appel d'offre») sur la base du rapport de l'étude préparatoire (proposition) pour le «Projet de construction et d'équipement d'écoles fondamentales premier cycle phase IV» (ci-après désigné par «le Projet») dont le gouvernement de la République du Mali (désigné ci-après par la «partie malienne») et la JICA ont donné l'accord à travers le procès-verbal signé le 7 avril 2011.

La JICA a envoyé l'équipe de consultants dirigée par M. Akira SUGIURA, le chef du Projet (désignée ci-après par l'«Équipe») entre les 12 et 24 juin 2011 au Mali afin de procéder à l'explication de l'avant-projet du dossier d'appel d'offre à la partie malienne et de demander leurs commentaires sur le contenu du dossier.

Au terme des discussions et de l'étude sur le terrain, la partie malienne et l'Equipe ont confirmé ce qui suit.

1. Contenu de l'avant-projet du dossier d'appel d'offre :

La partie malienne a donné son accord sur le contenu de l'avant-projet du dossier d'appel d'offre et l'a accepté. La partie malienne a compris que le dossier d'appel d'offre sera établi par Japan International Cooperation System (JICS) pendant l'étape de la mise en œuvre du Projet sur la base de l'avant-projet du dossier d'appel d'offre.

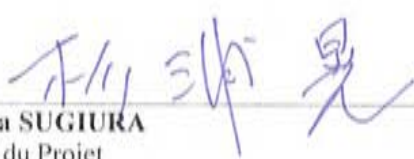
2. CONFIDENTIALITE :

Les deux parties ont confirmé qu'aucune information relative au Projet, ne devra être divulguée à des parties tierces avant l'achèvement des processus d'appel d'offres et de soumission du Projet.

3. PROCHAINE ETAPE DE L'ETUDE :

La Mission a expliqué que la période d'approbation du projet par le gouvernement du Japon est prévue pour le mois de juin 2011 mais pas encore déterminée. La Mission a promis d'informer la partie malienne dès que le calendrier d'approbation du Projet sera précisé. La partie malienne en a pris bonne note.

Fait à Bamako, le 24 juin 2011


Akira SUGIURA
Chef du Projet
Mission d'étude préparatoire
Mohri, Architect & Associates, Inc.


Pr. Denis DOUGNON
Secrétaire Général
Ministère de l'Éducation, de l'Alphabétisation
et des Langues Nationales
République du Mali



マリ共和国
第四次小学校建設計画
準備調査（入札参考資料の現地説明）
テクニカルノート

独立行政法人国際協力機構（以下「JICA」と記す）は、マリ共和国（以下「マリ」と称す）と JICA との間で 2011 年 4 月 7 日付けのミニッツで合意された「マリ共和国第四次小学校建設計画」（以下「プロジェクト」と記す）に関する概略設計報告書（案）に則り、プロジェクトの施設の詳細設計案（以下「入札参考資料」と称す）を作成した。

JICA は、入札参考資料の内容をマリに説明し、またその内容に関する意見を聴取するため、杉浦晃を業務主任とするコンサルタントチーム（以下「チーム」と記す）を、2011 年 6 月 12 日から 2012 年 6 月 24 日までの予定でマリへ派遣した。

協議の結果、マリとチームは以下の項目を確認した。

1. 入札参考資料の内容

マリは、チームによって説明された入札参考資料の内容を合意し、これを受け入れた。マリは、入札図書はこの入札参考資料を基に今後実施段階において JICS により作成されることを理解した。

2. 秘密保持

双方は、本プロジェクトに関連するあらゆる資料をプロジェクトの入札終了まで関係者以外の第三者に開示しないことを確認した。

3. 今後の予定

チームは、日本政府によるプロジェクトの最終承認は 2011 年 6 月を予定しているが、まだ確定していないことを説明した。チームは、今後のスケジュールが確定次第マリ側に通知すると説明し、マリ側はこれを了解した。

バマコ 2011 年 6 月 24 日

杉浦 晃
業務主任
準備調査コンサルタントチーム
株式会社毛利建築設計事務所

Denis DOUGNON
マリ共和国
教育・識字・国語省
事務次官

資料 5. ソフトコンポーネント計画書

(1) ソフトコンポーネントを計画する背景

マリ国第四次小学校建設計画では、学習環境の改善を目標としてクリコロ州、カイ州、バマコ特別区において、46校の既存小学校を対象に216教室、25校長室、および70トイレ棟を整備する。

準備調査では、既存校の運営・維持管理体制および状況について調査を行った。マリでは教育の地方分権化を推進中であり、公立小学校は、2002年に発布された法令に基づきコミューン（最小の地方自治体単位）の管轄下に置かれている。コミューンは公立小学校の教員雇用、学校施設整備等の学校運営維持管理の責任を負っている。他方、各学校においては選挙によって選ばれたメンバーによる学校運営委員会（CGS）の設置が促進され、学校活動計画の策定・実行や日常の維持管理を行うことになっている。

現地調査の結果、全調査対象既存校で学校運営委員会（CGS）の存在が確認された。学校毎に活動レベルの差はあるものの、各CGSは定期的な会合を持ち、生徒やコミュニティから徴収した学校予算を利用し学校活動計画に基づいた活動を行っている。このCGS体制の下、教室や校長室の清掃を含めた施設維持管理は概ね適切に行われていることが確認された。

他方、トイレについては、特に農村部の小学校において、トイレそのものが一般的でないことから、適切な使用方法および維持管理方法が知られていないことも判明した。

本ソフトコンポーネントでは、本体事業でトイレ棟および手洗いタンクを設置するにあたり、右施設が適切かつ継続的に使用されるための維持管理や学校衛生啓蒙に関する活動を実施する。その際、上記のCGSを活用することで、効率的かつ自立発展的な活動となるよう計画する。

なお、第2次計画、第3次計画で導入されたソフトコンポーネント活動は、それぞれ、学校施設全般の維持管理および学校保健衛生意識の向上、CGS能力強化を目標としており、両者共に少数の学校に対し、多岐に渡る活動を行うものであった。これに対し、本ソフトコンポーネントではJICA技プロ「学校運営委員会支援プロジェクト」が2008年5月より実施中であることなどを踏まえ、CGSの能力強化などには着手せず、トイレ棟および手洗いタンクの維持管理に特化した活動を全対象校で行う。

(2) ソフトコンポーネントの目標

トイレ棟及び手洗いタンクが適切に維持管理される。

(3) ソフトコンポーネントの成果および成果達成の確認方法

成果	成果達成の確認方法（指標）
・ トイレ棟および手洗いタンクの維持管理の重要性や具体的方法が理解される。	・ アンケート結果
・ 各学校の学校活動計画にトイレ棟および手洗いタンクの維持管理活動が組み入れられる。	・ 各学校の学校活動計画の内容及びその実施状況

(4) ソフトコンポーネントの活動内容

1) 対象校

全 46 校を対象とする。

2) 対象者

対象者は、学校施設の運営・維持管理の権限を持つ、各校の学校運営委員会メンバー・校長、学校運営委員会に技術的支援を提供する CAP（県レベルの教育・識字・国語省出先機関）の基礎教育担当者とする。なお、バマコ特別区（右岸および左岸）に関しては、AE（州レベルの教育・識字・国語省出先機関）の基礎教育担当者も参加する。

3) 活動内容

ワークショップを CAP 単位（バマコ特別区においては AE 単位）で 2 回、各対象校で 1 回ずつ行う。詳細は以下の通り。

ソフトコンポーネントの活動内容

段階	内容	実施場所
第 1 回活動	ソフトコンポーネント実施者が講師あるいはファシリテーターとなり、学校運営委員会メンバーおよび CAP/AE 担当者と共に以下の活動を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ トイレの正しい使用方法・維持管理方法の説明 ・ 学校保健に関する啓蒙ポスターの配布 ・ 各対象校の学校活動計画に、ア) トイレの使用方法、イ) トイレの維持管理、ウ) 手洗いの普及、エ) 手洗いタンクの維持管理などの活動を盛り込み、関係者の役割分担を明確化する。 	*各 CAP (9CAP) *バマコ右岸 AE *バマコ左岸 AE
第 2 回活動	ソフトコンポーネント実施者が各対象校を巡回し、学校活動計画の内容、実施状況をチェックし、学校運営委員会メンバーおよび CAP/AE 担当者と問題点・改善点等を話し合う。	*各対象校 (46 校)
第 3 回活動	ソフトコンポーネント実施者がファシリテーターとなり、第 1 回活動で策定した学校活動計画の評価を行う。各対象校同士で作成した活動計画をシェアし、次年度の活動計画への参考とし合う。	*各 CAP (9CAP) *バマコ右岸 AE *バマコ左岸 AE

(5) 実施体制および投入計画

ソフトコンポーネントは、本プロジェクトの施工監理を実施する本邦コンサルタントが、現地 NGO・コンサルタント等を競争プロポーザルにより選定し、活用する。なお、マリには教育および保健分野の NGO が多数存在する。本プロジェクトのソフトコンポーネント実施者については、実施中の技プロ「学校運営委員会支援プロジェクト」を担当する NGO や第 2 次、第 3 次計画のソフトコンポーネントを実施した NGO などが適切な候補として考えられる。

本邦コンサルタント及び現地 NGO・コンサルタントの計画投入日数・M/M および両者の業務分担は以下の通りである。なお、第 2 回活動は現地 NGO・コンサルタントのみによって実施される。

邦人コンサルタント投入計画

		所要日数			
		第1回	第2回	第3回	合計
現地作業	渡航（東京-バマコ）	2		2	4
	表敬訪問、打ち合せ	1		1	2
	NGO 打合せ、事前準備	3		3	6
	CAP および AE 巡回	15		15	30
	NGO 打合せ、報告書作成、報告など	2		2	4
	渡航（東京-バマコ）	2		2	4
国内作業（報告書作成等）		3	4	3	10
活動日数		28	4	28	60
M/M					2.00

現地 NGO・コンサルタント投入計画

	第1回	第2回	第3回	合計
活動日数	20	25	20	65
M/M				2.17

邦人／現地 NGO・コンサルタントの作業分担

	邦人コンサルタント	現地 NGO・コンサルタント
第1回活動	<ul style="list-style-type: none"> ワークショップ説明資料準備 ワークショップ講師 分析作業・報告書作成 	<ul style="list-style-type: none"> ワークショップ業務調整 ワークショップ説明資料準備 ワークショップ補佐
第2回活動	<ul style="list-style-type: none"> 分析作業・報告書作成 	<ul style="list-style-type: none"> 各対象校でワークショップ講師 報告書作成
第3回活動	<ul style="list-style-type: none"> ワークショップ講師 分析作業・報告書作成 	<ul style="list-style-type: none"> ワークショップ業務調整 ワークショップ説明資料準備 ワークショップ補佐

(6) 実施スケジュール

- 第1回ワークショップ：学校活動計画が新年度開始の9月に作成されるタイミングに合わせて、9月に実施する。
- 第2回ワークショップ：学校活動計画実施中の3月に現地 NGO・コンサルタントが全校を巡回し、実施する。なお、基本的には1日2校のペースで巡回する。
- 第3回ワークショップ：年間活動が終了する学校年度末の8月にあわせて実施する。

ソフトコンポーネントの実施スケジュール

		2012年												2013年								
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
ソフトコン活動予定	第1回ワークショップ * 学校活動計画の策定 * トイレ維持管理方法説明 * 学校衛生ポスター配布									▲												
	学校活動計画実施 * 各学校で実施																					
	第2回ワークショップ * 学校活動計画実施状況のチェック																	▲				
	第3回ワークショップ * 学校活動計画の評価																					▲
建設予定	建設グループ1 (9ヶ月)																					
	建設グループ2 (12ヶ月)																					
	建設グループ3 (9ヶ月)																					
		学校期間												学校期間								

	現地	国内	合計	第1回活動		第2回活動		第3回活動		
本邦コンサルタント				■	□		□		■	□
日数	50	10	60	25	3		4		25	3
現地コンサルタント				■		■			■	
日数	65	-	65	20			25		20	

凡例: ■ 現地作業 □ 国内作業

(7) ソフトコンポーネントの成果品

本ソフトコンポーネントの成果品は以下のとおり。

- 1) 第1回、第2回、第3回活動実施報告書
- 2) 成果物
 - ・ワークショップ説明資料
 - ・学校活動計画および実施状況分析結果
 - ・学校衛生に関する意識向上アンケート結果・分析結果

(8) ソフトコンポーネントの概略事業費

項目	概算事業費 (千円)
邦人コンサルタント直接人件費	1,352
邦人コンサルタントにかかる直接経費	4,460
現地再委託にかかる経費	2,507
間接費	1,729
合計	10,048

(9) マリ側の責務・役割分担

ソフトコンポーネント実施にあたり、マリ側は各段階において以下の責務を負う。

<第1回活動>

	責務
教育・識字・国語省	*各 AE/CAP でのワークショップ開催許可 *各 AE/CAP へのワークショップ開催に関する連絡
AE (バマコのみ) /CAP	*ワークショップ開催場所の提供 *AE (バマコのみ) /CAP 職員のワークショップ出席 *各対象校 (学校運営委員会) との日程調整および連絡 *学校活動計画の回収および NGO への提出 *各対象校への技術的支援 (第1回活動以降1年間)
各対象校 (学校運営委員会)	*ワークショップへの出席 *学校活動計画の策定および CAP への提出 *学校活動計画の実行 (第1回活動以降1年間)

<第2回活動>

	責務
教育・識字・国語省	*各 AE/CAP でのワークショップ開催許可 *各 AE/CAP へのワークショップ開催に関する連絡
AE (バマコのみ) /CAP	*AE (バマコのみ) /CAP 職員のワークショップ出席 *各対象校 (学校運営委員会) との日程調整および連絡
各対象校 (学校運営委員会)	*ワークショップ開催場所の提供 *ワークショップへの出席

<第3回活動>

	責務
教育・識字・国語省	*各 AE/CAP への連絡
AE (バマコのみ) /CAP	*ワークショップ開催場所の提供 *AE (バマコのみ) /CAP 職員のワークショップ出席 *各対象校 (学校運営委員会) との日程調整および連絡
各対象校 (学校運営委員会)	*ワークショップへの出席

<活動実施後>

	責務
教育・識字・国語省	—
AE (バマコのみ) /CAP	*各対象校 (学校運営委員会) への継続的な技術支援
各対象校 (学校運営委員会)	*トイレ棟および手洗いタンクの運営維持管理活動の継続

資料 6. 参考資料／入手資料リスト

案件名：マリ国第四次小学校建設計画

No	名称	形態	オリジナル・コピー	発行機関	発行年
1	Annuaire National des Statistiques Scolaires de l'Enseignement Fondamental 2004-5	データ	コピー	MEALN	2004
2	Annuaire National des Statistiques Scolaires de l'Enseignement Fondamental 2005-6	データ	コピー	MEALN	2006
3	Annuaire National des Statistiques Scolaires de l'Enseignement Fondamental 2006-7	データ	コピー	MEALN	2007
4	Annuaire National des Statistiques Scolaires de l'Enseignement Fondamental 2007-8	データ	オリジナル (CD-ROM)	MEALN	2008
5	Annuaire National des Statistiques Scolaires de l'Enseignement Fondamental 2008-9	データ	オリジナル (CD-ROM)	MEALN	2009
6	4eme Recensement General de la Population et de l'Habitat du Mali -RGPH 2009	冊子	コピー	INSAT	2009
7	Programme d'investissement pour le Secteur de l'Education (Descriptif de la Troisieme Phase 2010-2012) Version definitive: le mars 2010	データ	コピー	MEALN 他	2010
8	Revue de la deuxieme phase du programme d'investissement sectorielle de l'education (PISE 2)	データ	コピー	-	2008
9	Prix Moyens de Vente des Materiaux et Produits de Construction a Bamako Mois de septembre 2010	データ	コピー	MFD	2010
10	Bordereau des Prix Unitaires 2009	データ	コピー	DNUH	2009
11	Entreprises de Travaux Publics	データ	コピー		2010
12	Tableau de L'ordre des Architectes du Mali	データ	コピー	Ordre des Architectes du Mali	2007
13	Tableau de L'ordre des Ingenieures - Conseils du Mali	データ	コピー	Ordre des Ingenieures - Conseils du Mali	2009

注)

1. MEALN:Ministere de Education, Alphabetization, et Langues Nationales
2. INSAT: Institut National de la Statistique
3. DNUH: Direction Nationale de l'Urbanisme et de l'Habitat
4. MFD: Ministere des Finances Direction Generale des Moches Publics



www.malipages.com/labogec

LABORATOIRE DE GENIE CIVIL MALI

**PROJET CONSTRUCTION ET D'EQUIPEMENT
 ECOLES FONDAMENTALES 1^{er} CYCLE
 AU MALI, PHASE IV
 ETUDES DES SOLS DE FONDATION**

RAPPORT V1

Rapport Projet Construction et Equipement Ecoles fondamentale 1 ^{er} cycle phase 4			Nb pages: 34	
V_1	Diarra A BOUARE	Nianti BOUARE	26/03/11	Rapport Construction Ecole MOHRI A et Associates
Indice	Etabli par	Vérifié par	Date	Modifications/Observations

CLIENT: MOHRI, ARCHITEC & ASSOCIATES.INC.

mars 2011

SOMMAIRE

<u>1 GENERALITES</u>	<u>3</u>
1.1 INTRODUCTION	3
1.2 PROGRAMME GEOTECHNIQUE	3
<u>2 PRESENTATION DU PROJET</u>	<u>3</u>
<u>3 INTERVENTION SUR LES SITES</u>	<u>5</u>
3.1. CONSIDERATIONS GENERALES	5
<u>4 SITE DU POINT G (BG-6)</u>	<u>9</u>
4.1 PENETRATION DYNAMIQUE.	9
4.2. FONDATIONS.	11
<u>5 SITE DE TALIKO (BG-7)</u>	<u>13</u>
5.1 PENETRATION DYNAMIQUE.	13
5.2 FONDATIONS.	15
<u>6. SITE DE CAMP B (KT-1)</u>	<u>17</u>
6.1 PENETRATION DYNAMIQUE.	18
6.2 FONDATIONS.	19
<u>7 SITE MAGNAMBOUGOU PROJET (BD-2)</u>	<u>21</u>
7.1 PENETRATION DYNAMIQUE.	22
7.2 FONDATIONS.	23
<u>8 SITE DIANEQUELA (BD-3)</u>	<u>25</u>
8.1 PENETRATION DYNAMIQUE.	26
8.2 FONDATIONS.	27
<u>9 BACO DJICORONI (BD-7)</u>	<u>29</u>
9.1 PENETRATION DYNAMIQUE.	30
9.2 FONDATIONS.	31

1 GENERALITES

1.1 Introduction

Dans le cadre du Projet de construction et d'équipement d'écoles fondamentales premier cycle phase IV en République du Mali, par contrat en date du 17 mars 2011, **MOHRI, ARCHITEC & ASSOCIATES.INC.** a confié au **Laboratoire de Génie Civil (LABOGEC)**, les investigations géotechniques des sols de fondation des dits sites.

Les sites ont été identifiés par KUMIKO ENOMOTO en compagnie d'un ingénieur et d'un technicien de LABOGEC.

Tous les essais se sont déroulés au droit des points implantés par MOHRI ARCHITECT & ASSOCIATES, INC conformément aux plans remis à LABOGEC.

1.2 Programme géotechnique

Le programme géotechnique consiste:

- **Phase terrain**

Sur chaque site, il est prévu l'exécution d'un (01) point de pénétration dynamique descendu à $-5,00\text{m}$ au maximum par rapport au terrain naturel sauf en cas de refus où l'essai est automatiquement arrêté (55 coups).

- **Phase rapport et ingénierie**

Cette phase fait ressortir :

- ✓ Analyse des diagrammes de pénétration dynamique;
- ✓ Proposition du type de fondation approprié pour chacun des sites;
- ✓ Détermination de la profondeur d'ancrage des fondations pour chacun des sites ;
- ✓ Détermination de la contrainte de calcul d'après les résultats de pénétration des sols de fondation ;

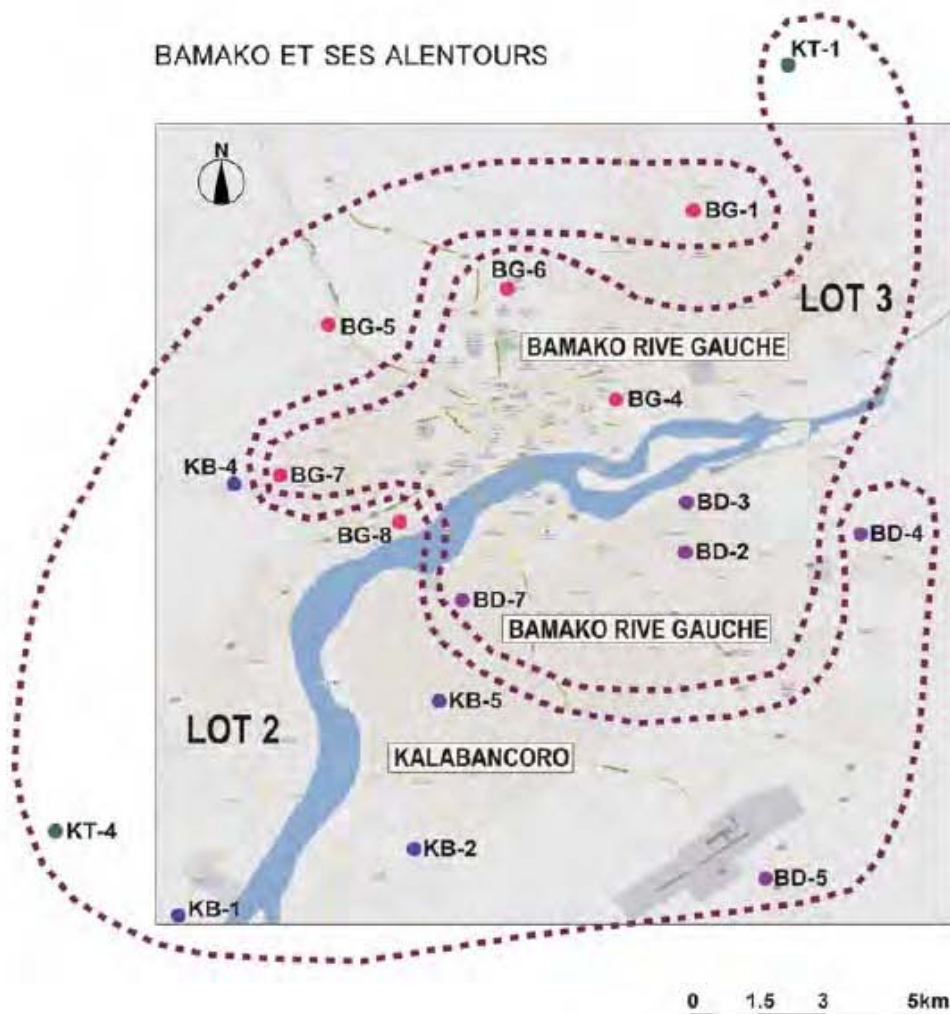
2 Présentation du projet

Le projet consiste en la construction et d'équipement d'écoles fondamentales 1^{er} Cycle phase IV en République du Mali. Les salles de classe seront à deux (2) niveaux (R+1).

La liste des écoles ayant faits l'objet de l'intervention est donnée ci-dessous.

Liste d'écoles faisant l'objet de l'étude géotechnique.

LOT 3		
SDC R+1	BG-6	Point G.
	BG-7	Groupe Scolaire Taliko
BAMA KO RG	KT-1	Camp B
BAMA KO RD	BD-2	Groupe scolaire de Magnambougou Projet
KATI	BD-3	Groupe scolaire de Dianeguela
	BD-7	Groupe scolaire de Baco Djicoroni
	7 écoles	



3 Intervention sur les sites

3.1. Considérations générales

L'intervention sur les différents sites du projet a consisté, conformément au programme géotechnique, en l'exécution d'un essai au pénétromètre dynamique lourd type LM75 sur chaque site à l'emplacement choisi par le client.

L'appareil utilisé est le pénétromètre dynamique automatique Version LM 75 suivant norme AFNOR P 94 115/XP 063.

Il permet d'obtenir en continu par tranche de 20 cm la résistance des sols rencontrés par enfoncement d'un train de tige muni à sa base d'une pointe perdue et soumis à la frappe automatique de 15 à 30 coups/minutes, d'un mouton de battage de 63,5 Kg avec une hauteur de chute de 75 cm.

La résistance à la rupture sous la pointe du pénétromètre s'exprime par la formule des <<HOLLANDAIS>>, de la façon suivante:

$$R_d = Q_d = \frac{M^2 H}{(M+C_t)} * \frac{1}{S} * \frac{n}{e}$$

$R_d = Q_d$ = Résistance à la rupture (10^5 Pa ou bars)

M = Poids du mouton (Kg)

H = Hauteur de chute (cm)

C_t = Poids du pénétromètre (Corps de l'appareil + tiges)

S = Section de la pointe (cm^2)

n = Nombre de coups de mouton correspondant à l'enfoncement (e)

e = Enfoncement (cm) pour chaque volée, on ne dépassera pas un enfoncement de 20cm

Les graphiques de pénétration ainsi que le plan d'implantation des sondages sont joints aux pages suivantes.

En fondations superficielles, selon le DTU n°13-12 de mars 1988, il est adopté habituellement une contrainte ultime (q_u) comprise entre $1/5^{\text{ème}}$ et $1/7^{\text{ème}}$ de la résistance de pointe à la pénétration sous réserve d'un ancrage d'une demi-longueur par rapport au terrain naturel (**$R_d/5$ à 7**)

Dans le cas d'espèce, il a été adopté une contrainte ultime $q_u = R_d/9$

Toutes les écoles concernées se situent soit sur un plateau de latérite et ou de grès.

Ce qui explique la faible profondeur des essais de pénétration.

Les sols sont très compacts.

Contrainte de calcul déduite de l'expérience

Aucun essai de cisaillement n'a été effectué.

Selon le DTU (document technique unifié) de mars 1988 (référence AFNOR DTU P11-711), la contrainte de calcul peut être déduite de l'expérience acquise sur des réalisations existantes voisines pour un sol et un ouvrage donnés.

A titre indicatif, le tableau ci-après donne l'ordre de grandeur des contraintes de calcul q_c admises en fonction de la nature du sol, en l'absence de tout problème particulier.

Nature du sol	q_c (Mpa)
Roches peu fissurées saines non désagrégées et stratification favorable	0,75 à 4,5
Terrains non cohérents à bonne compacité	0,35 à 0,75
Terrains non cohérents à compacité moyenne	0,2 à 0,4
Argiles	0,1 à 0,3
Les argiles très plastiques ne sont pas visées dans ce tableau	

N.B 1

Dans ces rapports, LABOGEC utilise le système international d'unités (SI.)

En mécanique des sols, l'utilisation de ces unités pose des problèmes à des gens non bien familiarisés. Pour la compréhension du rapport, nous avons jugé bon de donner un tableau de correspondance entre les différentes unités de pression (ou de contraintes) les plus employées en mécanique des sols.

Valeur du	Exprimés en						
	Pa	kPa	bar	Mpa	hbar	Kgf/cm ²	tf/m ²
Pascal	1	10 ⁻³	10 ⁻⁵	10 ⁻⁶	10 ⁻⁷	1,02x10 ⁻⁵	1,02x10 ⁻⁴
kilopascal	10 ³	1	10 ⁻²	10 ⁻³	10 ⁻⁴	1,02x10 ⁻²	0,102
Bar ou daN/cm ²	10 ⁵	10 ²	1	0,1	10 ⁻²	1,02	10,2
méga pascal	10 ⁶	10 ³	10	1	0,1	10,2	1,02x10 ²
hectobar	10 ⁷	10 ⁴	10 ²	10	1	102	1,02x10 ³
Kgf/cm ²	9,8x10 ⁴	98	0,98	9,8x10 ⁻²	9,8x10 ⁻³	1	10
Tf/m ²	9,8x10 ³	9,8	9,8x10 ⁻²	9,8x10 ⁻³	9,8x10 ⁻⁴	0,1	1

N.B 2

Commentaires sur la portance des sols ;

Les refus aux essais de pénétration dynamiques ont été obtenus à faible profondeur au maximum à 1.20m (site de Dianeguella).

Compte tenu de la géologie locale des sites, il n'y a pas de problème de portance.

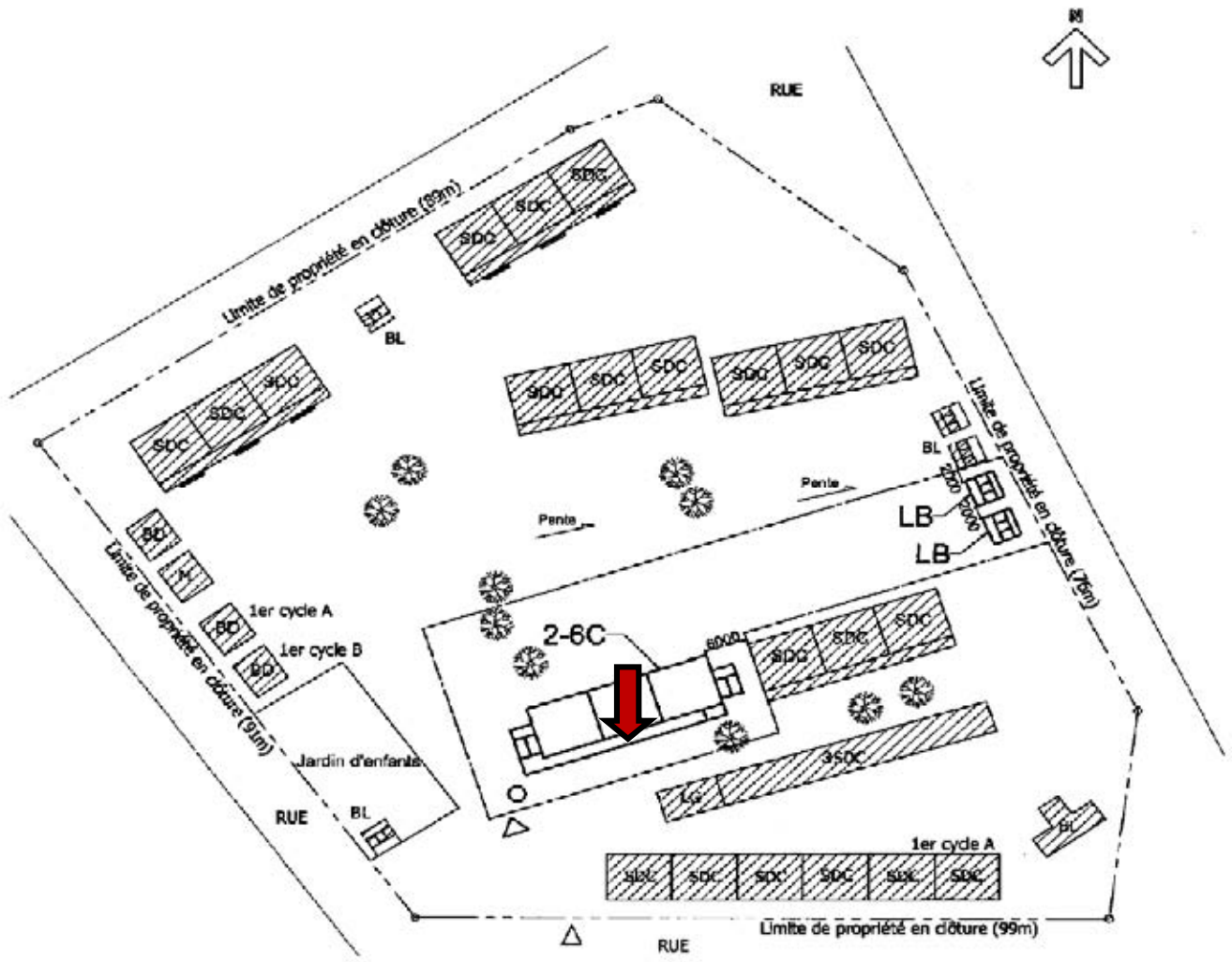
Les sols des sites seront difficiles à creuser ou à ripper.

La portance des sols, à défaut d'essai de cisaillement, a été déterminée d'une part à partir de l'expérience de LABOGEC dans les zones du projet et d'autre part en prenant en compte le tableau du DTU (document technique unifié) de mars 1988 (référence AFNOR DTU P11-711), donnant la fourchette des portances selon leur nature.

4 SITE DU POINT G (BG-6)

BG-6 Point G

CAP de Centre commercial BAMA KO RIVE GAUCHE



4 Site du Point G (BG-6)

Le site du Point G fait partie du CAP du Centre commercial BAMAKO RIVE GAUCHE.

Le site se situe sur un plateau latéritique et de grès (voire photos). Les coordonnées du point d'essai à la pénétration dynamique sont données dans le tableau ci-dessous.

POINT G (BG-6)	Coordonnées GPS
	UTM 29P
X	0608967
Y	1401390



4.1 Pénétration dynamique.

Désignation	Profondeur refus (m)
Pénétration	0,20

Point G Lot 3 BDC R+1 (BG-6)

Mohri A. Associates l'Amatrou,slax

1 MPa=10 bars=10daN/cm²

Chantier :Projet de construction et d'équipement d'écoles fondamentales
premier cycle phase 4 en République du Mali

Client: MOHRI ARCHITECT & ASSOCIATES, INC

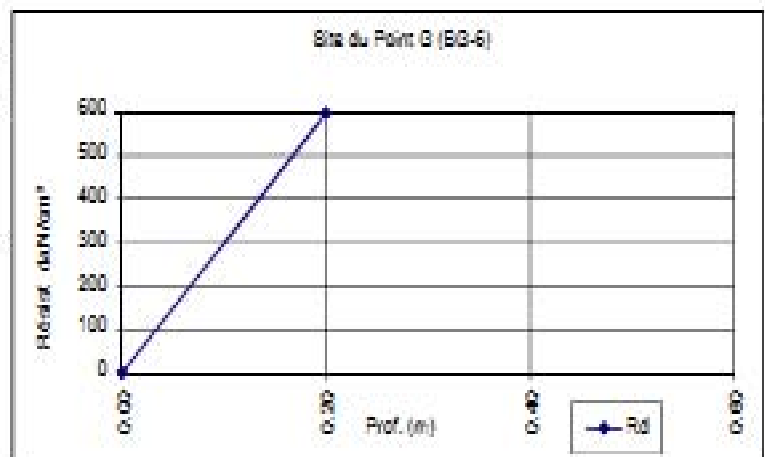
Date: 19/03/11

Essai de pénétration dynamique

Site : Site Point G Lot 3 BG-6



K	Nb fises	Prof. (m)	Nb coups	Rd daN/cm ²	q _v daN/cm ²
				Rd	q _v =Rd*17
217		0.00	0	0.00	0.00
217	1	0.20	55	596.75	35.10



LABOGECC BP E 2027 Tel/Fax (223) 21 20 70 Bamako Mali
E-Mail: labogec@afribone.net.ml

4.2. Fondations.

Le projet prévoit la construction et d'équipement d'écoles fondamentales 1^{er} Cycle. La construction envisagée est à 2 niveaux (R+1).

Les sols en place sont de la carapace latéritique et ou du grès. Ils sont très difficiles à creuser ou à ripper.

Le refus à la pénétration dynamique a été obtenu à 0.20m de profondeur.

Compte tenu de la nature des sols et de l'importance de la construction envisagée, nous vous suggérons des fondations sur semelles isolées.

La contrainte de calcul sera prise à 0,50MPa (50tonnes/m²). La contrainte à l'Etat limite de service (ELS) sera de 0,33Mpa (33tonnes/m²).

La profondeur d'ancrage des semelles sous poteaux sera au moins de 0,40m. Des longrines de rigidification reliant les poteaux devront êtres prévues.

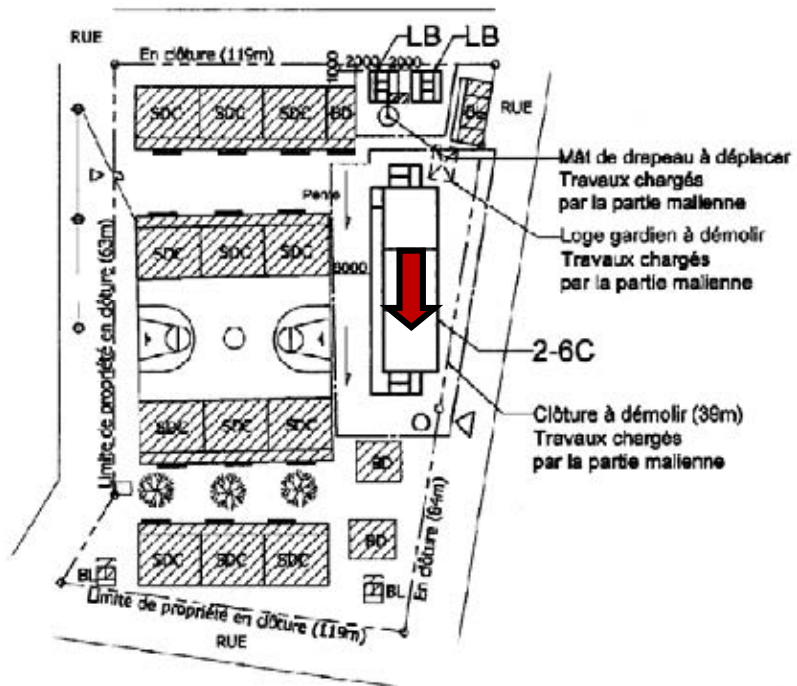
Quant au soubassement (en moellon ou en briques pleines) destiné à la mise hors d'eau des constructions, il sera ancré à 0,20m. Ce qui permettra d'éviter que l'eau ne passe entre la fondation et le sol d'assise.

5 SITE DE TALIKO (BG-7)

BG-7 Taliko

CAP de Lafiabougou

BAMAKO RIVE GAUCHE



5 Site de TALIKO (BG-7)

Le site TALIKO fait partie du CAP de Lafiabougou BAMAKO RIVE GAUCHE.

Le site se situe sur un plateau de grès (voire photos). Les coordonnées du point d'essai à la pénétration dynamique sont données dans le tableau ci-dessous.

Site TALIKO (BG-7)	Coordonnées GPS
	UTM 29P
X	0602766
Y	1396385



5.1 Pénétration dynamique.

Désignation	Profondeur refus (m)
Pénétration	0,40

Taliko Lot: 3 BDC R+1 (BG-7)

Mohri A Associatua l'instro.xlsx

1 MPa=10 bars=10daN/cm²

Chantier :Projet de construction et d'équipement d'écoles fondamentales
premier cycle phase 4 en République du Mali

Client: MOHRI ARCHITECT & ASSOCIATES, INC

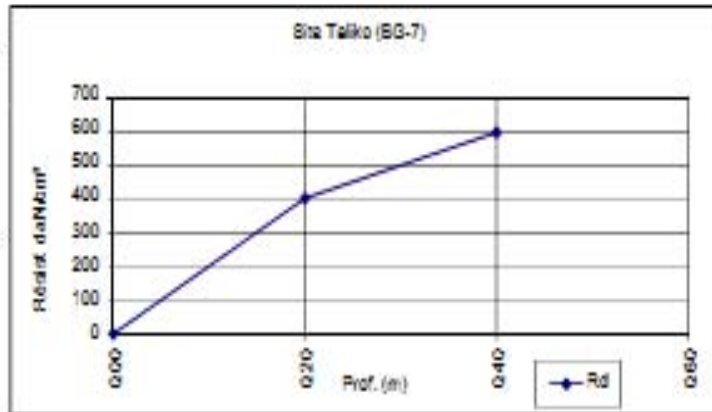
Date: 19/03/11

Essai de pénétration dynamique

Site : Site Groupe scolaire Taliko (BG-7)



K	Nb tiges	Prof (m)	Nb coups	Rd daN/cm ²	q _u daN/cm ²
				Rd	q _u =Rd/17
217		0.00	0	0.00	0.00
217	1	0.20	37	401.45	23.61
217		0.40	55	596.75	35.10



LABOGEC BP C2027 Tél/Fax: (223) 21 20 70 Bamako Mali
E-Mail: labogec@afribone.net.ml

5.2 Fondations.

Le projet prévoit la construction et d'équipement d'écoles fondamentales 1^{er} Cycle. La construction envisagée est à 2 niveaux (R+1).

Les sols en place du grès. Ils sont très difficiles à creuser ou à ripper.

Le refus à la pénétration dynamique a été obtenu à 0.40m de profondeur.

Compte tenu de la nature des sols et de l'importance de la construction envisagée, nous vous suggérons des fondations sur semelles isolées.

La contrainte de calcul sera prise à 0,50MPa (50tonnes/m²). La contrainte à l'Etat limite de service (ELS) sera de 0,33Mpa (33tonnes/m²).

La profondeur d'ancrage des semelles sous poteaux sera au moins de 0,40m. Des longrines de rigidification reliant les poteaux devront être prévues.

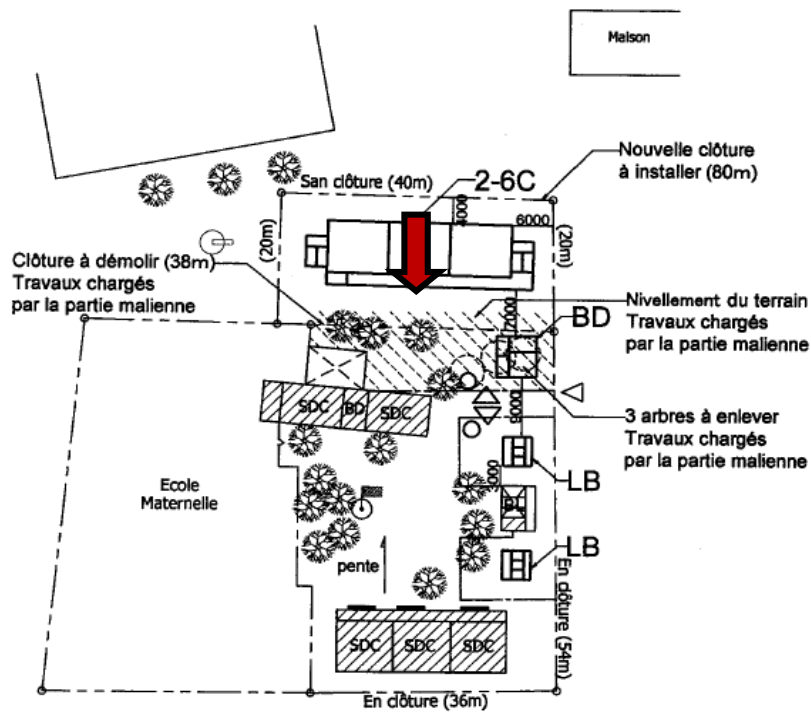
Quant au soubassement (en moellon ou en briques pleines) destiné à la mise hors d'eau des constructions, il sera ancré à 0,20m. Ce qui permettra d'éviter que l'eau ne passe entre la fondation et le sol d'assise.

6 SITE DU CAMP B (KT-1)

KT-1 Camp B

CAP de Kati

KATI



6. Site de Camp B (KT-1)

Le site du Camp B (KT-1) fait partie du CAP de Kati KATI.

Le site se situe sur un plateau de carapace latéritique (voire photos). Les coordonnées du point d'essai à la pénétration dynamique sont données dans le tableau ci-dessous.

Site KATI (KT-1)	Coordonnées GPS
	UTM 29P
X	0601811
Y	1407472



6.1 Pénétration dynamique.

Désignation	Profondeur refus (m)
Pénétration	0,40

Camp B Lot 3 BDC R+1 (KT-1)

Mohr A Associées l'Introuvable

1 MPa=10 bars=10daN/cm²

Chantier :Projet de construction et d'équipement d'écoles fondamentales
premier cycle phase 4 en République du Mali

Client : MOHRI ARCHITECT & ASSOCIATES. INC

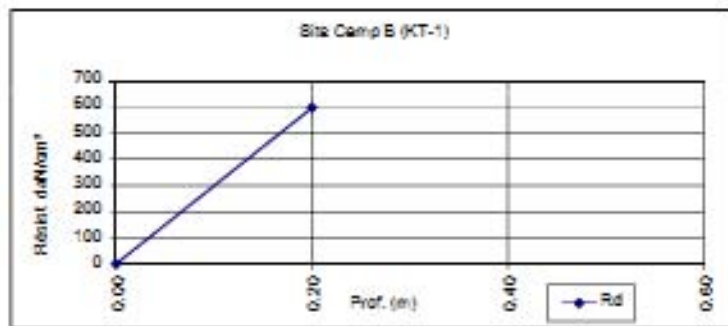
Date: 19/03/11

Essai de pénétration dynamique

Site : Site Camp B (KT-1)



K	Nb tiges	Prof. (m)	Nb coups	Rd daN/cm ²	q _v daN/cm ²
				Rd	q _v =Rd*17
217		0.00	0	0.00	0.00
217	1	0.20	55	596.75	35.10



LABOGEC BP C2027 Tall'Azar (223) 21 23 79 Bamako Mali
E-Mail: labogec@afribone.net.ml

6.2 Fondations.

Le projet prévoit la construction et d'équipement d'écoles fondamentales 1^{er} Cycle. La construction envisagée est à 2 niveaux (R+1).

Les sols en place du grès. Ils sont très difficiles à creuser ou à ripper.

Le refus à la pénétration dynamique a été obtenu à 0.40m.

Compte tenu de la nature des sols et de l'importance de la construction envisagée, nous vous suggérons des fondations sur semelles isolées.

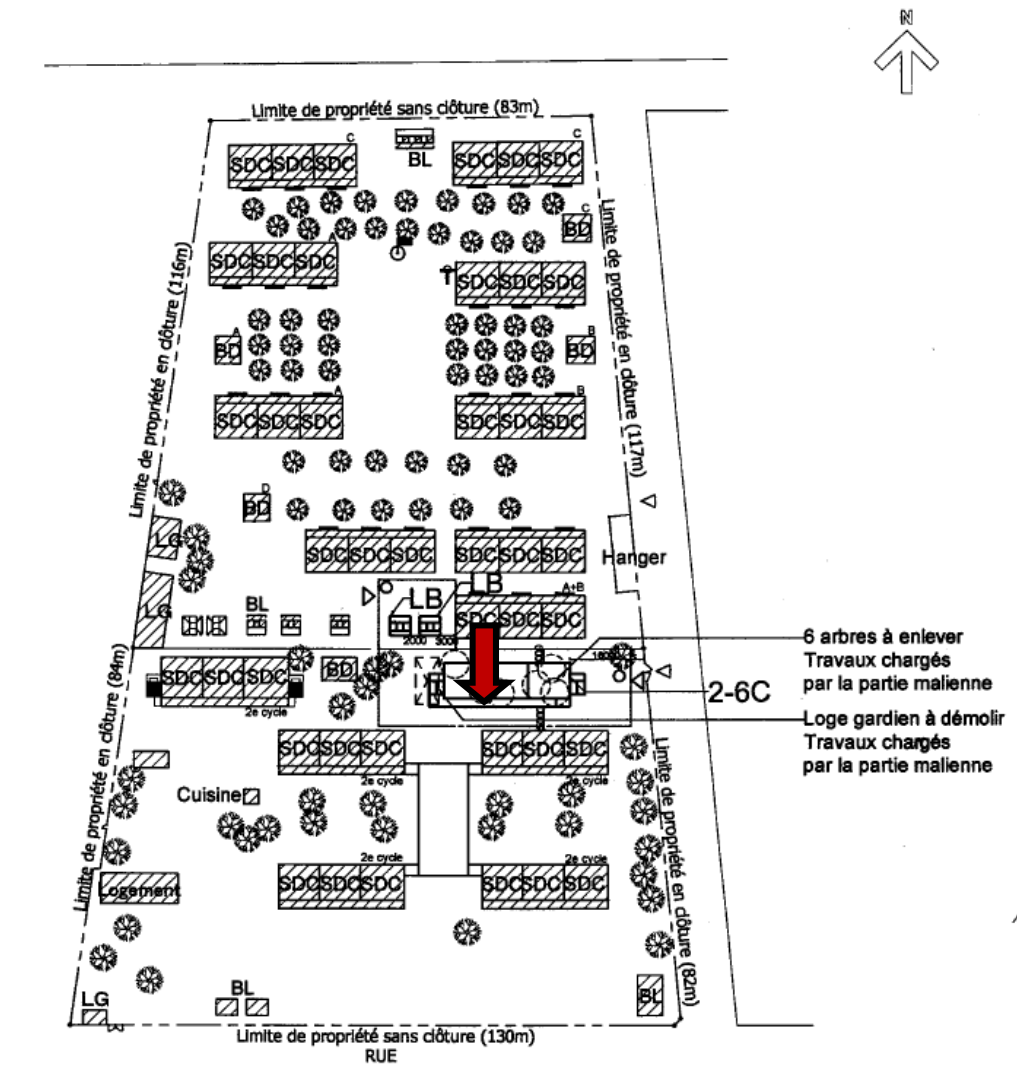
La contrainte de calcul sera prise à 0,50MPa (50tonnes/m²). La contrainte à l'Etat limite de service (ELS) sera de 0,33Mpa (33tonnes/m²).

La profondeur d'ancrage des semelles sous poteaux sera au moins de 0,50m. Des longrines de rigidification reliant les poteaux devront être prévues.

Quant au soubassement (en moellon ou en briques pleines) destiné à la mise hors d'eau des constructions, il sera ancré à 0,20m. Ce qui permettra d'éviter que l'eau ne passe entre la fondation et le sol d'assise.

7 SITE MAGNAMBOUGOU PROJET (BD-2)

BD-2 Magnambougou Projet CAP de Banankabougou BAMAKO RIVE DROITE



7 Site Magnambougou Projet (BD-2)

Le site de Magnambougou Projet (BD-2) fait partie du CAP de Banankabougou, BAMAKO RIVE DROITE

Le site se situe sur un plateau de carapace latéritique et de grès (voire photos). Les coordonnées du point d'essai à la pénétration dynamique sont données dans le tableau ci-dessous.

Site Magnambougou Projet (BD-2)	Coordonnées GPS
	UTM 29P
X	0613663
Y	1394336



7.1 Pénétration dynamique.

Désignation	Profondeur refus (m)
Pénétration	0,40

Magnambougou Projet R+1 (BD-2)

Mohr A. Associes Architectes

1 MPa=10 bars=10daN/cm²

Chantier :Projet de construction et d'équipement d'écoles fondamentales premier cycle phase 4 en République du Mali

Client: MOHRI ARCHITECT & ASSOCIATES. INC

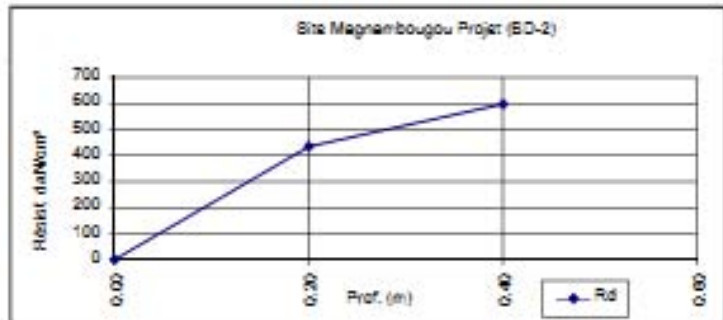
Date: 20/03/11

Essai de pénétration dynamique

Site : Site Groupe scolaire Magnambougou Projet (BD-2)



K	Nb tiges	Prof. (m)	Nb coups	Rd daN/cm ²	q _v daN/cm ²
				Rd	q _v =Rd/17
217		0.00	0	0.00	0.00
217	1	0.20	40	434.00	25.53
217	1	0.40	55	596.75	35.10



LABOGECC BP C2027 Tél/Fax: (223) 21 28 79 Bamako Mali
 E-Mail: labogec@afribone.net.ml

7.2 Fondations.

Le projet prévoit la construction et d'équipement d'écoles fondamentales 1^{er} Cycle. La construction envisagée est à 2 niveaux (R+1).

Les sols en place sont soit du grès soit de la carapace latéritique. Ils sont très difficiles à creuser ou à ripper.

Le refus à la pénétration dynamique a été obtenu 0.40m.

Compte tenu de la nature des sols et de l'importance de la construction envisagée, nous vous suggérons des fondations sur semelles isolées.

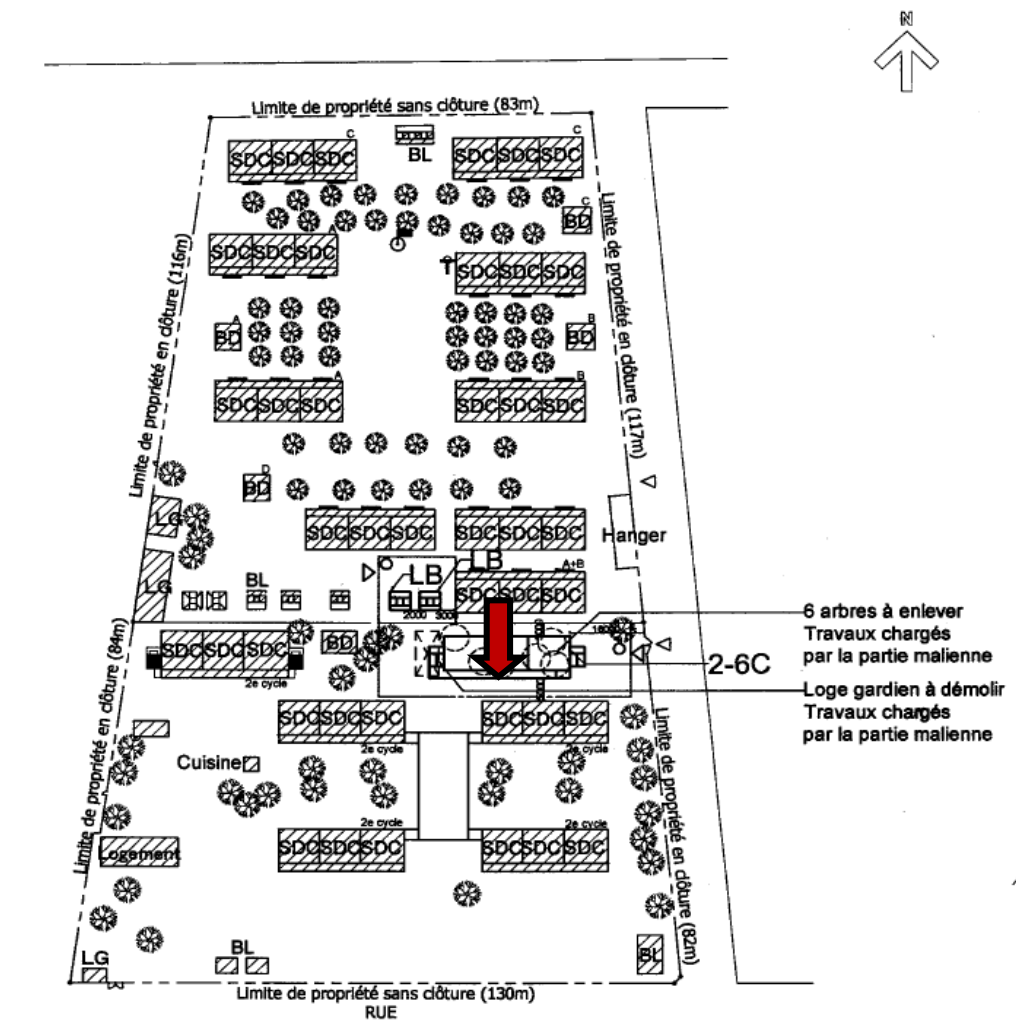
La contrainte de calcul sera prise à 0,50MPa (50tonnes/m²). La contrainte à l'Etat limite de service (ELS) sera de 0,33Mpa (33tonnes/m²).

La profondeur d'ancrage des semelles sous poteaux sera au moins de 0,50m. Des longrines de rigidification reliant les poteaux devront être prévues.

Quant au soubassement (en moellon ou en briques pleines) destiné à la mise hors d'eau des constructions, il sera ancré à 0,20m. Ce qui permettra d'éviter que l'eau ne passe entre la fondation et le sol d'assise.

8 SITE DE DIANEGUELA (BD-3)

BD-2 Magnambougou Projet CAP de Banankabougou BAMA KO RIVE DROITE



8 Site Dianeguella (BD-3)

Le site de Dianeguella (BD-3 fait partie du CAP de Banankabougou, BAMAKO RIVE DROITE

Le site se situe sur un plateau de carapace latéritique (voire photos). Les coordonnées du point d'essai à la pénétration dynamique sont données dans le tableau ci-dessous.

Site de Dianeguella (BD-3))	Coordonnées GPS
	UTM 29P
X	0613584
Y	1395658



8.1 Pénétration dynamique.

Désignation	Profondeur refus (m)
Pénétration	1,20

Dianéguela BDC R+1 (BD-3)

Mohr A. Associates l'imbrosiex

1 MPa=10 bars=10daN/cm²

Chantier : Projet de construction et d'équipement d'écoles fondamentales premier cycle phase 4 en République du Mali

Client : MOHRI ARCHITECT & ASSOCIATES, INC

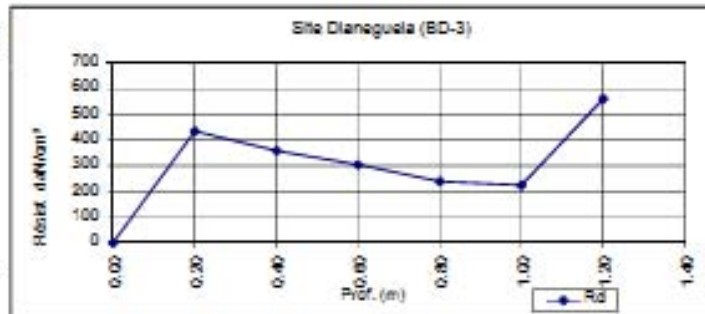
Date : 20/03/11



Essai de pénétration dynamique

Site : Site Groupe scolaire Dianéguela (BD-3)

K	Nb tiges	Prof (m)	Nb coups	Rd	q _u
				daN/cm ²	daN/cm ²
217	1	0.00	0	0.00	0.00
217		0.20	40	434	72
217		0.40	33	358	60
217		0.60	28	304	51
217		0.80	22	239	40
204		1.00	22	224	37
204		1.20	55	561	94



LABOGEC BP C2027 Tél/Fax: (223) 21 28 79 Bamako Mali
 E-Mail: labogec@afribone.net.ml

8.2 Fondations.

Le projet prévoit la construction et d'équipement d'écoles fondamentales 1^{er} Cycle. La construction envisagée est à 2 niveaux (R+1).

Les sols en place sont de la latérite, de la carapace latéritique et du grès. Ils sont très difficiles à creuser ou à ripper.

Le refus à l'essai de pénétration dynamique a été obtenu à 1.20m.

Compte tenu de la nature des sols et de l'importance de la construction envisagée, nous vous suggérons des fondations sur semelles isolées.

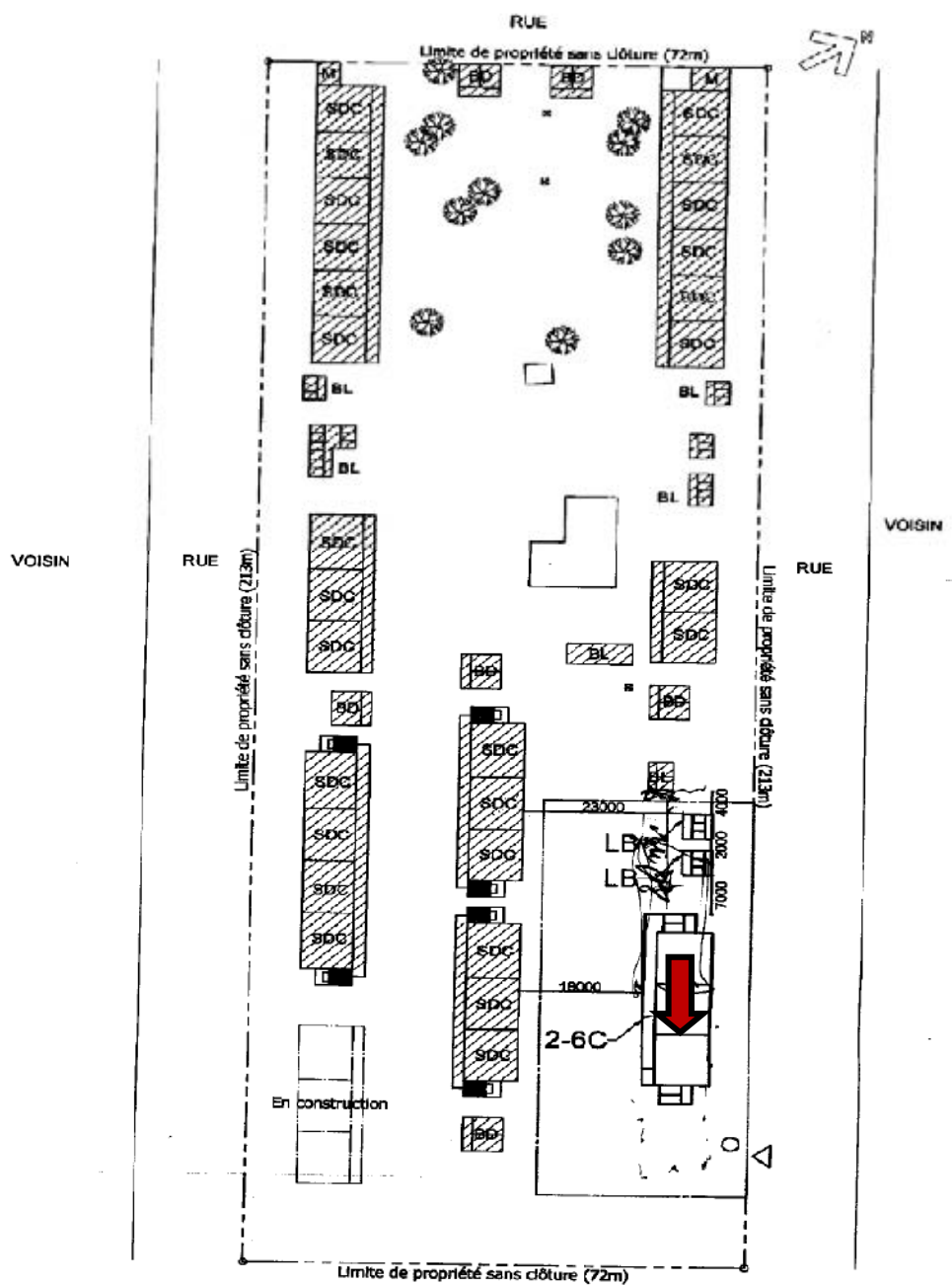
La contrainte de calcul sera prise à 0,45MPa (45tonnes/m²). La contrainte à l'Etat limite de service (ELS) sera de 0,30Mpa (30tonnes/m²).

La profondeur d'ancrage des semelles sous poteaux sera au moins de 0,80m. Des longrines de rigidification reliant les poteaux devront être prévues.

Quant au soubassement (en moellon ou en briques pleines) destiné à la mise hors d'eau des constructions, il sera ancré à 0,30m.

9 SITE DE BACO DJICIRONI (BD-7)

BD-7 Baco Djicironi CAP de Kalaban coura **BAMAKO RIVE DROITE**



9 Baco Djicoroni (BD-7)

Le site de Baco Djicoroni (BD-7 fait partie du CAP de Kalaban coura, BAMAKO RIVE DROITE

Le site se situe sur un plateau de carapace latéritique (voire photos). Les coordonnées du point d'essai à la pénétration dynamique sont données dans le tableau ci-dessous.

Site de Baco Djicoroni (BD-7))	Coordonnées GPS
	UTM 29P
X	0607697
Y	1392877



9.1 Pénétration dynamique.

Désignation	Profondeur refus (m)
Pénétration	0,20

Baco Djicoroni BOC R+1 (BD-7)

Mohri A Associates l'ingénierie

1 MPa=10 bars=10daN/cm²

Chantier :Projet de construction et d'équipement d'écoles fondamentales premier cycle phase 4 en République du Mali

Cliant: MOHRI ARCHITECT & ASSOCIATES, INC

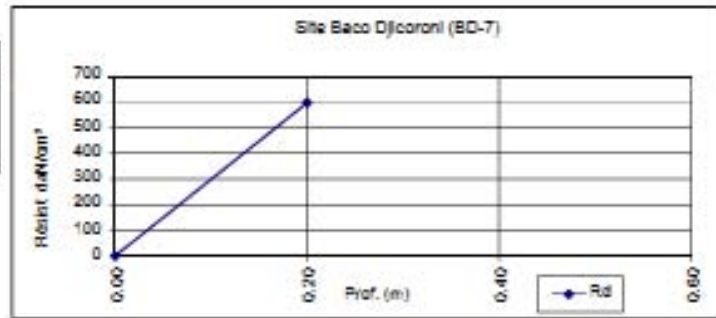
Date: 19/03/11

Essai de pénétration dynamique

Site : Site Groupe scolaire Baco Djicoroni (BD-7)



K	Nb tiges	Prof. (m)	Nb coups	daN/cm ²	
				Rd	qu=Rd/17
217		0.00	0	0.00	0.00
217	1	0.20	55	595.75	35.10



LABOGEC DP C2027 Tel/Fax (223) 21 22 70 Bamako Mali
 E-Mail: labogec@afribone.net.ml

9.2 Fondations.

Le projet prévoit la construction et d'équipement d'écoles fondamentales 1^{er} Cycle. La construction envisagée est à 2 niveaux (R+1).

Les sols en place sont de la carapace latéritique très compacte. Ils sont très difficiles à creuser ou à ripper.

Le refus à la pénétration dynamique a été obtenu à 0.20m.

Compte tenu de la nature des sols et de l'importance de la construction envisagée, nous vous suggérons des fondations sur semelles isolées.

La contrainte de calcul sera prise à 0,50MPa (50tonnes/m²). La contrainte à l'Etat limite de service (ELS) sera de 0,33Mpa (33tonnes/m²).

La profondeur d'ancrage des semelles sous poteaux sera au moins de 0,50m. Des longrines de rigidification reliant les poteaux devront être prévues.

Quant au soubassement (en moellon ou en briques pleines) destiné à la mise hors d'eau des constructions, il sera ancré à 0,20m. Ce qui permettra d'éviter que l'eau ne passe entre la fondation et le sol d'assise.



Bamako, le 26 mars 2011

Le Directeur Général

Nianti BOUARE

CONDITIONS GENERALES DES MISSIONS GEOTECHNIQUES (Version du 27/06/2000)

1. Cadre de la mission

Par référence à la Classification des Missions Géotechniques types (Tableau 1 de la norme NFP 94-500), il appartient au maître d'ouvrage et à son maître d'œuvre de veiller à ce que toutes les missions géotechniques nécessaires à la conception ou à l'exécution de l'ouvrage soient engagées avec les moyens opportuns et confiées à des hommes de l'Art.

L'enchaînement des missions géotechniques suit la succession des phases d'élaboration du projet, chacune de ces missions ne couvrant qu'un domaine spécifique de la conception ou de l'exécution En particulier:

- les missions G1, G2, G3, G4 sont réalisées dans l'ordre successif ;
- une mission confiée à notre société peut ne contenir qu'une partie des prestations décrites dans la mission type correspondante
- une mission type GO engage notre société uniquement sur la conformité des travaux exécutés à ceux contractuellement commandés et l'exactitude des résultats qu'elle fournit,
- une mission type (G1 ou G5) n engage notre société sur son devoir de conseil que dans le cadre strict d'une part. des objectifs explicitement définis dans notre proposition technique sur la base de laquelle la commande et ses avenants éventuels ont été établis d'autre part du projet du client décrit par les documents graphiques ou plans cités dans le rapport
- une mission type G1 ou G5 exclut tout engagement de notre société sur les quantités coûts et délais d'exécution des futurs ouvrages géotechniques
- une mission type G2 engage notre société en tant qu'assistant technique à la maîtrise d'œuvre dans les limites du contrat fixant l'étendue de la mission et la (ou les) partiels d'ouvrage(s) concerné (s)

La responsabilité de notre société ne saurait être engagée en dehors du cadre de la mission géotechnique objet du rapport En particulier toute modification apportée au projet ou à son environnement nécessite la réactualisation du rapport géotechnique dans le cadre d'une nouvelle mission.

2. Recommandations

Il est précisé que l'étude géotechnique repose sur une reconnaissance du sol dont la maille ne permet pas de lever la totalité des aléas toujours possibles en milieu naturel En effet, des hétérogénéités, naturelles ou du fait de l'homme, des discontinuités et des aléas d'exécution peuvent apparaître compte tenu du rapport entre le volume échantillonné ou testé et le volume sollicité par l'ouvrage, et ce d'autant plus que ces singularités éventuelles peuvent être limitées en extension. Les éléments géotechniques nouveaux mis en évidence lors de l'exécution, pouvant avoir une influence sur les conclusions du rapport, doivent immédiatement être signalés au géotechnicien chargé du suivi géotechnique d'exécution (mission G4) afin qu'il en analyse les conséquences sur les conditions d'exécution voire la conception de l'ouvrage géotechnique.

Si un caractère évolutif particulier a été mis en lumière (notamment glissement, érosion, dissolution, remblais évolutifs, tourbe), l'application des recommandations du rapport nécessite une validation à chaque étape suivante de la conception ou de l'exécution. En effet, un tel caractère évolutif peut remettre en cause ces recommandations notamment si s'écoule un laps de temps important avant leur mise en œuvre.

3. Rapport de la mission

Le rapport géotechnique constitue le compte-rendu de la mission géotechnique définie par la commande au titre de laquelle il a été établi et dont les références sont rappelées en tête. A défaut de clauses spécifiques contractuelles, la remise du rapport géotechnique fixe la fin de la mission. Un rapport géotechnique et toutes ses annexes identifiées constituent un ensemble indissociable. Les deux exemplaires de référence en sont les deux originaux conservés : un par le client et le second par notre société; Dans ce cadre, toute autre interprétation qui pourrait être faite d'une communication ou reproduction partielle ne saurait engager la responsabilité de notre société. En particulier l'utilisation même partielle de ces résultats et conclusions par un autre maître d'ouvrage ou par un autre constructeur ou pour un autre ouvrage que celui objet de la mission confiée ne pourra en aucun cas engager la responsabilité de notre société et pourra entamer des poursuites judiciaires.

CLASSIFICATION DES MISSIONS GEOTECHNIQUES TYPES
(Tableau / de la norme NF P 94-500 du 5 juin 2000)

L'enchaînement des missions géotechniques suit les phases «élaboration du projet Les missions G 1, G2, G3, G4 doivent être réalisées successivement Une mission géotechnique ne peut contenir qu'une partie d'une mission type qu'après accord explicite entre le client et le géotechnicien.

G0 EXECUTION DE SONDAGES, ESSAIS ET MESURES GEOTECHNIQUES

- Exécuter les sondages, essais et mesures en place ou en laboratoire selon un programme défini dans des missions de type G1 à G5;
- Fournir un compte rendu factuel donnant la coupe des sondages, les procès verbaux d'essais et les résultats des mesures. Cette mission *d'exécution* exclut toute *activité d'étude ou conseil ainsi que toute forme d'interprétation*.

G1 ETUDE DE FAISABILITE GEOTECHNIQUE

Ces missions G1 *excluent toute approche des quantités, délais et coûts d'exécution des ouvrages* qui entre dans le *cadre exclusif d'une mission d'étude de projet géotechnique G 2*

G11 Etude préliminaire de faisabilité géotechnique

- Faire une enquête documentaire sur le cadre géotechnique du site et préciser l'existence d'avoisnants;
- Définir si nécessaire une mission G0 préliminaire, en assurer le suivi et l'exploitation des résultats;
- Fournir un rapport d'étude préliminaire de faisabilité géotechnique avec certains principes généraux d'adaptation de l'ouvrage au terrain, mais sans aucun élément de pré dimensionnement.

Cette *mission G 11 doit être suivie d'une mission G 12 pour définir les hypothèses géotechniques nécessaires à l'établissement du projet*

G 12 Etude de faisabilité des ouvrages géotechniques (après une mission G 11)

Phase 1:- Définir une mission G0 détaillée, en assurer le suivi et l'exploitation des résultats;

- Fournir un rapport d'étude géotechnique donnant les hypothèses géotechniques à prendre en compte pour la justification du projet et les principes généraux de construction des ouvrages géotechniques (notamment terrassements, soutènements, fondations, risques de déformation des terrains, dispositions générales vis-à-vis des nappes et avoisnants)

.Phase 2:- Présenter des exemples de pré dimensionnement de quelques ouvrages géotechniques types envisagés (notamment soutènements, fondations, amélioration de sols).

Cette étude sera reprise et détaillée lors de l'étude de projet géotechnique (mission G 2,)

.G 2 ETUDE DE PROJET GEOTECHNIQUE

Cette étude spécifique doit être prévue et intégrée dans le cadre de la mission de maîtrise d'œuvre

Phase 1 - Définir si nécessaire une mission GO spécifique, en assurer le suivi et l'exploitation des résultats

- Fournir les notes techniques donnant les méthodes d'exécution retenues pour les ouvrages géotechniques (terrassements, soutènements, fondations, dispositions spécifiques vis-à-vis des nappes et avoisnants), avec certaines notes de calcul de dimensionnement, une approche des quantités, délais et coûts d'exécution de ces ouvrages géotechniques.

Phase 2:- Etablir des documents nécessaires à la consultation des entreprises pour l'exécution des ouvrages géotechniques (plans, notices techniques, cadre de bordereau des prix et d'estimatif, planning prévisionnel) - Assister le client pour la sélection des entreprises et l'analyse technique des offres,

G 3 ETUDE GEOTECHNIQUE D'EXECUTION

- Définir si nécessaire une mission G0 complémentaire en assurer le suivi et l'exploitation des résultats
- Etudier dans le détail les ouvrages géotechniques: notamment validation des hypothèses géotechniques, définition et dimensionnement (calculs justificatifs), méthodes et conditions d'exécution (phasages, suivi, contrôle). *Pour la maîtrise des incertitudes et aléas géotechniques en cours d'exécution, les missions G 2 et G 3 doivent être suivies d'une mission de suivi géotechnique d'exécution G 4.*

G 4 SUIVI GEOTECHNIQUE D'EXECUTION

- Suivre et adapter si nécessaire l'exécution des ouvrages géotechniques, avec définition d'un programme d'auscultation et des valeurs seuils correspondantes, analyse et synthèse périodique des résultats des mesures;- Définir si nécessaire une mission G O complémentaire, en assurer le suivi et l'exploitation des résultats
- Participa à l'établissement du dossier de fin de travaux et des recommandations de maintenance des ouvrages géotechniques.

G 5 DIAGNOSTIC GEOTECHNIQUE

L'objet d'une mission G 5 est strictement limitatif il ne porte pas sur la totalité du projet ou de l'ouvrage.

G 51 Avant pendant ou après construction d'un ouvrage sans sinistre

- Définir si nécessaire une mission G O spécifique, en assurer le suivi et l'exploitation des résultats
- Etudier de façon approfondis un élément géotechnique spécifique (par exemple soutènement rabattement, etc.) sur la base des données géotechniques fournies par une mission G 12, G 2, G 3 ou G 4 et validées dans le cadre de ce diagnostic, mais sans aucune implication dans les autres domaines géotechniques de l'ouvrage.

G 52 Sur un ouvrage avec sinistre

- Définir une mission G O spécifique, en assura le suivi et l'exploitation des résultats - Rechercher les causes géotechniques du sinistre constaté, donner une première approche des remèdes envisageables *Une étude de projet géotechnique G 2 doit être réalisée ultérieurement*

Voir schéma d'enchaînement des missions géotechniques.)

UNION SYNDICALE GEOTECHNIQUE
SCHEMA D'ENCHAINEMENT DES MISSIONS GEOTECHNIQUES
 (Figure 1 de la norme NF P 94 - 500 du 5 juin 2000)

Etapes de réalisation de l'ouvrage	MISSIONS GEOTECHNIQUES					
		Etude ou suivi des ouvrages géotechniques		Exécution de sondages, essais et mesures géotechniques		Diagnostic géotechnique
	Etudes préliminaires		G11 Etude préliminaire de faisabilité géotechnique	G0 Preliminaire si nécessaire (1)		G51
	Avant projet	G1	G12 Etude de faisabilité géotechnique Phase 1 Phase 2	G0 détaillée indispensable (1)	G5	G51
	Projet Assistance Contrat Travaux	G2	Etude de projet géotechnique Phase 1 Phase 2	G0 complémentaire si nécessaire (1)		G51
Exécution	G3	Etude géotechnique d'exécution	G0 complémentaire si nécessaire (1)		G51	
	G4	Suivi géotechnique d'exécution				

OUVRAGE EXISTANT	G0	G0 spécifique si nécessaire (1) G0 spécifique indispensable (1)	G5	G51: sans sinistre G52: avec sinistre
-------------------------	-----------	--	-----------	--

(1) à définir par le géotechnicien chargé de la mission

Chantier :Projet de construction et d'équipement d'écoles fondamentales
premier cycle phase 4 en République du Mali

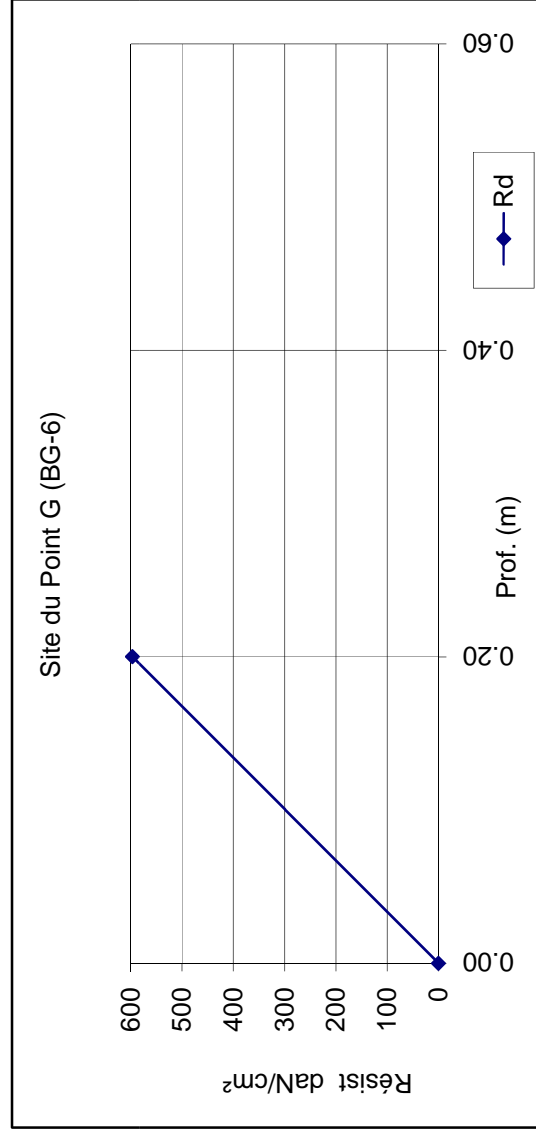
Client: MOHRI ARCHITEC & ASSOCIATES. INC

Date: 19/03/11

Essai de pénétration dynamique

Site : **Site Point G Lot 3 BG-6**

K	Nb tiges	Prof (m)	Nb coups	Rd daN/cm ²	q _u daN/cm ²
217		0.00	0	Rd	q _u =Rd/17
217	1	0.20	55	596.75	35.10



Chantier :Projet de construction et d'équipement d'écoles fondamentales
premier cycle phase 4 en République du Mali

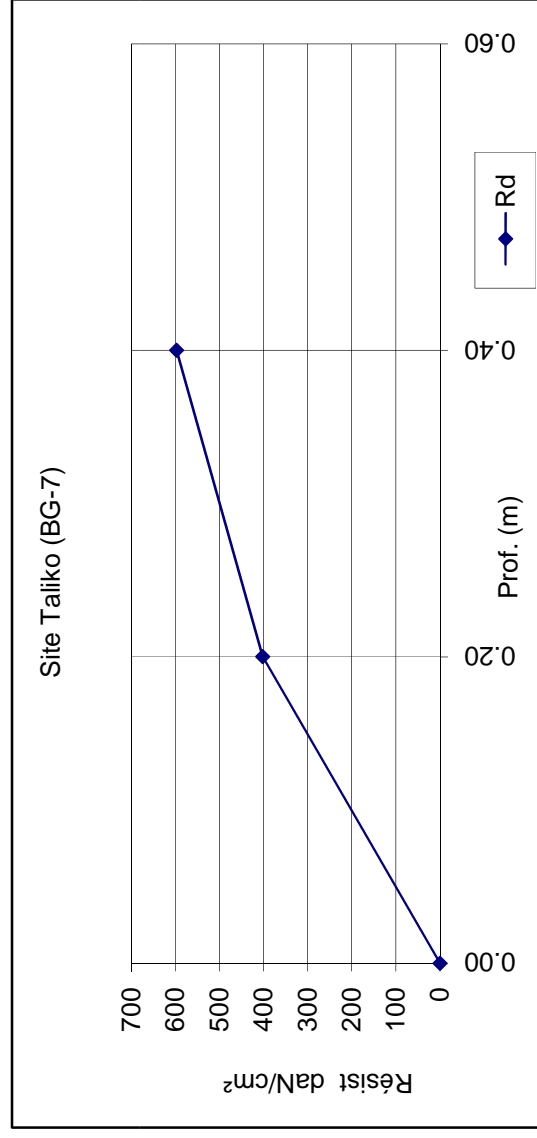
Client: MOHRI ARCHITEC & ASSOCIATES. INC

Date: 19/03/11

Essai de pénétration dynamique

Site : Site Groupe scolaire Taliko (BG-7)

K	Nb tiges	Prof (m)	Nb coups	Rd daN/cm ²	q _u daN/cm ²
217		0.00	0	Rd	q _u =Rd/17
217	1	0.20	37	401.45	23.61
217		0.40	55	596.75	35.10



Chantier :Projet de construction et d'équipement d'écoles fondamentales
premier cycle phase 4 en République du Mali

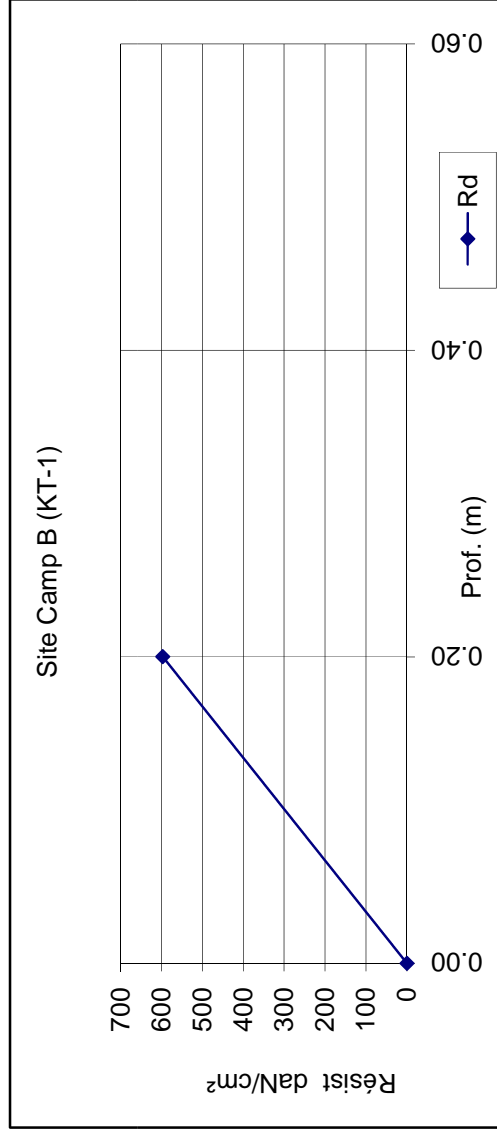
Client: MOHRI ARCHITEC & ASSOCIATES. INC

Date: 19/03/11

Essai de pénétration dynamique

Site : **Site Camp B (KT-1)**

K	Nb tiges	Prof (m)	Nb coups	Rd daN/cm ²	q _u daN/cm ²
217		0.00	0	Rd	q _u =Rd/17
217	1	0.20	55	596.75	35.10



Chantier :Projet de construction et d'équipement d'écoles fondamentales
premier cycle phase 4 en République du Mali

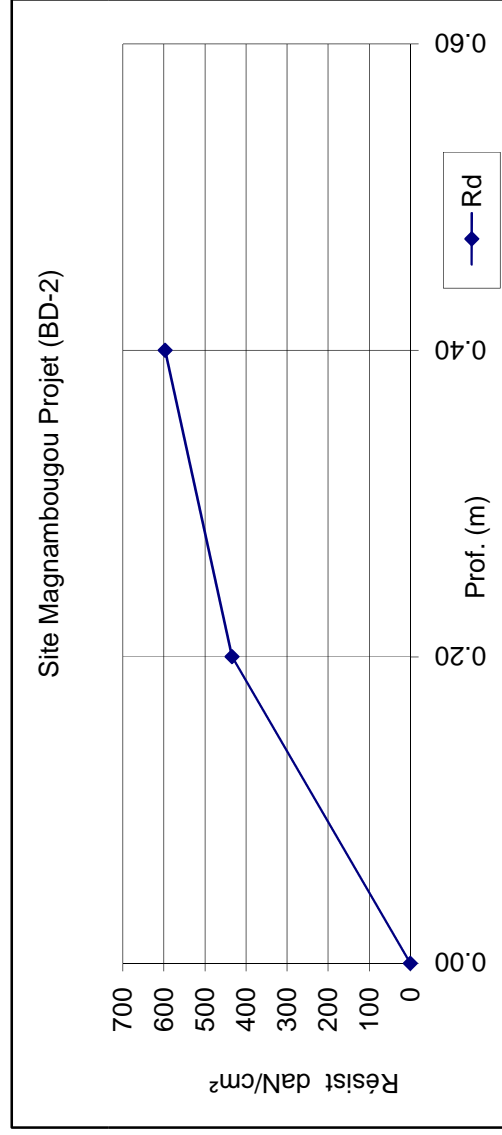
Client: MOHRI ARCHITEC & ASSOCIATES. INC

Date: 20/03/11

Essai de pénétration dynamique

Site : Site Groupe scolaire Magnambougou Projet (BD-2)

K	Nb tiges	Prof (m)	Nb coups	Rd daN/cm ²	q _u daN/cm ²
217		0.00	0	Rd	q _u =Rd/17
217	1	0.20	40	434.00	25.53
217	1	0.40	55	596.75	35.10



Chantier :Projet de construction et d'équipement d'écoles fondamentales
premier cycle phase 4 en République du Mali

Client: MOHRI ARCHITEC & ASSOCIATES. INC

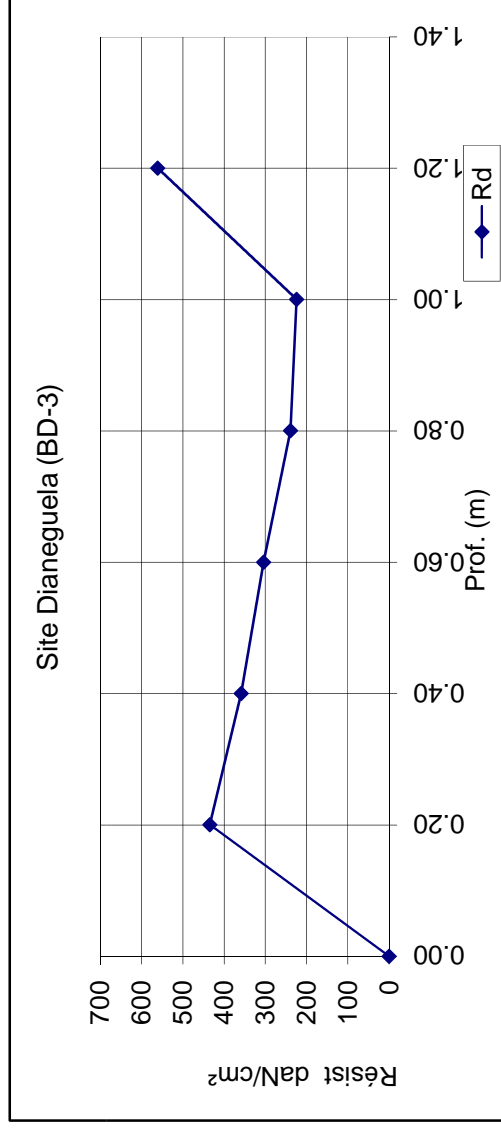
Date: 20/03/11

Essai de pénétration dynamique

Site : **Site Groupe scolaire Dianeguella (BD-3)**



K	Nb tiges	Prof (m)	Nb coups	Rd daN/cm ²	q _u daN/cm ²
217		0.00	0	Rd	q _u =Rd/17
217	1	0.20	40	434	0.00
217		0.40	33	358	72
217		0.60	28	304	60
217		0.80	22	239	51
204		1.00	22	224	40
204		1.20	55	561	37
					94



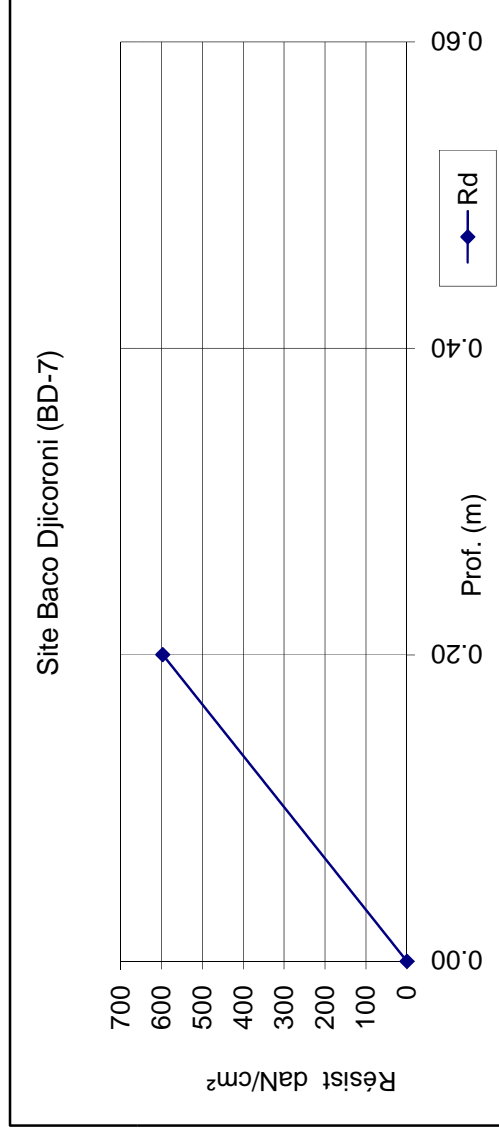
Chantier :Projet de construction et d'équipement d'écoles fondamentales
premier cycle phase 4 en République du Mali

Client: MOHRI ARCHITEC & ASSOCIATES. INC

Date: 19/03/11

Essai de pénétration dynamique

Site : Site Groupe scolaire Baco Djicoroni (BD-7)



K	Nb tiges	Prof (m)	Nb coups	Rd daN/cm ²	q _u daN/cm ²
217		0.00	0	Rd	q _u =Rd/17
217	1	0.20	55	596.75	35.10

資料 8 計画対象校データ・配置図

DL-1 Diarani

Localisation / 位置情報

AE	CAP	Commune	Distance depuis le CAP	Accès et Remarques
			CAPからの距離	
KATI	Dioila	Wacoro	28 km	Route non bitumée, 5km depuis la route principale 未舗装、幹線から5 km

Situation pédagogique / 運営状況

	Écoles	Élèves	Classes pédagogiques	Personnels	Communautaire	Double vacation	Multigrade	Remarques
	学校数	生徒数	クラス数	教員数(校長含)	コミュニティ学校	2部制	複式学級	
École primaire 小	1	161	4	4	○	-	○	Limitation de nombre d'élèves à l'inscription 入学制限あり
Collège 中	-	-	-	-	-	-	-	-

Effectifs et nombre de classe (Août, 2010) / 生徒数, クラス数内訳(2010年8月)

	1 ère	2 ème	3 ème	4 ème	5 ème	6 ème	7 ème	8 ème	9 ème
Élèves / 生徒数	0	48	22	42	22	27	-	-	-
Classes pédagogiques / クラス数	0	1	1	1	1	1	-	-	-

Equipements existants / 既存施設

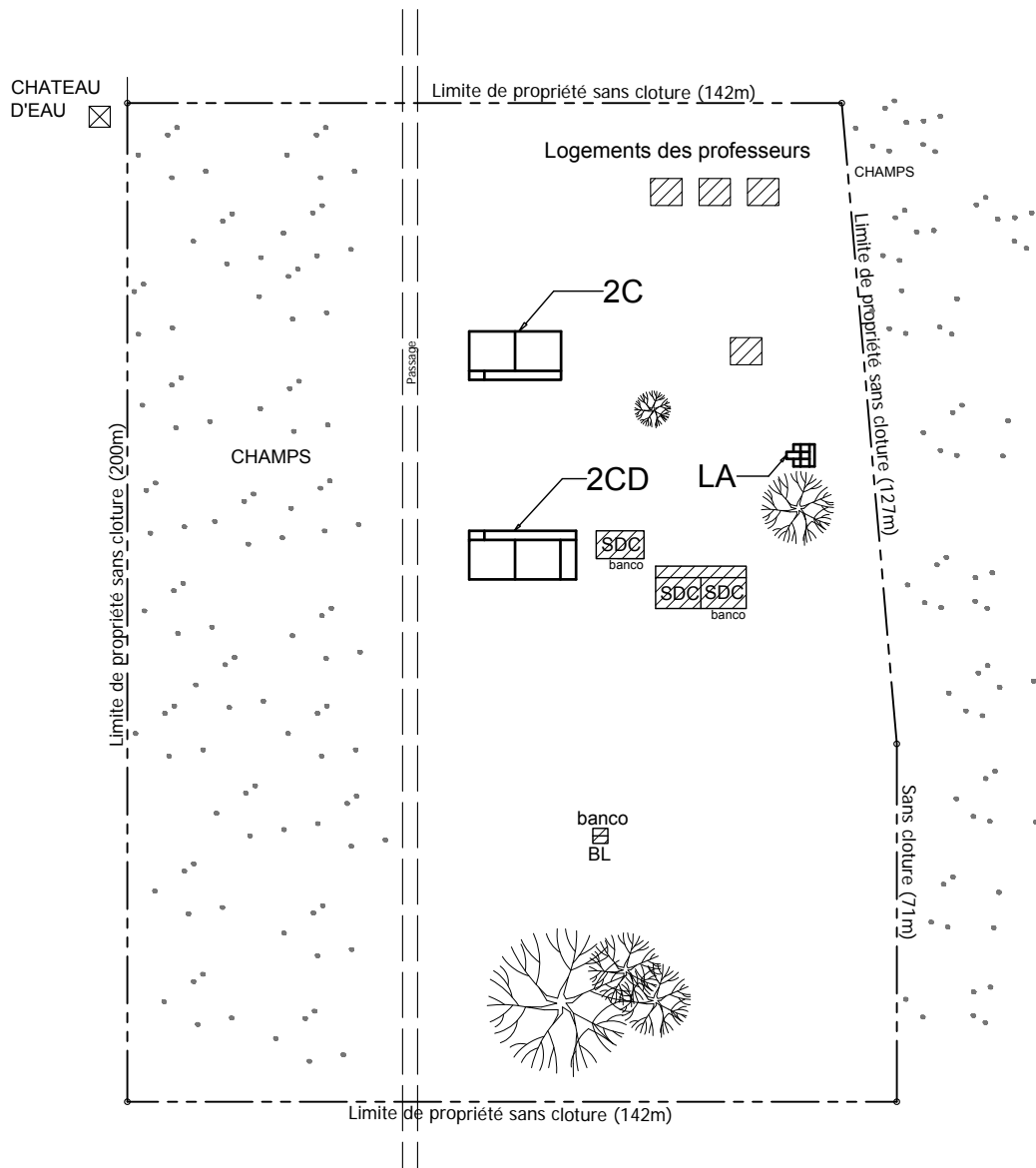
	SDC / 教室				BD 校長室	BL トイレ	ELT 電気	Eau 水	Classes nécessaires 必要教室数	Salles manquantes 不足教室数
	Existante/ 既存	En construction/ 建設中	Utilisation Impossible/ 使用不可	Utilisation Possible/ 継続使用可能						
École primaire 小	4	0	4	0	0	○	×	×	4	4
Collège 中	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

○ : Déjà équipé / 敷地内にあり
× : Pas dans le site / 敷地内になし

Programme de projet / 計画

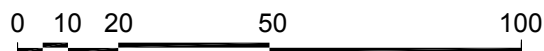
SDC	Type de SDC	BD	Type de BL	ELT	Clôture	Travaux à la charge de la partie malienne 相手国負担工事	
						Branchement du réseau d'électricité 電気配線接続	Autres その他
4	2C X 1 2CD X 1	-	LA X 1	X	-	-	-





LEGENDE/凡例:

- | | |
|------------------------------|--------------------------------------|
| SDC : Salle de classe/教室 | ⊕ : Poteau d'électricité/電柱 |
| BD : Bureau de directeur/校長室 | ▣ : Mât de drapeau/フラッグポール |
| M : Magasin/倉庫 | ⊙ : Arbre/樹木 |
| BIB : Bibliothèque/図書室 | ○ : Arbre à enlever/伐採 |
| BL : Bloc de latrines/トイレ | ⊕ : Borne fontaine ou puits/ポンプまたは井戸 |
| LG : Loge gardien/守衛室 | --- : Limite de propriété/敷地境界線 |



Plan de site / 計画配置図
Echelle 1:1500

DL-2 Zéta

Localisation / 位置情報

AE	CAP	Commune	Distance depuis le CAP	Accès et Remarques
			CAPからの距離	
KATI	Dioila	Wacoro	Non identifié 不明	Route en mauvais état, 3km depuis la route principale 悪路、幹線から3 km

Situation pédagogique / 運営状況

	Écoles	Élèves	Classes pédagogiques	Personnels	Communautaire	Double vacation	Multigrade	Remarques
	学校数	生徒数	クラス数	教員数(校長含)	コミュニティ学校	2部制	複式学級	備考
École primaire 小	1	324	5	5	-	-	-	Limitation de nombre d'élèves à l'inscription 入学制限あり
Collège 中	-	-	-	-	-	-	-	

Effectifs et nombre de classe (Août, 2010) / 生徒数, クラス数内訳(2010年8月)

	1 ère	2 ème	3 ème	4 ème	5 ème	6 ème	7 ème	8 ème	9 ème
Élèves / 生徒数	0	48	109	0	123	44	-	-	-
Classes pédagogiques / クラス数	0	1	1	0	2	1	-	-	-

Equipements existants / 既存施設

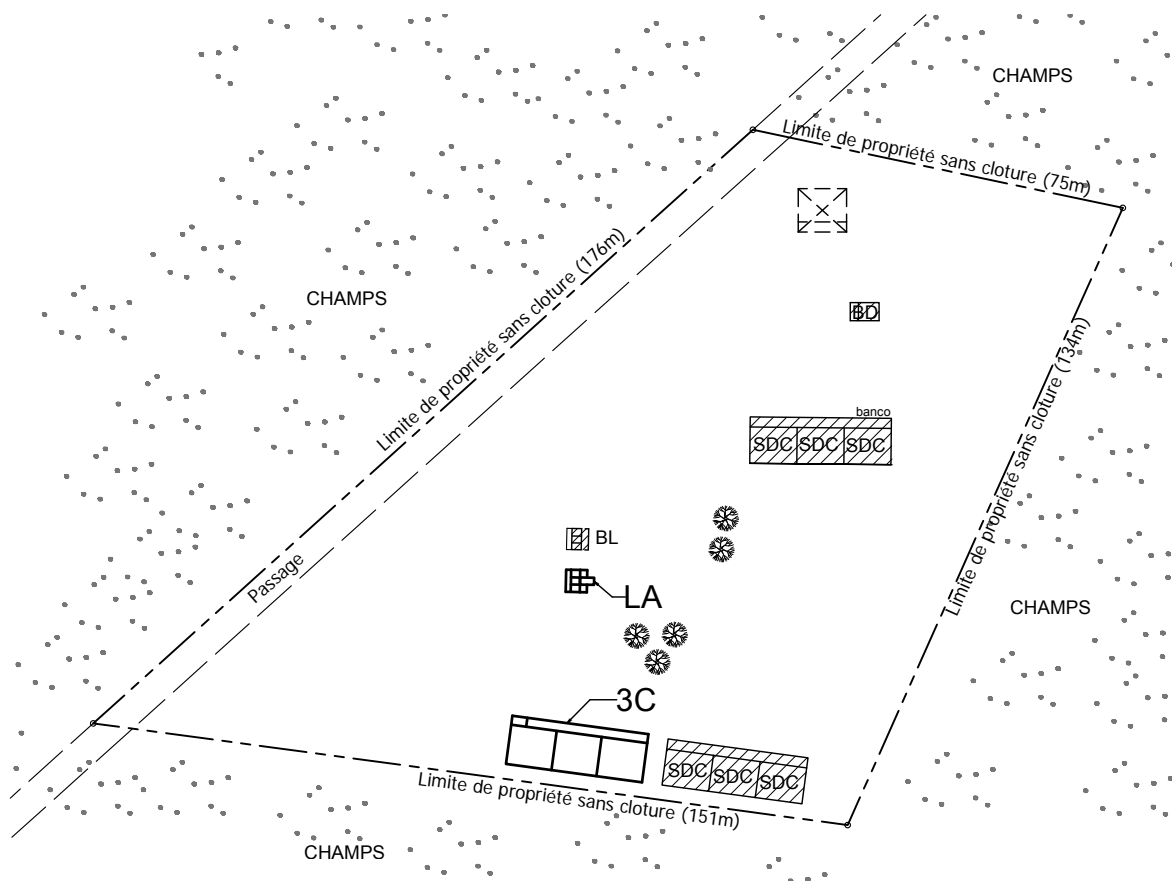
	SDC / 教室				BD 校長室	BL トイレ	ELT 電気	Eau 水	Classes nécessaires 必要教室数	Salles manquantes 不足教室数
	Existante/ 既存	En construction/ 建設中	Utilisation Impossible/ 使用不可	Utilisation Possible/ 継続使用可能						
École primaire 小	6	0	3	3	1	○	×	×	6	3
Collège 中	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

○ : Déjà équipé / 敷地内にあり
× : Pas dans le site / 敷地内になし

Programme de projet / 計画

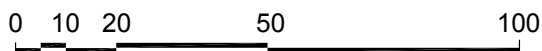
SDC	Type de SDC	BD	Type de BL	ELT	Clôture	Travaux à la charge de la partie malienne 相手国負担工事	
						Branchement du réseau d'électricité 電気配線接続	Autres その他
3	3C X 1	-	LA X 1	X	-	-	





LEGENDE/凡例:

- | | |
|------------------------------|---|
| SDC : Salle de classe/教室 | ⊕ : Poteau d'électricité/電柱 |
| BD : Bureau de directeur/校長室 | 🚩 : Mât de drapeau/フラッグポール |
| M : Magasin/倉庫 | 🌳 : Arbre/樹木 |
| BIB : Bibliothèque/図書室 | 🌳 (circle) : Arbre à enlever/伐採 |
| BL : Bloc de latrines/トイレ | ⊕ (circle) : Borne fontaine ou puits/ポンプまたは井戸 |
| LG : Loge gardien/守衛室 | --- : Limite de propriété/敷地境界線 |



Plan de site / 計画配置図
Echelle 1:1500

DL-3 Diana

Localisation / 位置情報

AE	CAP	Commune	Distance depuis le CAP	Accès et Remarques
			CAPからの距離	
KATI	Dioila	Kaladougou	12 km	Route en mauvais état, 8km depuis la route principale 悪路、幹線から8 km

Situation pédagogique / 運営状況

	Écoles	Élèves	Classes pédagogiques	Personnels	Communautaire	Double vacation	Multigrade	Remarques
	学校数	生徒数	クラス数	教員数(校長含)	コミュニティ学校	2部制	複式学級	備考
École primaire 小	1	117	3	3	○	-	○	
Collège 中	-	-	-	-	-	-	-	

Effectifs et nombre de classe (Août, 2010) / 生徒数, クラス数内訳(2010年8月)

	1 ère	2 ème	3 ème	4 ème	5 ème	6 ème	7 ème	8 ème	9 ème
Élèves / 生徒数	29	0	36	0	35	17	-	-	-
Classes pédagogiques / クラス数	1	0	1	0	1	-	-	-	-

Equipements existants / 既存施設

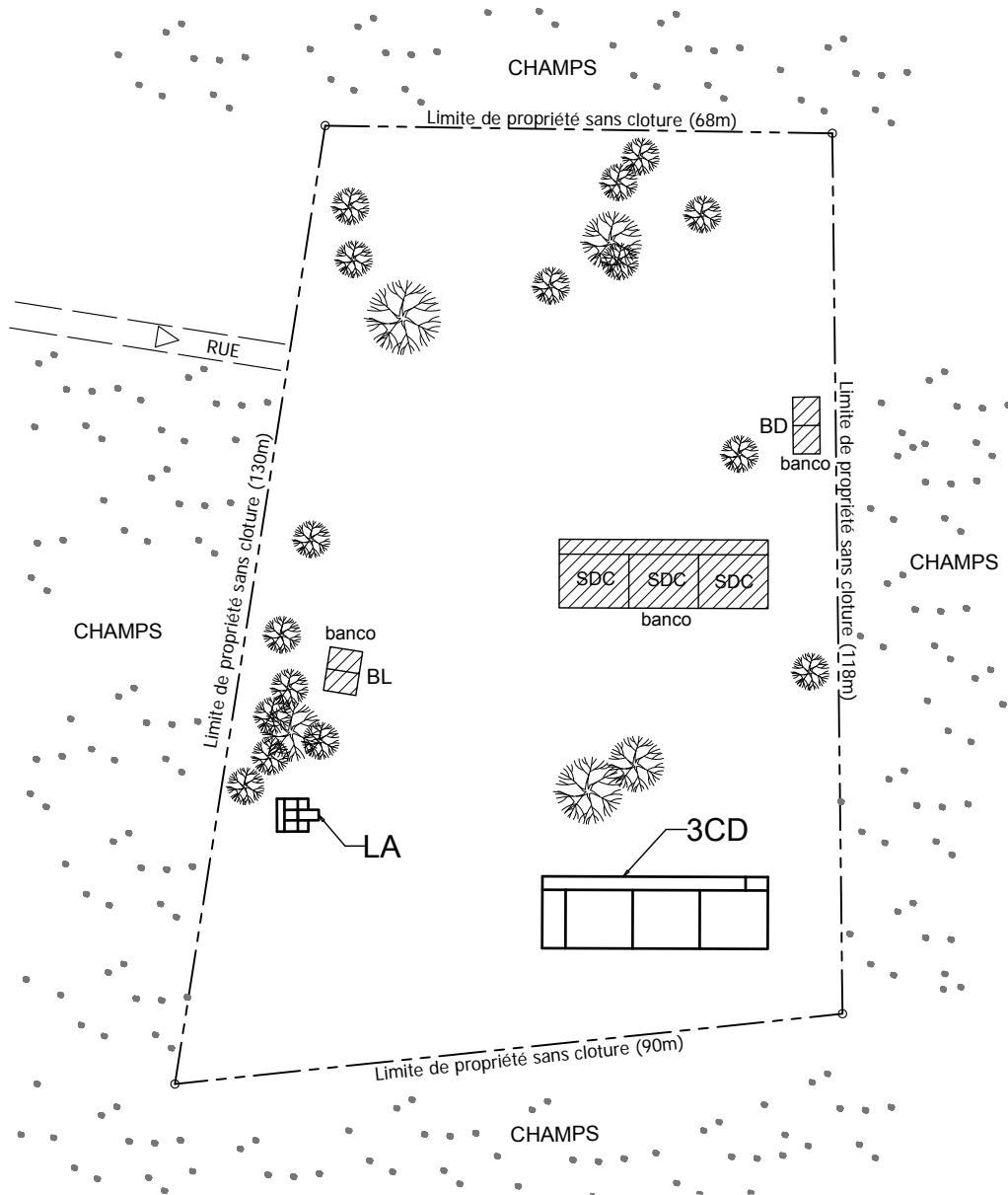
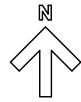
	SDC / 教室				BD 校長室	BL トイレ	ELT 電気	Eau 水	Classes nécessaires 必要教室数	Salles manquantes 不足教室数
	Existante/ 既存	En construction/ 建設中	Utilisation Impossible/ 使用不可	Utilisation Possible/ 継続使用可能						
École primaire 小	3	0	3	0	0	X	×	○	3	3
Collège 中	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

○: Déjà équipé / 敷地内にあり
×: Pas dans le site / 敷地内になし

Programme de projet / 計画

SDC	Type de SDC	BD	Type de BL	ELT	Clôture	Travaux à la charge de la partie malienne 相手国負担工事	
						Branchement du réseau d'électricité 電気配線接続	Autres その他
3	3CD X 1	-	LA X 1	X	-	-	





LEGENDE/凡例:

- SDC : Salle de classe/教室
- BD : Bureau de directeur/校長室
- M : Magasin/倉庫
- BIB : Bibliothèque/図書室
- BL : Bloc de latrines/トイレ
- LG : Loge gardien/守衛室

- : Poteau d'électricité/電柱
- : Mât de drapeau/フラッグポール
- : Arbre/樹木
- : Arbre à enlever/伐採
- : Borne fontaine ou puits/ポンプまたは井戸
- : Limite de propriété/敷地境界線



Plan de site / 計画配置図
Echelle 1:1000

DL-4 Fadabougou

Localisation / 位置情報

AE	CAP	Commune	Distance depuis le CAP	Accès et Remarques
			CAPからの距離	
KATI	Dioila	Kaladougou	7 km	Route en mauvais état, 1km depuis la route principale 未舗装、幹線から1 km

Situation pédagogique / 運営状況

	Écoles	Élèves	Classes pédagogiques	Personnels	Communautaire	Double vacation	Multigrade	Remarques
	学校数	生徒数	クラス数	教員数(校長含)	コミュニティ学校	2部制	複式学級	備考
École primaire 小	1	304	6	8	-	-	-	Limitation de nombre d'élèves à l'inscription Ecole Fadabougou et Ecole Domi seront fusionné 入学制限あり、Fadabougou校とDomi校が合併の上 新敷地に学校建設
Collège 中	-	-	-	-	-	-	-	

Effectifs et nombre de classe (Août, 2010) / 生徒数, クラス数内訳(2010年8月)

	1 ère	2 ème	3 ème	4 ème	5 ème	6 ème	7 ème	8 ème	9 ème
Élèves / 生徒数	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Classes pédagogiques / クラス数	-	-	-	-	-	-	-	-	-

Equipements existants / 既存施設

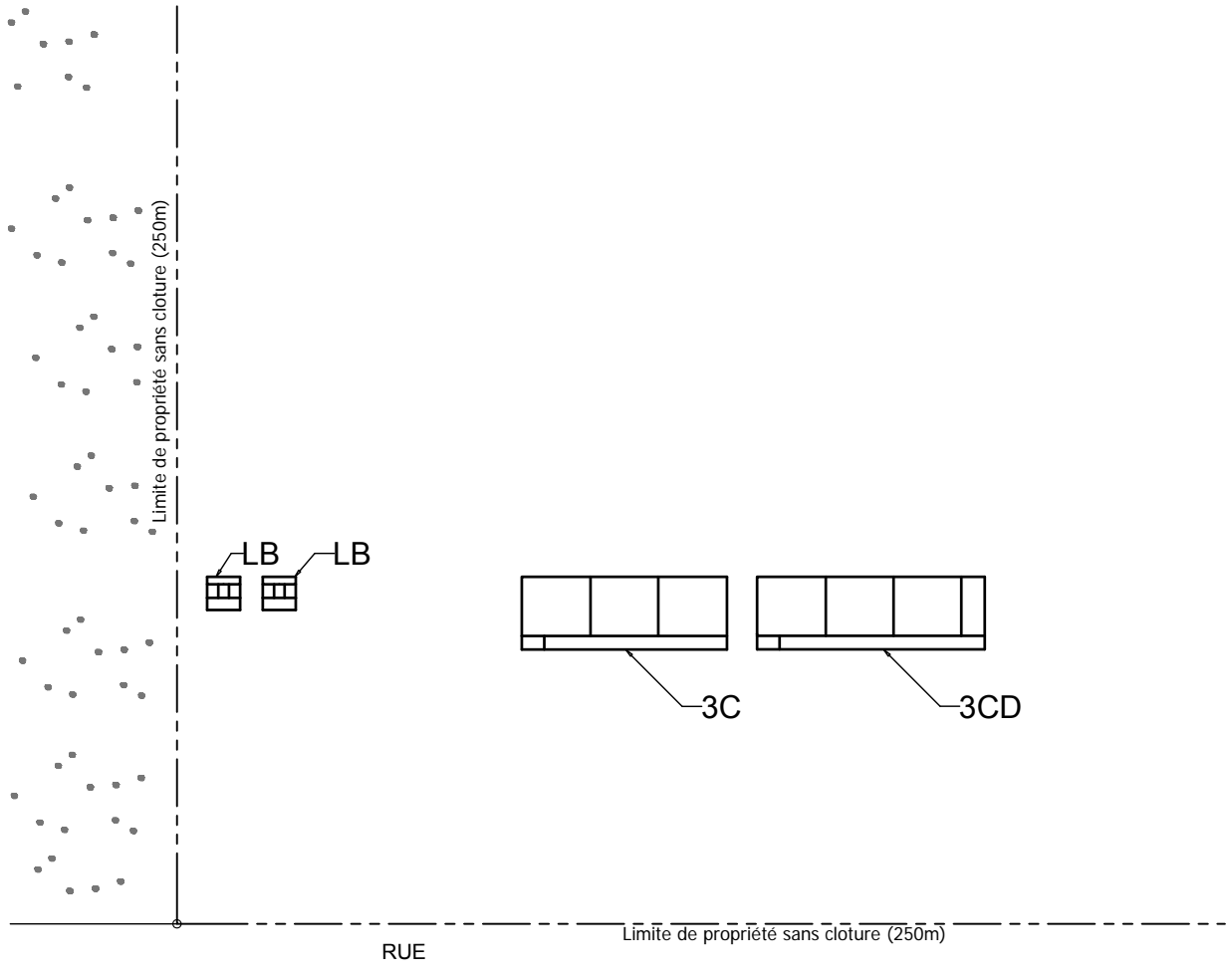
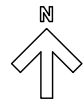
	SDC / 教室				BD 校長室	BL トイレ	ELT 電気	Eau 水	Classes nécessaires 必要教室数	Salles manquantes 不足教室数
	Existante/ 既存	En construction/ 建設中	Utilisation Impossible/ 使用不可	Utilisation Possible/ 継続使用可能						
École primaire 小	6	0	6	0	-	x	x	x	6	6
Collège 中	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

○: Déjà équipé / 敷地内にあり
×: Pas dans le site / 敷地内になし

Programme de projet / 計画

SDC	Type de SDC	BD	Type de BL	ELT	Clôture	Travaux à la charge de la partie malienne 相手国負担工事	
						Branchement du réseau d'électricité 電気配線接続	Autres その他
教室数	教室タイプ	校長室	トイレ	電気	フェンス	-	-
6	3C X 1 3CD X 1	-	LB X 2	X	-	-	-

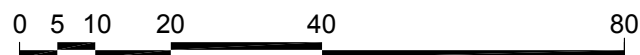




LEGENDE/凡例:

- SDC : Salle de classe/教室
- BD : Bureau de directeur/校長室
- M : Magasin/倉庫
- BIB : Bibliothèque/図書室
- BL : Bloc de latrines/トイレ
- LG : Loge gardien/守衛室

- : Poteau d'électricité/電柱
- : Mât de drapeau/フラッグポール
- : Arbre/樹木
- : Arbre à enlever/伐採
- : Borne fontaine ou puits/ポンプまたは井戸
- : Limite de propriété/敷地境界線



Plan de site / 計画配置図
Echelle 1:1000

DL-5 Banco

Localisation / 位置情報

AE	CAP	Commune	Distance depuis le CAP	Accès et Remarques
			CAPからの距離	
KATI	Dioila	Banco	65 km	Sur la route goudronnée, アスファルト舗装

Situation pédagogique / 運営状況

	Écoles	Élèves	Classes pédagogiques	Personnels	Communautaire	Double vacation	Multigrade	Remarques
	学校数	生徒数	クラス数	教員数(校長含)	コミュニティ学校	2部制	複式学級	備考
École primaire 小	2	682	12	11	-	-	-	Limitation de nombre d'élèves à l'inscription 入学制限あり
Collège 中	1	539	6	6	-	-	-	

Effectifs et nombre de classe (Août, 2010) / 生徒数, クラス数内訳(2010年8月)

	1 ère	2 ème	3 ème	4 ème	5 ème	6 ème	7 ème	8 ème	9 ème
Élèves / 生徒数	105	83	145	110	128	111	151	163	225
Classes pédagogiques / クラス数	2	2	2	2	2	2	2	2	2

Equipements existants / 既存施設

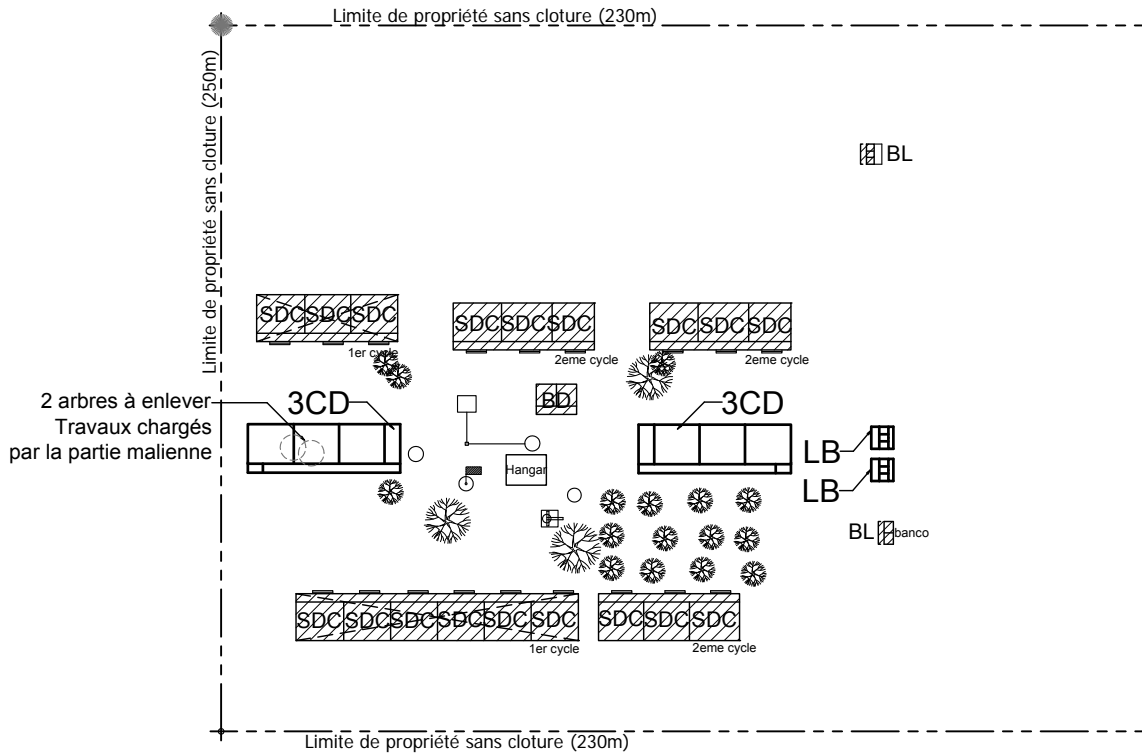
	SDC / 教室				BD	BL	ELT	Eau	Classes nécessaires	Salles manquantes
	Existante/ 既存	En construction/ 建設中	Utilisation Impossible/ 使用不可	Utilisation Possible/ 継続使用可能	校長室	トイレ	電気	水	必要教室数	不足教室数
École primaire 小	9	0	9	0	0	×	×	○	13	13
Collège 中	9	0	0	9	1	○	×	○	-	-

○ : Déjà équipé / 敷地内にあり
× : Pas dans le site / 敷地内になし

Programme de projet / 計画







SDC	Type de SDC	BD	Type de BL	ELT	Clôture	Travaux à la charge de la partie malienne 相手国負担工事	
教室数	教室タイプ	校長室	トイレ	電気	フェンス	Branchement du réseau d'électricité 電気配線接続	Autres その他
6	3CD X 2	-	LB X 2	X	-	-	Abattage de 2 arbres 樹木2本撤去

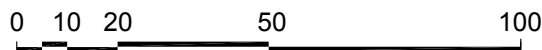




LEGENDE/凡例:

- SDC : Salle de classe/教室
- BD : Bureau de directeur/校長室
- M : Magasin/倉庫
- BIB : Bibliothèque/図書室
- BL : Bloc de latrines/トイレ
- LG : Loge gardien/守衛室

-  : Poteau d'électricité/電柱
-  : Mât de drapeau/フラッグポール
-  : Arbre/樹木
-  : Arbre à enlever/伐採
-  : Borne fontaine ou puits/ポンプまたは井戸
-  : Limite de propriété/敷地境界線



Plan de site / 計画配置図
Echelle 1:1500

FN-1 Werekela

Localisation / 位置情報

AE	CAP	Commune	Distance depuis le CAP	Accès et Remarques
			CAPからの距離	
KATI	Fana	Guegneka	6 km	Sur la route goudronnée, アスファルト舗装

Situation pédagogique / 運営状況

	Écoles	Élèves	Classes pédagogiques	Personnels	Communautaire	Double vacation	Multigrade	Remarques
	学校数	生徒数	クラス数	教員数(校長含)	コミュニティ学校	2部制	複式学級	備考
École primaire 小	1	147	3	3	○	-	○	
Collège 中	-	-	-	-	-	-	-	

Effectifs et nombre de classe (Août, 2010) / 生徒数, クラス数内訳(2010年8月)

	1 ère	2 ème	3 ème	4 ème	5 ème	6 ème	7 ème	8 ème	9 ème
Élèves / 生徒数	40	25	19	21	23	19	-	-	-
Classes pédagogiques / クラス数	1		1		1			-	-

Equipements existants / 既存施設

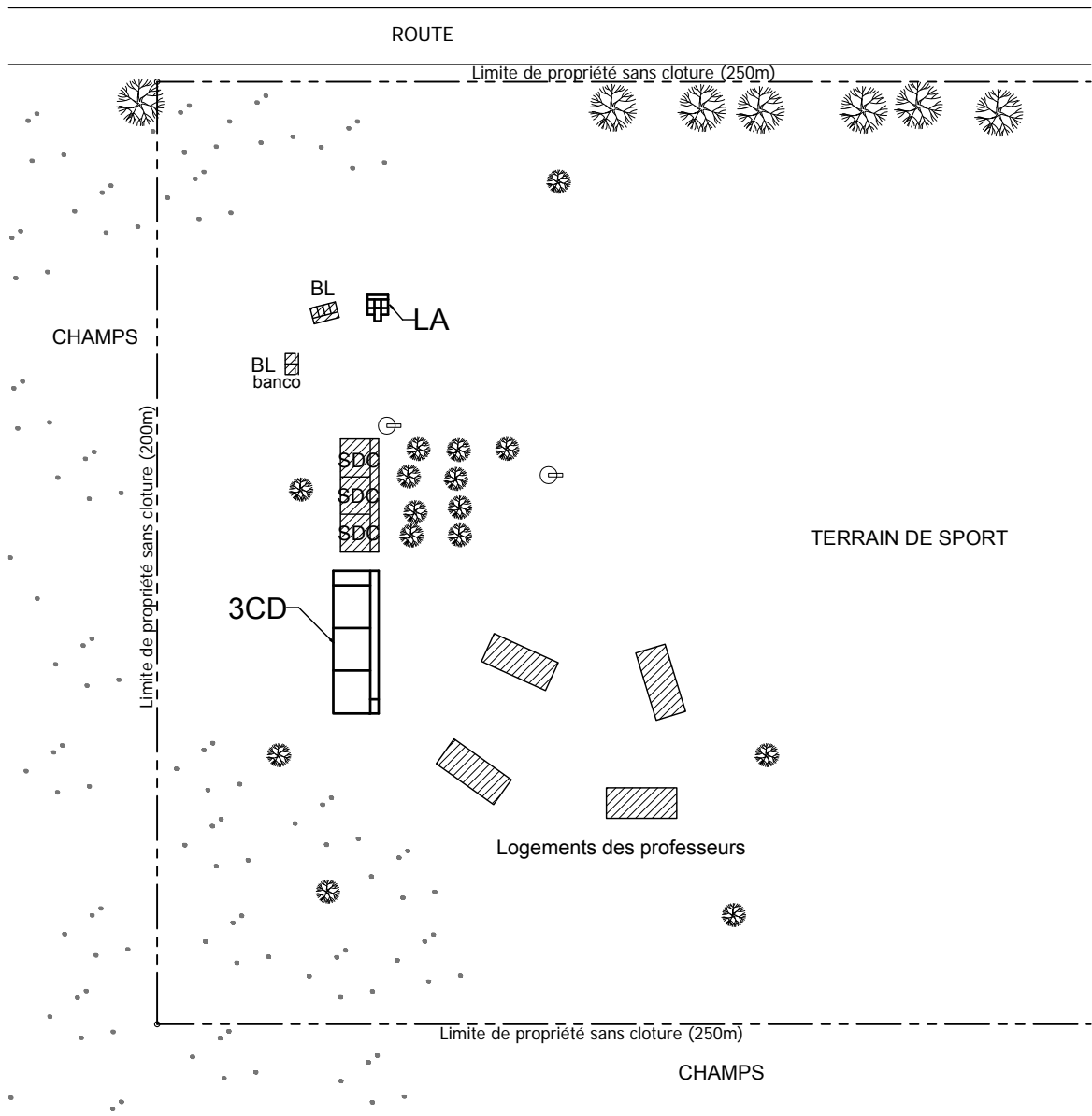
	SDC / 教室				BD 校長室	BL トイレ	ELT 電気	Eau 水	Classes nécessaires 必要教室数	Salles manquantes 不足教室数
	Existante/ 既存	En construction/ 建設中	Utilisation Impossible/ 使用不可	Utilisation Possible/ 継続使用可能						
École primaire 小	3	0	3	0	-	○	×	○	3	3
Collège 中	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

○ : Déjà équipé / 敷地内にあり
 × : Pas dans le site / 敷地内になし

Programme de projet / 計画

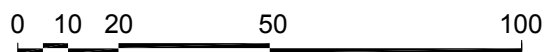
SDC	Type de SDC	BD	Type de BL	ELT	Clôture	Travaux à la charge de la partie malienne 相手国負担工事	
						Branchement du réseau d'électricité 電気配線接続	Autres その他
3	3CD X 1	-	LA X 1	X	-	-	





LEGENDE/凡例:

- | | |
|------------------------------|--------------------------------------|
| SDC : Salle de classe/教室 | ⊕ : Poteau d'électricité/電柱 |
| BD : Bureau de directeur/校長室 | 🚩 : Mât de drapeau/フラッグポール |
| M : Magasin/倉庫 | 🌳 : Arbre/樹木 |
| BIB : Bibliothèque/図書室 | ⊖ : Arbre à enlever/伐採 |
| BL : Bloc de latrines/トイレ | ⊕ : Borne fontaine ou puits/ポンプまたは井戸 |
| LG : Loge gardien/守衛室 | --- : Limite de propriété/敷地境界線 |



FN-2 Fana CI

Localisation / 位置情報

AE	CAP	Commune	Distance depuis le CAP	Accès et Remarques
			CAPからの距離	
KATI	Fana	Guegneka	3 km	Route non bitumée 未舗装

Situation pédagogique / 運営状況

	Écoles	Élèves	Classes pédagogiques	Personnels	Communautaire	Double vacation	Multigrade	Remarques
	学校数	生徒数	クラス数	教員数(校長含)	コミュニティ学校	2部制	複式学級	備考
École primaire 小	1	389	7	9	-	-	-	Limitation de nombre d'élèves à l'inscription 入学制限あり
Collège 中	-	-	-	-	-	-	-	

Effectifs et nombre de classe (Août, 2010) / 生徒数, クラス数内訳(2010年8月)

	1 ère	2 ème	3 ème	4 ème	5 ème	6 ème	7 ème	8 ème	9 ème
Élèves / 生徒数	58	64	48	47	103	69	-	-	-
Classes pédagogiques / クラス数	1	1	1	1	2	1	-	-	-

Equipements existants / 既存施設

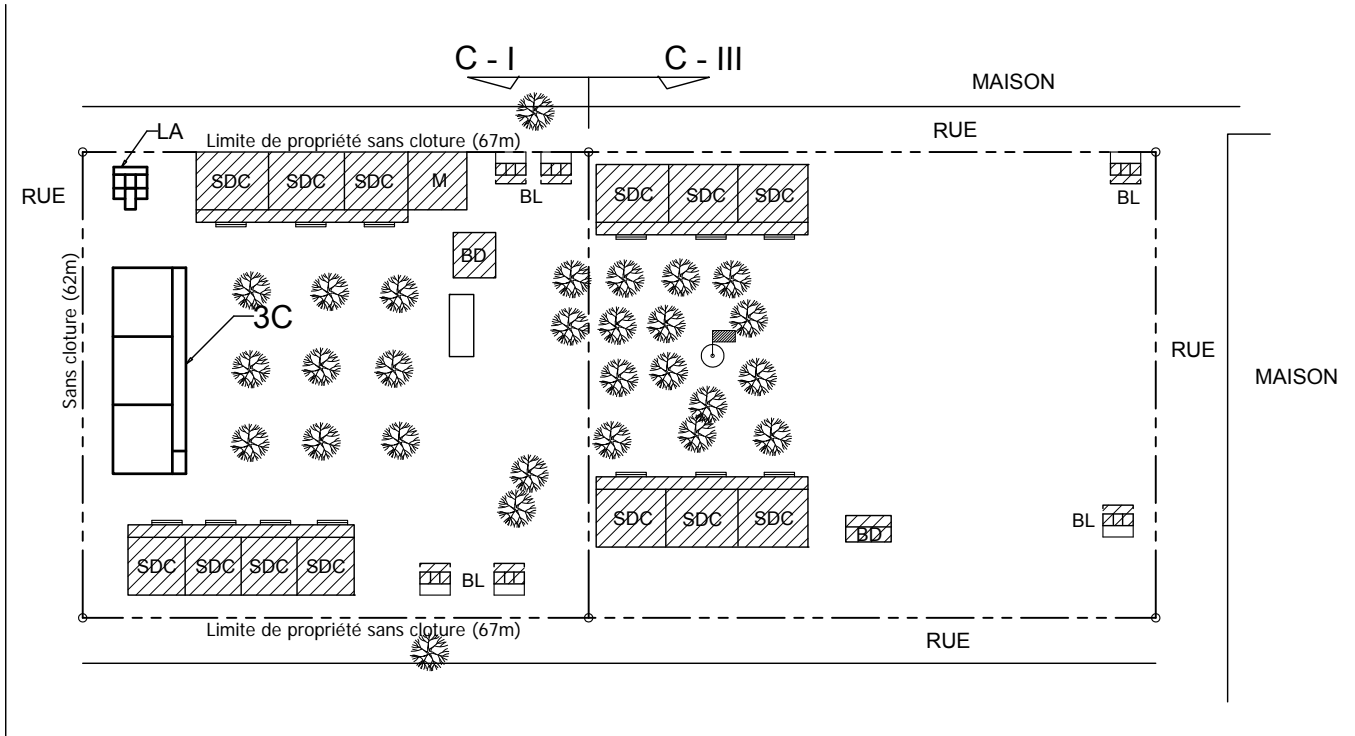
	SDC / 教室				BD 校長室	BL トイレ	ELT 電気	Eau 水	Classes nécessaires 必要教室数	Salles manquantes 不足教室数
	Existante/ 既存	En construction/ 建設中	Utilisation Impossible/ 使用不可	Utilisation Possible/ 継続使用可能						
École primaire 小	7	0	3	4	1	○	×	○	7	3
Collège 中	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

○ : Déjà équipé / 敷地内にあり
× : Pas dans le site / 敷地内になし

Programme de projet / 計画

SDC	Type de SDC	BD	Type de BL	ELT	Clôture	Travaux à la charge de la partie malienne 相手国負担工事	
						Branchement du réseau d'électricité 電気配線接続	Autres その他
3	3C X 1	-	LA X 1	△	-	-	

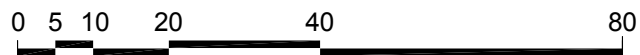




LEGENDE/凡例:

- SDC : Salle de classe/教室
- BD : Bureau de directeur/校長室
- M : Magasin/倉庫
- BIB : Bibliothèque/図書室
- BL : Bloc de latrines/トイレ
- LG : Loge gardien/守衛室

- ⊕ : Poteau d'électricité/電柱
- 🚩 : Mât de drapeau/フラッグポール
- 🌳 : Arbre/樹木
- (dashed) : Arbre à enlever/伐採
- ⊕ (circle) : Borne fontaine ou puits/ポンプまたは井戸
- : Limite de propriété/敷地境界線



Plan de site / 計画配置図
Echelle 1:1000

FN-4 Fana B

Localisation / 位置情報

AE	CAP	Commune	Distance depuis le CAP	Accès et Remarques
			CAPからの距離	
KATI	Fana	Guegneka	3 km	幹線から 1km 1km depuis la route principale

Situation pédagogique / 運営状況

	Écoles	Élèves	Classes pédagogiques	Personnels	Communautaire	Double vacation	Multigrade	Remarques
	学校数	生徒数	クラス数	教員数(校長含)	コミュニティ学校	2部制	複式学級	備考
École primaire 小	2	1,397	17	17	-	○	-	
Collège 中	2	433	-	-	-	-	-	Manque de données sur l'effectif d'école 学年別生徒数等未入手

Effectifs et nombre de classe (Août, 2010) / 生徒数, クラス数内訳(2010年8月)

	1 ère	2 ème	3 ème	4 ème	5 ème	6 ème	7 ème	8 ème	9 ème
Élèves / 生徒数	202	213	224	228	275	255	-	-	-
Classes pédagogiques / クラス数	2	2	2	3	4	4	-	-	-

Equipements existants / 既存施設

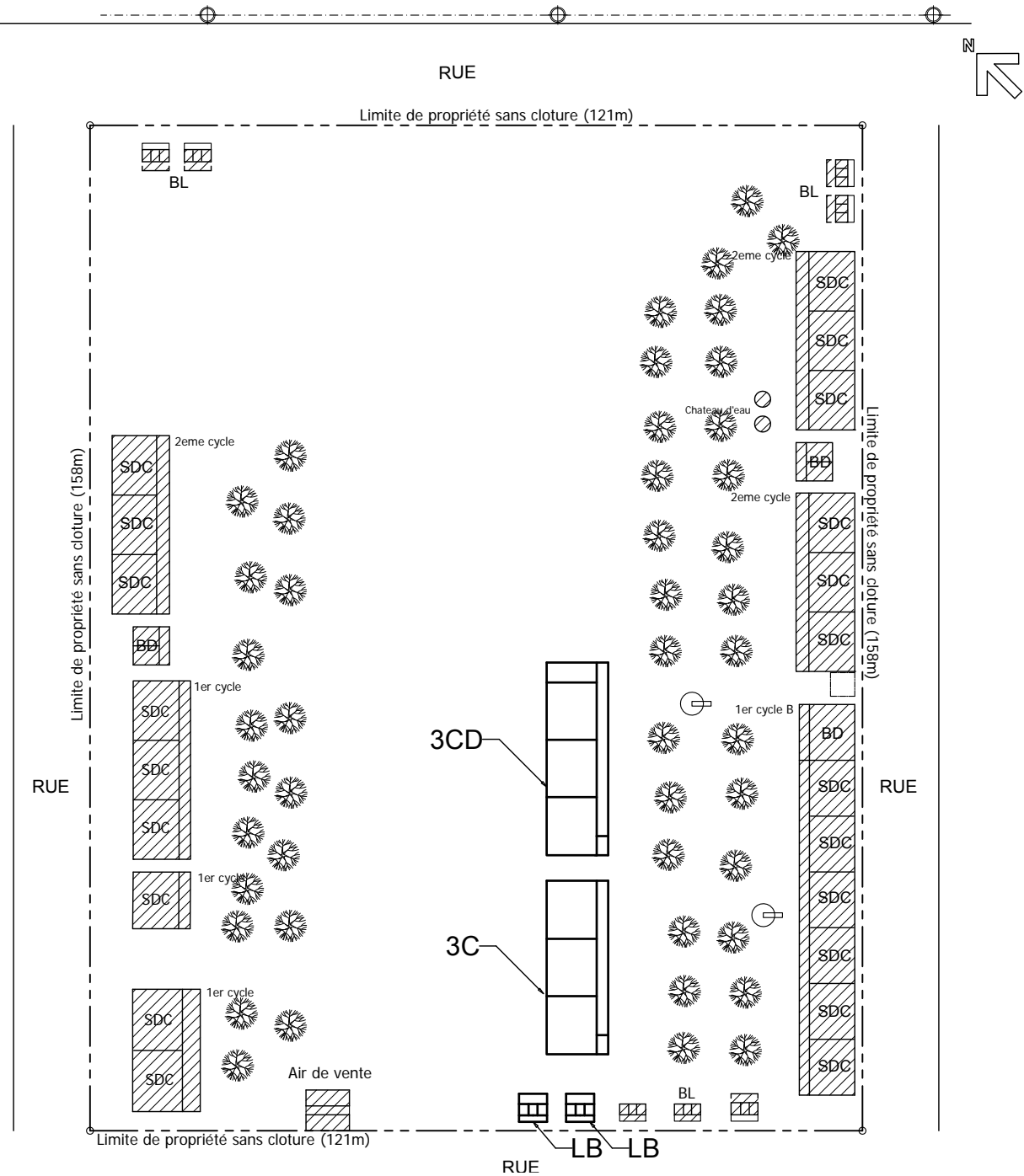
	SDC / 教室				BD 校長室	BL トイレ	ELT 電気	Eau 水	Classes nécessaires 必要教室数	Salles manquantes 不足教室数
	Existante/ 既存	En construction/ 建設中	Utilisation Impossible/ 使用不可	Utilisation Possible/ 継続使用可能						
École primaire 小	12	0	6	6	2	○	×	○	27	21
Collège 中	9	0	0	9	2	○	×	○	-	-

○ : Déjà équipé / 敷地内にあり
× : Pas dans le site / 敷地内になし

Programme de projet / 計画

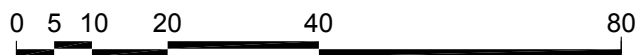
SDC	Type de SDC	BD	Type de BL	ELT	Clôture	Travaux à la charge de la partie malienne 相手国負担工事	
						Branchement du réseau d'électricité 電気配線接続	Autres その他
6	3C X 1 3CD X 1	-	LB X 2	△	-	-	





LEGENDE/凡例:

- | | |
|------------------------------|--------------------------------------|
| SDC : Salle de classe/教室 | ⊕ : Poteau d'électricité/電柱 |
| BD : Bureau de directeur/校長室 | ▬ : Mât de drapeau/フラッグポール |
| M : Magasin/倉庫 | 🌳 : Arbre/樹木 |
| BIB : Bibliothèque/図書室 | ○ : Arbre à enlever/伐採 |
| BL : Bloc de latrines/トイレ | ⊕ : Borne fontaine ou puits/ポンプまたは井戸 |
| LG : Loge gardien/守衛室 | --- : Limite de propriété/敷地境界線 |



Plan de site / 計画配置図
Echelle 1:1000

FN-5 Ouolodo

Localisation / 位置情報

AE	CAP	Commune	Distance depuis le CAP	Accès et Remarques
			CAPからの距離	
KATI	Fana	Zan Coulibaly	Non identifié 不明	Sur la route goudronnée アスファルト舗装

Situation pédagogique / 運営状況

	Écoles	Élèves	Classes pédagogiques	Personnels	Communautaire	Double vacation	Multigrade	Remarques
	学校数	生徒数	クラス数	教員数(校長含)	コミュニティ学校	2部制	複式学級	備考
École primaire 小	1	195	4	4	-	-	○	Limitation de nombre d'élèves à l'inscription 入学制限あり
Collège 中	-	-	-	-	-	-	-	

Effectifs et nombre de classe (Août, 2010) / 生徒数, クラス数内訳(2010年8月)

	1 ère	2 ème	3 ème	4 ème	5 ème	6 ème	7 ème	8 ème	9 ème
Élèves / 生徒数	42	51	34	33	9	26	-	-	-
Classes pédagogiques / クラス数	1	1	1		1				

Equipements existants / 既存施設

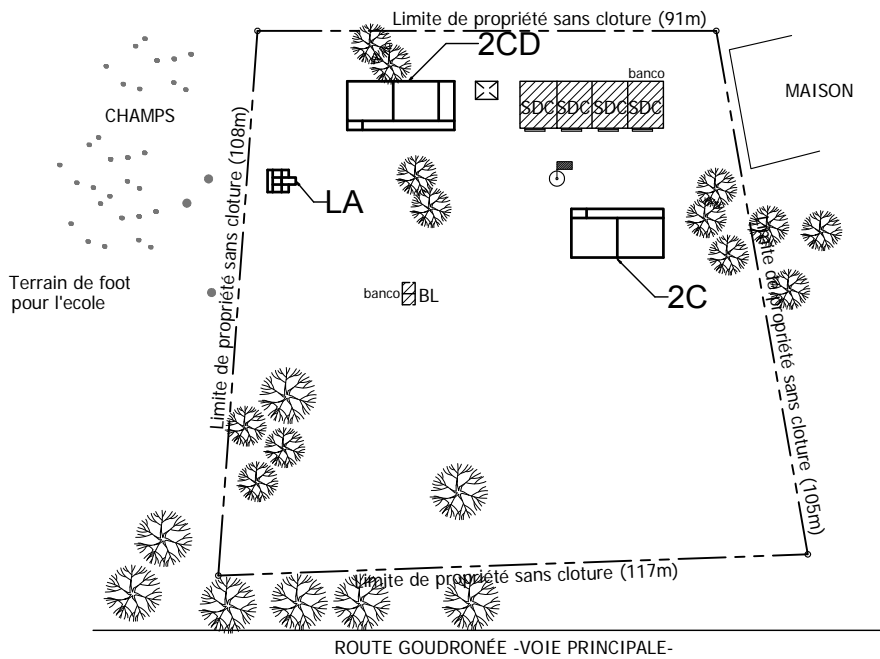
	SDC / 教室				BD 校長室	BL トイレ	ELT 電気	Eau 水	Classes nécessaires 必要教室数	Salles manquantes 不足教室数
	Existante/ 既存	En construction/ 建設中	Utilisation Impossible/ 使用不可	Utilisation Possible/ 継続使用可能						
École primaire 小	4	0	4	0	0	×	×	×	4	4
Collège 中	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

○ : Déjà équipé / 敷地内にあり
× : Pas dans le site / 敷地内になし

Programme de projet / 計画

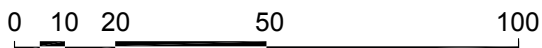
SDC	Type de SDC	BD	Type de BL	ELT	Clôture	Travaux à la charge de la partie malienne 相手国負担工事	
						Branchement du réseau d'électricité 電気配線接続	Autres その他
4	2C X 1 2CD X 1	-	LA X 1	X	-	-	





LEGENDE/凡例:

- | | |
|------------------------------|---|
| SDC : Salle de classe/教室 | ⊕ : Poteau d'électricité/電柱 |
| BD : Bureau de directeur/校長室 | 🚩 : Mât de drapeau/フラッグポール |
| M : Magasin/倉庫 | 🌳 : Arbre/樹木 |
| BIB : Bibliothèque/図書室 | 🌳 (circle) : Arbre à enlever/伐採 |
| BL : Bloc de latrines/トイレ | ⊕ (circle) : Borne fontaine ou puits/ポンプまたは井戸 |
| LG : Loge gardien/守衛室 | --- : Limite de propriété/敷地境界線 |



Plan de site / 計画配置図
Echelle 1:1500

KB-1 Samalé

Localisation / 位置情報

AE	CAP	Commune	Distance depuis le CAP	Accès et Remarques
			CAPからの距離	
KATI	Kalabancoro	Mande	35 km	Route non bitumée, Route en mauvais état 未舗装、悪路

Situation pédagogique / 運営状況

	Écoles	Élèves	Classes pédagogiques	Personnels	Communautaire	Double vacation	Multigrade	Remarques
	学校数	生徒数	クラス数	教員数(校長含)	コミュニティ学校	2部制	複式学級	備考
École primaire 小	1	174	6	6	-	-	-	
Collège 中	-	-	-	-	-	-	-	

Effectifs et nombre de classe (Août, 2010) / 生徒数, クラス数内訳(2010年8月)

	1 ère	2 ème	3 ème	4 ème	5 ème	6 ème	7 ème	8 ème	9 ème
Élèves / 生徒数	16	28	47	31	36	16	-	-	-
Classes pédagogiques / クラス数	1	1	1	1	1	1	-	-	-

Equipements existants / 既存施設

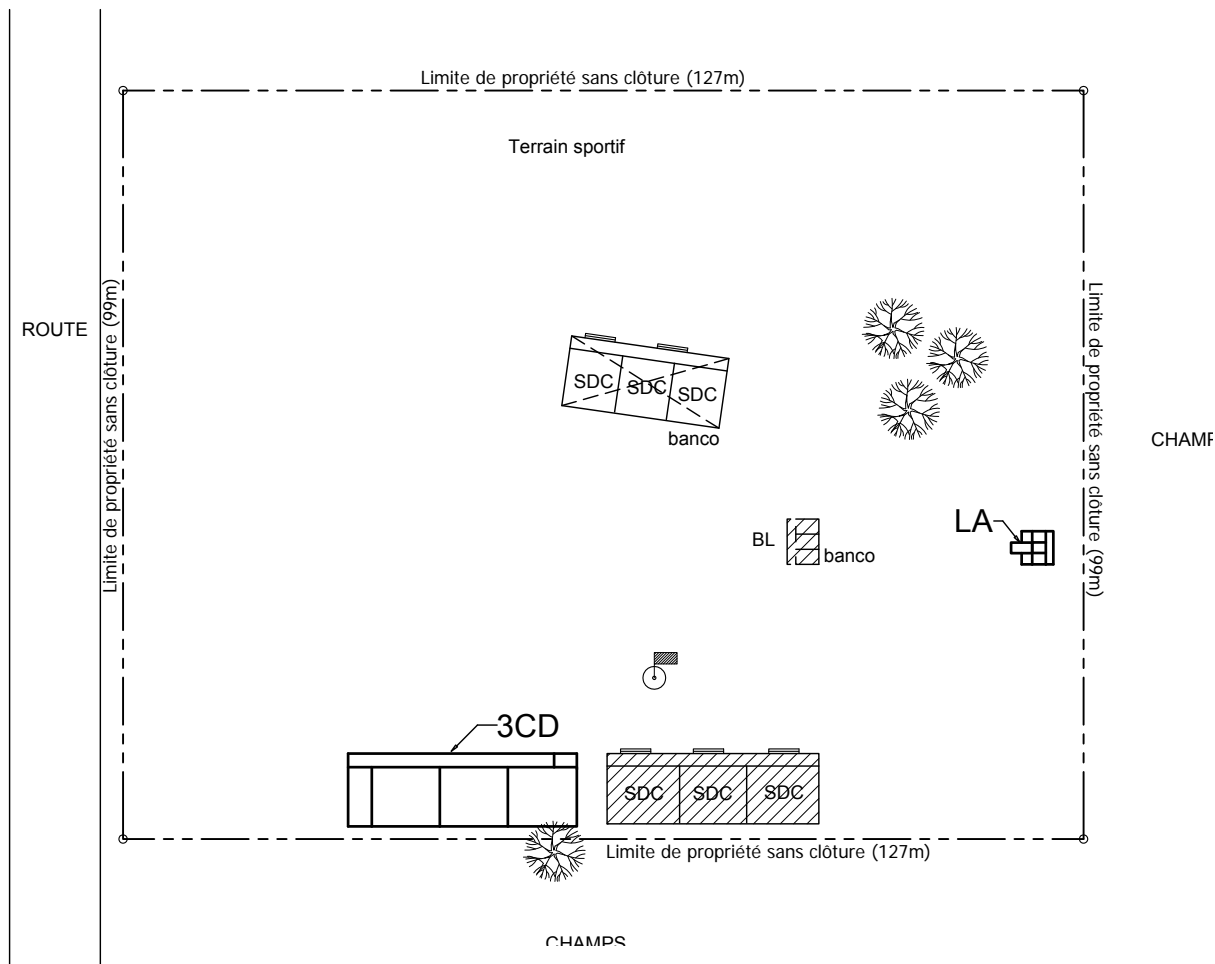
	SDC / 教室				BD 校長室	BL トイレ	ELT 電気	Eau 水	Classes nécessaires 必要教室数	Salles manquantes 不足教室数
	Existante/ 既存	En construction/ 建設中	Utilisation Impossible/ 使用不可	Utilisation Possible/ 継続使用可能						
École primaire 小	6	0	3	3	0	X	×	○	6	3
Collège 中	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

○: Déjà équipé / 敷地内にあり
×: Pas dans le site / 敷地内になし

Programme de projet / 計画

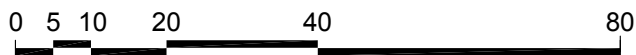
SDC	Type de SDC	BD	Type de BL	ELT	Clôture	Travaux à la charge de la partie malienne 相手国負担工事	
教室数	教室タイプ	校長室	トイレ	電気	フェンス	Branchement du réseau d'électricité 電気配線接続	Autres その他
3	3CD X 1	-	LA X 1	X	-	-	





LEGENDE/凡例:

- | | |
|------------------------------|--------------------------------------|
| SDC : Salle de classe/教室 | ⊕ : Poteau d'électricité/電柱 |
| BD : Bureau de directeur/校長室 | 🚩 : Mât de drapeau/フラッグポール |
| M : Magasin/倉庫 | 🌳 : Arbre/樹木 |
| BIB : Bibliothèque/図書室 | 🌳 (circle) : Arbre à enlever/伐採 |
| BL : Bloc de latrines/トイレ | 🕒 : Borne fontaine ou puits/ポンプまたは井戸 |
| LG : Loge gardien/守衛室 | --- : Limite de propriété/敷地境界線 |



Plan de site / 計画配置図
Echelle 1:1000

KB-2 Kalabancoro E

Localisation / 位置情報

AE	CAP	Commune	Distance depuis le CAP	Accès et Remarques
			CAPからの距離	
KATI	Kalabancoro	kalabancoro	8 km	Route non bitumée 未舗装

Situation pédagogique / 運営状況

	Écoles	Élèves	Classes pédagogiques	Personnels	Communautaire	Double vacation	Multigrade	Remarques
	学校数	生徒数	クラス数	教員数(校長含)	コミュニティ学校	2部制	複式学級	備考
École primaire 小	1	636	9	13	-	-	-	
Collège 中	1	382	3	14	-	-	-	

Effectifs et nombre de classe (Août, 2010) / 生徒数, クラス数内訳(2010年8月)

	1 ère	2 ème	3 ème	4 ème	5 ème	6 ème	7 ème	8 ème	9 ème
Élèves / 生徒数	74	57	78	177	123	127	138	109	135
Classes pédagogiques / クラス数	1	1	1	2	2	2	1	1	1

Equipements existants / 既存施設

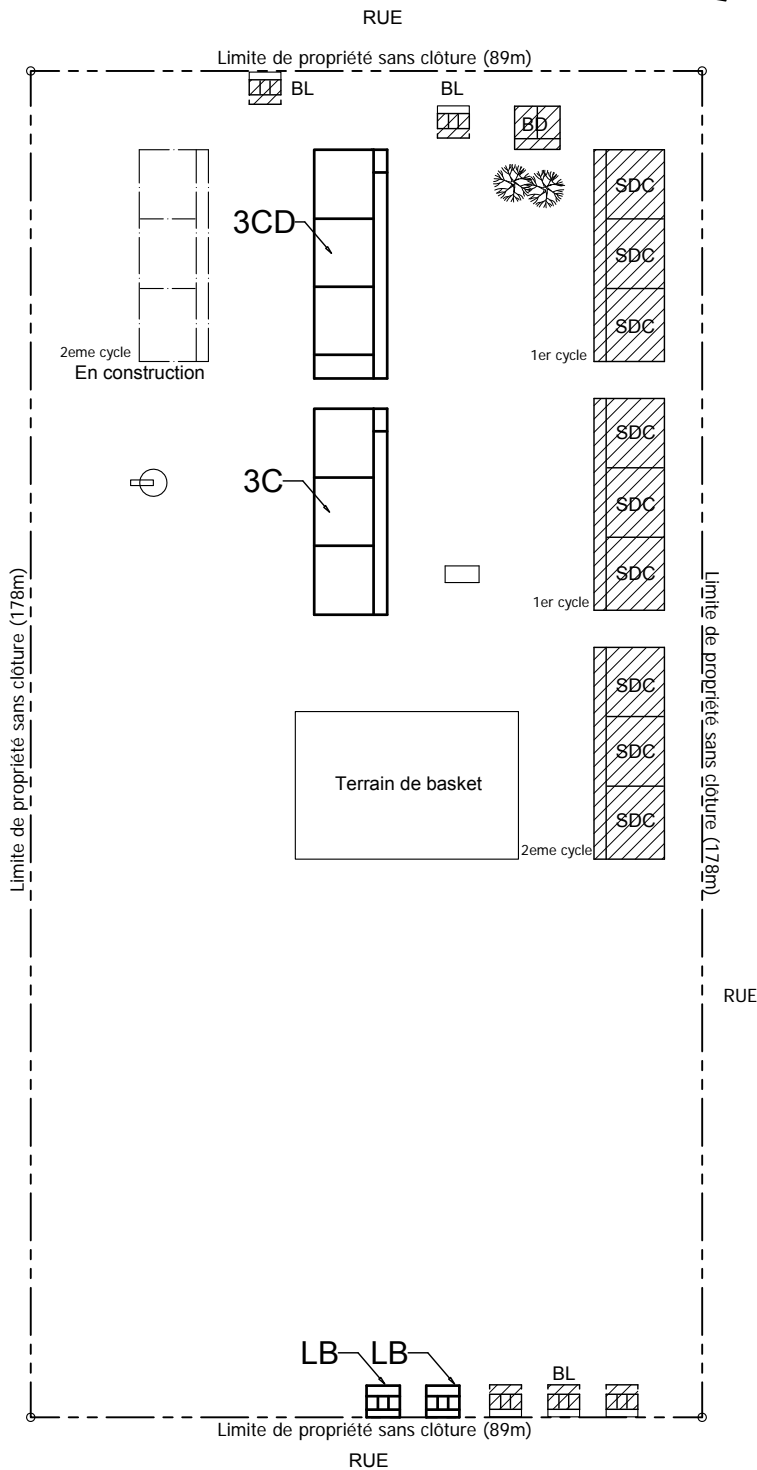
	SDC / 教室				BD 校長室	BL トイレ	ELT 電気	Eau 水	Classes nécessaires 必要教室数	Salles manquantes 不足教室数
	Existante/ 既存	En construction/ 建設中	Utilisation Impossible/ 使用不可	Utilisation Possible/ 継続使用可能						
École primaire 小	9	0	3	6	0	○	×	○	12	6
Collège 中	3	3	0	6	1	○	×	○	-	-

○ : Déjà équipé / 敷地内にあり
× : Pas dans le site / 敷地内になし

Programme de projet / 計画

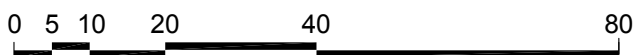
SDC	Type de SDC	BD	Type de BL	ELT	Clôture	Travaux à la charge de la partie malienne 相手国負担工事	
教室数	教室タイプ	校長室	トイレ	電気	フェンス	Branchement du réseau d'électricité 電気配線接続	Autres その他
6	3C X 1 3CD X 1	-	LB X 2	△	-	-	





LEGENDE/凡例:

- SDC : Salle de classe/教室
- BD : Bureau de directeur/校長室
- M : Magasin/倉庫
- BIB : Bibliothèque/図書室
- BL : Bloc de latrines/トイレ
- LG : Loge gardien/守衛室
- ⊕ : Poteau d'électricité/電柱
- 🚩 : Mât de drapeau/フラッグポール
- 🌳 : Arbre/樹木
- ⊖ : Arbre à enlever/伐採
- ⊕ : Borne fontaine ou puits/ポンプまたは井戸
- : Limite de propriété/敷地境界線



Plan de site / 計画配置図
Echelle 1:1000

KB-4 Taliko II

Localisation / 位置情報

AE	CAP	Commune	Distance depuis le CAP	Accès et Remarques
			CAPからの距離	
KATI	Kalabancoro	Dogodouman	10 km	Route non bitumée, Route en mauvais état 未舗装、悪路

Situation pédagogique / 運営状況

	Écoles	Élèves	Classes pédagogiques	Personnels	Communautaire	Double vacation	Multigrade	Remarques
	学校数	生徒数	クラス数	教員数(校長含)	コミュニティ学校	2部制	複式学級	備考
École primaire 小	1	546	6	7	-	○	-	Limitation de nombre d'élèves à l'inscription 入学制限あり
Collège 中	1	438	5	6	-	-	-	

Effectifs et nombre de classe (Août, 2010) / 生徒数, クラス数内訳(2010年8月)

	1 ère	2 ème	3 ème	4 ème	5 ème	6 ème	7 ème	8 ème	9 ème
Élèves / 生徒数	115	62	30	118	123	98	119	203	116
Classes pédagogiques / クラス数	1	1	1	1	1	1	1	2	2

Equipements existants / 既存施設

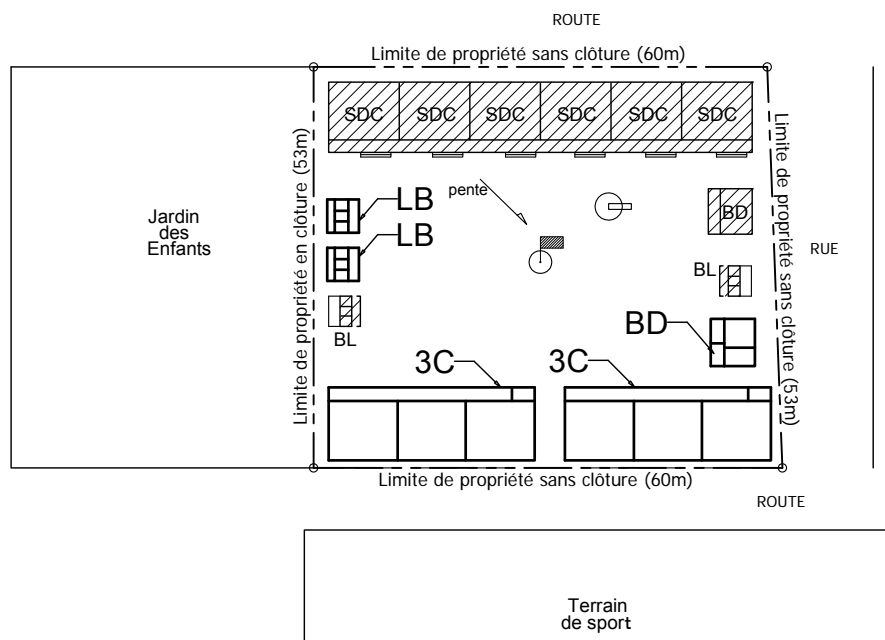
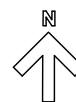
	SDC / 教室				BD 校長室	BL トイレ	ELT 電気	Eau 水	Classes nécessaires 必要教室数	Salles manquantes 不足教室数
	Existante/ 既存	En construction/ 建設中	Utilisation Impossible/ 使用不可	Utilisation Possible/ 継続使用可能						
École primaire 小	3	0	0	3	0	○	×	○	10	7
Collège 中	3	0	0	3	1	○	×	○	-	-

○: Déjà équipé / 敷地内にあり
×: Pas dans le site / 敷地内になし

Programme de projet / 計画

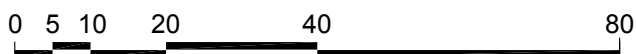
SDC	Type de SDC	BD	Type de BL	ELT	Clôture	Travaux à la charge de la partie malienne 相手国負担工事	
教室数	教室タイプ	校長室	トイレ	電気	フェンス	Branchement du réseau d'électricité 電気配線接続	Autres その他
6	3C X 2	1	LB X 2	△	-	-	





LEGENDE/凡例:

- | | |
|------------------------------|--------------------------------------|
| SDC : Salle de classe/教室 | ⊕ : Poteau d'électricité/電柱 |
| BD : Bureau de directeur/校長室 | ▣ : Mât de drapeau/フラッグポール |
| M : Magasin/倉庫 | ☀ : Arbre/樹木 |
| BIB : Bibliothèque/図書室 | ○ : Arbre à enlever/伐採 |
| BL : Bloc de latrines/トイレ | ⊕ : Borne fontaine ou puits/ポンプまたは井戸 |
| LG : Loge gardien/守衛室 | --- : Limite de propriété/敷地境界線 |



Plan de site / 計画配置図
Echelle 1:1000

KB-5 Adeken (Fraternite Kene)

Localisation / 位置情報

AE	CAP	Commune	Distance depuis le CAP	Accès et Remarques
			CAPからの距離	
KATI	Kalabancoro	kalabancoro	0.5 km	Route non bitumée, Route en mauvais état 未舗装、悪路

Situation pédagogique / 運営状況

	Écoles	Élèves	Classes pédagogiques	Personnels	Communautaire	Double vacation	Multigrade	Remarques
	学校数	生徒数	クラス数	教員数(校長含)	コミュニティ学校	2部制	複式学級	
École primaire 小	1	643	8	13	○	-	-	Limitation de nombre d'élèves à l'inscription 入学制限あり
Collège 中	2	626	6	25	-	-	-	

Effectifs et nombre de classe (Août, 2010) / 生徒数, クラス数内訳(2010年8月)

	1 ère	2 ème	3 ème	4 ème	5 ème	6 ème	7 ème	8 ème	9 ème
Élèves / 生徒数	77	77	187	98	75	129	192	192	242
Classes pédagogiques / クラス数	1	1	2	1	1	2	2	2	2

Equipements existants / 既存施設

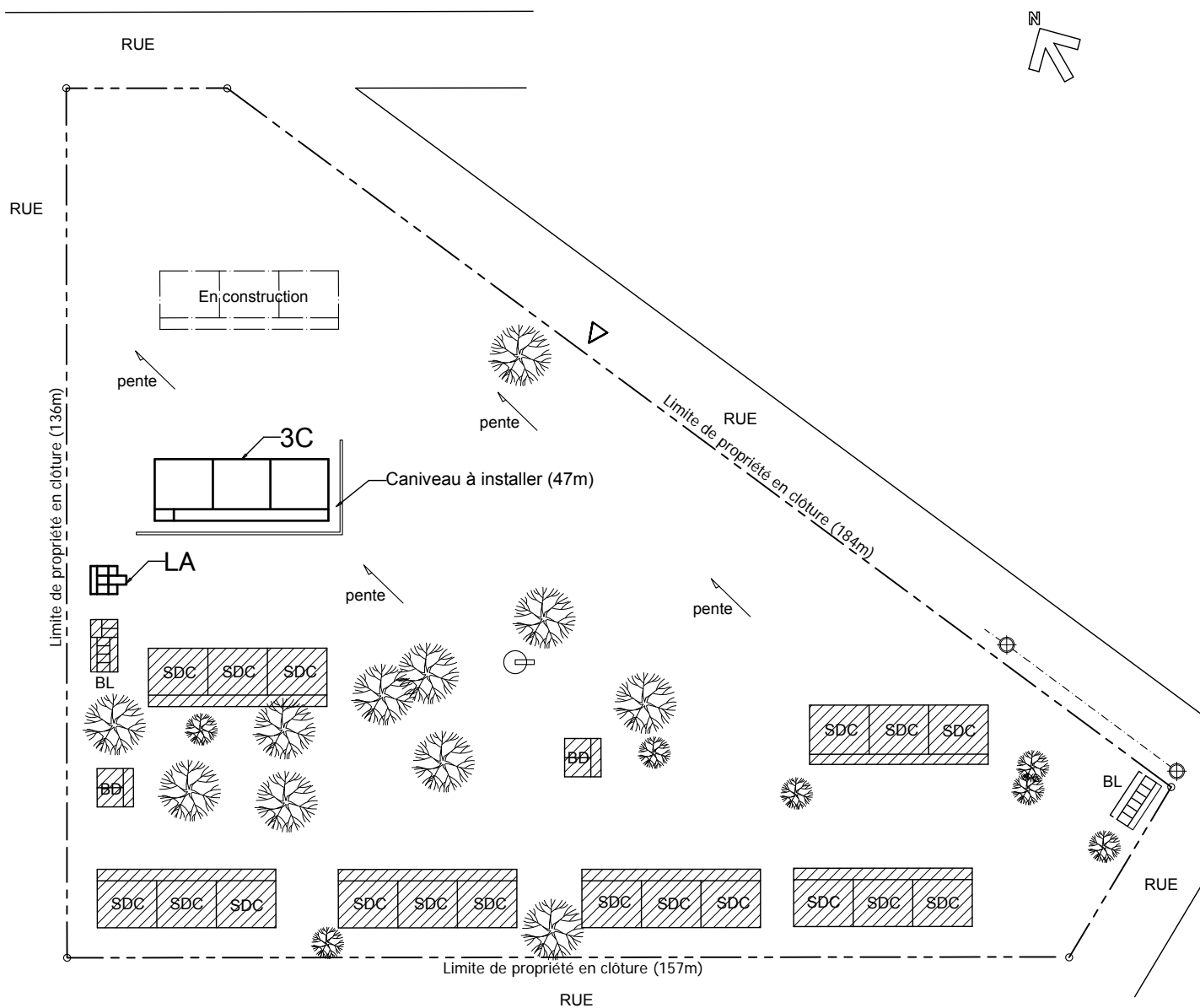
	SDC / 教室				BD 校長室	BL トイレ	ELT 電気	Eau 水	Classes nécessaires 必要教室数	Salles manquantes 不足教室数
	Existante/ 既存	En construction/ 建設中	Utilisation Impossible/ 使用不可	Utilisation Possible/ 継続使用可能						
École primaire 小	9	0	0	9	1	○	○	○	12	3
Collège 中	6	3	0	9	1	○	○	○	-	-

○: Déjà équipé / 敷地内にあり
×: Pas dans le site / 敷地内になし

Programme de projet / 計画

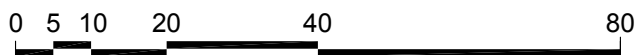
SDC	Type de SDC	BD	Type de BL	ELT	Caniveau	Travaux à la charge de la partie malienne 相手国負担工事	
						Branchement du réseau d'électricité 電気配線接続	Autres その他
教室数	教室タイプ	校長室	トイレ	電気	側溝	○	
3	3C X 1	-	LA X 1	○	○	○	





LEGENDE/凡例:

- | | |
|------------------------------|--------------------------------------|
| SDC : Salle de classe/教室 | ⊕ : Poteau d'électricité/電柱 |
| BD : Bureau de directeur/校長室 | ■ : Mât de drapeau/フラッグポール |
| M : Magasin/倉庫 | ☼ : Arbre/樹木 |
| BIB : Bibliothèque/図書室 | ○ : Arbre à enlever/伐採 |
| BL : Bloc de latrines/トイレ | ⊕ : Borne fontaine ou puits/ポンプまたは井戸 |
| LG : Loge gardien/守衛室 | --- : Limite de propriété/敷地境界線 |



Plan de site / 計画配置図
Echelle 1:1000

KT-1 Camp B

Localisation / 位置情報

AE	CAP	Commune	Distance depuis le CAP	Accès et Remarques
			CAPからの距離	
KATI	Kati	Kati	5 km	1km depuis la route principale, Route non bitumée, 幹線から 1 km、未舗装

Situation pédagogique / 運営状況

	Écoles	Élèves	Classes pédagogiques	Personnels	Communautaire	Double vacation	Multigrade	Remarques
	学校数	生徒数	クラス数	教員数(校長含)	コミュニティ学校	2部制	複式学級	備考
École primaire 小	1	325	6	8	-	-	-	
Collège 中	-	-	-	-	-	-	-	

Effectifs et nombre de classe (Août, 2010) / 生徒数, クラス数内訳(2010年8月)

	1 ère	2 ème	3 ème	4 ème	5 ème	6 ème	7 ème	8 ème	9 ème
Élèves / 生徒数	59	52	57	66	58	33	-	-	-
Classes pédagogiques / クラス数	1	1	1	1	1	1	-	-	-

Equipements existants / 既存施設

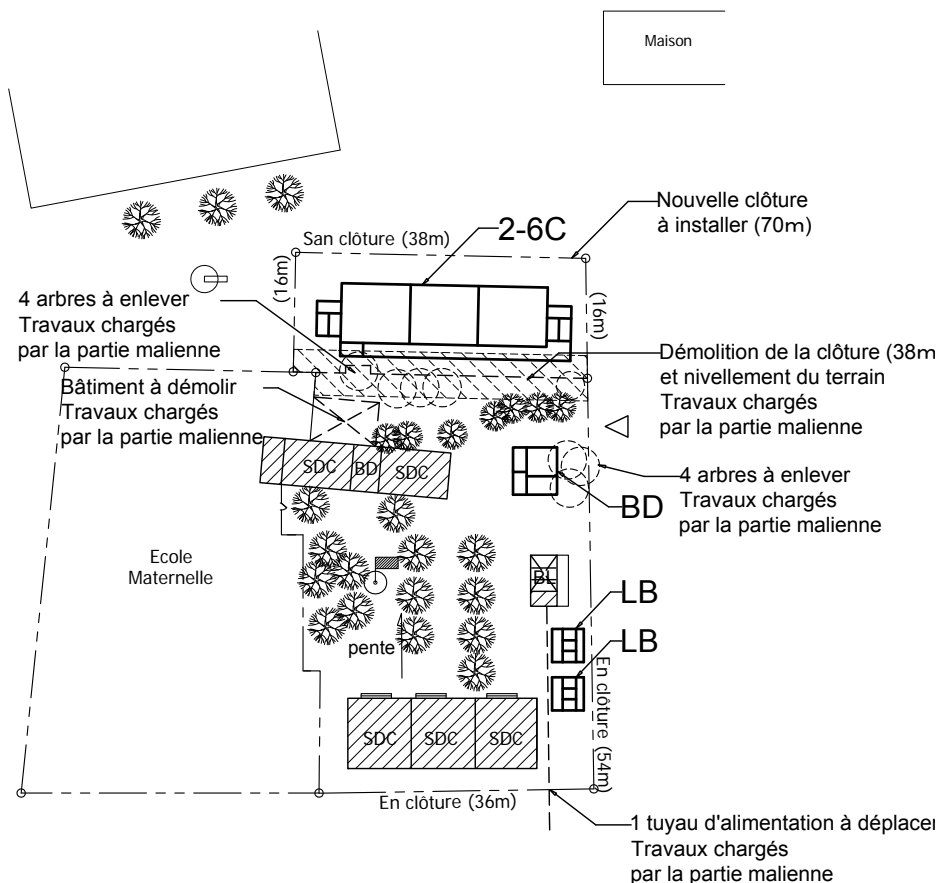
	SDC / 教室				BD 校長室	BL トイレ	ELT 電気	Eau 水	Classes nécessaires 必要教室数	Salles manquantes 不足教室数
	Existante/ 既存	En construction/ 建設中	Utilisation Impossible/ 使用不可	Utilisation Possible/ 継続使用可能						
École primaire 小	6	0	6	0	0	×	○	○	6	6
Collège 中	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

○: Déjà équipé / 敷地内にあり
×: Pas dans le site / 敷地内になし

Programme de projet / 計画

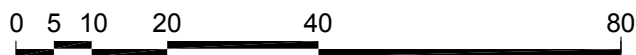
SDC	Type de SDC	BD	Type de BL	ELT	Clôture	Travaux à la charge de la partie malienne 相手国負担工事	
						Branchement du réseau d'électricité 電気配線接続	Autres その他
教室数	教室タイプ	校長室	トイレ	電気	フェンス	○	Abattage de 8 arbres, Nivellement du terrain (224m ²), Demolition d'1 bâtiment existant (50m ²), Demolition de la clôture (38m) Déplacement d'1 tuyau d'alimentation (18m) 樹木8本撤去、整地(224m ²)、既存建物撤去(50m ²)、フェンス撤去(38m) 給水管の移設(18m)





LEGENDE/凡例:

- | | |
|------------------------------|--------------------------------------|
| SDC : Salle de classe/教室 | ⊕ : Poteau d'électricité/電柱 |
| BD : Bureau de directeur/校長室 | ■ : Mât de drapeau/フラッグポール |
| M : Magasin/倉庫 | 🌳 : Arbre/樹木 |
| BIB : Bibliothèque/図書室 | ○ : Arbre à enlever/伐採 |
| BL : Bloc de latrines/トイレ | ⊕ : Borne fontaine ou puits/ポンプまたは井戸 |
| LG : Loge gardien/守衛室 | - - - : Limite de propriété/敷地境界線 |



Plan de site / 計画配置図
Echelle 1:1000

KT-2 Sirablo Dogoba

Localisation / 位置情報

AE	CAP	Commune	Distance depuis le CAP	Accès et Remarques
			CAPからの距離	
KATI	Kati	Doubabougo	21 km	Ecole avaRoute en mauvais état nt l'ouverture , 未舗装、悪路

Situation pédagogique / 運営状況

	Écoles	Élèves	Classes pédagogiques	Personnels	Communautaire	Double vacation	Multigrade	Remarques
	学校数	生徒数	クラス数	教員数(校長含)	コミュニティ学校	2部制	複式学級	備考
École primaire 小	1	204	5	5	-	-	○	Limitation de nombre d'élèves à l'inscription 入学制限あり
Collège 中	-	-	-	-	-	-	-	

Effectifs et nombre de classe (Août, 2010) / 生徒数, クラス数内訳(2010年8月)

	1 ère	2 ème	3 ème	4 ème	5 ème	6 ème	7 ème	8 ème	9 ème
Élèves / 生徒数	53	32	25	41	35	18	-	-	-
Classes pédagogiques / クラス数	1	1	1		1	1	-	-	-

Equipements existants / 既存施設

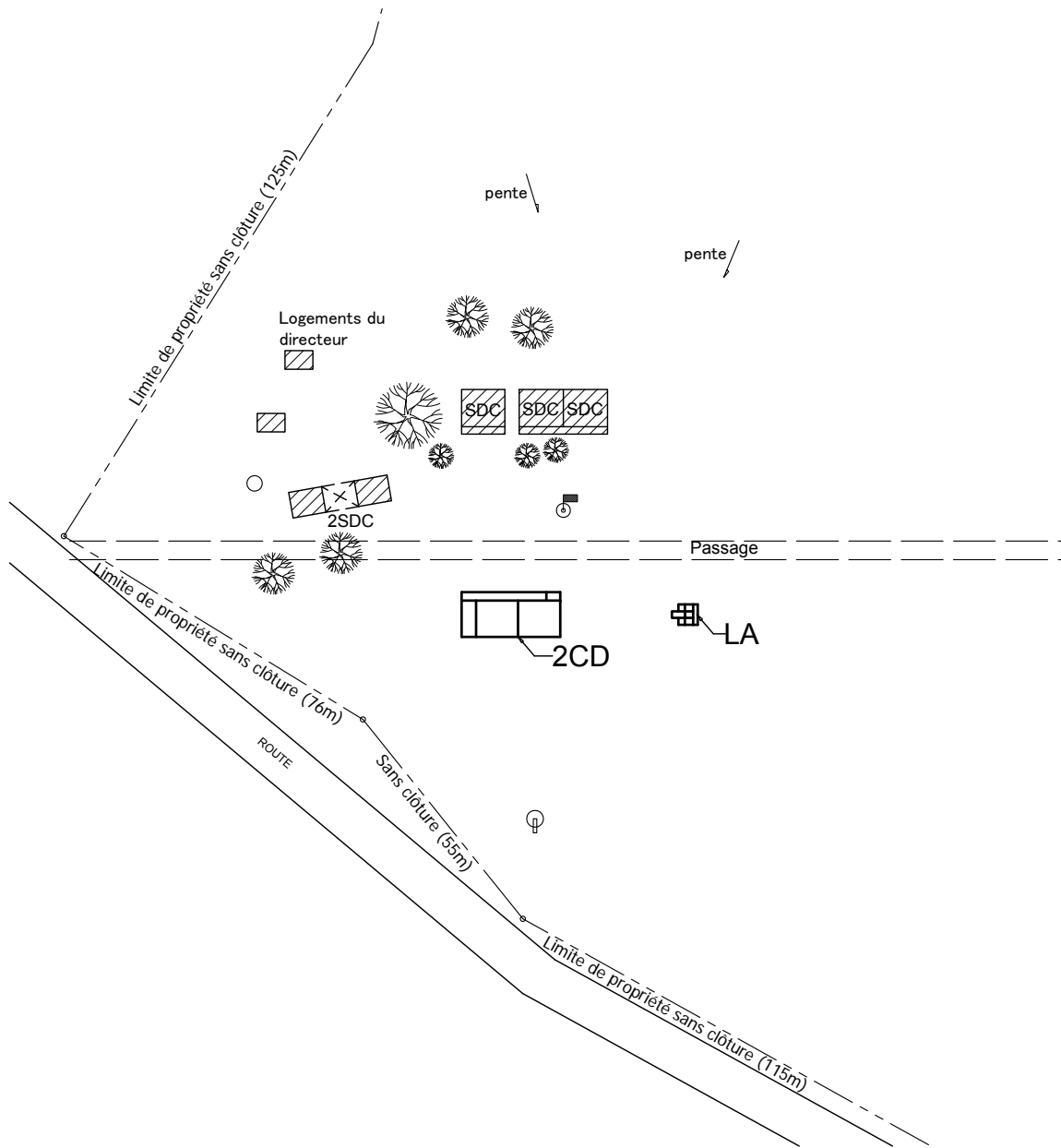
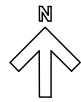
	SDC / 教室				BD 校長室	BL トイレ	ELT 電気	Eau 水	Classes nécessaires 必要教室数	Salles manquantes 不足教室数
	Existante/ 既存	En construction/ 建設中	Utilisation Impossible/ 使用不可	Utilisation Possible/ 継続使用可能						
École primaire 小	5	0	2	3	0	×	×	○	5	2
Collège 中	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

○ : Déjà équipé / 敷地内にあり
 × : Pas dans le site / 敷地内になし

Programme de projet / 計画

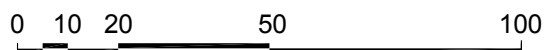
SDC	Type de SDC	BD	Type de BL	ELT	Clôture	Travaux à la charge de la partie malienne 相手国負担工事	
						Branchement du réseau d'électricité 電気配線接続	Autres その他
教室数	教室タイプ	校長室	トイレ	電気	フェンス	-	
2	2CD X 1	-	LA X 1	X	-	-	





LEGENDE/凡例:

- | | |
|------------------------------|------------------------------------|
| SDC : Salle de classe/教室 | : Poteau d'électricité/電柱 |
| BD : Bureau de directeur/校長室 | : Mât de drapeau/フラッグポール |
| M : Magasin/倉庫 | : Arbre/樹木 |
| BIB : Bibliothèque/図書室 | : Arbre à enlever/伐採 |
| BL : Bloc de latrines/トイレ | : Borne fontaine ou puits/ポンプまたは井戸 |
| LG : Loge gardien/守衛室 | : Limite de propriété/敷地境界線 |



Plan de site / 計画配置図
Echelle 1:1500

KT-3 SongonII

Localisation / 位置情報

AE	CAP	Commune	Distance depuis le CAP	Accès et Remarques
			CAPからの距離	
KATI	Kati	Dombila	41 km	Difficulté éventuelle d'accès au site pendant la saison des pluies. 雨季のアクセス不可

Situation pédagogique / 運営状況

	Écoles	Élèves	Classes pédagogiques	Personnels	Communautaire	Double vacation	Multigrade	Remarques
	学校数	生徒数	クラス数	教員数(校長含)	コミュニティ学校	2部制	複式学級	備考
École primaire 小	1	359	3	4	-	-	○	
Collège 中	-	-	-	-	-	-	-	

Effectifs et nombre de classe (Août, 2010) / 生徒数, クラス数内訳(2010年8月)

	1 ère	2 ème	3 ème	4 ème	5 ème	6 ème	7 ème	8 ème	9 ème
Élèves / 生徒数	48	53	62	72	65	59	-	-	-
Classes pédagogiques / クラス数	1		1		1			-	-

Equipements existants / 既存施設

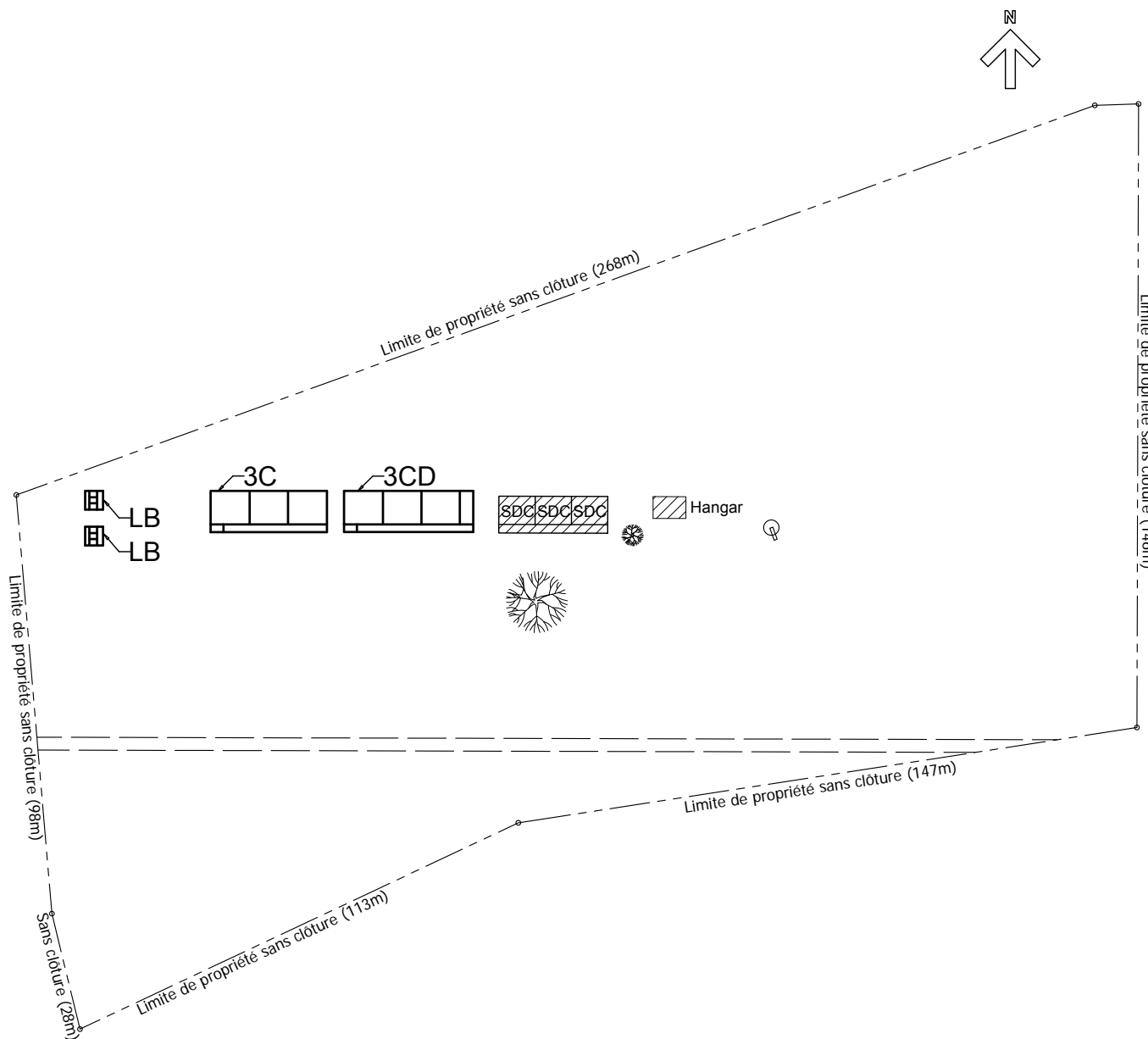
	SDC / 教室				BD 校長室	BL トイレ	ELT 電気	Eau 水	Classes nécessaires 必要教室数	Salles manquantes 不足教室数
	Existante/ 既存	En construction/ 建設中	Utilisation Impossible/ 使用不可	Utilisation Possible/ 継続使用可能						
École primaire 小	4	0	4	0	0	×	×	○	7	7
Collège 中	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

○: Déjà équipé / 敷地内にあり
×: Pas dans le site / 敷地内になし

Programme de projet / 計画

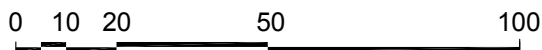
SDC	Type de SDC	BD	Type de BL	ELT	Clôture	Travaux à la charge de la partie malienne 相手国負担工事	
						Branchement du réseau d'électricité 電気配線接続	Autres その他
教室数	教室タイプ	校長室	トイレ	電気	フェンス		
6	3C x 1 3CD x 1	-	LB x 2	x	-	-	





LEGENDE/凡例:

- | | |
|------------------------------|--------------------------------------|
| SDC : Salle de classe/教室 | ⊕ : Poteau d'électricité/電柱 |
| BD : Bureau de directeur/校長室 | ▣ : Mât de drapeau/フラッグポール |
| M : Magasin/倉庫 | ☼ : Arbre/樹木 |
| BIB : Bibliothèque/図書室 | ○ : Arbre à enlever/伐採 |
| BL : Bloc de latrines/トイレ | ⊕ : Borne fontaine ou puits/ポンプまたは井戸 |
| LG : Loge gardien/守衛室 | --- : Limite de propriété/敷地境界線 |



Plan de site / 計画配置図
Echelle 1:1500

KT-4 Gonsolo

Localisation / 位置情報

AE	CAP	Commune	Distance depuis le CAP	Accès et Remarques
			CAPからの距離	
KATI	Kati	Bancoumana	103km	36km depuis la route principale, 幹線道路から36km Difficulté éventuelle d'accès au site pendant la saison des pluies. 雨季アクセス困難の可能性あり

Situation pédagogique / 運営状況

	Écoles	Élèves	Classes pédagogiques	Personnels	Communautaire	Double vacation	Multigrade	Remarques
	学校数	生徒数	クラス数	教員数(校長含)	コミュニティ学校	2部制	複式学級	備考
École primaire 小	1	168	3	3	-	-	○	Limitation de nombre d'élèves à l'inscription 入学制限あり
Collège 中	-	-	-	-	-	-	-	

Effectifs et nombre de classe (Août, 2010) / 生徒数, クラス数内訳(2010年8月)

	1 ère	2 ème	3 ème	4 ème	5 ème	6 ème	7 ème	8 ème	9 ème
Élèves / 生徒数	38	35	0	29	38	28	-	-	-
Classes pédagogiques / クラス数	1		0	1	1		-	-	-

Equipements existants / 既存施設

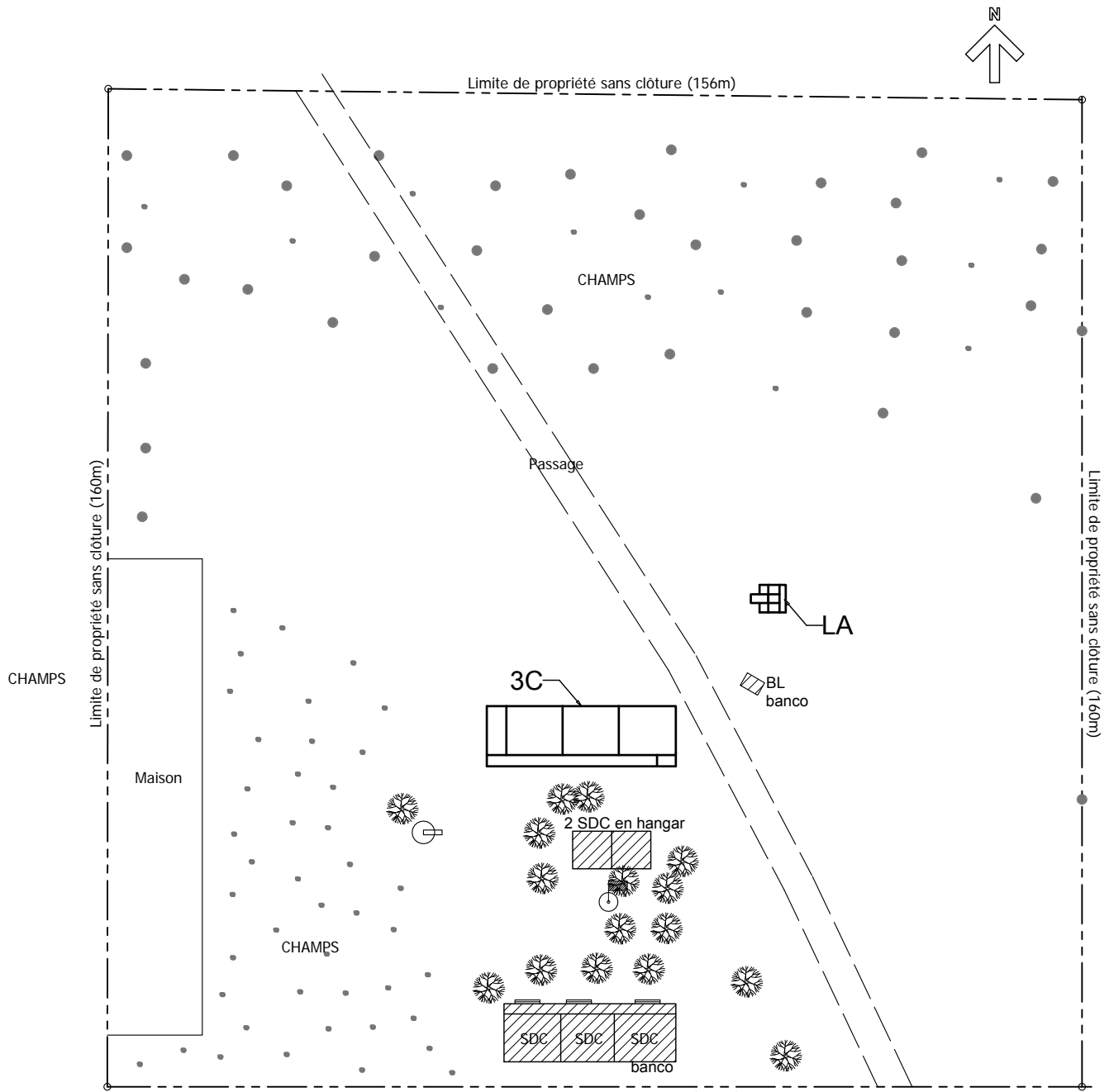
	SDC / 教室				BD 校長室	BL トイレ	ELT 電気	Eau 水	Classes nécessaires 必要教室数	Salles manquantes 不足教室数
	Existante/ 既存	En construction/ 建設中	Utilisation Impossible/ 使用不可	Utilisation Possible/ 継続使用可能						
École primaire 小	3	0	3	0	0	x	x	○	3	3
Collège 中	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

○: Déjà équipé / 敷地内にあり
x: Pas dans le site / 敷地内になし

Programme de projet / 計画

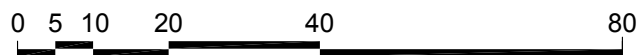
SDC	Type de SDC	BD	Type de BL	ELT	Clôture	Travaux à la charge de la partie malienne 相手国負担工事	
教室数	教室タイプ	校長室	トイレ	電気	フェンス	Branchement du réseau d'électricité 電気配線接続	Autres その他
3	3CD x 1	-	LA X 1	X	-	-	





LEGENDE/凡例:

- | | |
|------------------------------|--------------------------------------|
| SDC : Salle de classe/教室 | ⊕ : Poteau d'électricité/電柱 |
| BD : Bureau de directeur/校長室 | ▣ : Mât de drapeau/フラッグポール |
| M : Magasin/倉庫 | 🌳 : Arbre/樹木 |
| BIB : Bibliothèque/図書室 | ○ : Arbre à enlever/伐採 |
| BL : Bloc de latrines/トイレ | ⊕ : Borne fontaine ou puits/ポンプまたは井戸 |
| LG : Loge gardien/守衛室 | --- : Limite de propriété/敷地境界線 |



Plan de site / 計画配置図
Echelle 1:1000

KT-5 Yélékébougou

Localisation / 位置情報

AE	CAP	Commune	Distance depuis le CAP	Accès et Remarques
			CAPからの距離	
KATI	Kati	Yélékébougou	33 km	Possible 可能

Situation pédagogique / 運営状況

	Écoles	Élèves	Classes pédagogiques	Personnels	Communautaire	Double vacation	Multigrade	Remarques
	学校数	生徒数	クラス数	教員数(校長含)	コミュニティ学校	2部制	複式学級	備考
École primaire 小	1	568	7	8	-	-	-	Ecole primaire et secondaire regroupé Limitation de nombre d'élèves à l'inscription 小中が一緒になった学校。入学制限あり
Collège 中	1	341	3	6	-	-	-	

Effectifs et nombre de classe (Août, 2010) / 生徒数, クラス数内訳(2010年8月)

	1 ère	2 ème	3 ème	4 ème	5 ème	6 ème	7 ème	8 ème	9 ème
Élèves / 生徒数	98	83	82	144	80	81	106	145	90
Classes pédagogiques / クラス数	1	1	1	1	1	2	1	1	1

Equipements existants / 既存施設

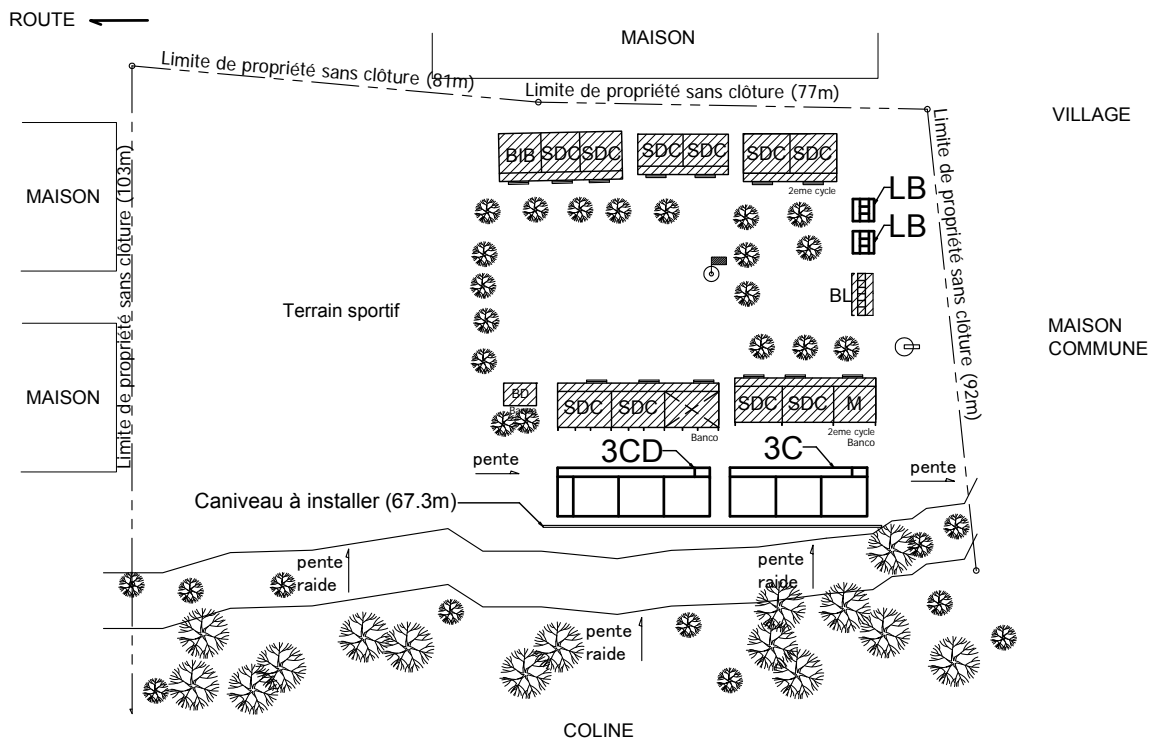
	SDC / 教室				BD 校長室	BL トイレ	ELT 電気	Eau 水	Classes nécessaires 必要教室数	Salles manquantes 不足教室数
	Existante/ 既存	En construction/ 建設中	Utilisation Impossible/ 使用不可	Utilisation Possible/ 継続使用可能						
École primaire 小	6	0	2	4	0	○	×	○	11	7
Collège 中	4	-	2	-	-	-	-	-	-	-

○: Déjà équipé / 敷地内にあり
×: Pas dans le site / 敷地内になし

Programme de projet / 計画

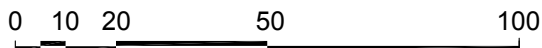
SDC	Type de SDC	BD	Type de BL	ELT	Caniveau	Travaux à la charge de la partie malienne 相手国負担工事	
						Branchement du réseau d'électricité 電気配線接続	Autres その他
教室数	教室タイプ	校長室	トイレ	電気	側溝	-	-
6	3C X 1 3CD X 1	-	LB X 2	X	○	-	-





LEGENDE/凡例:

- | | |
|------------------------------|--------------------------------------|
| SDC : Salle de classe/教室 | ⊕ : Poteau d'électricité/電柱 |
| BD : Bureau de directeur/校長室 | 🚩 : Mât de drapeau/フラッグポール |
| M : Magasin/倉庫 | 🌳 : Arbre/樹木 |
| BIB : Bibliothèque/図書室 | 🌳 : Arbre à enlever/伐採 |
| BL : Bloc de latrines/トイレ | ⊕ : Borne fontaine ou puits/ポンプまたは井戸 |
| LG : Loge gardien/守衛室 | --- : Limite de propriété/敷地境界線 |



Plan de site / 計画配置図
Echelle 1:1500

KL-1 Diaguinabougou Central

Localisation / 位置情報

AE	CAP	Commune	Distance depuis le CAP	Accès et Remarques
			CAPからの距離	
Koulikoro	Koulikoro	Meguetan	24 km	Possible 可能

Situation pédagogique / 運営状況

	Écoles	Élèves	Classes pédagogiques	Personnels	Communautaire	Double vacation	Multigrade	Remarques
	学校数	生徒数	クラス数	教員数(校長含)	コミュニティ学校	2部制	複式学級	
École primaire 小	1	215	5	5	-	○	○	Limitation de nombre d'élèves à l'inscription 入学制限あり
Collège 中	-	-	-	-	-	-	-	

Effectifs et nombre de classe (Août, 2010) / 生徒数, クラス数内訳(2010年8月)

	1 ère	2 ème	3 ème	4 ème	5 ème	6 ème	7 ème	8 ème	9 ème
Élèves / 生徒数	73	0	40	35	38	29	-	-	-
Classes pédagogiques / クラス数	1		1	1	1	1	-	-	-

Equipements existants / 既存施設

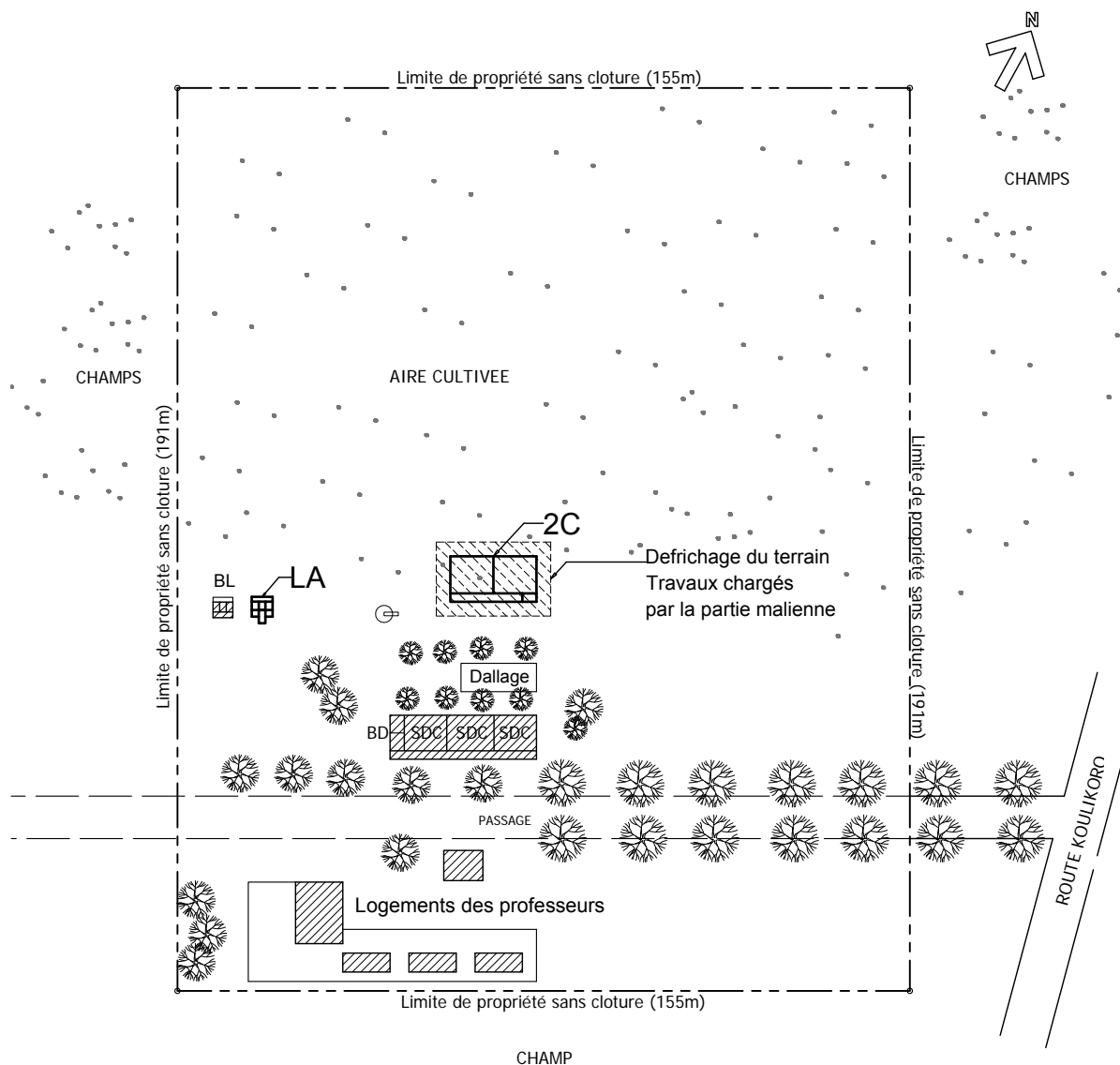
	SDC / 教室				BD 校長室	BL トイレ	ELT 電気	Eau 水	Classes nécessaires 必要教室数	Salles manquantes 不足教室数
	Existante/ 既存	En construction/ 建設中	Utilisation Impossible/ 使用不可	Utilisation Possible/ 継続使用可能						
École primaire 小	3	0	0	3	1	○	×	○	5	2
Collège 中	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

○ : Déjà équipé / 敷地内にあり
× : Pas dans le site / 敷地内になし

Programme de projet / 計画

SDC	Type de SDC	BD	Type de BL	ELT	Clôture	Travaux à la charge de la partie malienne 相手国負担工事	
教室数	教室タイプ	校長室	トイレ	電気	フェンス	Branchement du réseau d'électricité 電気配線接続	Autres その他
2	2C x 1	-	LA x 1	x	-	-	Defrichage du terrain (380m2) 畑の整地(380m2)

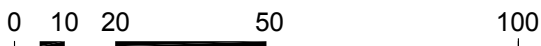




LEGENDE/凡例:

- SDC : Salle de classe/教室
- BD : Bureau de directeur/校長室
- M : Magasin/倉庫
- BIB : Bibliothèque/図書室
- BL : Bloc de latrines/トイレ
- LG : Loge gardien/守衛室

- ⊕ : Poteau d'électricité/電柱
- ▣ : Mât de drapeau/フラッグポール
- 🌳 : Arbre/樹木
- : Arbre à enlever/伐採
- ⊕ : Borne fontaine ou puits/ポンプまたは井戸
- : Limite de propriété/敷地境界線



Plan de site / 計画配置図
Echelle 1:1500

KL-2 Tlomadio

Localisation / 位置情報

AE	CAP	Commune	Distance depuis le CAP	Accès et Remarques
			CAPからの距離	
Koulikoro	Koulikoro	Meguetan	-	Possible 可能

Situation pédagogique / 運営状況

	Écoles	Élèves	Classes pédagogiques	Personnels	Communautaire	Double vacation	Multigrade	Remarques
	学校数	生徒数	クラス数	教員数(校長含)	コミュニティ学校	2部制	複式学級	
École primaire 小	1	284	6	7	-	-	-	入学制限あり Limitation de nombre d'élèves à l'inscription
Collège 中	-	-	-	-	-	-	-	

Effectifs et nombre de classe (Août, 2010) / 生徒数, クラス数内訳(2010年8月)

	1 ère	2 ème	3 ème	4 ème	5 ème	6 ème	7 ème	8 ème	9 ème
Élèves / 生徒数	62	49	46	58	38	31	-	-	-
Classes pédagogiques / クラス数	1	1	1	1	1	1	-	-	-

Equipements existants / 既存施設

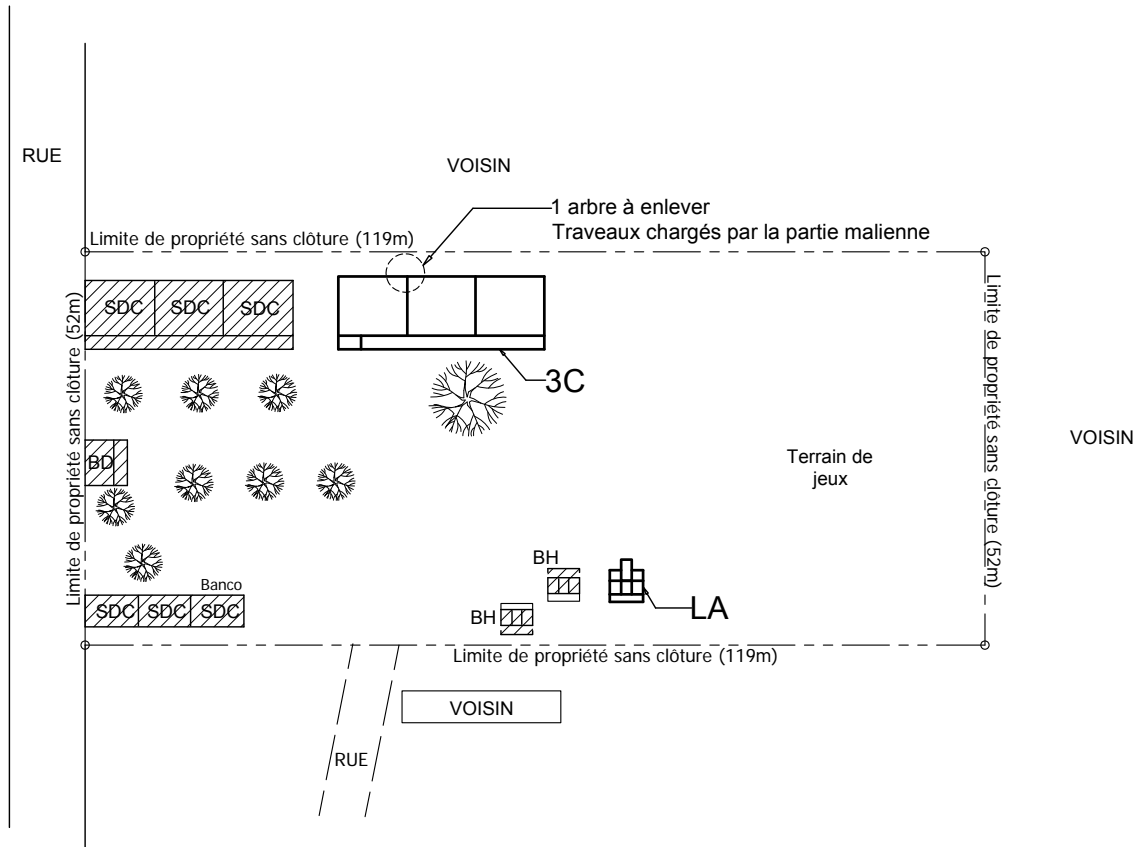
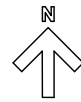
	SDC / 教室				BD 校長室	BL トイレ	ELT 電気	Eau 水	Classes nécessaires 必要教室数	Salles manquantes 不足教室数
	Existante/ 既存	En construction/ 建設中	Utilisation Impossible/ 使用不可	Utilisation Possible/ 継続使用可能						
École primaire 小	6	0	3	3	1	○	× Cablage d'électricité déjà installé 配線あり	×	6	3
Collège 中	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

○ : Déjà équipé / 敷地内にあり
× : Pas dans le site / 敷地内になし

Programme de projet / 計画

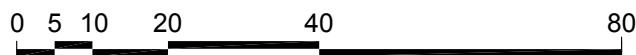
SDC	Type de SDC	BD	Type de BL	ELT	Clôture	Travaux à la charge de la partie malienne 相手国負担工事	
						Branchement du réseau d'électricité 電気配線接続	Autres その他
教室数	教室タイプ	校長室	トイレ	電気	フェンス	-	Abattage de 1 arbre, 樹木1本撤去
3	3C X 1	-	LA X 1	△	-	-	





LEGENDE/凡例:

- | | |
|------------------------------|--------------------------------------|
| SDC : Salle de classe/教室 | ⊕ : Poteau d'électricité/電柱 |
| BD : Bureau de directeur/校長室 | ▣ : Mât de drapeau/フラッグポール |
| M : Magasin/倉庫 | ☼ : Arbre/樹木 |
| BIB : Bibliothèque/図書室 | ○ : Arbre à enlever/伐採 |
| BL : Bloc de latrines/トイレ | ⊕ : Borne fontaine ou puits/ポンプまたは井戸 |
| LG : Loge gardien/守衛室 | --- : Limite de propriété/敷地境界線 |



Plan de site / 計画配置図
Echelle 1:1000

KL-5 Kossaba

Localisation / 位置情報

AE	CAP	Commune	Distance depuis le CAP	Accès et Remarques
			CAPからの距離	
Koulikoro	Koulikoro	Doumba	-	アクセス道路および備考

Situation pédagogique / 運営状況

	Écoles	Élèves	Classes pédagogiques	Personnels	Communautaire	Double vacation	Multigrade	Remarques
	学校数	生徒数	クラス数	教員数(校長含)	コミュニティ学校	2部制	複式学級	
École primaire 小	1	98	3	4	-	-	○	Limitation de nombre d'élèves à l'inscription 入学制限あり
Collège 中	-	-	-	-	-	-	-	

Effectifs et nombre de classe (Août, 2010) / 生徒数, クラス数内訳(2010年8月)

	1 ère	2 ème	3 ème	4 ème	5 ème	6 ème	7 ème	8 ème	9 ème
Élèves / 生徒数	0	73	6	13	0	6	-	-	-
Classes pédagogiques / クラス数	0	1	1		0	1	-	-	-

Equipements existants / 既存施設

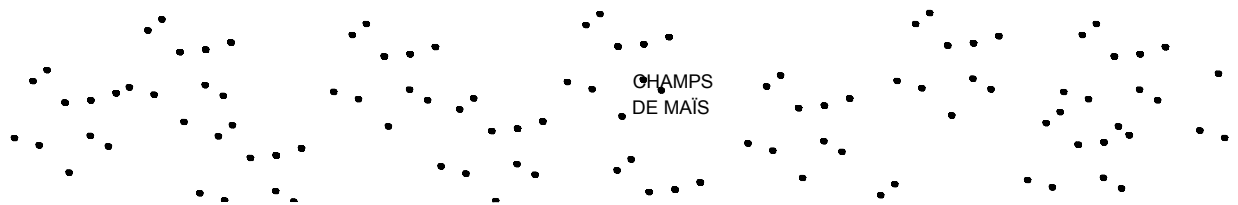
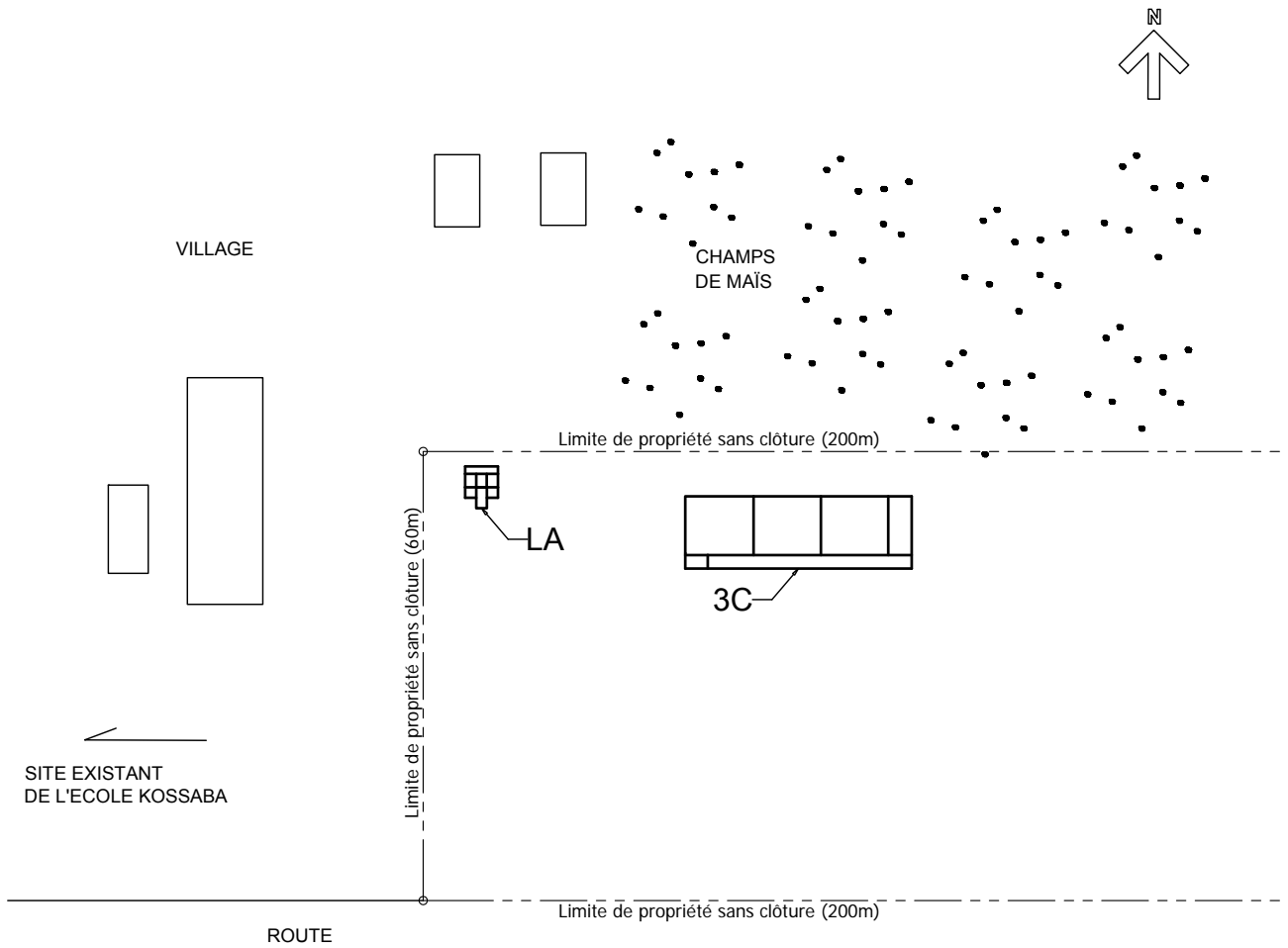
	SDC / 教室				BD 校長室	BL トイレ	ELT 電気	Eau 水	Classes nécessaires 必要教室数	Salles manquantes 不足教室数
	Existante/ 既存	En construction/ 建設中	Utilisation Impossible/ 使用不可	Utilisation Possible/ 継続使用可能						
École primaire 小	3	0	3	0	0	x	x	x	3	3
Collège 中	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

○: Déjà équipé / 敷地内にあり
×: Pas dans le site / 敷地内になし

Programme de projet / 計画

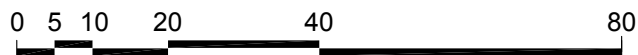
SDC	Type de SDC	BD	Type de BL	ELT	Clôture	Travaux à la charge de la partie malienne 相手国負担工事	
教室数	教室タイプ	校長室	トイレ	電気	フェンス	Branchement du réseau d'électricité 電気配線接続	Autres その他
3	3CD x 1	-	LA x 1	x	-	-	





LEGENDE/凡例:

- | | |
|------------------------------|--------------------------------------|
| SDC : Salle de classe/教室 | ⊕ : Poteau d'électricité/電柱 |
| BD : Bureau de directeur/校長室 | ▩ : Mât de drapeau/フラッグポール |
| M : Magasin/倉庫 | ☼ : Arbre/樹木 |
| BIB : Bibliothèque/図書室 | ○ : Arbre à enlever/伐採 |
| BL : Bloc de latrines/トイレ | ⊕ : Borne fontaine ou puits/ポンプまたは井戸 |
| LG : Loge gardien/守衛室 | --- : Limite de propriété/敷地境界線 |



Plan de site / 計画配置図
Echelle 1:1000

BN-3 Kiban 1 cycle B

Localisation / 位置情報

AE	CAP	Commune	Distance depuis le CAP	Accès et Remarques
			CAPからの距離	
Koulikoro	Banamba	Kiban	11 km	Route non bitumée, Route en mauvais état 未舗装、悪路

Situation pédagogique / 運営状況

	Écoles	Élèves	Classes pédagogiques	Personnels	Communautaire	Double vacation	Multigrade	Remarques
	学校数	生徒数	クラス数	教員数(校長含)	コミュニティ学校	2部制	複式学級	備考
École primaire 小	2	812	12	?	-	○	-	
Collège 中	1	340	5	6	-	-	-	

Effectifs et nombre de classe (Août, 2010) / 生徒数, クラス数内訳(2010年8月)

	1 ère	2 ème	3 ème	4 ème	5 ème	6 ème	7 ème	8 ème	9 ème
Élèves / 生徒数	89	110	143	139	152	179	151	111	78
Classes pédagogiques / クラス数	2	2	2	2	2	2	2	2	1

Equipements existants / 既存施設

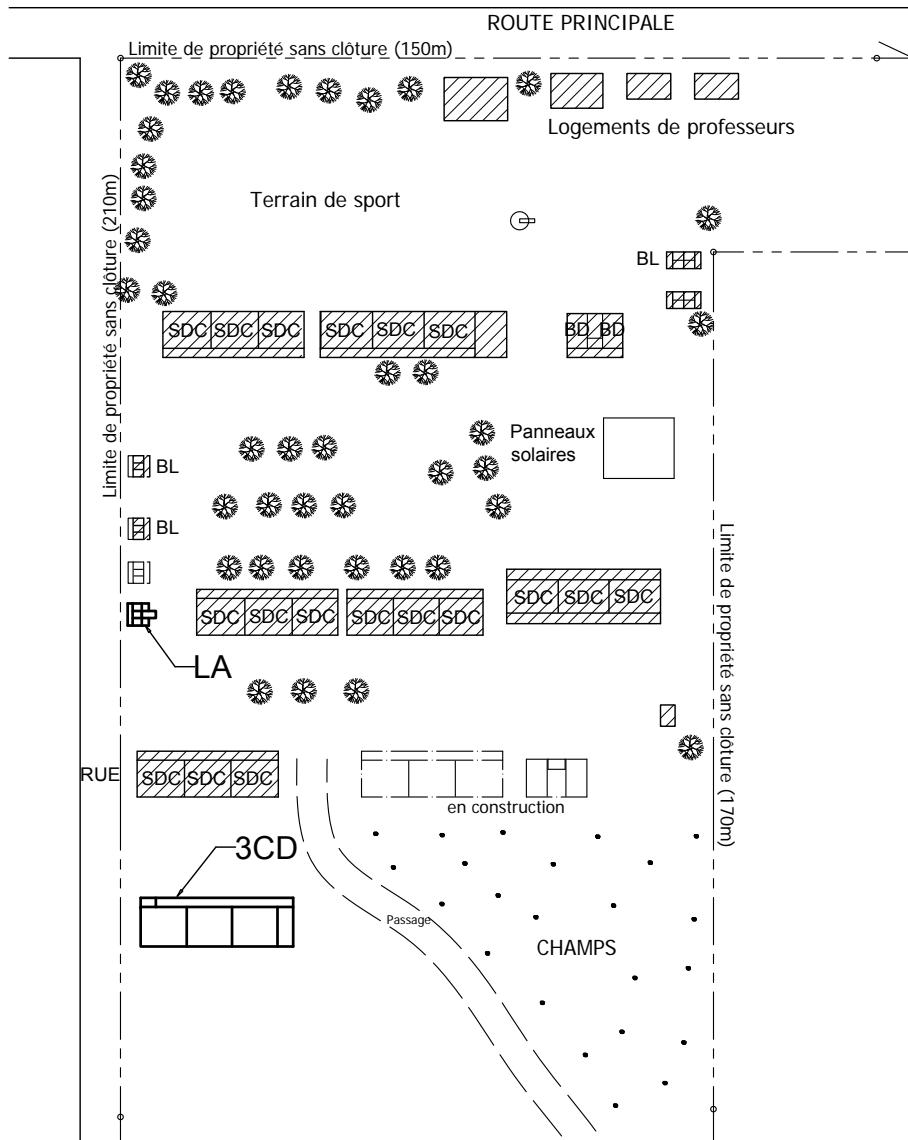
	SDC / 教室				BD 校長室	BL トイレ	ELT 電気	Eau 水	Classes nécessaires 必要教室数	Salles manquantes 不足教室数
	Existante/ 既存	En construction/ 建設中	Utilisation Impossible/ 使用不可	Utilisation Possible/ 継続使用可能						
École primaire 小	13	0	0	13	1	○	×	×	16	3
Collège 中	5	3	0	8	1	○	×	×	-	-

○ : Déjà équipé / 敷地内にあり
× : Pas dans le site / 敷地内になし

Programme de projet / 計画

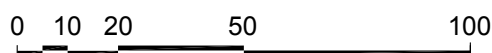
SDC	Type de SDC	BD	Type de BL	ELT	Clôture	Travaux à la charge de la partie malienne 相手国負担工事	
教室数	教室タイプ	校長室	トイレ	電気	フェンス	Branchement du réseau d'électricité 電気配線接続	Autres その他
3	3CD X 1	-	LA X 1	X	-	-	





LEGENDE/凡例:

- | | |
|------------------------------|--------------------------------------|
| SDC : Salle de classe/教室 | ⊕ : Poteau d'électricité/電柱 |
| BD : Bureau de directeur/校長室 | ▣ : Mât de drapeau/フラッグポール |
| M : Magasin/倉庫 | ☼ : Arbre/樹木 |
| BIB : Bibliothèque/図書室 | ○ : Arbre à enlever/伐採 |
| BL : Bloc de latrines/トイレ | ⊕ : Borne fontaine ou puits/ポンプまたは井戸 |
| LG : Loge gardien/守衛室 | --- : Limite de propriété/敷地境界線 |



Plan de site / 計画配置図
Echelle 1:1500

BN-4 GSID

Localisation / 位置情報

AE	CAP	Commune	Distance depuis le CAP	Accès et Remarques
			CAPからの距離	
Koulikoro	Banamba	Banamba	0.1 km	Sur la route goudronnée アスファルト舗装

Situation pédagogique / 運営状況

	Écoles	Élèves	Classes pédagogiques	Personnels	Communautaire	Double vacation	Multigrade	Remarques
	学校数	生徒数	クラス数	教員数(校長含)	コミュニティ学校	2部制	複式学級	備考
École primaire 小	2	773	12	14	-	-	-	
Collège 中	2	233	4	13	-	-	-	

Effectifs et nombre de classe (Août, 2010) / 生徒数, クラス数内訳(2010年8月)

	1 ère	2 ème	3 ème	4 ème	5 ème	6 ème	7 ème	8 ème	9 ème
Élèves / 生徒数	117	136	174	153	95	98	105	60	68
Classes pédagogiques / クラス数	2	2	2	2	2	2	2	1	1

Equipements existants / 既存施設

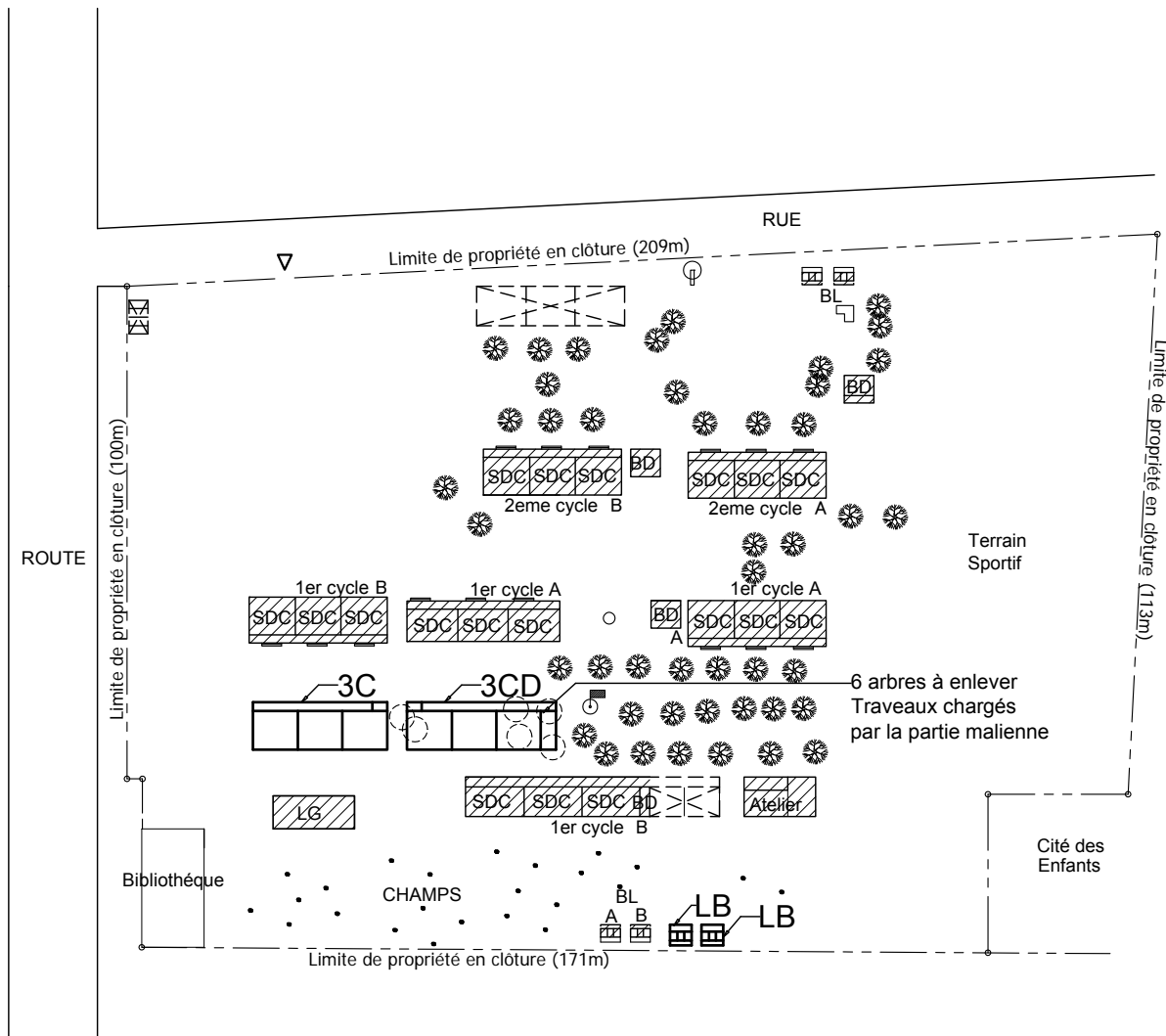
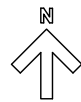
	SDC / 教室				BD 校長室	BL トイレ	ELT 電気	Eau 水	Classes nécessaires 必要教室数	Salles manquantes 不足教室数
	Existante/ 既存	En construction/ 建設中	Utilisation Impossible/ 使用不可	Utilisation Possible/ 継続使用可能						
École primaire 小	12	0	3	9	1	○	×	○	15	6
Collège 中	6	0	0	6	2	○	×	○	-	-

○ : Déjà équipé / 敷地内にあり
 × : Pas dans le site / 敷地内になし

Programme de projet / 計画

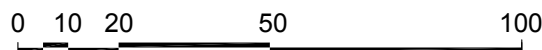
SDC	Type de SDC	BD	Type de BL	ELT	Clôture	Travaux à la charge de la partie malienne 相手国負担工事	
教室数	教室タイプ	校長室	トイレ	電気	フェンス	Branchement du réseau d'électricité 電気配線接続	Autres その他
6	3C X 1 3CD X 1	-	LB X 2	△	-	-	Abattage de 6 arbres 樹木6本撤去





LEGENDE/凡例:

- | | |
|------------------------------|--------------------------------------|
| SDC : Salle de classe/教室 | ⊕ : Poteau d'électricité/電柱 |
| BD : Bureau de directeur/校長室 | ⊠ : Mât de drapeau/フラッグポール |
| M : Magasin/倉庫 | ☼ : Arbre/樹木 |
| BIB : Bibliothèque/図書室 | ○ : Arbre à enlever/伐採 |
| BL : Bloc de latrines/トイレ | ⊕ : Borne fontaine ou puits/ポンプまたは井戸 |
| LG : Loge gardien/守衛室 | --- : Limite de propriété/敷地境界線 |



Plan de site / 計画配置図
Echelle 1:1500

BN-5 Touba 1 cycle B

Localisation / 位置情報

AE	CAP	Commune	Distance depuis le CAP	Accès et Remarques
			CAPからの距離	
Koulikoro	Banamba	Duguwolowula	14 km	Route non bitumée, Problème d'accès 未舗装、問題あり

Situation pédagogique / 運営状況

	Écoles	Élèves	Classes pédagogiques	Personnels	Communautaire	Double vacation	Multigrade	Remarques
	学校数	生徒数	クラス数	教員数(校長含)	コミュニティ学校	2部制	複式学級	備考
École primaire 小	2	881	11	11	-	-	-	
Collège 中	1	265	3	4	-	-	-	

Effectifs et nombre de classe (Août, 2010) / 生徒数, クラス数内訳(2010年8月)

	1 ère	2 ème	3 ème	4 ème	5 ème	6 ème	7 ème	8 ème	9 ème
Élèves / 生徒数	127	135	228	145	105	141	112	82	71
Classes pédagogiques / クラス数	2	2	2	2	1	2	1	1	1

Equipements existants / 既存施設

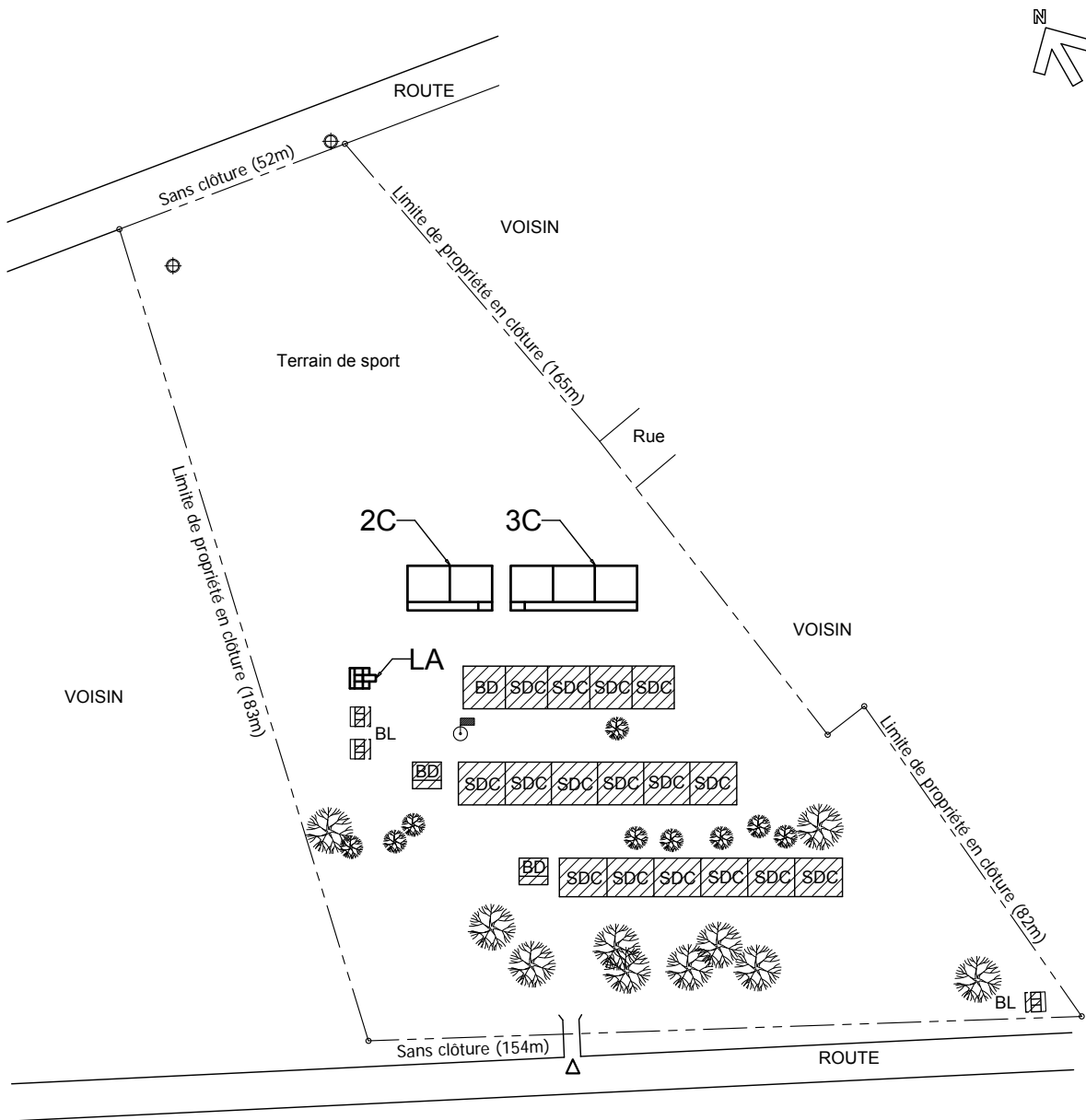
	SDC / 教室				BD 校長室	BL トイレ	ELT 電気	Eau 水	Classes nécessaires 必要教室数	Salles manquantes 不足教室数
	Existante/ 既存	En construction/ 建設中	Utilisation Impossible/ 使用不可	Utilisation Possible/ 継続使用可能						
École primaire 小	12	0	0	12	2	○	X	○	17	5
Collège 中	4	0	0	4	1	○	x	○	-	-

○ : Déjà équipé / 敷地内にあり
× : Pas dans le site / 敷地内になし

Programme de projet / 計画

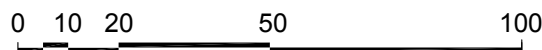
SDC	Type de SDC	BD	Type de BL	ELT	Clôture	Travaux à la charge de la partie malienne 相手国負担工事	
教室数	教室タイプ	校長室	トイレ	電気	フェンス	Branchement du réseau d'électricité 電気配線接続	Autres その他
5	2C X 1 3C X 1	-	LA X 1	△	-	-	





LEGENDE/凡例:

- | | |
|------------------------------|--------------------------------------|
| SDC : Salle de classe/教室 | ⊕ : Poteau d'électricité/電柱 |
| BD : Bureau de directeur/校長室 | ▣ : Mât de drapeau/フラッグポール |
| M : Magasin/倉庫 | ☼ : Arbre/樹木 |
| BIB : Bibliothèque/図書室 | ○ : Arbre à enlever/伐採 |
| BL : Bloc de latrines/トイレ | ⊕ : Borne fontaine ou puits/ポンプまたは井戸 |
| LG : Loge gardien/守衛室 | --- : Limite de propriété/敷地境界線 |



Plan de site / 計画配置図
Echelle 1:1500

KK-1 Kolokani B

Localisation / 位置情報

AE	CAP	Commune	Distance depuis le CAP	Accès et Remarques
			CAPからの距離	
Koulikoro	Kolokani	Kolokani	1 km	Sur la route goudronnée アスファルト舗装

Situation pédagogique / 運営状況

	Écoles	Élèves	Classes pédagogiques	Personnels	Communautaire	Double vacation	Multigrade	Remarques
	学校数	生徒数	クラス数	教員数(校長含)	コミュニティ学校	2部制	複式学級	備考
École primaire 小	1	501	8	12	-	○	-	Limitation de nombre d'élèves à l'inscription 入学制限あり
Collège 中	1	690	7	19	-	-	-	

Effectifs et nombre de classe (Août, 2010) / 生徒数, クラス数内訳(2010年8月)

	1 ère	2 ème	3 ème	4 ème	5 ème	6 ème	7 ème	8 ème	9 ème
Élèves / 生徒数	71	66	91	82	105	86	283	191	216
Classes pédagogiques / クラス数	1	1	1	1	2	2	3	2	2

Equipements existants / 既存施設

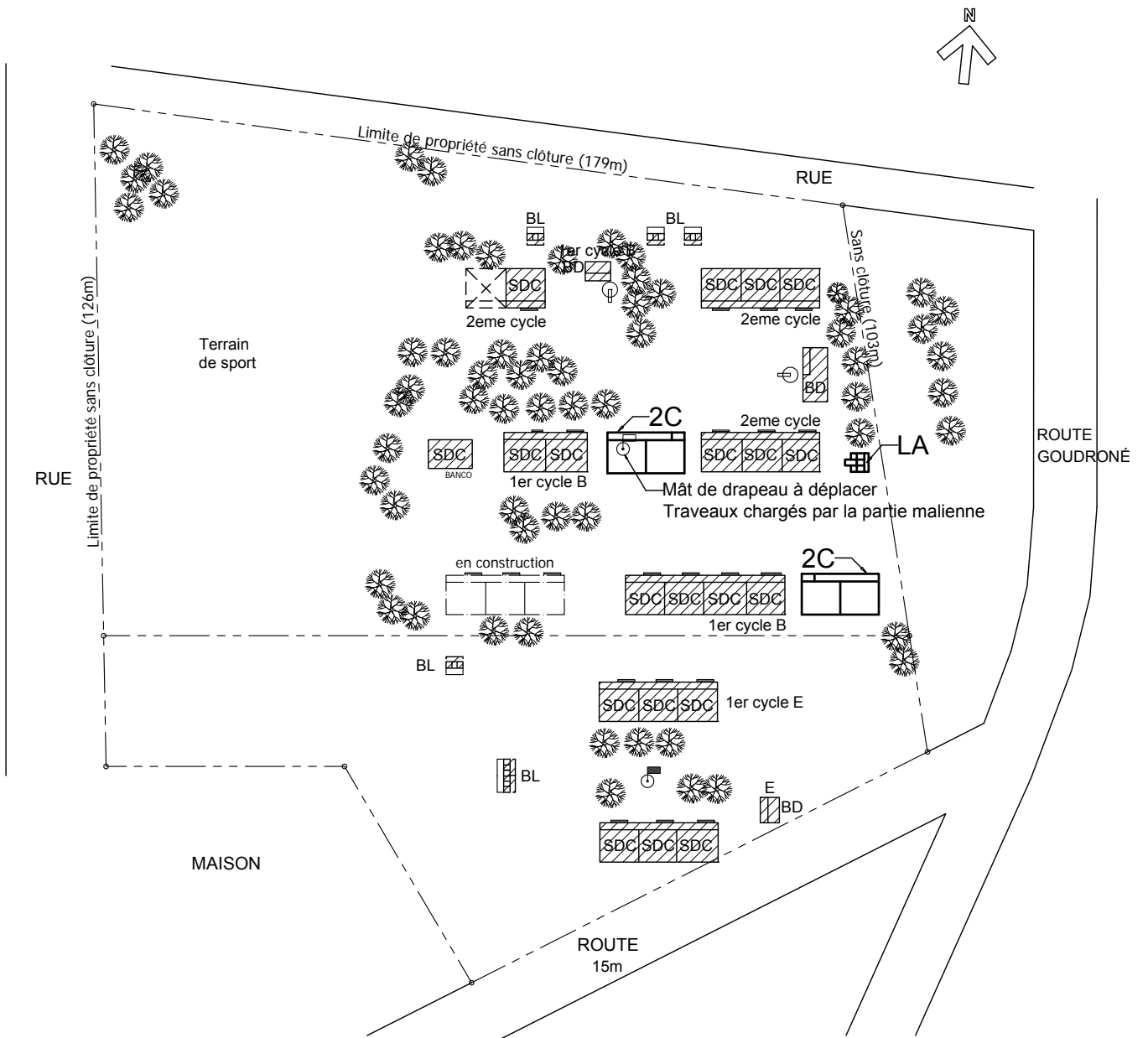
	SDC / 教室				BD 校長室	BL トイレ	ELT 電気	Eau 水	Classes nécessaires 必要教室数	Salles manquantes 不足教室数
	Existante/ 既存	En construction/ 建設中	Utilisation Impossible/ 使用不可	Utilisation Possible/ 継続使用可能						
École primaire 小	7	0	1	6	1	○	×	○	10	4
Collège 中	7	3	0	10	1	○	×	○	-	-

○: Déjà équipé / 敷地内にあり
×: Pas dans le site / 敷地内になし

Programme de projet / 計画

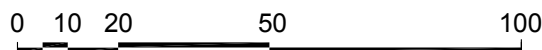
SDC	Type de SDC	BD	Type de BL	ELT	Clôture	Travaux à la charge de la partie malienne 相手国負担工事	
						Branchement du réseau d'électricité 電気配線接続	Autres その他
教室数	教室タイプ	校長室	トイレ	電気	フェンス	-	Déplacement du mât de drapeau フラッグポール移設
4	2C X 2	-	LA X 1	△	-	-	





LEGENDE/凡例:

- | | |
|------------------------------|--------------------------------------|
| SDC : Salle de classe/教室 | ⊕ : Poteau d'électricité/電柱 |
| BD : Bureau de directeur/校長室 | ■ : Mât de drapeau/フラッグポール |
| M : Magasin/倉庫 | 🌳 : Arbre/樹木 |
| BIB : Bibliothèque/図書室 | ○ : Arbre à enlever/伐採 |
| BL : Bloc de latrines/トイレ | ⊕ : Borne fontaine ou puits/ポンプまたは井戸 |
| LG : Loge gardien/守衛室 | - - - : Limite de propriété/敷地境界線 |



Plan de site / 計画配置図
Echelle 1:1500

KK-3 N'tiobougou

Localisation / 位置情報

AE	CAP	Commune	Distance depuis le CAP	Accès et Remarques
			CAPからの距離	
Koulikoro	Kolokani	N'tiobougou	12 km	Route en mauvais état 悪路

Situation pédagogique / 運営状況

	Écoles	Élèves	Classes pédagogiques	Personnels	Communautaire	Double vacation	Multigrade	Remarques
	学校数	生徒数	クラス数	教員数(校長含)	コミュニティ学校	2部制	複式学級	備考
École primaire 小	1	169	3	3	-	-	○	Limitation de nombre d'élèves à l'inscription 入学制限あり
Collège 中	-	-	-	-	-	-	-	

Effectifs et nombre de classe (Août, 2010) / 生徒数, クラス数内訳(2010年8月)

	1 ère	2 ème	3 ème	4 ème	5 ème	6 ème	7 ème	8 ème	9 ème
Élèves / 生徒数	0	50	22	27	42	28	-	-	-
Classes pédagogiques / クラス数	0	1	1	1	1	1	-	-	-

Equipements existants / 既存施設

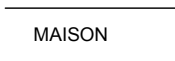
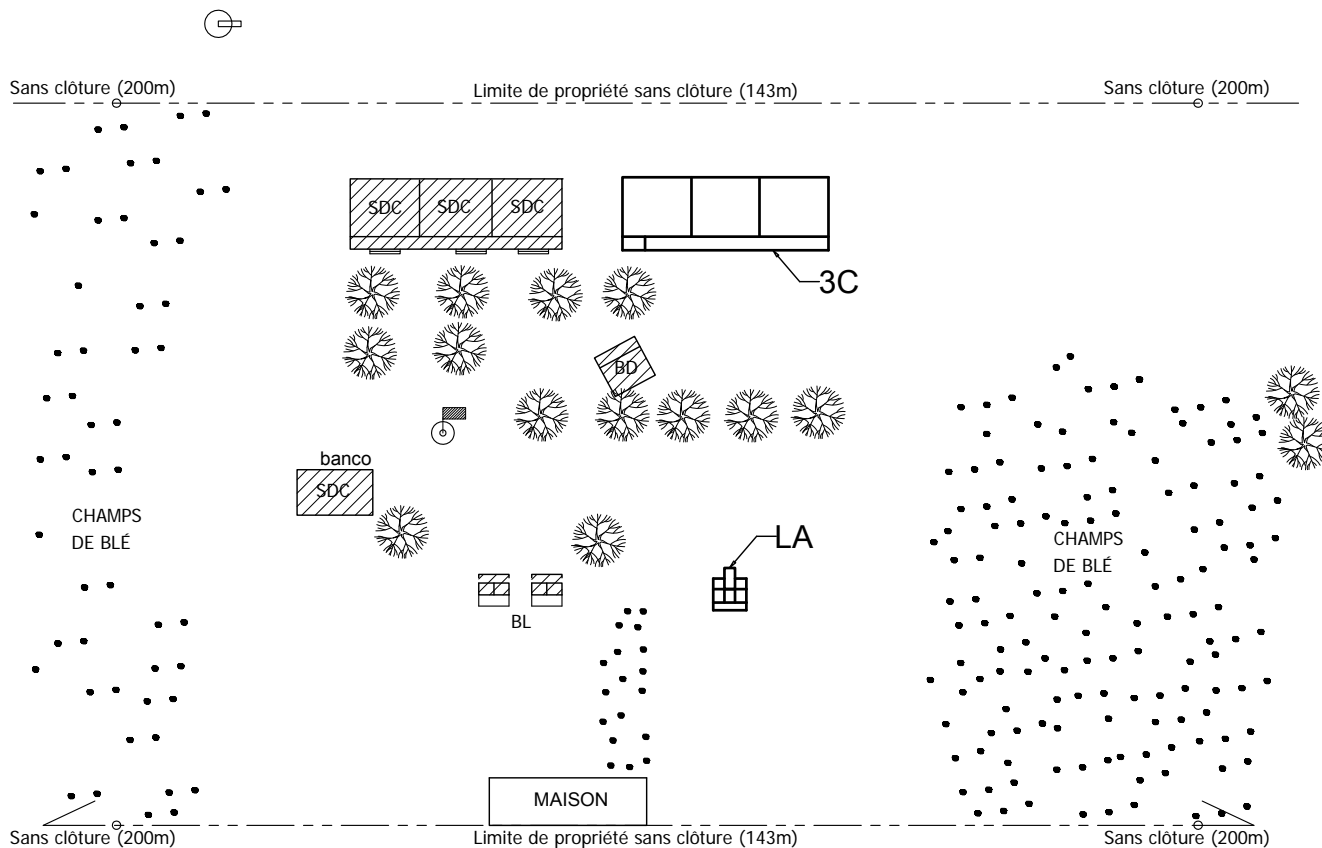
	SDC / 教室				BD 校長室	BL トイレ	ELT 電気	Eau 水	Classes nécessaires 必要教室数	Salles manquantes 不足教室数
	Existante/ 既存	En construction/ 建設中	Utilisation Impossible/ 使用不可	Utilisation Possible/ 継続使用可能						
École primaire 小	3	0	3	0	1	○	×	○	3	3
Collège 中	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

○ : Déjà équipé / 敷地内にあり
 × : Pas dans le site / 敷地内になし

Programme de projet / 計画

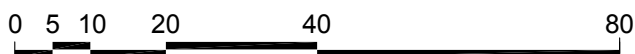
SDC	Type de SDC	BD	Type de BL	ELT	Clôture	Travaux à la charge de la partie malienne 相手国負担工事	
						Branchement du réseau d'électricité 電気配線接続	Autres その他
3	3C X 1	-	LA X 1	X	-	-	-





LEGENDE/凡例:

- | | |
|------------------------------|--------------------------------------|
| SDC : Salle de classe/教室 | ⊕ : Poteau d'électricité/電柱 |
| BD : Bureau de directeur/校長室 | ▣ : Mât de drapeau/フラッグポール |
| M : Magasin/倉庫 | ☼ : Arbre/樹木 |
| BIB : Bibliothèque/図書室 | ○ : Arbre à enlever/伐採 |
| BL : Bloc de latrines/トイレ | ⊕ : Borne fontaine ou puits/ポンプまたは井戸 |
| LG : Loge gardien/守衛室 | --- : Limite de propriété/敷地境界線 |



Plan de site / 計画配置図
Echelle 1:1000

KK-5 Balla

Localisation / 位置情報

AE	CAP	Commune	Distance depuis le CAP	Accès et Remarques
			CAPからの距離	
Koulikoro	Kolokani	Didieni	45km	Route en mauvais état, Problème d'accès 悪路、問題あり

Situation pédagogique / 運営状況

	Écoles	Élèves	Classes pédagogiques	Personnels	Communautaire	Double vacation	Multigrade	Remarques
	学校数	生徒数	クラス数	教員数(校長含)	コミュニティ学校	2部制	複式学級	備考
École primaire 小	1	210	6	3	-	-	○	
Collège 中	-	-	-	-	-	-	-	

Effectifs et nombre de classe (Août, 2010) / 生徒数, クラス数内訳(2010年8月)

	1 ère	2 ème	3 ème	4 ème	5 ème	6 ème	7 ème	8 ème	9 ème
Élèves / 生徒数	30	16	33	66	43	22	-	-	-
Classes pédagogiques / クラス数	1	1	1	1	1	1	-	-	-

Equipements existants / 既存施設

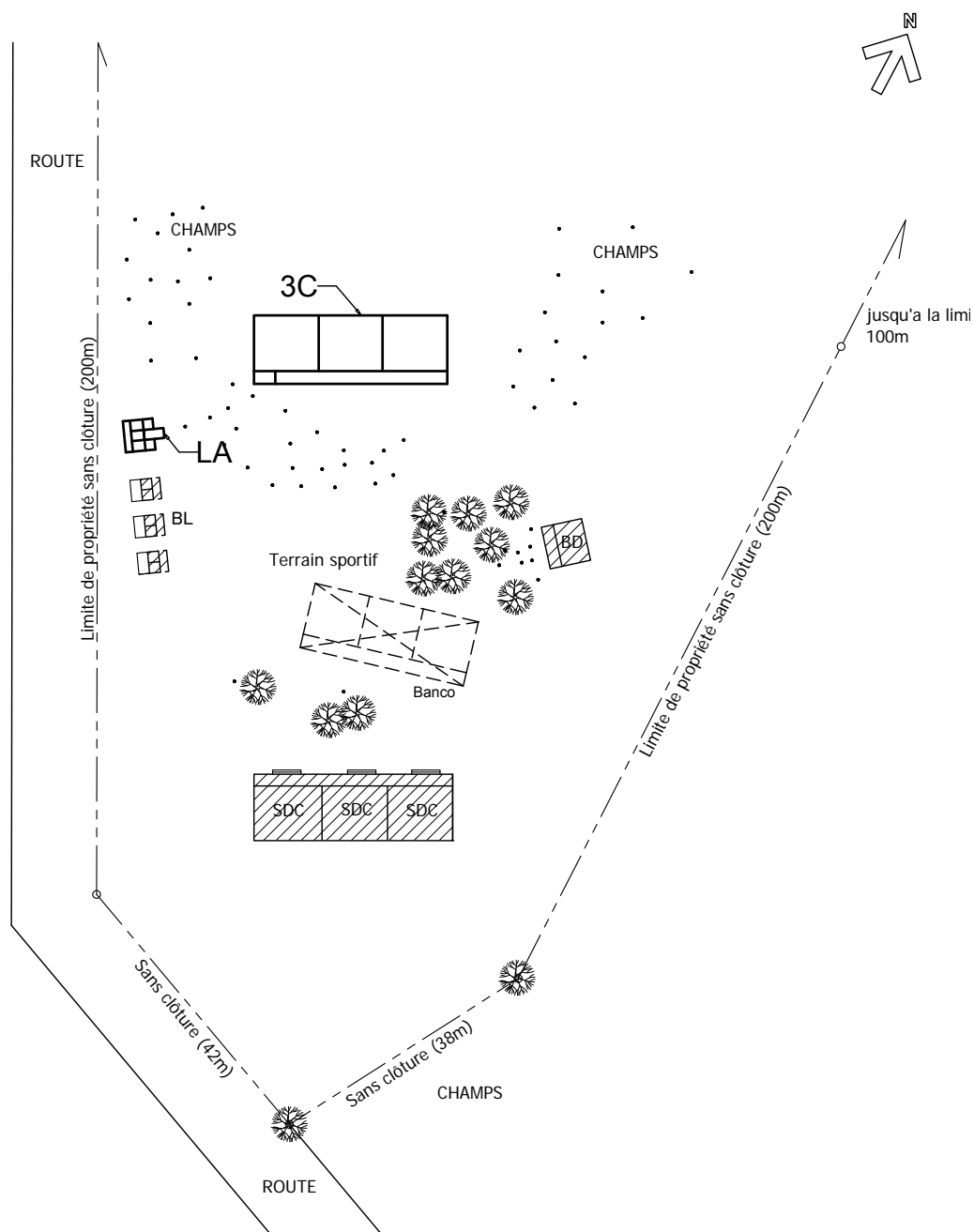
	SDC / 教室				BD	BL	ELT	Eau	Classes nécessaires	Salles manquantes
	Existante/ 既存	En construction/ 建設中	Utilisation Impossible/ 使用不可	Utilisation Possible/ 継続使用可能	校長室	トイレ	電気	水	必要教室数	不足教室数
École primaire 小	3	0	0	3	1	○	×	×	6	3
Collège 中	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

○: Déjà équipé / 敷地内にあり
×: Pas dans le site / 敷地内になし

Programme de projet / 計画

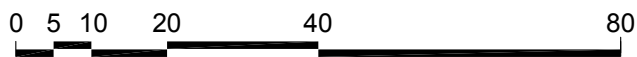
SDC	Type de SDC	BD	Type de BL	ELT	Clôture	Travaux à la charge de la partie malienne 相手国負担工事	
教室数	教室タイプ	校長室	トイレ	電気	フェンス	Branchement du réseau d'électricité 電気配線接続	Autres その他
3	3C X 1	-	LA X 1	X	-	-	





LEGENDE/凡例:

- | | |
|------------------------------|--------------------------------------|
| SDC : Salle de classe/教室 | ⊕ : Poteau d'électricité/電柱 |
| BD : Bureau de directeur/校長室 | ■ : Mât de drapeau/フラッグポール |
| M : Magasin/倉庫 | ⊗ : Arbre/樹木 |
| BIB : Bibliothèque/図書室 | ○ : Arbre à enlever/伐採 |
| BL : Bloc de latrines/トイレ | ⊕ : Borne fontaine ou puits/ポンプまたは井戸 |
| LG : Loge gardien/守衛室 | --- : Limite de propriété/敷地境界線 |



Plan de site / 計画配置図
Echelle 1:1000

KI-2 Ségoubougouni

Localisation / 位置情報

AE	CAP	Commune	Distance depuis le CAP	Accès et Remarques
			CAPからの距離	
Kita	Kita I	Urbaine Kita	3 km	Possible, 可能

Situation pédagogique / 運営状況

	Écoles	Élèves	Classes pédagogiques	Personnels	Communautaire	Double vacation	Multigrade	Remarques
	学校数	生徒数	クラス数	教員数(校長含)	コミュニティ学校	2部制	複式学級	備考
École primaire 小	5	1,725	33	31	-	○	-	Limitation de nombre d'élèves à l'inscription 入学制限あり
Collège 中	-	-	-	-	-	-	-	

Effectifs et nombre de classe (Août, 2010) / 生徒数, クラス数内訳(2010年8月)

	1 ère	2 ème	3 ème	4 ème	5 ème	6 ème	7 ème	8 ème	9 ème
Élèves / 生徒数	226	239	280	283	362	335	-	-	-
Classes pédagogiques / クラス数	5	5	5	6	7	5	-	-	-

Equipements existants / 既存施設

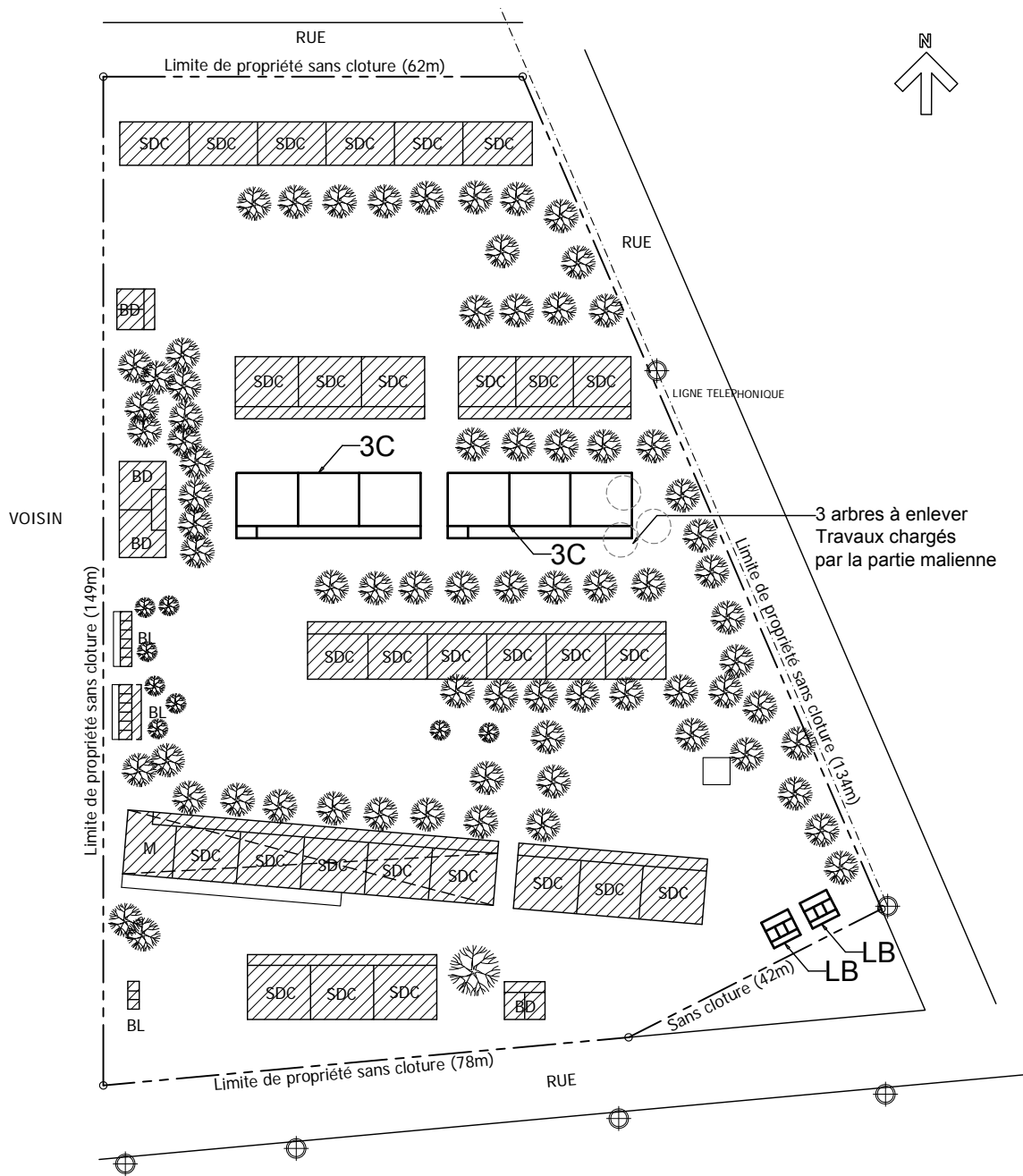
	SDC / 教室				BD 校長室	BL トイレ	ELT 電気	Eau 水	Classes nécessaires 必要教室数	Salles manquantes 不足教室数
	Existante/ 既存	En construction/ 建設中	Utilisation Impossible/ 使用不可	Utilisation Possible/ 継続使用可能						
École primaire 小	24	0	0	24	5	○	×	○	34	10
Collège 中	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

○ : Déjà équipé / 敷地内にあり
× : Pas dans le site / 敷地内になし

Programme de projet / 計画

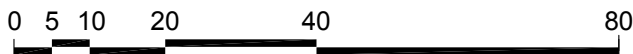
SDC	Type de SDC	BD	Type de BL	ELT	Clôture	Travaux à la charge de la partie malienne 相手国負担工事	
教室数	教室タイプ	校長室	トイレ	電気	フェンス	Branchement du réseau d'électricité 電気配線接続	Autres その他
6	3C X 2	-	LB X 2	△	-	-	Abattage de 3 arbres 樹木3本撤去





LEGENDE/凡例:

- | | |
|------------------------------|--------------------------------------|
| SDC : Salle de classe/教室 | ⊕ : Poteau d'électricité/電柱 |
| BD : Bureau de directeur/校長室 | ▣ : Mât de drapeau/フラッグポール |
| M : Magasin/倉庫 | 🌳 : Arbre/樹木 |
| BIB : Bibliothèque/図書室 | ○ : Arbre à enlever/伐採 |
| BL : Bloc de latrines/トイレ | ⊕ : Borne fontaine ou puits/ポンプまたは井戸 |
| LG : Loge gardien/守衛室 | --- : Limite de propriété/敷地境界線 |



Plan de site / 計画配置図
Echelle 1:1000

KI-3 Farabala 1 cycle

Localisation / 位置情報

AE	CAP	Commune	Distance depuis le CAP	Accès et Remarques
			CAPからの距離	
Kita	Kita I	Urbaine Kita	5 km	Possible, 可能

Situation pédagogique / 運営状況

	Écoles	Élèves	Classes pédagogiques	Personnels	Communautaire	Double vacation	Multigrade	Remarques
	学校数	生徒数	クラス数	教員数(校長含)	コミュニティ学校	2部制	複式学級	
École primaire 小	1	482	6	4	-	-	-	Limitation de nombre d'élèves à l'inscription 入学制限あり
Collège 中	-	-	-	-	-	-	-	

Effectifs et nombre de classe (Août, 2010) / 生徒数, クラス数内訳(2010年8月)

	1 ère	2 ème	3 ème	4 ème	5 ème	6 ème	7 ème	8 ème	9 ème
Élèves / 生徒数	83	83	80	96	78	62	-	-	-
Classes pédagogiques / クラス数	1	1	1	1	1	1	-	-	-

Equipements existants / 既存施設

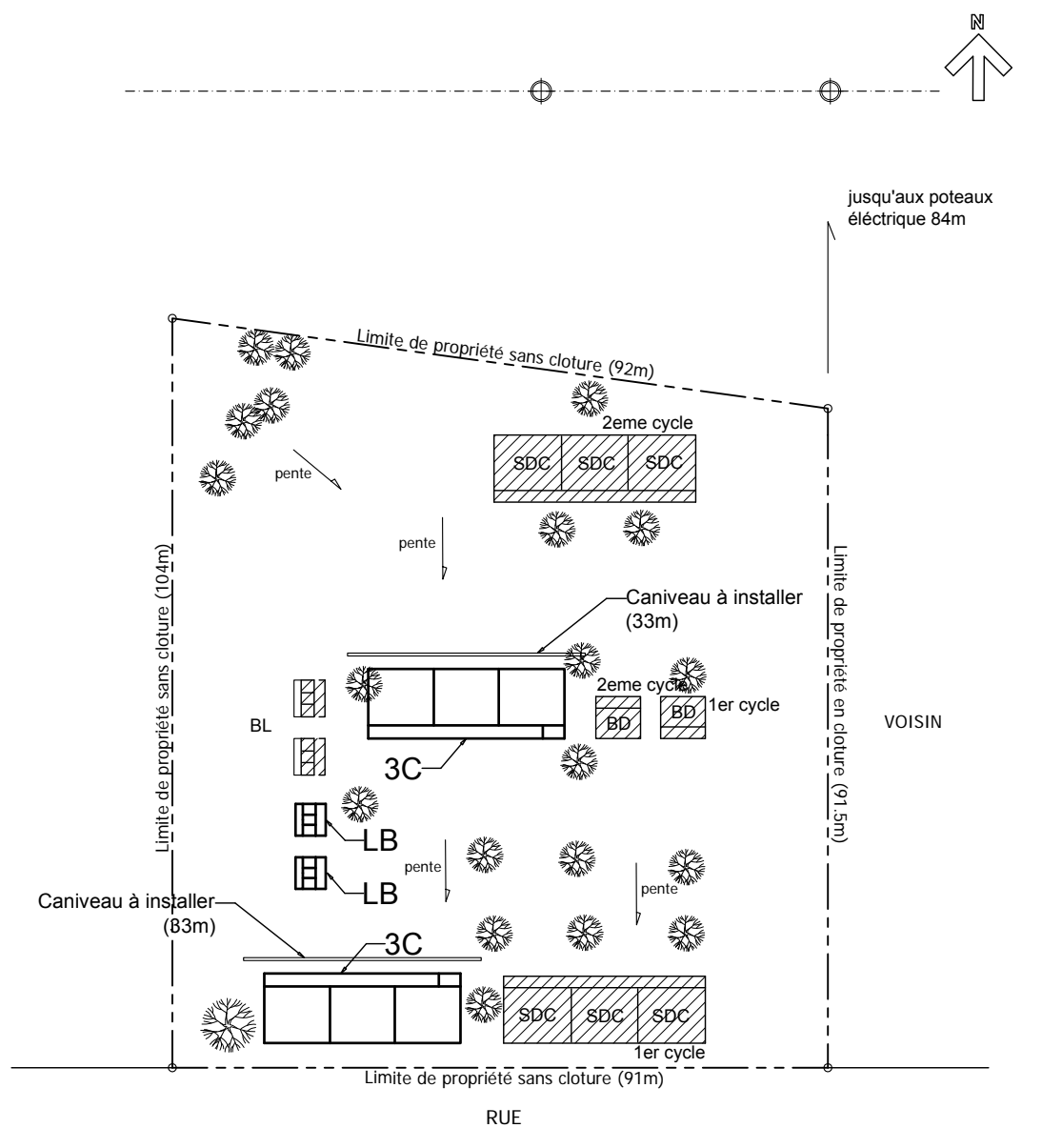
	SDC / 教室				BD 校長室	BL トイレ	ELT 電気	Eau 水	Classes nécessaires 必要教室数	Salles manquantes 不足教室数
	Existante/ 既存	En construction/ 建設中	Utilisation Impossible/ 使用不可	Utilisation Possible/ 継続使用可能						
École primaire 小	6	0	3	3	1	○	×	×	9	6
Collège 中	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

○ : Déjà équipé / 敷地内にあり
× : Pas dans le site / 敷地内になし

Programme de projet / 計画

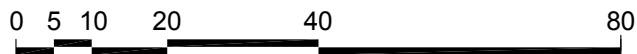
SDC	Type de SDC	BD	Type de BL	ELT	Caniveau	Travaux à la charge de la partie malienne 相手国負担工事	
教室数	教室タイプ	校長室	トイレ	電気	側溝	Branchement du réseau d'électricité 電気配線接続	Autres その他
6	3C X 2	-	LB X 2	△	○	-	





LEGENDE/凡例:

- | | |
|------------------------------|--------------------------------------|
| SDC : Salle de classe/教室 | ⊕ : Poteau d'électricité/電柱 |
| BD : Bureau de directeur/校長室 | ▣ : Mât de drapeau/フラッグポール |
| M : Magasin/倉庫 | 🌳 : Arbre/樹木 |
| BIB : Bibliothèque/図書室 | ○ : Arbre à enlever/伐採 |
| BL : Bloc de latrines/トイレ | ⊕ : Borne fontaine ou puits/ポンプまたは井戸 |
| LG : Loge gardien/守衛室 | --- : Limite de propriété/敷地境界線 |



Plan de site / 計画配置図
Echelle 1:1000

KI-4 Kofoulabé 1 cycle

Localisation / 位置情報

AE	CAP	Commune	Distance depuis le CAP	Accès et Remarques
			CAPからの距離	
Kita	Kita I	Urbaine Kita	2km	Possible、可能

Situation pédagogique / 運営状況

	Écoles	Élèves	Classes pédagogiques	Personnels	Communautaire	Double vacation	Multigrade	Remarques
	学校数	生徒数	クラス数	教員数(校長含)	コミュニティ学校	2部制	複式学級	備考
École primaire 小	1	536	6	4	-	○	-	Limitation de nombre d'élèves à l'inscription 入学制限あり
Collège 中	-	-	-	-	-	-	-	

Effectifs et nombre de classe (Août, 2010) / 生徒数, クラス数内訳(2010年8月)

	1 ère	2 ème	3 ème	4 ème	5 ème	6 ème	7 ème	8 ème	9 ème
Élèves / 生徒数	150	96	133	99	58	0	-	-	-
Classes pédagogiques / クラス数	2	1	1	1	1	0	-	-	-

Equipements existants / 既存施設

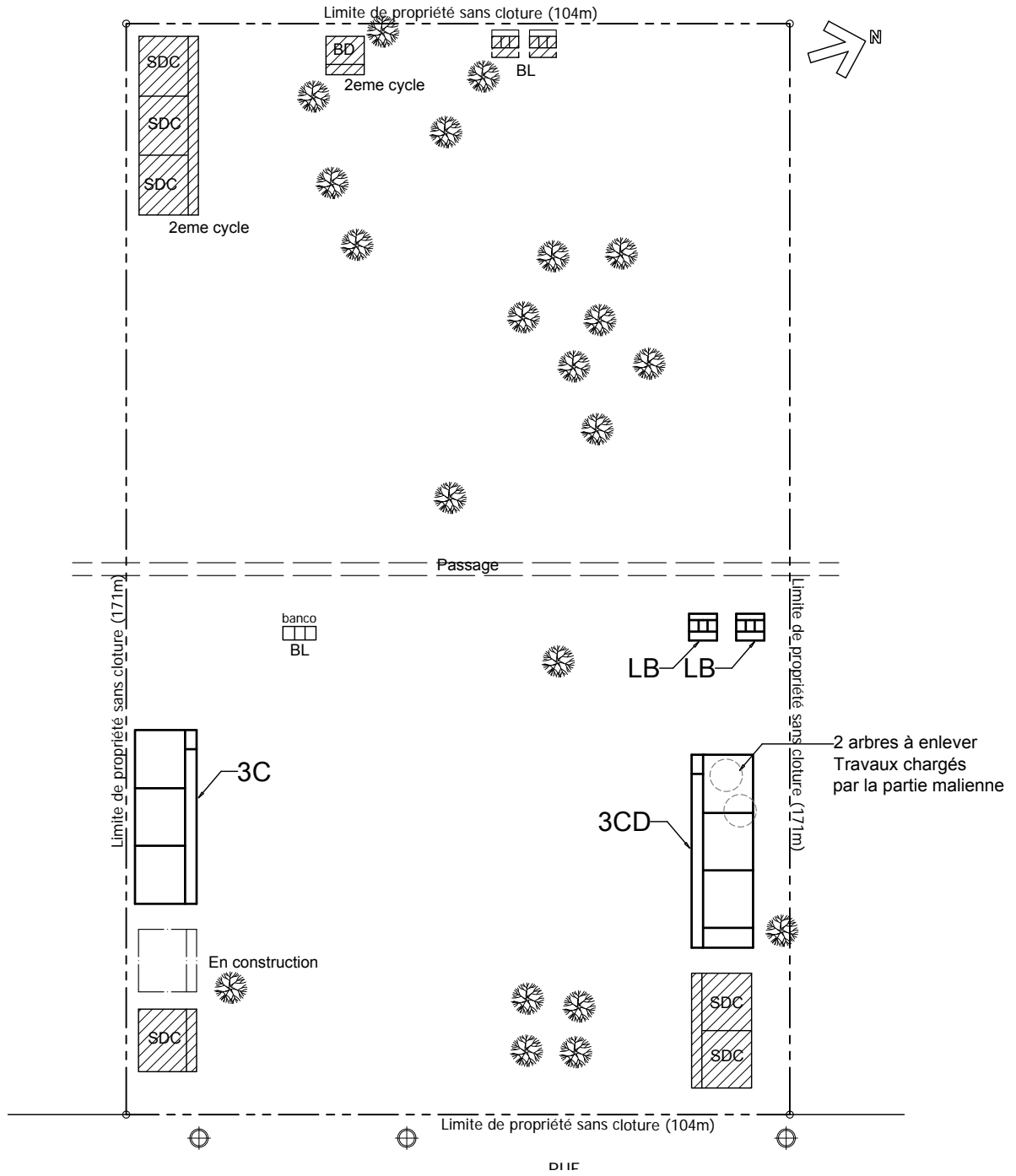
	SDC / 教室				BD 校長室	BL トイレ	ELT 電気	Eau 水	Classes nécessaires 必要教室数	Salles manquantes 不足教室数
	Existante/ 既存	En construction/ 建設中	Utilisation Impossible/ 使用不可	Utilisation Possible/ 継続使用可能						
École primaire 小	3	1	0	4	0	×	×	○	10	6
Collège 中	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

○ : Déjà équipé / 敷地内にあり
× : Pas dans le site / 敷地内になし

Programme de projet / 計画

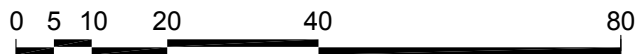
SDC	Type de SDC	BD	Type de BL	ELT	Clôture	Travaux à la charge de la partie malienne 相手国負担工事	
教室数	教室タイプ	校長室	トイレ	電気	フェンス	Branchement du réseau d'électricité 電気配線接続	Autres その他
6	3C X 1 3CD X 1	-	LB X 2	△	-	-	Abattage de 2 arbres 樹木2本撤去





LEGENDE/凡例:

- | | |
|------------------------------|--------------------------------------|
| SDC : Salle de classe/教室 | ⊕ : Poteau d'électricité/電柱 |
| BD : Bureau de directeur/校長室 | 🚩 : Mât de drapeau/フラッグポール |
| M : Magasin/倉庫 | 🌳 : Arbre/樹木 |
| BIB : Bibliothèque/図書室 | ○ : Arbre à enlever/伐採 |
| BL : Bloc de latrines/トイレ | ⊕ : Borne fontaine ou puits/ポンプまたは井戸 |
| LG : Loge gardien/守衛室 | --- : Limite de propriété/敷地境界線 |



Plan de site / 計画配置図
Echelle 1:1000

KI-5 Kantila

Localisation / 位置情報

AE	CAP	Commune	Distance depuis le CAP	Accès et Remarques
			CAPからの距離	
Kita	Kita I	Tambaga	37 km	Possible 可能

Situation pédagogique / 運営状況

	Écoles	Élèves	Classes pédagogiques	Personnels	Communautaire	Double vacation	Multigrade	Remarques
	学校数	生徒数	クラス数	教員数(校長含)	コミュニティ学校	2部制	複式学級	備考
École primaire 小	1	199	5	3	○	○	-	
Collège 中	-	-	-	-	-	-	-	

Effectifs et nombre de classe (Août, 2010) / 生徒数, クラス数内訳(2010年8月)

	1 ère	2 ème	3 ème	4 ème	5 ème	6 ème	7 ème	8 ème	9 ème
Élèves / 生徒数	40	35	48	32	44	0	-	-	-
Classes pédagogiques / クラス数	1	1	1	1	1	0	-	-	-

Equipements existants / 既存施設

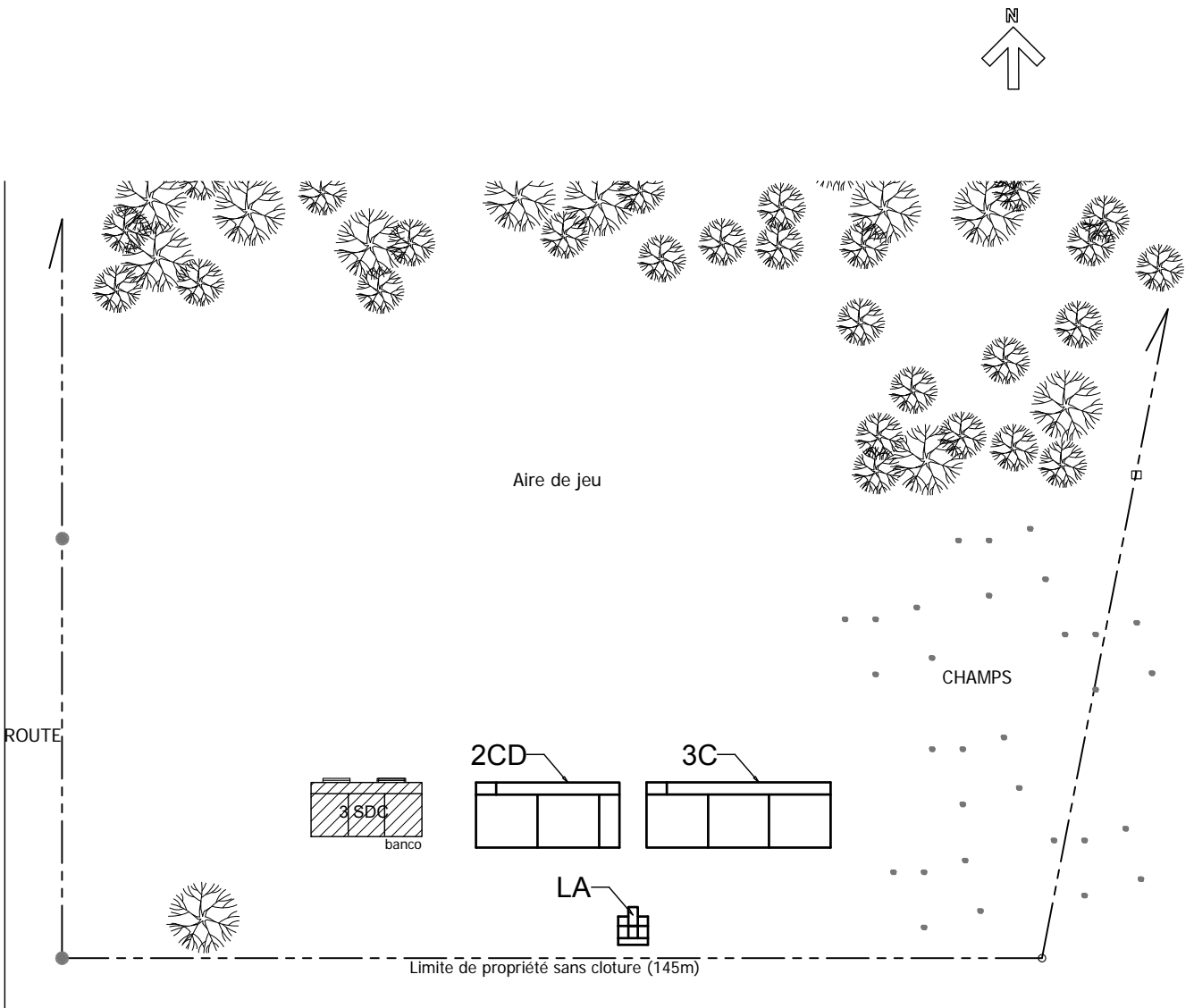
	SDC / 教室				BD 校長室	BL トイレ	ELT 電気	Eau 水	Classes nécessaires 必要教室数	Salles manquantes 不足教室数
	Existante/ 既存	En construction/ 建設中	Utilisation Impossible/ 使用不可	Utilisation Possible/ 継続使用可能						
École primaire 小	3	0	3	0	0	×	×	×	5	5
Collège 中	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

○ : Déjà équipé / 敷地内にあり
 × : Pas dans le site / 敷地内になし

Programme de projet / 計画

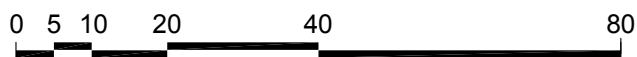
SDC	Type de SDC	BD	Type de BL	ELT	Clôture	Travaux à la charge de la partie malienne 相手国負担工事	
教室数	教室タイプ	校長室	トイレ	電気	フェンス	Branchement du réseau d'électricité 電気配線接続	Autres その他
5	3C X 1 2CD X 1	-	LA X 1	-	-	-	





LEGENDE/凡例:

- | | |
|------------------------------|--------------------------------------|
| SDC : Salle de classe/教室 | ⊕ : Poteau d'électricité/電柱 |
| BD : Bureau de directeur/校長室 | ▣ : Mât de drapeau/フラッグポール |
| M : Magasin/倉庫 | ⊗ : Arbre/樹木 |
| BIB : Bibliothèque/図書室 | ○ : Arbre à enlever/伐採 |
| BL : Bloc de latrines/トイレ | ⊕ : Borne fontaine ou puits/ポンプまたは井戸 |
| LG : Loge gardien/守衛室 | --- : Limite de propriété/敷地境界線 |



Plan de site / 計画配置図
Echelle 1:1000

KII-1 Kouléko

Localisation / 位置情報

AE	CAP	Commune	Distance depuis le CAP	Accès et Remarques
			CAPからの距離	
Kita	Kita II	Sebekoro	43 km	Sur la route goudronnée, アスファルト舗装

Situation pédagogique / 運営状況

	Écoles	Élèves	Classes pédagogiques	Personnels	Communautaire	Double vacation	Multigrade	Remarques
	学校数	生徒数	クラス数	教員数(校長含)	コミュニティ学校	2部制	複式学級	備考
École primaire 小	1	241	6	4	-	○	-	
Collège 中	-	-	-	-	-	-	-	

Effectifs et nombre de classe (Août, 2010) / 生徒数, クラス数内訳(2010年8月)

	1 ère	2 ème	3 ème	4 ème	5 ème	6 ème	7 ème	8 ème	9 ème
Élèves / 生徒数	48	50	59	34	27	23	-	-	-
Classes pédagogiques / クラス数	1	1	1	1	1	1	-	-	-

Equipements existants / 既存施設

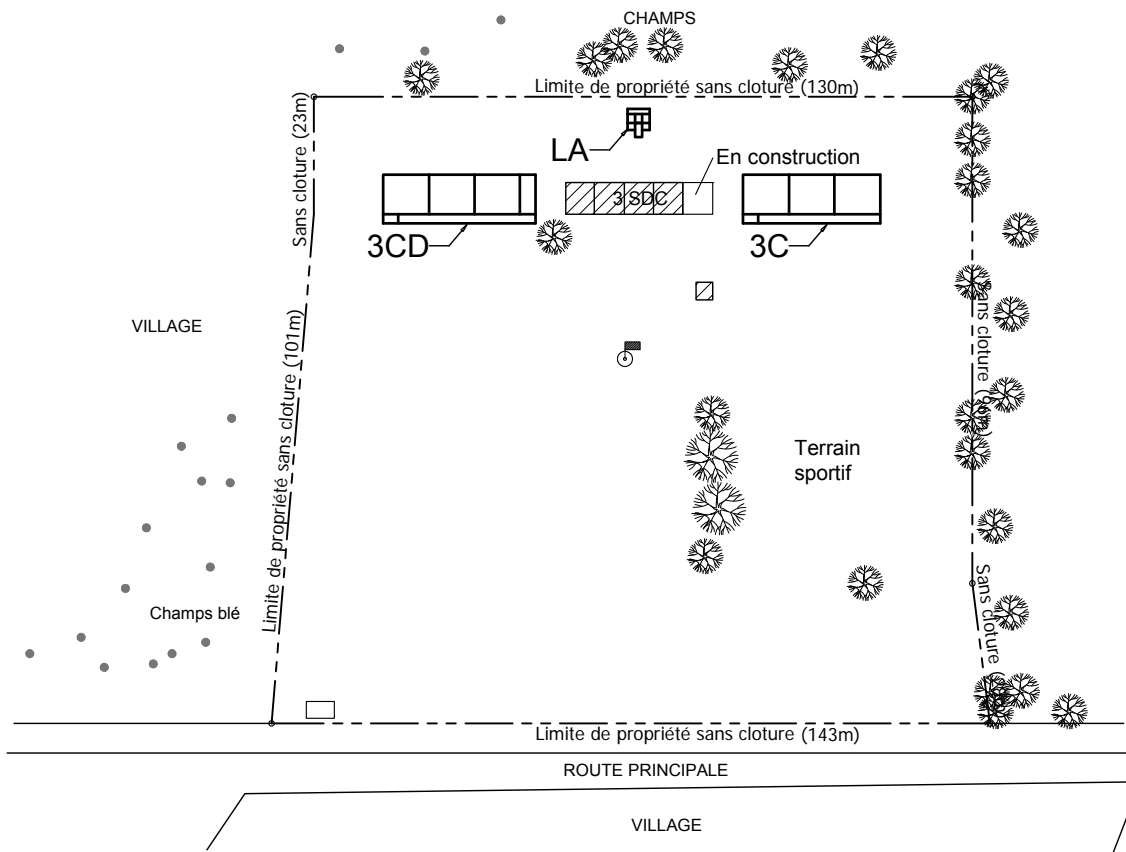
	SDC / 教室				BD 校長室	BL トイレ	ELT 電気	Eau 水	Classes nécessaires 必要教室数	Salles manquantes 不足教室数
	Existante/ 既存	En construction/ 建設中	Utilisation Impossible/ 使用不可	Utilisation Possible/ 継続使用可能						
École primaire 小	3	1	4	0	0	×	×	×	6	6
Collège 中	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

○: Déjà équipé / 敷地内にあり
×: Pas dans le site / 敷地内になし

Programme de projet / 計画

SDC	Type de SDC	BD	Type de BL	ELT	Clôture	Travaux à la charge de la partie malienne 相手国負担工事	
教室数	教室タイプ	校長室	トイレ	電気	フェンス	Branchement du réseau d'électricité 電気配線接続	Autres その他
6	3C X 1 3CD X 1	-	LB X 2	x	-	-	





LEGENDE/凡例:

- | | |
|------------------------------|--------------------------------------|
| SDC : Salle de classe/教室 | ⊕ : Poteau d'électricité/電柱 |
| BD : Bureau de directeur/校長室 | 🚩 : Mât de drapeau/フラッグポール |
| M : Magasin/倉庫 | 🌳 : Arbre/樹木 |
| BIB : Bibliothèque/図書室 | ○ : Arbre à enlever/伐採 |
| BL : Bloc de latrines/トイレ | ⊕ : Borne fontaine ou puits/ポンプまたは井戸 |
| LG : Loge gardien/守衛室 | --- : Limite de propriété/敷地境界線 |



Plan de site / 計画配置図
Echelle 1:1500

KII-2 Sangarébougu

Localisation / 位置情報

AE	CAP	Commune	Distance depuis le CAP	Accès et Remarques
			CAPからの距離	
Kita	Kita II	Sebekoro	47 km	Sur la route goudronnée, アスファルト舗装

Situation pédagogique / 運営状況

	Écoles	Élèves	Classes pédagogiques	Personnels	Communautaire	Double vacation	Multigrade	Remarques
	学校数	生徒数	クラス数	教員数(校長含)	コミュニティ学校	2部制	複式学級	備考
École primaire 小	1	360	5	5	-	-	○	Limitation de nombre d'élèves à l'inscription 入学制限あり
Collège 中	1	236	3	4	-	-	-	

Effectifs et nombre de classe (Août, 2010) / 生徒数, クラス数内訳(2010年8月)

	1 ère	2 ème	3 ème	4 ème	5 ème	6 ème	7 ème	8 ème	9 ème
Élèves / 生徒数	60	61	65	76	65	33	91	83	62
Classes pédagogiques / クラス数	1	1	1	1	1	1	1	1	1

Equipements existants / 既存施設

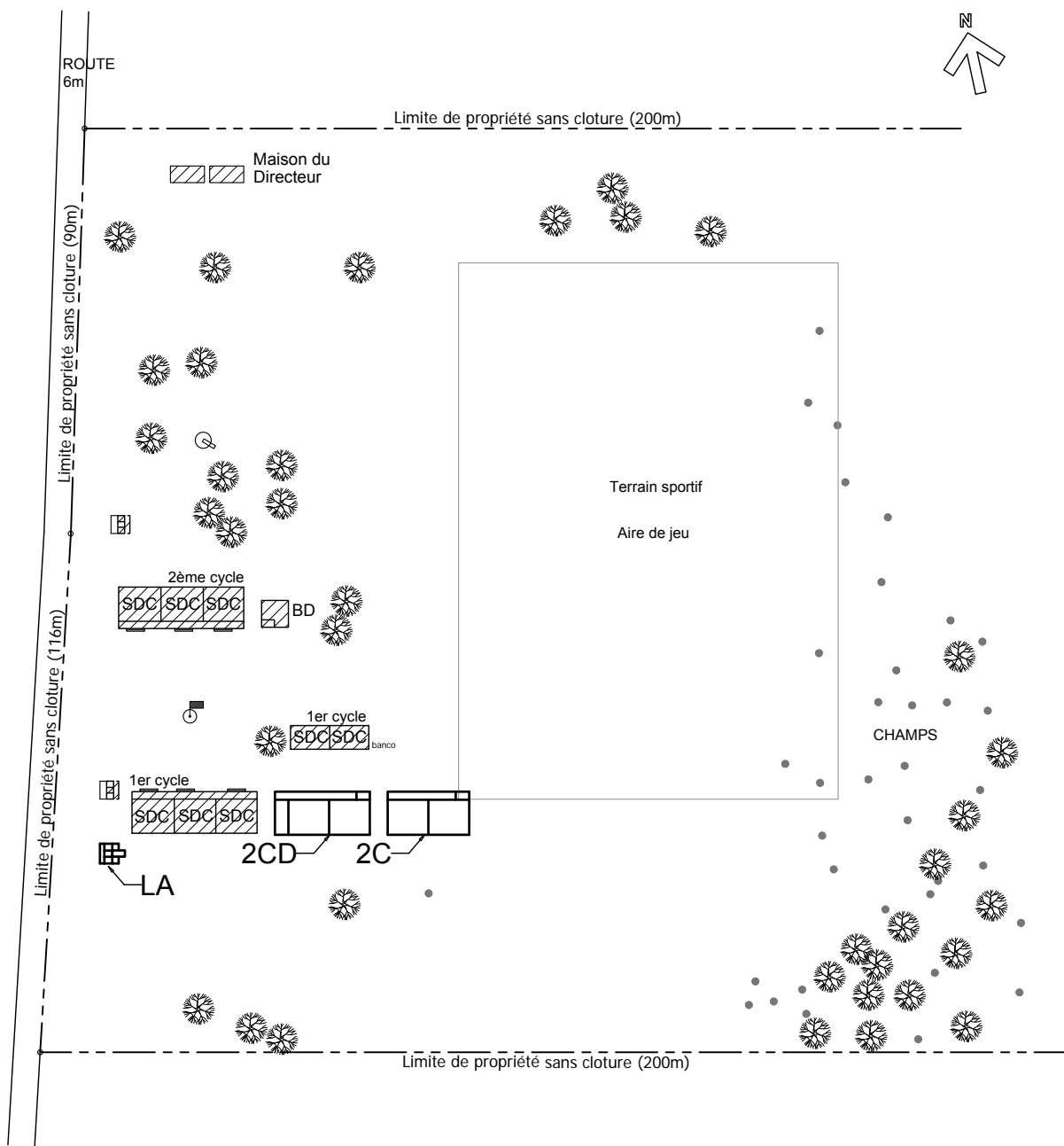
	SDC / 教室				BD 校長室	BL トイレ	ELT 電気	Eau 水	Classes nécessaires 必要教室数	Salles manquantes 不足教室数
	Existante/ 既存	En construction/ 建設中	Utilisation Impossible/ 使用不可	Utilisation Possible/ 継続使用可能						
École primaire 小	5	0	2	3	0	○	×	○	7	4
Collège 中	3	0	0	3	1	○	×	○	-	-

○ : Déjà équipé / 敷地内にあり
 × : Pas dans le site / 敷地内になし

Programme de projet / 計画

SDC	Type de SDC	BD	Type de BL	ELT	Clôture	Travaux à la charge de la partie malienne 相手国負担工事	
教室数	教室タイプ	校長室	トイレ	電気	フェンス	Branchement du réseau d'électricité 電気配線接続	Autres その他
4	2C X 1 2CD X 1	-	LA X 1	x	-	-	





LEGENDE/凡例:

- | | |
|------------------------------|--------------------------------------|
| SDC : Salle de classe/教室 | ⊕ : Poteau d'électricité/電柱 |
| BD : Bureau de directeur/校長室 | 🚩 : Mât de drapeau/フラッグポール |
| M : Magasin/倉庫 | 🌳 : Arbre/樹木 |
| BIB : Bibliothèque/図書室 | 🌳 (circle) : Arbre à enlever/伐採 |
| BL : Bloc de latrines/トイレ | 🕒 : Borne fontaine ou puits/ポンプまたは井戸 |
| LG : Loge gardien/守衛室 | --- : Limite de propriété/敷地境界線 |



Plan de site / 計画配置図
Echelle 1:1500

KII-3 Badinko II

Localisation / 位置情報

AE	CAP	Commune	Distance depuis le CAP	Accès et Remarques
			CAPからの距離	
Kita	Kita II	Sebekoro	35 km	Possible 可能

Situation pédagogique / 運営状況

	Écoles	Élèves	Classes pédagogiques	Personnels	Communautaire	Double vacation	Multigrade	Remarques
	学校数	生徒数	クラス数	教員数(校長含)	コミュニティ学校	2部制	複式学級	
École primaire 小	2	1,132	20	14	-	○	-	Limitation de nombre d'élèves à l'inscription 入学制限あり
Collège 中	-	-	-	-	-	-	-	

Effectifs et nombre de classe (Août, 2010) / 生徒数, クラス数内訳(2010年8月)

	1 ère	2 ème	3 ème	4 ème	5 ème	6 ème	7 ème	8 ème	9 ème
Élèves / 生徒数	229	206	201	184	213	99	-	-	-
Classes pédagogiques / クラス数	4	4	3	3	4	2	-	-	-

Equipements existants / 既存施設

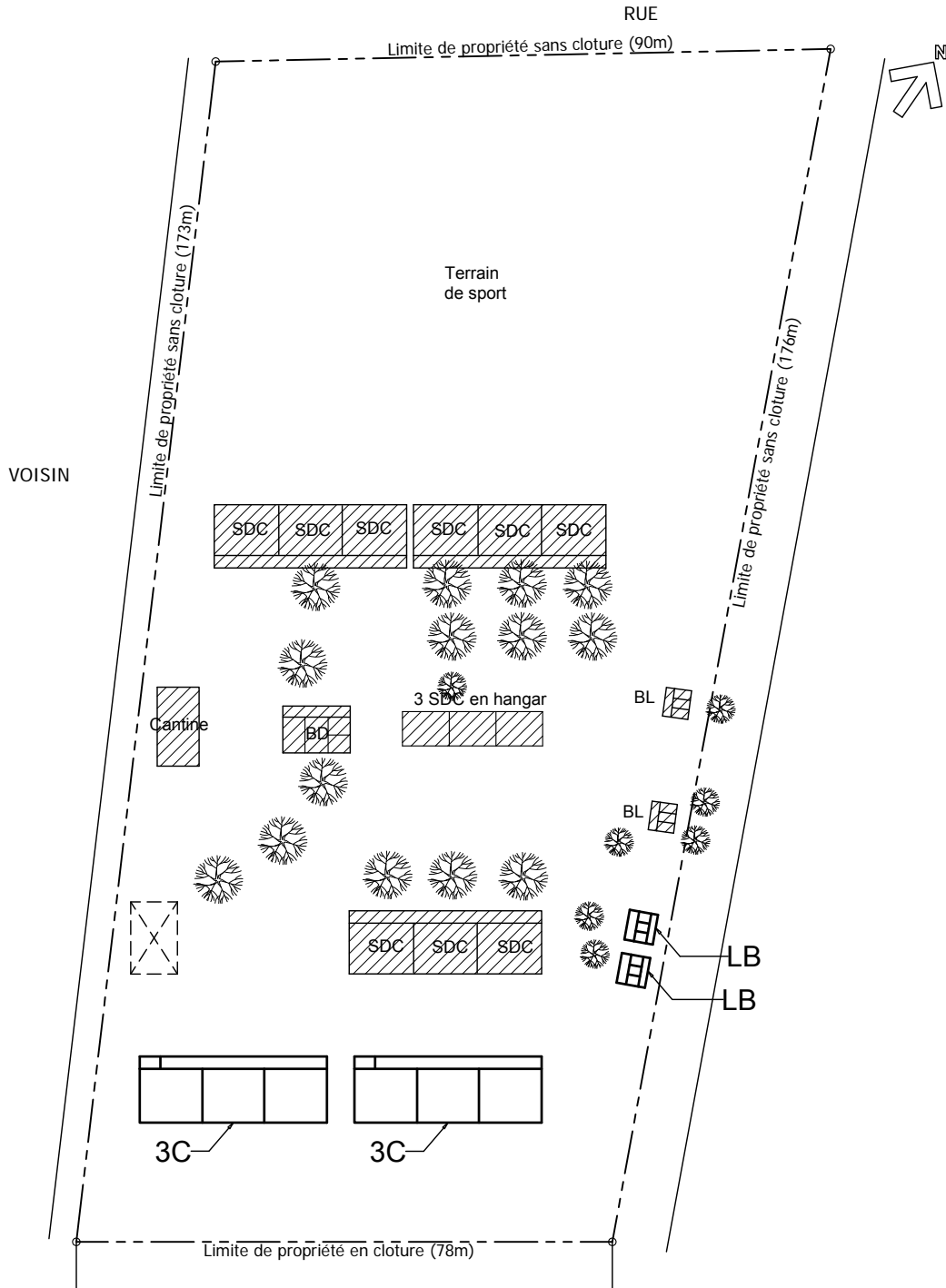
	SDC / 教室				BD 校長室	BL トイレ	ELT 電気	Eau 水	Classes nécessaires 必要教室数	Salles manquantes 不足教室数
	Existante/ 既存	En construction/ 建設中	Utilisation Impossible/ 使用不可	Utilisation Possible/ 継続使用可能						
École primaire 小	12	0	3	9	2	○	×	×	22	13
Collège 中	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

○ : Déjà équipé / 敷地内にあり
× : Pas dans le site / 敷地内になし

Programme de projet / 計画

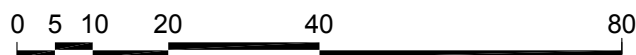
SDC	Type de SDC	BD	Type de BL	ELT	Clôture	Travaux à la charge de la partie malienne 相手国負担工事	
教室数	教室タイプ	校長室	トイレ	電気	フェンス	Branchement du réseau d'électricité 電気配線接続	Autres その他
6	3C X 2	-	LB X 2	△	-	-	





LEGENDE/凡例:

- | | |
|------------------------------|---|
| SDC : Salle de classe/教室 | ⊕ : Poteau d'électricité/電柱 |
| BD : Bureau de directeur/校長室 | 🚩 : Mât de drapeau/フラッグポール |
| M : Magasin/倉庫 | 🌳 : Arbre/樹木 |
| BIB : Bibliothèque/図書室 | 🌳 (circle) : Arbre à enlever/伐採 |
| BL : Bloc de latrines/トイレ | ⊕ (circle) : Borne fontaine ou puits/ポンプまたは井戸 |
| LG : Loge gardien/守衛室 | --- : Limite de propriété/敷地境界線 |



Plan de site / 計画配置図
Echelle 1:1000

KII-4 Kabé

Localisation / 位置情報

AE	CAP	Commune	Distance depuis le CAP	Accès et Remarques
			CAPからの距離	
Kita	Kita II	Djidian	21 km	Route non bitumée, Difficulté d'accès 未舗装、難あり

Situation pédagogique / 運営状況

	Écoles	Élèves	Classes pédagogiques	Personnels	Communautaire	Double vacation	Multigrade	Remarques
	学校数	生徒数	クラス数	教員数(校長含)	コミュニティ学校	2部制	複式学級	備考
École primaire 小	1	139	5	6	-	-	○	
Collège 中	-	-	-	-	-	-	-	

Effectifs et nombre de classe (Août, 2010) / 生徒数, クラス数内訳(2010年8月)

	1 ère	2 ème	3 ème	4 ème	5 ème	6 ème	7 ème	8 ème	9 ème
Élèves / 生徒数	39	20	29	20	19	12	-	-	-
Classes pédagogiques / クラス数	1	1	1		1	1	-	-	-

Equipements existants / 既存施設

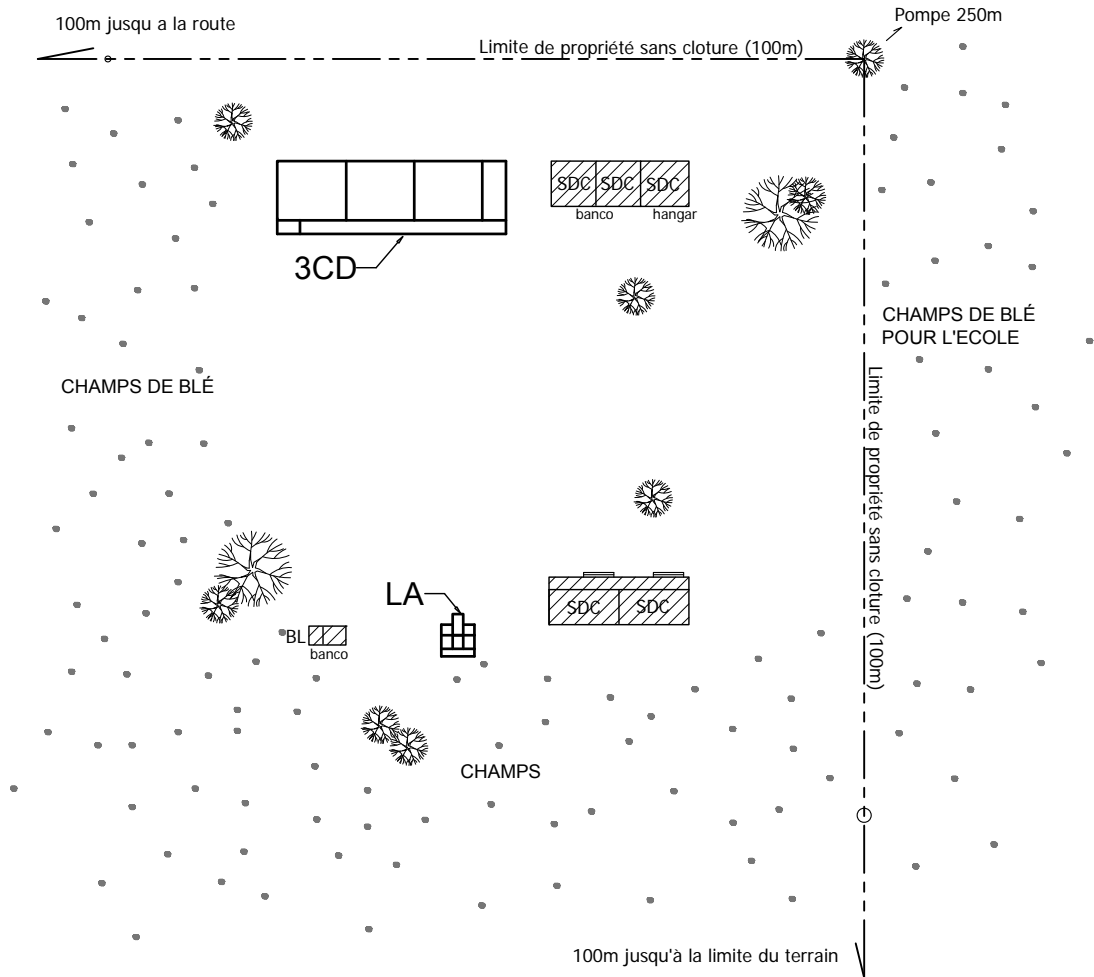
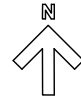
	SDC / 教室				BD 校長室	BL トイレ	ELT 電気	Eau 水	Classes nécessaires 必要教室数	Salles manquantes 不足教室数
	Existante/ 既存	En construction/ 建設中	Utilisation Impossible/ 使用不可	Utilisation Possible/ 継続使用可能						
École primaire 小	5	0	3	2	0	×	×	×	5	3
Collège 中	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

○ : Déjà équipé / 敷地内にあり
× : Pas dans le site / 敷地内になし

Programme de projet / 計画

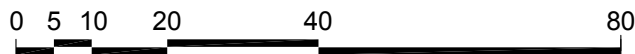
SDC	Type de SDC	BD	Type de BL	ELT	Clôture	Travaux à la charge de la partie malienne 相手国負担工事	
教室数	教室タイプ	校長室	トイレ	電気	フェンス	Branchement du réseau d'électricité 電気配線接続	Autres その他
3	3CD X 1	-	LA X 1	-	-	-	





LEGENDE/凡例:

- | | |
|------------------------------|--------------------------------------|
| SDC : Salle de classe/教室 | ⊕ : Poteau d'électricité/電柱 |
| BD : Bureau de directeur/校長室 | ▣ : Mât de drapeau/フラッグポール |
| M : Magasin/倉庫 | ☼ : Arbre/樹木 |
| BIB : Bibliothèque/図書室 | ○ : Arbre à enlever/伐採 |
| BL : Bloc de latrines/トイレ | ⊕ : Borne fontaine ou puits/ポンプまたは井戸 |
| LG : Loge gardien/守衛室 | --- : Limite de propriété/敷地境界線 |



Plan de site / 計画配置図
Echelle 1:1000

KII-5 Boulouli

Localisation / 位置情報

AE	CAP	Commune	Distance depuis le CAP	Accès et Remarques
			CAPからの距離	
Kita	Kita II	Saboula	5 km	Route non bitumée, Difficulté d'accès 未舗装、難あり

Situation pédagogique / 運営状況

	Écoles	Élèves	Classes pédagogiques	Personnels	Communautaire	Double vacation	Multigrade	Remarques
	学校数	生徒数	クラス数	教員数(校長含)	コミュニティ学校	2部制	複式学級	備考
École primaire 小	1	311	6	6	-	-	-	
Collège 中	-	-	-	-	-	-	-	

Effectifs et nombre de classe (Août, 2010) / 生徒数, クラス数内訳(2010年8月)

	1 ère	2 ème	3 ème	4 ème	5 ème	6 ème	7 ème	8 ème	9 ème
Élèves / 生徒数	87	59	45	45	35	40	-	-	-
Classes pédagogiques / クラス数	1	1	1	1	1	1	-	-	-

Equipements existants / 既存施設

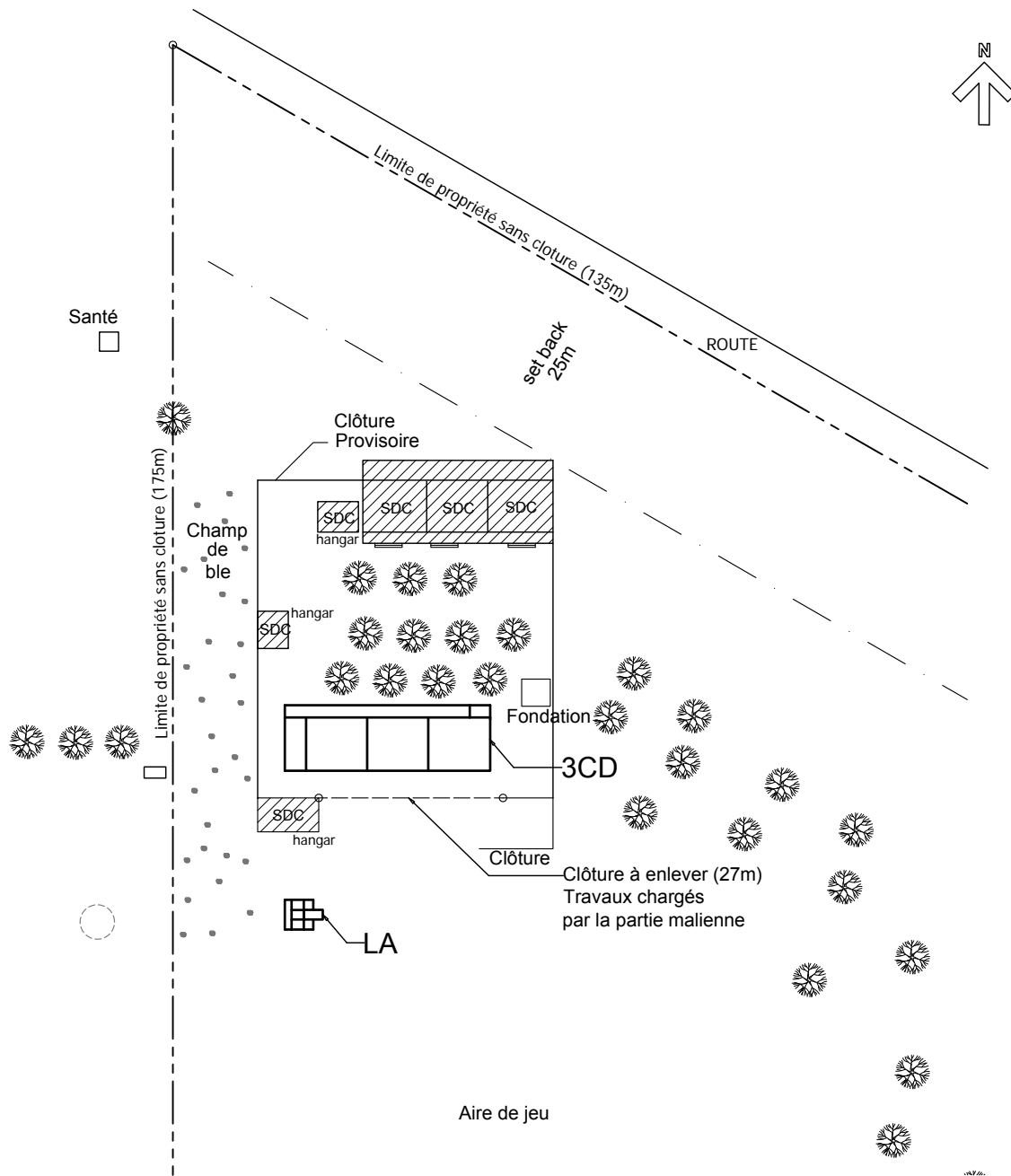
	SDC / 教室				BD 校長室	BL トイレ	ELT 電気	Eau 水	Classes nécessaires 必要教室数	Salles manquantes 不足教室数
	Existante/ 既存	En construction/ 建設中	Utilisation Impossible/ 使用不可	Utilisation Possible/ 継続使用可能						
École primaire 小	6	0	3	3	0	×	×	×	6	3
Collège 中	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

○ : Déjà équipé / 敷地内にあり
× : Pas dans le site / 敷地内になし

Programme de projet / 計画

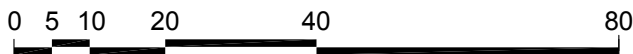
SDC	Type de SDC	BD	Type de BL	ELT	Clôture	Travaux à la charge de la partie malienne 相手国負担工事	
教室数	教室タイプ	校長室	トイレ	電気	フェンス	Branchement du réseau d'électricité 電気配線接続	Autres その他
3	3CD X 1	-	LA X 1	X	-	-	Démolition de clôture existante (27m) フェンス撤去 (27m)





LEGENDE/凡例:

- | | |
|------------------------------|--------------------------------------|
| SDC : Salle de classe/教室 | ⊕ : Poteau d'électricité/電柱 |
| BD : Bureau de directeur/校長室 | 🚩 : Mât de drapeau/フラッグポール |
| M : Magasin/倉庫 | 🌳 : Arbre/樹木 |
| BIB : Bibliothèque/図書室 | ○ : Arbre à enlever/伐採 |
| BL : Bloc de latrines/トイレ | ⊕ : Borne fontaine ou puits/ポンプまたは井戸 |
| LG : Loge gardien/守衛室 | --- : Limite de propriété/敷地境界線 |



Plan de site / 計画配置図
Echelle 1:1000

BG-1 Nafadji

Localisation / 位置情報

AE	CAP	Commune	Distance depuis le CAP	Accès et Remarques
			CAPからの距離	
Rive Gauche	Dielibougou	Commune I	dans Bamako	dans la ville、Route non bitumée 都市部、未舗装 Terrain en dénivellement 敷地内高低差あり

Situation pédagogique / 運営状況

	Écoles	Élèves	Classes pédagogiques	Personnels	Communautaire	Double vacation	Multigrade	Remarques
	学校数	生徒数	クラス数	教員数(校長含)	コミュニティ学校	2部制	複式学級	備考
École primaire 小	1	703	6	8	○	-	-	
Collège 中	1	285	3	6	-	-	-	

Effectifs et nombre de classe (Août, 2010) / 生徒数, クラス数内訳(2010年8月)

	1 ère	2 ème	3 ème	4 ème	5 ème	6 ème	7 ème	8 ème	9 ème
Élèves / 生徒数	139	139	143	99	98	85	114	108	63
Classes pédagogiques / クラス数	1	1	1	1	1	1	1	1	1

Equipements existants / 既存施設

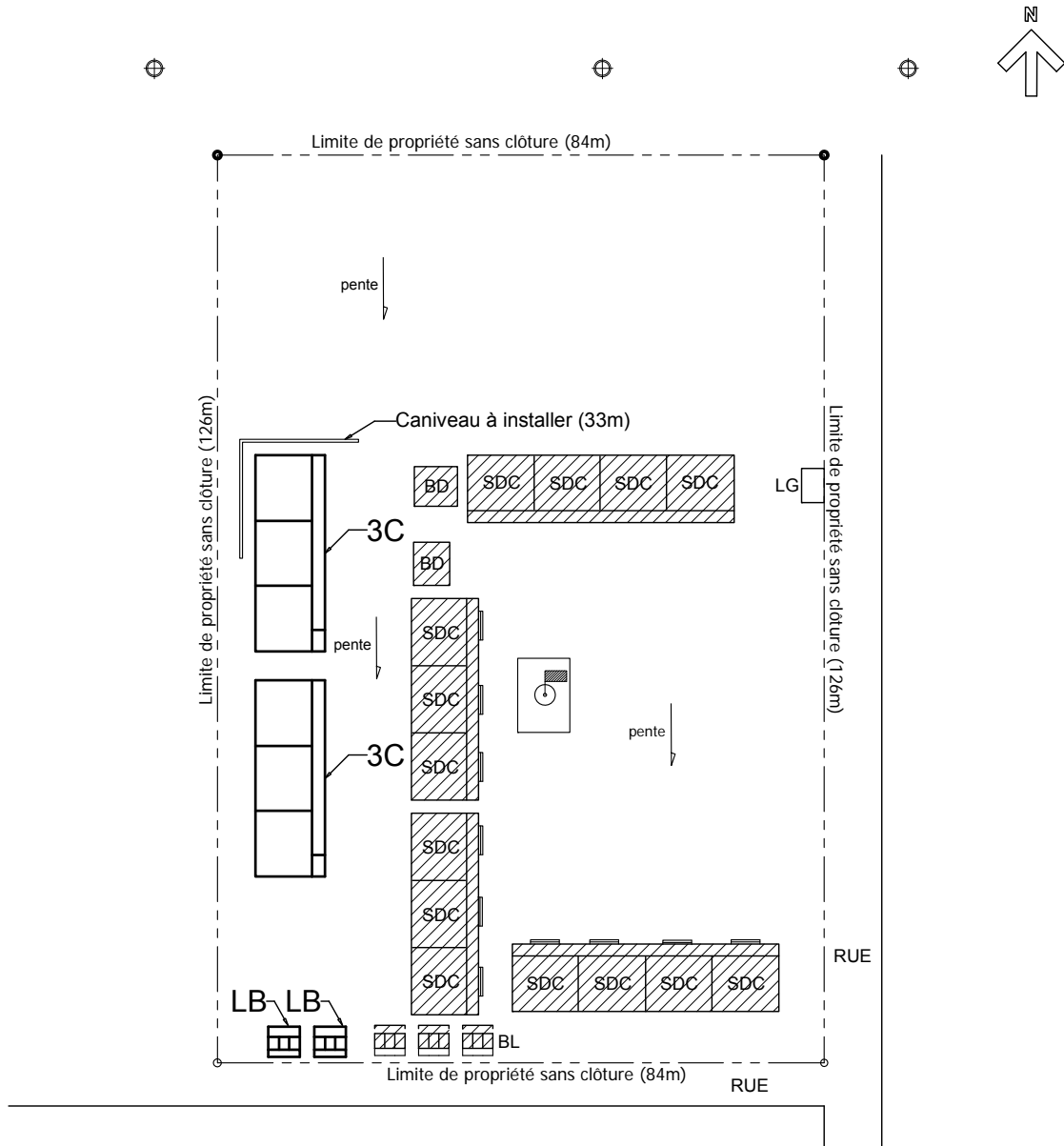
	SDC / 教室				BD 校長室	BL トイレ	ELT 電気	Eau 水	Classes nécessaires 必要教室数	Salles manquantes 不足教室数
	Existante/ 既存	En construction/ 建設中	Utilisation Impossible/ 使用不可	Utilisation Possible/ 継続使用可能						
École primaire 小	7	0	0	7	1	○	×	○	14	7
Collège 中	3	4	0	7	1	○	×	○	-	-

○ : Déjà équipé / 敷地内にあり
× : Pas dans le site / 敷地内になし

Programme de projet / 計画

SDC	Type de SDC	BD	Type de BL	ELT	Caniveau	Travaux à la charge de la partie malienne 相手国負担工事	
						Branchement du réseau d'électricité 電気配線接続	Autres その他
教室数	教室タイプ	校長室	トイレ	電気	側溝	-	
6	3C X 2	-	LB X 2	△	○	-	

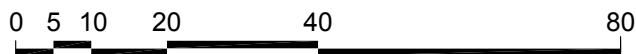




LEGENDE/凡例:

- SDC : Salle de classe/教室
- BD : Bureau de directeur/校長室
- M : Magasin/倉庫
- BIB : Bibliothèque/図書室
- BL : Bloc de latrines/トイレ
- LG : Loge gardien/守衛室

- ⊕ : Poteau d'électricité/電柱
- : Mât de drapeau/フラッグポール
- ☼ : Arbre/樹木
- : Arbre à enlever/伐採
- ⊕ : Borne fontaine ou puits/ポンプまたは井戸
- : Limite de propriété/敷地境界線



Plan de site / 計画配置図
Echelle 1:1000

BG-5 Samé

Localisation / 位置情報

AE	CAP	Commune	Distance depuis le CAP	Accès et Remarques
			CAPからの距離	
Rive Gauche	Bamako Coura	Commune III	dans Bamako	1 km depuis la route principale 幹線から1km Terrain en dénivellement, Travaux de terrassement nécessaire. Abattage des arbres nécessaire 敷地内高低差あり、切土必要、樹木伐採必要

Situation pédagogique / 運営状況

	Écoles	Élèves	Classes pédagogiques	Personnels	Communautaire	Double vacation	Multigrade	Remarques
	学校数	生徒数	クラス数	教員数(校長含)	コミュニティ学校	2部制	複式学級	備考
École primaire 小	1	879	12	8	-	○	-	
Collège 中	1	455	7	11	-	-	-	

Effectifs et nombre de classe (Août, 2010) / 生徒数, クラス数内訳(2010年8月)

	1 ère	2 ème	3 ème	4 ème	5 ème	6 ème	7 ème	8 ème	9 ème
Élèves / 生徒数	158	157	151	154	157	102	153	130	172
Classes pédagogiques / クラス数	2	2	2	2	2	2	3	2	2

Equipements existants / 既存施設

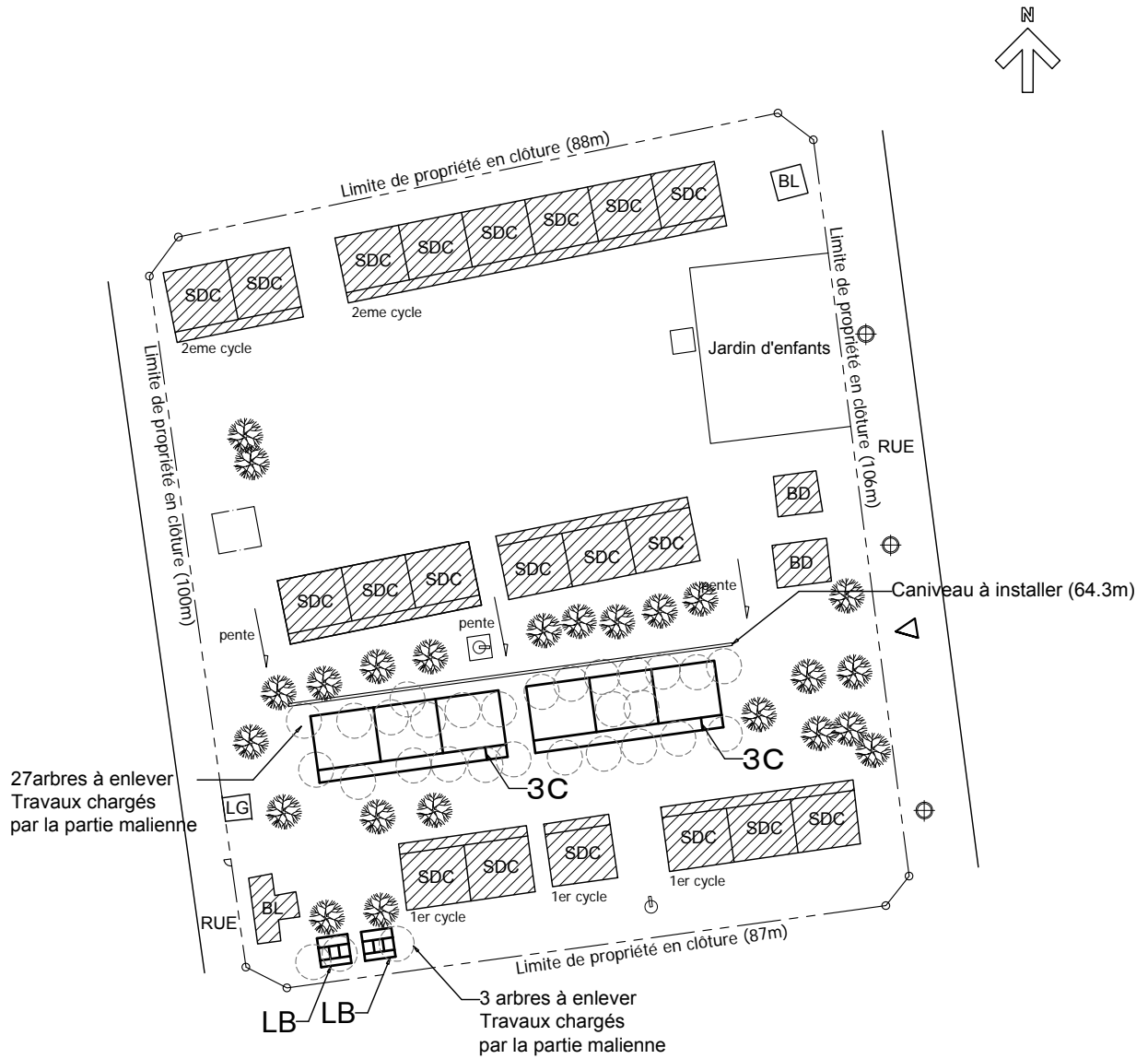
	SDC / 教室				BD 校長室	BL トイレ	ELT 電気	Eau 水	Classes nécessaires 必要教室数	Salles manquantes 不足教室数
	Existante/ 既存	En construction/ 建設中	Utilisation Impossible/ 使用不可	Utilisation Possible/ 継続使用可能						
École primaire 小	6	3	0	9	1	○	○	○	17	8
Collège 中	8	3	0	11	1	○	○	○	-	-

○: Déjà équipé / 敷地内にあり
×: Pas dans le site / 敷地内になし

Programme de projet / 計画

SDC	Type de SDC	BD	Type de BL	ELT	Caniveau	Travaux à la charge de la partie malienne 相手国負担工事	
						Branchement du réseau d'électricité 電気配線接続	Autres その他
教室数	教室タイプ	校長室	トイレ	電気	側溝	○	Abattage de 30 arbres 樹木30本撤去
6	3C X 2	-	LB X 2	○	○	○	

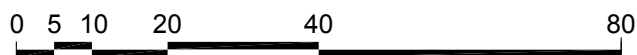




LEGENDE/凡例:

- SDC : Salle de classe/教室
- BD : Bureau de directeur/校長室
- M : Magasin/倉庫
- BIB : Bibliothèque/図書室
- BL : Bloc de latrines/トイレ
- LG : Loge gardien/守衛室

- ⊕ : Poteau d'électricité/電柱
- ▣ : Mât de drapeau/フラッグポール
- ☼ : Arbre/樹木
- : Arbre à enlever/伐採
- ⊕ : Borne fontaine ou puits/ポンプまたは井戸
- : Limite de propriété/敷地境界線



Plan de site / 計画配置図
Echelle 1:1000

BG-6 Point G.

Localisation / 位置情報

AE	CAP	Commune	Distance depuis le CAP	Accès et Remarques
			CAPからの距離	
Rive Gauche	Centre Commercial	Commune III	dans Bamako	dans la ville 都市部

Situation pédagogique / 運営状況

	Écoles	Élèves	Classes pédagogiques	Personnels	Communautaire	Double vacation	Multigrade	Remarques
	学校数	生徒数	クラス数	教員数(校長含)	コミュニティ学校	2部制	複式学級	備考
École primaire 小	3	1,373	18	21	○ (1ecole)	-	-	Limitation de nombre d'élèves à l'inscription 入学制限あり
Collège 中	1	576	6	9	-	-	-	

Effectifs et nombre de classe (Août, 2010) / 生徒数, クラス数内訳(2010年8月)

	1 ère	2 ème	3 ème	4 ème	5 ème	6 ème	7 ème	8 ème	9 ème
Élèves / 生徒数	268	244	234	204	184	239	165	179	232
Classes pédagogiques / クラス数	3	3	3	3	3	3	2	2	2

Equipements existants / 既存施設

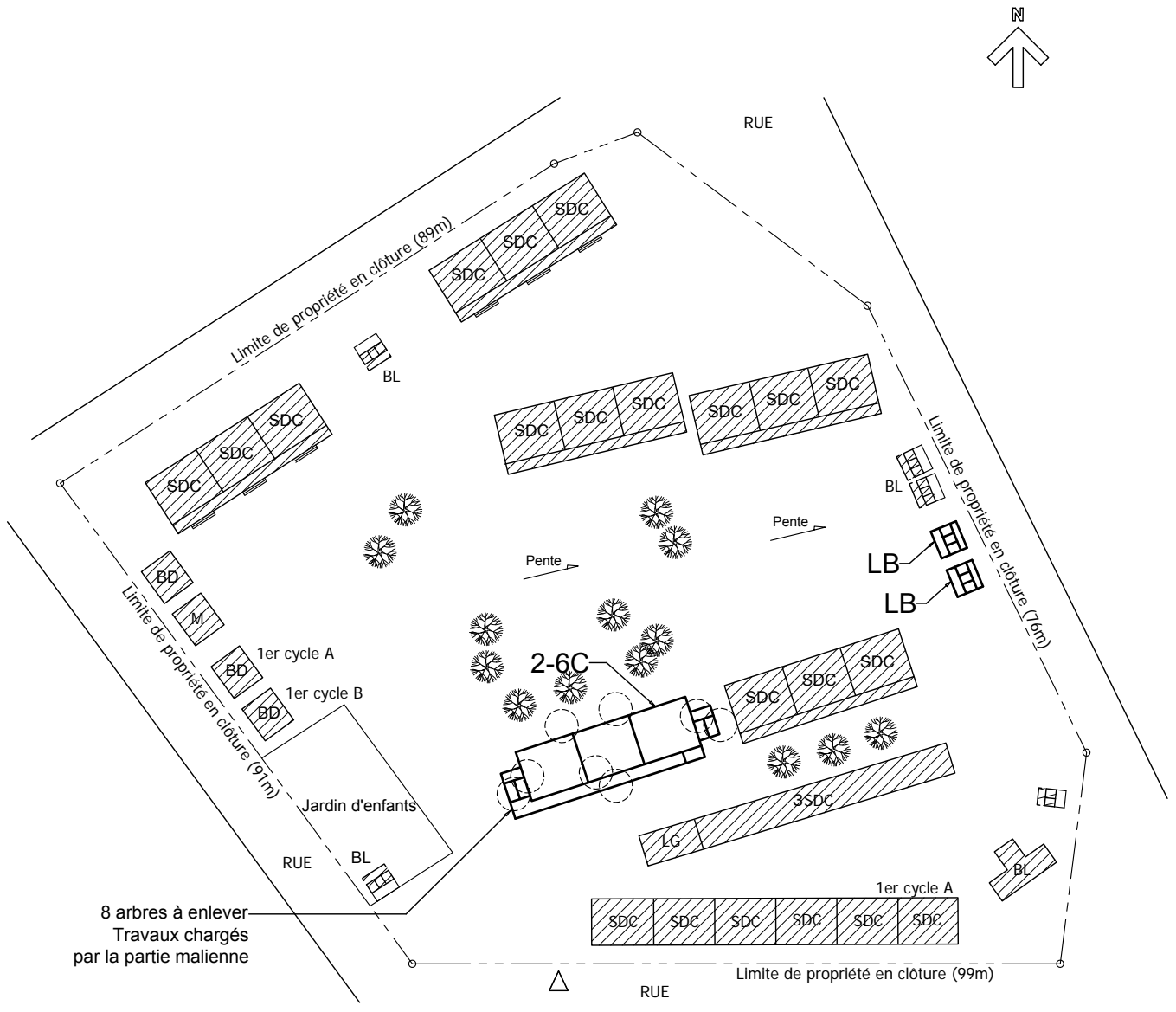
	SDC / 教室				BD 校長室	BL トイレ	ELT 電気	Eau 水	Classes nécessaires 必要教室数	Salles manquantes 不足教室数
	Existante/ 既存	En construction/ 建設中	Utilisation Impossible/ 使用不可	Utilisation Possible/ 継続使用可能						
École primaire 小	18	0	3	15	3	○	○	○	27	12
Collège 中	6	0	0	6	1	○	○	○	-	-

○: Déjà équipé / 敷地内にあり
×: Pas dans le site / 敷地内になし

Programme de projet / 計画

SDC	Type de SDC	BD	Type de BL	ELT	Clôture	Travaux à la charge de la partie malienne 相手国負担工事	
						Branchement du réseau d'électricité 電気配線接続	Autres その他
教室数	教室タイプ	校長室	トイレ	電気	フェンス	○	Abattage de 8 arbres 樹木8本撤去
6	2-6C X 1	-	LB X 2	○	-	○	





LEGENDE/凡例:

- | | |
|------------------------------|--------------------------------------|
| SDC : Salle de classe/教室 | ⊕ : Poteau d'électricité/電柱 |
| BD : Bureau de directeur/校長室 | ▣ : Mât de drapeau/フラッグポール |
| M : Magasin/倉庫 | ☼ : Arbre/樹木 |
| BIB : Bibliothèque/図書室 | ○ : Arbre à enlever/伐採 |
| BL : Bloc de latrines/トイレ | ⊕ : Borne fontaine ou puits/ポンプまたは井戸 |
| LG : Loge gardien/守衛室 | --- : Limite de propriété/敷地境界線 |



Plan de site / 計画配置図
Echelle 1:1000

BG-7 Taliko

Localisation / 位置情報

AE	CAP	Commune	Distance depuis le CAP	Accès et Remarques
			CAPからの距離	
Rive Gauche	Lafiabougou	Commune IV	dans Bamako	dans la ville, Route non bitumée 都市部、未舗装

Situation pédagogique / 運営状況

	Écoles	Élèves	Classes pédagogiques	Personnels	Communautaire	Double vacation	Multigrade	Remarques
	学校数	生徒数	クラス数	教員数(校長含)	コミュニティ学校	2部制	複式学級	備考
École primaire 小	1	838	6	7	-	-	-	Limitation de nombre d'élèves à l'inscription 入学制限あり
Collège 中	1	405	6	9	-	-	-	

Effectifs et nombre de classe (Août, 2010) / 生徒数, クラス数内訳(2010年8月)

	1 ère	2 ème	3 ème	4 ème	5 ème	6 ème	7 ème	8 ème	9 ème
Élèves / 生徒数	149	158	143	158	120	110	194	104	107
Classes pédagogiques / クラス数	1	1	1	1	1	1	2	2	2

Equipements existants / 既存施設

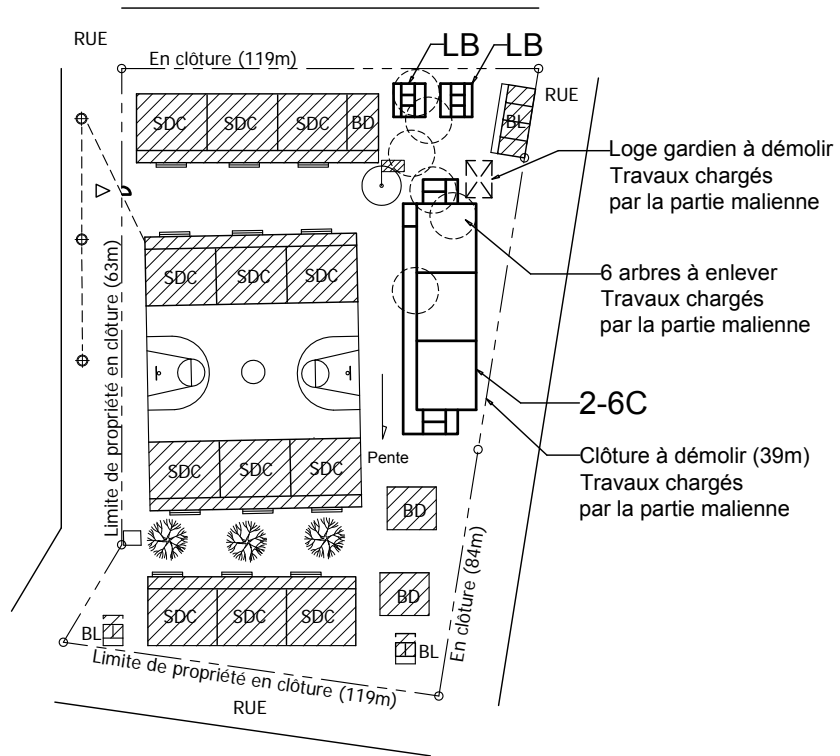
	SDC / 教室				BD 校長室	BL トイレ	ELT 電気	Eau 水	Classes nécessaires 必要教室数	Salles manquantes 不足教室数
	Existante/ 既存	En construction/ 建設中	Utilisation Impossible/ 使用不可	Utilisation Possible/ 継続使用可能						
École primaire 小	6	0	0	6	1	○	○	○	16	10
Collège 中	6	0	0	6	1	○	○	○	-	-

○: Déjà équipé / 敷地内にあり
×: Pas dans le site / 敷地内になし

Programme de projet / 計画

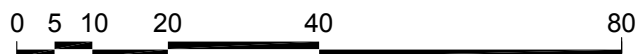
SDC	Type de SDC	BD	Type de BL	ELT	Clôture	Travaux à la charge de la partie malienne 相手国負担工事	
						Branchement du réseau d'électricité 電気配線接続	Autres その他
教室数	教室タイプ	校長室	トイレ	電気	フェンス	○	○
6	2-6C X 1	-	LB X 2	○	○	○	Démolition de la loge gardien, Démolition de clôture existante (39m), Abattage de 6 arbres / 守衛室撤去、フェンス撤去(39m)、樹木6本撤去





LEGENDE/凡例:

- | | |
|------------------------------|--------------------------------------|
| SDC : Salle de classe/教室 | ⊕ : Poteau d'électricité/電柱 |
| BD : Bureau de directeur/校長室 | ▣ : Mât de drapeau/フラッグポール |
| M : Magasin/倉庫 | ☼ : Arbre/樹木 |
| BIB : Bibliothèque/図書室 | ○ : Arbre à enlever/伐採 |
| BL : Bloc de latrines/トイレ | ⊕ : Borne fontaine ou puits/ポンプまたは井戸 |
| LG : Loge gardien/守衛室 | --- : Limite de propriété/敷地境界線 |



Plan de site / 計画配置図
Echelle 1:1000

BG-8 Camp Para

Localisation / 位置情報

AE	CAP	Commune	Distance depuis le CAP	Accès et Remarques
			CAPからの距離	
Rive Gauche	Sebenikoro	Commune IV	dans Bamako	dans la ville, Route non bitumée 都市部、未舗装 Remblai nécessaire 盛土必要

Situation pédagogique / 運営状況

	Écoles	Élèves	Classes pédagogiques	Personnels	Communautaire	Double vacation	Multigrade	Remarques
	学校数	生徒数	クラス数	教員数(校長含)	コミュニティ学校	2部制	複式学級	備考
École primaire 小	2	1,448	17	17	-	○ (1 école)	-	
Collège 中	1	758	8	11	-	-	-	Limitation de nombre d'élèves à l'inscription 入学制限あり

Effectifs et nombre de classe (Août, 2010) / 生徒数, クラス数内訳(2010年8月)

	1 ère	2 ème	3 ème	4 ème	5 ème	6 ème	7 ème	8 ème	9 ème
Élèves / 生徒数	208	222	263	242	335	178	309	275	174
Classes pédagogiques / クラス数	2	3	3	3	4	2	3	3	2

Equipements existants / 既存施設

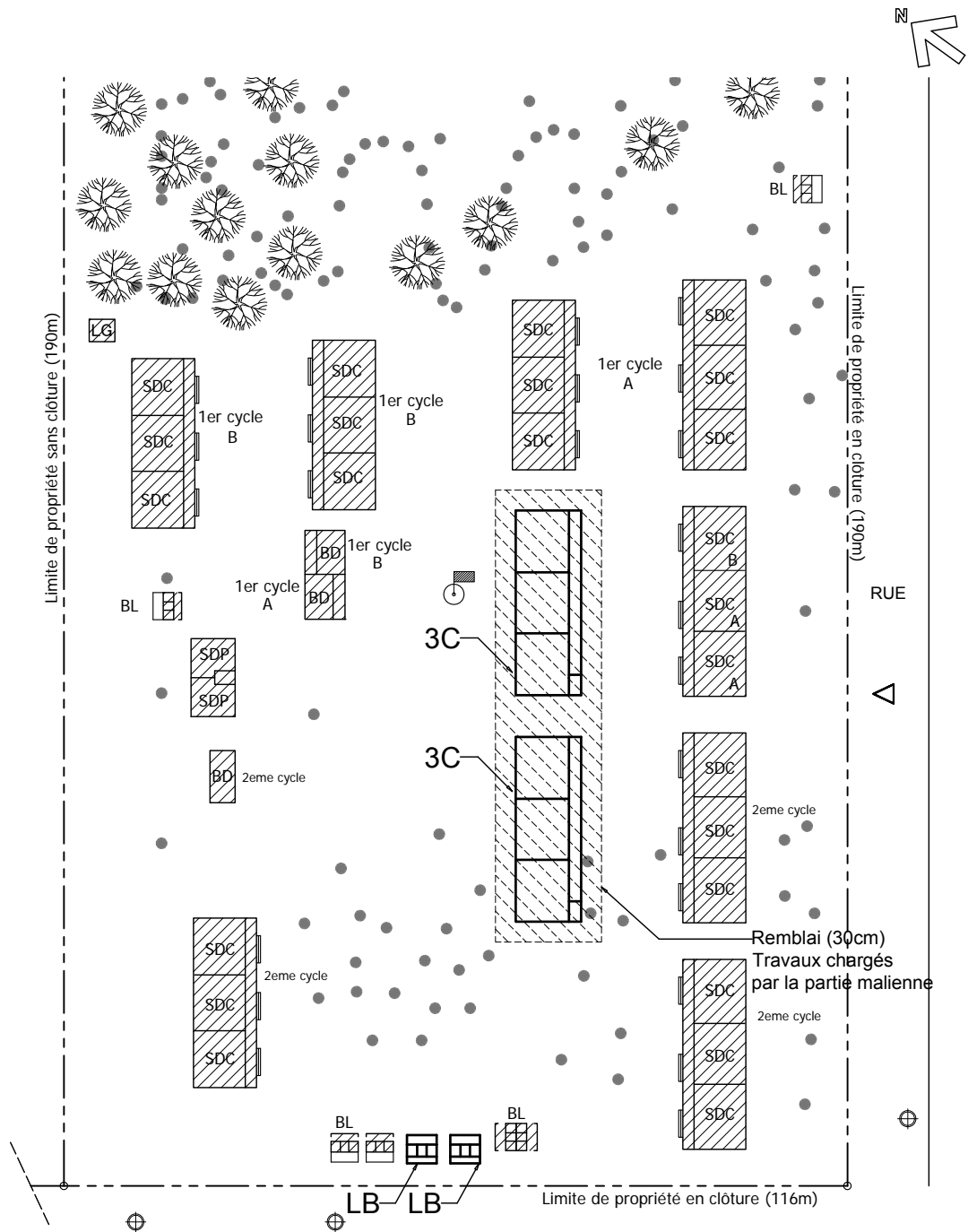
	SDC / 教室				BD 校長室	BL トイレ	ELT 電気	Eau 水	Classes nécessaires 必要教室数	Salles manquantes 不足教室数
	Existante/ 既存	En construction/ 建設中	Utilisation Impossible/ 使用不可	Utilisation Possible/ 継続使用可能						
École primaire 小	15	0	0	15	2	○	○	○	28	13
Collège 中	9	0	0	9	1	○	○	○	-	-

○: Déjà équipé / 敷地内にあり
×: Pas dans le site / 敷地内になし

Programme de projet / 計画

SDC	Type de SDC	BD	Type de BL	ELT	Clôture	Travaux à la charge de la partie malienne 相手国負担工事	
						Branchement du réseau d'électricité 電気配線接続	Autres その他
教室数	教室タイプ	校長室	トイレ	電気	フェンス	○	Remblai de 30 cm (1,042m ²) 盛土30cm (1,042m ²)





LEGENDE/凡例:

- SDC : Salle de classe/教室
- BD : Bureau de directeur/校長室
- M : Magasin/倉庫
- BIB : Bibliothèque/図書室
- BL : Bloc de latrines/トイレ
- LG : Loge gardien/守衛室

- ⊕ : Poteau d'électricité/電柱
- 🚩 : Mât de drapeau/フラッグポール
- 🌳 : Arbre/樹木
- : Arbre à enlever/伐採
- ⊕ : Borne fontaine ou puits/ポンプまたは井戸
- : Limite de propriété/敷地境界線



Plan de site / 計画配置図
Echelle 1:1000

BD-2 Groupe scolaire de Magnambougou Projet

Localisation / 位置情報

AE	CAP	Commune	Distance depuis le CAP	Accès et Remarques
			CAPからの距離	
Rive droite	Banankabougou	Commune VI	dans Bamako	アクセス道路および備考

Situation pédagogique / 運営状況

	Écoles	Élèves	Classes pédagogiques	Personnels	Communautaire	Double vacation	Multigrade	Remarques
	学校数	生徒数	クラス数	教員数(校長含)	コミュニティ学校	2部制	複式学級	備考
École primaire 小	4	2,237	30	33	-	○	-	Limitation de nombre d'élèves à l'inscription 入学制限あり
Collège 中	4	1,378	18	32	-	-	-	

Effectifs et nombre de classe (Août, 2010) / 生徒数, クラス数内訳(2010年8月)

	1 ère	2 ème	3 ème	4 ème	5 ème	6 ème	7 ème	8 ème	9 ème
Élèves / 生徒数	321	294	400	386	380	456	560	366	452
Classes pédagogiques / クラス数	4	4	4	6	6	6	7	5	6

Equipements existants / 既存施設

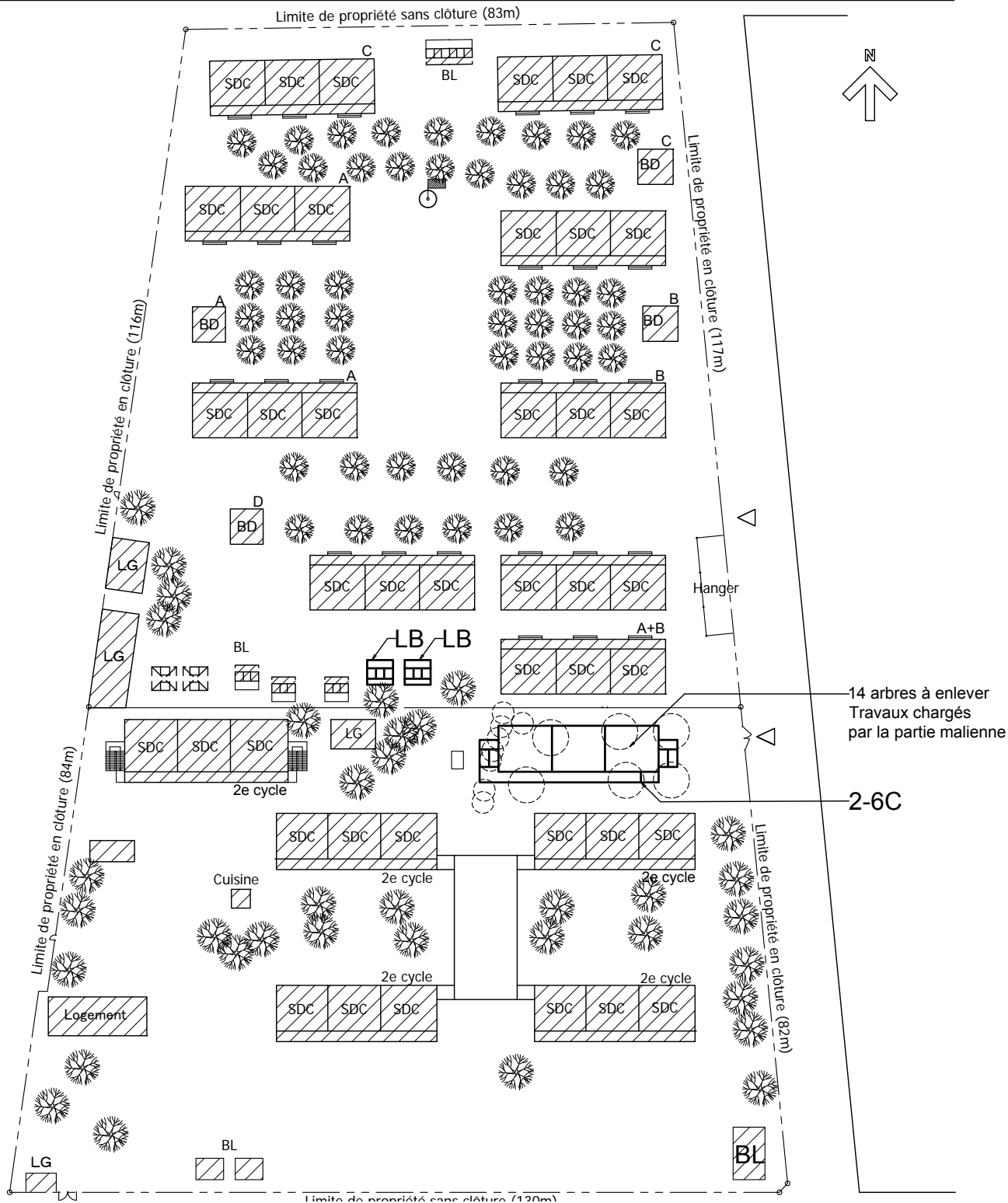
	SDC / 教室				BD 校長室	BL トイレ	ELT 電気	Eau 水	Classes nécessaires 必要教室数	Salles manquantes 不足教室数
	Existante/ 既存	En construction/ 建設中	Utilisation Impossible/ 使用不可	Utilisation Possible/ 継続使用可能						
École primaire 小	27	0	6	21	4	○	○	○	44	23
Collège 中	18	0	12	6	3	○	○	○	-	-

○ : Déjà équipé / 敷地内にあり
 × : Pas dans le site / 敷地内になし

Programme de projet / 計画

SDC	Type de SDC	BD	Type de BL	ELT	Clôture	Travaux à la charge de la partie malienne 相手国負担工事	
						Branchement du réseau d'électricité 電気配線接続	Autres その他
教室数	教室タイプ	校長室	トイレ	電気	フェンス	○	Abattage de 14 arbres 樹木14本撤去
6	2-6C x 1	-	LB x 2	○	-	○	





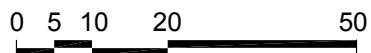
14 arbres à enlever
Travaux chargés
par la partie malienne

2-6C

LEGENDE/凡例:

- | | |
|------------------------------|--------------------------------------|
| SDC : Salle de classe/教室 | ⊕ : Poteau d'électricité/電柱 |
| BD : Bureau de directeur/校長室 | ▨ : Mât de drapeau/フラッグポール |
| M : Magasin/倉庫 | 🌳 : Arbre/樹木 |
| BIB : Bibliothèque/図書室 | ○ : Arbre à enlever/伐採 |
| BL : Bloc de latrines/トイレ | ⊕ : Borne fontaine ou puits/ポンプまたは井戸 |
| LG : Loge gardien/守衛室 | --- : Limite de propriété/敷地境界線 |

Plan de site / 計画配置図
Echelle 1:1000



BD-3 Groupe scolaire de Dianeguella

Localisation / 位置情報

AE	CAP	Commune	Distance depuis le CAP	Accès et Remarques
			CAPからの距離	
Rive droite	Faladié	Commune VI	dans Bamako	Terrain en dénivellement 敷地内高低差あり

Situation pédagogique / 運営状況

	Écoles	Élèves	Classes pédagogiques	Personnels	Communautaire	Double vacation	Multigrade	Remarques
	学校数	生徒数	クラス数	教員数(校長含)	コミュニティ学校	2部制	複式学級	備考
École primaire 小	2	1,616	18	20	-	○	-	Limitation de nombre d'élèves à l'inscription 入学制限あり
Collège 中	1	768	8	12	-	○	-	

Effectifs et nombre de classe (Août, 2010) / 生徒数, クラス数内訳(2010年8月)

	1 ère	2 ème	3 ème	4 ème	5 ème	6 ème	7 ème	8 ème	9 ème
Élèves / 生徒数	188	220	291	319	330	268	329	266	173
Classes pédagogiques / クラス数	2	2	3	3	4	4	3	3	2

Equipements existants / 既存施設

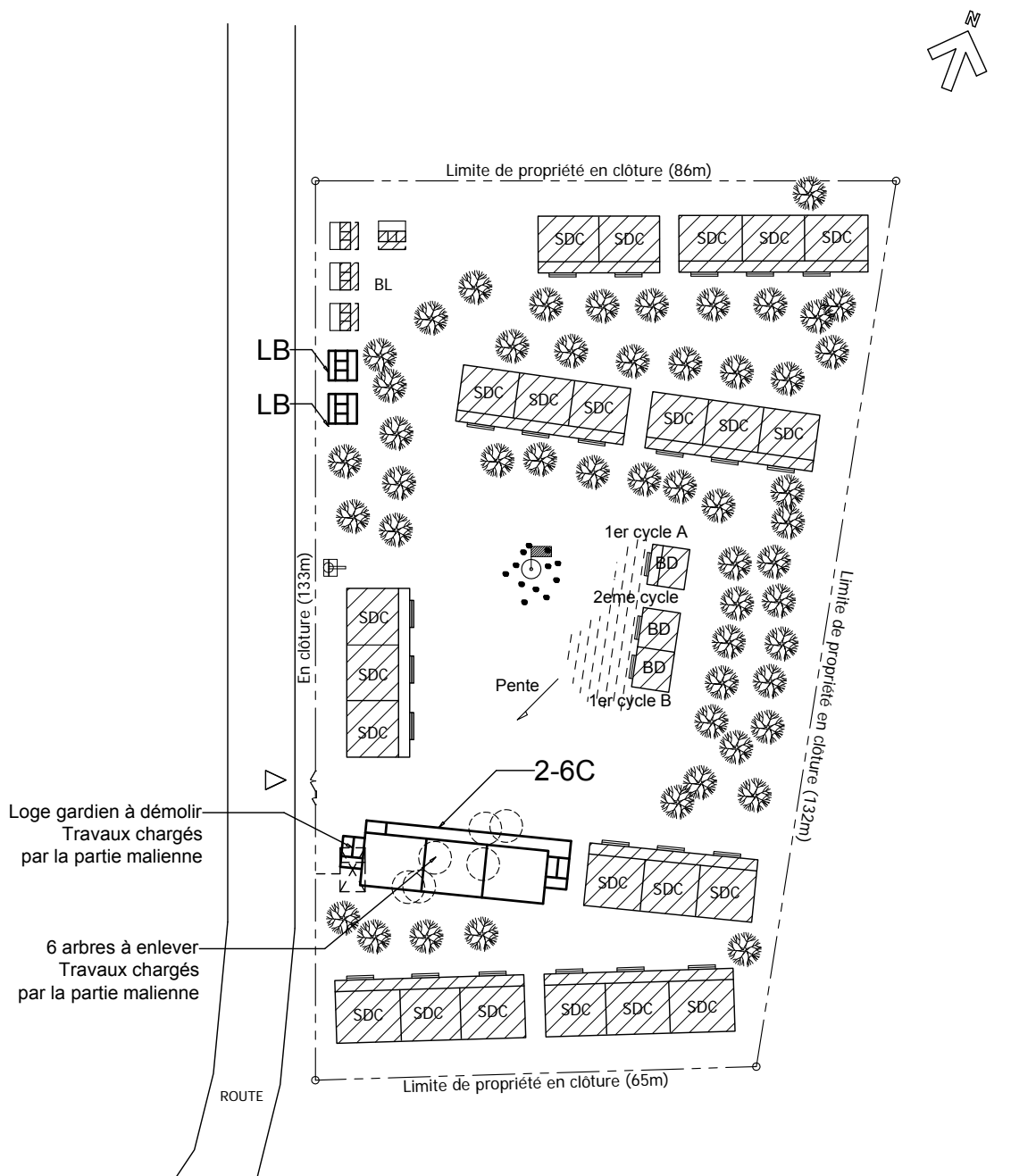
	SDC / 教室				BD 校長室	BL トイレ	ELT 電気	Eau 水	Classes nécessaires 必要教室数	Salles manquantes 不足教室数
	Existante/ 既存	En construction/ 建設中	Utilisation Impossible/ 使用不可	Utilisation Possible/ 継続使用可能						
École primaire 小	14	3	0	17	2	○	×	○	32	15
Collège 中	6	0	0	6	1	○	×	○	-	-

○ : Déjà équipé / 敷地内にあり
× : Pas dans le site / 敷地内になし

Programme de projet / 計画

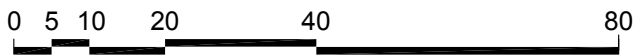
SDC	Type de SDC	BD	Type de BL	ELT	Clôture	Travaux à la charge de la partie malienne 相手国負担工事	
						Branchement du réseau d'électricité 電気配線接続	Autres その他
教室数	教室タイプ	校長室	トイレ	電気	フェンス	-	Abattage de 6 arbres, Demolition de la loge de gardien, 樹木6本撤去, 守衛室撤去
6	2-6C x 1	-	LB X 2	△	-	-	





LEGENDE/凡例:

- | | |
|------------------------------|--------------------------------------|
| SDC : Salle de classe/教室 | ⊕ : Poteau d'électricité/電柱 |
| BD : Bureau de directeur/校長室 | ■ : Mât de drapeau/フラッグポール |
| M : Magasin/倉庫 | ☼ : Arbre/樹木 |
| BIB : Bibliothèque/図書室 | ○ : Arbre à enlever/伐採 |
| BL : Bloc de latrines/トイレ | ⊖ : Borne fontaine ou puits/ポンプまたは井戸 |
| LG : Loge gardien/守衛室 | --- : Limite de propriété/敷地境界線 |



Plan de site / 計画配置図
Echelle 1:1000

BD-4 Groupe scolaire de Yirimadio

Localisation / 位置情報

AE	CAP	Commune	Distance depuis le CAP	Accès et Remarques
			CAPからの距離	
Rive droite	Faladié	Commune VI	dans Bamako	dans la ville, Route non bitumée 都市部、未舗装 Terrain en dénivellement 敷地内高低差あり

Situation pédagogique / 運営状況

	Écoles	Élèves	Classes pédagogiques	Personnels	Communautaire	Double vacation	Multigrade	Remarques
	学校数	生徒数	クラス数	教員数(校長含)	コミュニティ学校	2部制	複式学級	備考
École primaire 小	2	1,766	20	20	-	○	-	Limitation de nombre d'élèves à l'inscription 入学制限あり
Collège 中	1	955	8	18	-	-	-	

Effectifs et nombre de classe (Août, 2010) / 生徒数, クラス数内訳(2010年8月)

	1 ère	2 ème	3 ème	4 ème	5 ème	6 ème	7 ème	8 ème	9 ème
Élèves / 生徒数	182	271	384	322	356	251	380	321	254
Classes pédagogiques / クラス数	2	3	4	4	4	3	3	3	2

Equipements existants / 既存施設

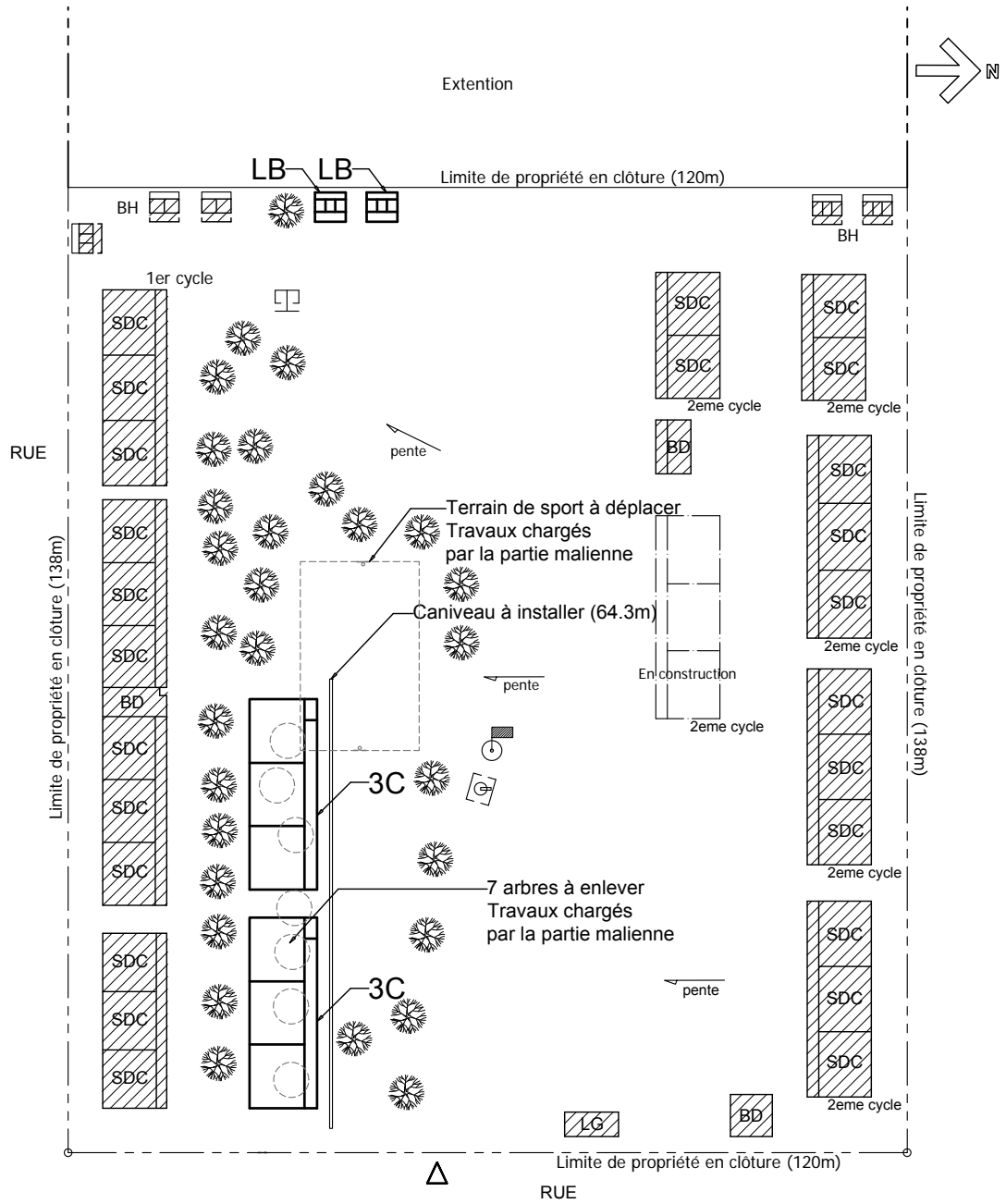
	SDC / 教室				BD 校長室	BL トイレ	ELT 電気	Eau 水	Classes nécessaires 必要教室数	Salles manquantes 不足教室数
	Existante/ 既存	En construction/ 建設中	Utilisation Impossible/ 使用不可	Utilisation Possible/ 継続使用可能						
École primaire 小	17	3	0	20	2	○	×	○	35	15
Collège 中	8	0	0	8	0	○	×	○	-	-

○ : Déjà équipé / 敷地内にあり
× : Pas dans le site / 敷地内になし

Programme de projet / 計画

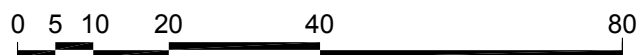
SDC	Type de SDC	BD	Type de BL	ELT	Caniveau	Travaux à la charge de la partie malienne 相手国負担工事	
						Branchement du réseau d'électricité 電気配線接続	Autres その他
教室数	教室タイプ	校長室	トイレ	電気	側溝	-	Abattage de 7 arbres, Déplacement du terrain de support, 樹木7本撤去, バスケットコート移設
6	3C X 2	-	LB X 2	△	○	-	





LEGENDE/凡例:

- | | |
|------------------------------|--------------------------------------|
| SDC : Salle de classe/教室 | ⊕ : Poteau d'électricité/電柱 |
| BD : Bureau de directeur/校長室 | 🚩 : Mât de drapeau/フラッグポール |
| M : Magasin/倉庫 | 🌳 : Arbre/樹木 |
| BIB : Bibliothèque/図書室 | ○ : Arbre à enlever/伐採 |
| BL : Bloc de latrines/トイレ | ⊕ : Borne fontaine ou puits/ポンプまたは井戸 |
| LG : Loge gardien/守衛室 | --- : Limite de propriété/敷地境界線 |



Plan de site / 計画配置図
Echelle 1:1000

BD-5 Groupe scolaire de Senou Base

Localisation / 位置情報

AE	CAP	Commune	Distance depuis le CAP	Accès et Remarques
			CAPからの距離	
Rive droite	Faladié	Commune VI	dans Bamako	dans la ville, Route non bitumée 都市部、未舗装 Nature de sol peu solide 軟弱地盤

Situation pédagogique / 運営状況

	Écoles	Élèves	Classes pédagogiques	Personnels	Communautaire	Double vacation	Multigrade	Remarques
	学校数	生徒数	クラス数	教員数(校長含)	コミュニティ学校	2部制	複式学級	備考
École primaire 小	2	1,492	18	19	-	○	-	Limitation de nombre d'élèves à l'inscription 入学制限あり
Collège 中	1	1,236	11	16	-	○	-	

Effectifs et nombre de classe (Août, 2010) / 生徒数, クラス数内訳(2010年8月)

	1 ère	2 ème	3 ème	4 ème	5 ème	6 ème	7 ème	8 ème	9 ème
Élèves / 生徒数	181	167	276	229	326	313	390	368	478
Classes pédagogiques / クラス数	2	2	3	3	4	4	4	3	4

Equipements existants / 既存施設

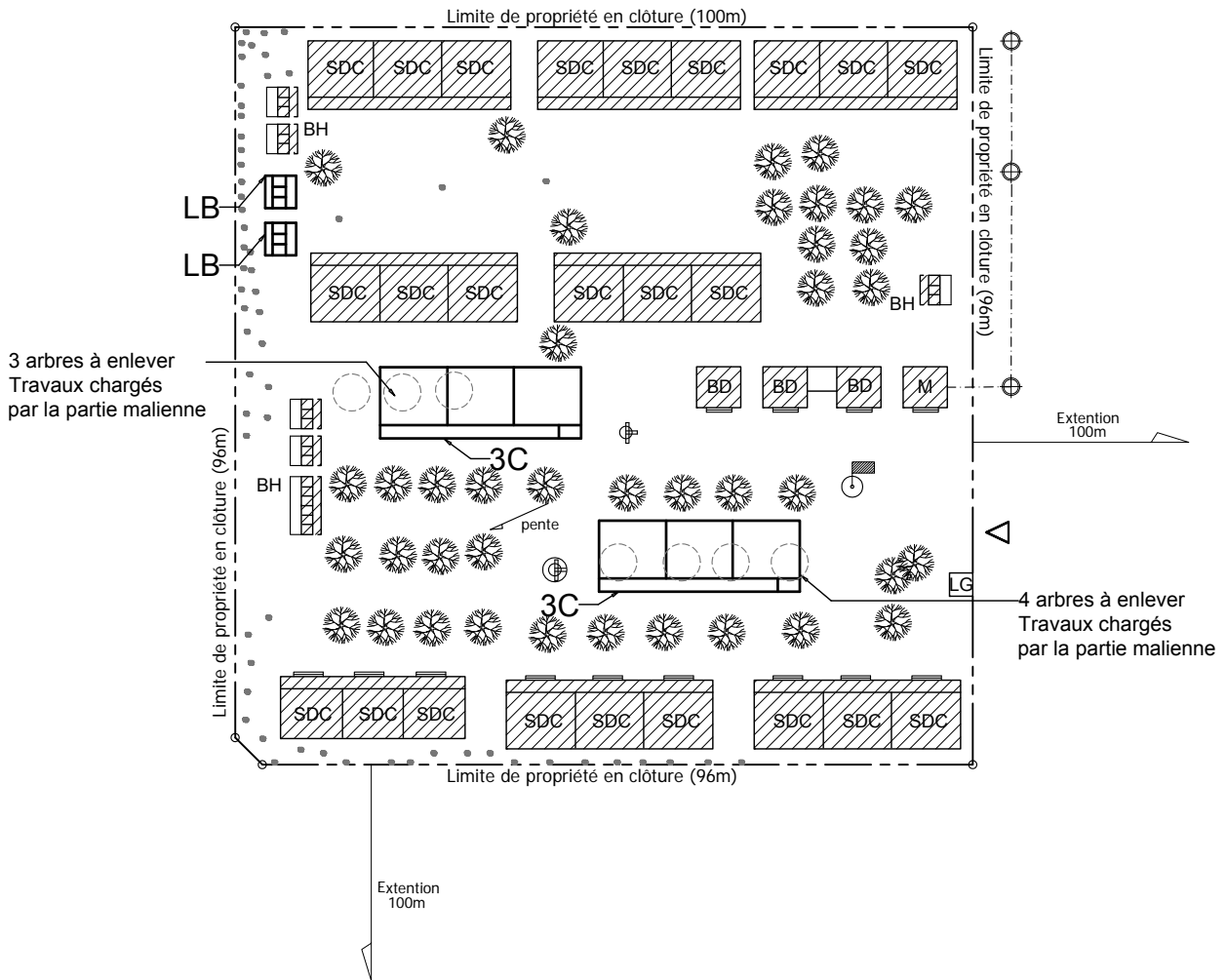
	SDC / 教室				BD 校長室	BL トイレ	ELT 電気	Eau 水	Classes nécessaires 必要教室数	Salles manquantes 不足教室数
	Existante/ 既存	En construction/ 建設中	Utilisation Impossible/ 使用不可	Utilisation Possible/ 継続使用可能						
École primaire 小	15	0	0	15	2	○	○	○	29	14
Collège 中	9	0	0	9	1	○	○	○	-	-

○: Déjà équipé / 敷地内にあり
×: Pas dans le site / 敷地内になし

Programme de projet / 計画

SDC	Type de SDC	BD	Type de BL	ELT	Clôture	Travaux à la charge de la partie malienne 相手国負担工事	
						Branchement du réseau d'électricité 電気配線接続	Autres その他
教室数	教室タイプ	校長室	トイレ	電気	フェンス	○	Abattage de 7 arbres 樹木7本撤去
6	3C X 2	-	LB X 2	○	-	○	





LEGENDE/凡例:

- SDC : Salle de classe/教室
- BD : Bureau de directeur/校長室
- M : Magasin/倉庫
- BIB : Bibliothèque/図書室
- LB : Bloc de latrines/トイレ
- LG : Loge gardien/守衛室

- ⊕ : Poteau d'électricité/電柱
- ▣ : Mât de drapeau/フラッグポール
- ☼ : Arbre/樹木
- : Arbre à enlever/伐採
- ⊕ : Borne fontaine ou puits/ポンプまたは井戸
- : Limite de propriété/敷地境界線



Plan de site / 計画配置図
Echelle 1:1000

BD-7 Groupe scolaire de Baco Djicoroni

Localisation / 位置情報

AE	CAP	Commune	Distance depuis le CAP	Accès et Remarques
			CAPからの距離	
Rive droite	Kalaban coura	Commune V	dans Bamako	dans la ville, Route non bitumée 都市部、未舗装 Nouveau site, Remblais et déblais nécessaires, Nature de sol peu solide 新敷地、造成必要、軟弱地盤

Situation pédagogique / 運営状況

	Écoles	Élèves	Classes pédagogiques	Personnels	Communautaire	Double vacation	Multigrade	Remarques
	学校数	生徒数	クラス数	教員数(校長含)	コミュニティ学校	2部制	複式学級	備考
École primaire 小	6	4,162	37	52	-	-	-	
Collège 中	4	2,781	24	33	-	-	-	

Effectifs et nombre de classe (Août, 2010) / 生徒数, クラス数内訳(2010年8月)

	1 ère	2 ème	3 ème	4 ème	5 ème	6 ème	7 ème	8 ème	9 ème
Élèves / 生徒数	630	743	693	766	644	686	906	819	1,056
Classes pédagogiques / クラス数	6	6	6	6	6	7	8	8	8

Equipements existants / 既存施設

	SDC / 教室				BD 校長室	BL トイレ	ELT 電気	Eau 水	Classes nécessaires 必要教室数	Salles manquantes 不足教室数
	Existante/ 既存	En construction/ 建設中	Utilisation Impossible/ 使用不可	Utilisation Possible/ 継続使用可能						
École primaire 小	37	9	0	46	6	○	×	○	83	37
Collège 中	24	0	0	24	3	○	×	○	-	-

○: Déjà équipé / 敷地内にあり
×: Pas dans le site / 敷地内になし

Programme de projet / 計画

SDC	Type de SDC	BD	Type de BL	ELT	Clôture	Travaux à la charge de la partie malienne 相手国負担工事	
						Branchement du réseau d'électricité 電気配線接続	Autres その他
教室数	教室タイプ	校長室	トイレ	電気	フェンス	-	-
6	2-6C x 1	-	LB x 2	△	-	-	-



RUE

Limite de propriété sans clôture (72m)



VOISIN

RUE

Limite de propriété sans clôture (213m)

Limite de propriété sans clôture (213m)

RUE

VOISIN

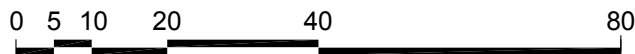
LEGENDE/凡例:

- SDC : Salle de classe/教室
- BD : Bureau de directeur/校長室
- M : Magasin/倉庫
- BIB : Bibliothèque/図書室
- BL : Bloc de latrines/トイレ
- LG : Loge gardien/守衛室
- ⊕ : Poteau d'électricité/電柱
- 🚩 : Mât de drapeau/フラッグポール
- 🌳 : Arbre/樹木
- : Arbre à enlever/伐採
- ⊕ : Borne fontaine ou puits/ポンプまたは井戸
- : Limite de propriété/敷地境界線

En construction

2-6C

LB
LB



Plan de site / 計画配置図
Echelle 1:1000

資料9 計画除外校データ

FN-3 Fana Extension Ouest

Localisation / 位置情報

AE	CAP	Commune	Distance depuis le CAP	Accès et Remarques
			CAPからの距離	
KATI	Fana	Guegnea	Non identifié 不明	0.5 km depuis la route principale, 幹線より0.5km Ecole avant l'ouverture 未開校

Situation pédagogique / 運営状況

	Écoles	Élèves	Classes pédagogiques	Personnels	Communautaire	Double vacation	Multigrade	Remarques
	学校数	生徒数	クラス数	教員数(校長含)	コミュニティ学校	2部制	複式学級	備考
École primaire 小	-	-	-	-	-	-	-	
Collège 中	-	-	-	-	-	-	-	

Effectifs et nombre de classe (Août, 2010) / 生徒数, クラス数内訳(2010年8月)

	1 ère	2 ème	3 ème	4 ème	5 ème	6 ème	7 ème	8 ème	9 ème
Élèves / 生徒数	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Classes pédagogiques / クラス数	-	-	-	-	-	-	-	-	-

Equipements existants / 既存施設

	SDC / 教室				BD	BL	ELT	Eau	Classes nécessaires	Salles manquantes
	Existante/ 既存	En construction/ 建設中	Utilisation Impossible/ 使用不可	Utilisation Possible/ 継続使用可能						
École primaire 小	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Collège 中	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

○ : Déjà équipé / 敷地内にあり
× : Pas dans le site / 敷地内になし

Programme de projet / 計画

SDC	Type de SDC	BD	Type de BL	ELT	Clôture	Travaux à la charge de la partie malienne 相手国負担工事	
教室数	教室タイプ	校長室	トイレ	電気	フェンス	Branchement du réseau d'électricité 電気配線接続	Autres その他
-	-	-	-	-	-	-	



KB-3 Kalabancoro I Nérékoro

Localisation / 位置情報

AE	CAP	Commune	Distance depuis le CAP	Accès et Remarques
			CAPからの距離	
KATI	Kalabancoro	kalabancoro	Non identifié 不明	Route non bitumée, Route en mauvais état 未舗装、悪路

Situation pédagogique / 運営状況

	Écoles	Élèves	Classes pédagogiques	Personnels	Communautaire	Double vacation	Multigrade	Remarques
	学校数	生徒数	クラス数	教員数(校長含)	コミュニティ学校	2部制	複式学級	
École primaire 小	1	175	4	4	-	-	-	
Collège 中	-	-	-	-	-	-	-	

Effectifs et nombre de classe (Août, 2010) / 生徒数, クラス数内訳(2010年8月)

	1 ère	2 ème	3 ème	4 ème	5 ème	6 ème	7 ème	8 ème	9 ème
Élèves / 生徒数	75	50	25	25	0	0	-	-	-
Classes pédagogiques / クラス数	1	1	1	1	0	0	-	-	-

Equipements existants / 既存施設

	SDC / 教室				BD 校長室	BL トイレ	ELT 電気	Eau 水	Classes nécessaires 必要教室数	Salles manquantes 不足教室数
	Existante/ 既存	En construction/ 建設中	Utilisation Impossible/ 使用不可	Utilisation Possible/ 継続使用可能						
École primaire 小	4	0	1	3	1	○	×	×	4	1
Collège 中	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

○ : Déjà équipé / 敷地内にあり
× : Pas dans le site / 敷地内になし

Programme de projet / 計画

SDC	Type de SDC	BD	Type de BL	ELT	Clôture	Travaux à la charge de la partie malienne 相手国負担工事	
教室数	教室タイプ	校長室	トイレ	電気	フェンス	Branchement du réseau d'électricité 電気配線接続	Autres その他
-	-	-	-	-	-	-	-



KL-3 Kolébougou

Localisation / 位置情報

AE	CAP	Commune	Distance depuis le CAP	Accès et Remarques
			CAPからの距離	
Koulikoro	Koulikoro	Koulikoro	-	Possible 可能

Situation pédagogique / 運営状況

	Écoles	Élèves	Classes pédagogiques	Personnels	Communautaire	Double vacation	Multigrade	Remarques
	学校数	生徒数	クラス数	教員数(校長含)	コミュニティ学校	2部制	複式学級	備考
École primaire 小	1	293	6	12	-	-	-	
Collège 中	-	-	-	-	-	-	-	

Effectifs et nombre de classe (Août, 2010) / 生徒数, クラス数内訳(2010年8月)

	1 ère	2 ème	3 ème	4 ème	5 ème	6 ème	7 ème	8 ème	9 ème
Élèves / 生徒数	52	56	61	70	30	24	-	-	-
Classes pédagogiques / クラス数	1	1	1	1	1	1	-	-	-

Equipements existants / 既存施設

	SDC / 教室				BD 校長室	BL トイレ	ELT 電気	Eau 水	Classes nécessaires 必要教室数	Salles manquantes 不足教室数
	Existante/ 既存	En construction/ 建設中	Utilisation Impossible/ 使用不可	Utilisation Possible/ 継続使用可能						
École primaire 小	6	0	0	6	0	○	×	○	6	0
Collège 中	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

○ : Déjà équipé / 敷地内にあり
 × : Pas dans le site / 敷地内になし

Programme de projet / 計画

SDC	Type de SDC	BD	Type de BL	ELT	Clôture	Travaux à la charge de la partie malienne 相手国負担工事	
教室数	教室タイプ	校長室	トイレ	電気	フェンス	Branchement du réseau d'électricité 電気配線接続	Autres その他
-	-	-	-	-	-	-	



KL-4 Chola

Localisation / 位置情報

AE	CAP	Commune	Distance depuis le CAP	Accès et Remarques
			CAPからの距離	
Koulikoro	Koulikoro	Sirakorola	-	-

Situation pédagogique / 運営状況

	Écoles	Élèves	Classes pédagogiques	Personnels	Communautaire	Double vacation	Multigrade	Remarques
	学校数	生徒数	クラス数	教員数(校長含)	コミュニティ学校	2部制	複式学級	
École primaire 小	1	150	3	3	-	-	○	Limitation de nombre d'élèves à l'inscription 入学制限あり
Collège 中	-	-	-	-	-	-	-	

Effectifs et nombre de classe (Août, 2010) / 生徒数, クラス数内訳(2010年8月)

	1 ère	2 ème	3 ème	4 ème	5 ème	6 ème	7 ème	8 ème	9 ème
Élèves / 生徒数	75		57		18		-	-	-
Classes pédagogiques / クラス数	1		1		1		-	-	-

Equipements existants / 既存施設

	SDC / 教室				BD 校長室	BL トイレ	ELT 電気	Eau 水	Classes nécessaires 必要教室数	Salles manquantes 不足教室数
	Existante/ 既存	En construction/ 建設中	Utilisation Impossible/ 使用不可	Utilisation Possible/ 継続使用可能						
École primaire 小	3	0	0	3	0	○	×	×	3	0
Collège 中	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

○: Déjà équipé / 敷地内にあり
×: Pas dans le site / 敷地内になし

Programme de projet / 計画

SDC	Type de SDC	BD	Type de BL	ELT	Clôture	Travaux à la charge de la partie malienne 相手国負担工事	
教室数	教室タイプ	校長室	トイレ	電気	フェンス	Branchement du réseau d'électricité 電気配線接続	Autres その他
-	-	-	-	-	-	-	



BN-1 Tota

Localisation / 位置情報

AE	CAP	Commune	Distance depuis le CAP	Accès et Remarques
			CAPからの距離	
Koulikoro	Banamba	Madina-Sacko	-	

Situation pédagogique / 運営状況

	Écoles	Élèves	Classes pédagogiques	Personnels	Communautaire	Double vacation	Multigrade	Remarques
	学校数	生徒数	クラス数	教員数(校長含)	コミュニティ学校	2部制	複式学級	
École primaire 小	1	297	6	6	-	-	-	
Collège 中	-	-	-	-	-	-	-	

Effectifs et nombre de classe (Août, 2010) / 生徒数, クラス数内訳(2010年8月)

	1 ère	2 ème	3 ème	4 ème	5 ème	6 ème	7 ème	8 ème	9 ème
Élèves / 生徒数	43	62	67	60	46	19	-	-	-
Classes pédagogiques / クラス数	1	1	1	1	1	1	-	-	-

Equipements existants / 既存施設

	SDC / 教室				BD 校長室	BL トイレ	ELT 電気	Eau 水	Classes nécessaires 必要教室数	Salles manquantes 不足教室数
	Existante/ 既存	En construction/ 建設中	Utilisation Impossible/ 使用不可	Utilisation Possible/ 継続使用可能						
École primaire 小	6	0	3	3	1	○	×	×	6	3
Collège 中	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

○: Déjà équipé / 敷地内にあり
×: Pas dans le site / 敷地内になし

Programme de projet / 計画

SDC	Type de SDC	BD	Type de BL	ELT	Clôture	Travaux à la charge de la partie malienne 相手国負担工事	
教室数	教室タイプ	校長室	トイレ	電気	フェンス	Branchement du réseau d'électricité 電気配線接続	Autres その他
3	3C X 1	-	LA X 1	X	-	-	



BN-2 Kokoni

Localisation / 位置情報

AE	CAP	Commune	Distance depuis le CAP	Accès et Remarques
			CAPからの距離	
Koulikoro	Banamba	Madina-Sacko	-	

Situation pédagogique / 運営状況

	Écoles	Élèves	Classes pédagogiques	Personnels	Communautaire	Double vacation	Multigrade	Remarques
	学校数	生徒数	クラス数	教員数(校長含)	コミュニティ学校	2部制	複式学級	
École primaire 小	1	275	6	6	-	-	-	
Collège 中	-	-	-	-	-	-	-	

Effectifs et nombre de classe (Août, 2010) / 生徒数, クラス数内訳(2010年8月)

	1 ère	2 ème	3 ème	4 ème	5 ème	6 ème	7 ème	8 ème	9 ème
Élèves / 生徒数	49	35	56	37	45	53	-	-	-
Classes pédagogiques / クラス数	1	1	1	1	1	1	-	-	-

Equipements existants / 既存施設

	SDC / 教室				BD 校長室	BL トイレ	ELT 電気	Eau 水	Classes nécessaires 必要教室数	Salles manquantes 不足教室数
	Existante/ 既存	En construction/ 建設中	Utilisation Impossible/ 使用不可	Utilisation Possible/ 継続使用可能						
École primaire 小	6	0	3	3	0	X	X	X	6	3
Collège 中	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

O : Déjà équipé / 敷地内にあり
X : Pas dans le site / 敷地内になし

Programme de projet / 計画

SDC	Type de SDC	BD	Type de BL	ELT	Clôture	Travaux à la charge de la partie malienne 相手国負担工事	
教室数	教室タイプ	校長室	トイレ	電気	フェンス	Branchement du réseau d'électricité 電気配線接続	Autres その他
3	3CD X 1	-	LA X 1	X	-	-	



KK-2 Guihoyo

Localisation / 位置情報

AE	CAP	Commune	Distance depuis le CAP	Accès et Remarques
			CAPからの距離	アクセス道路及び備考
Koulikoro	Kolokani	Ghihoyo	25 km	Route non bitumée, Route en mauvais état, Problème d'accès.未舗装、悪路、問題あり

Situation pédagogique / 運営状況

	Écoles	Élèves	Classes pédagogiques	Personnels	Communautaire	Double vacation	Multigrade	Remarques
	学校数	生徒数	クラス数	教員数(校長含)	コミュニティ学校	2部制	複式学級	備考
École primaire 小	1	381	6	7	-	-	-	
Collège 中	-	-	-	-	-	-	-	

Effectifs et nombre de classe (Août, 2010) / 生徒数, クラス数内訳(2010年8月)

	1 ère	2 ème	3 ème	4 ème	5 ème	6 ème	7 ème	8 ème	9 ème
Élèves / 生徒数	70	77	54	52	82	46	-	-	-
Classes pédagogiques / クラス数	1	1	1	1	1	1	-	-	-

Equipements existants / 既存施設

	SDC / 教室				BD	BL	ELT	Eau	Classes nécessaires	Salles manquantes
	Existante/ 既存	En construction/ 建設中	Utilisation Impossible/ 使用不可	Utilisation Possible/ 継続使用可能						
École primaire 小	6	0	3	3	0	×	×	×	7	4
Collège 中	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

○ : Déjà équipé / 敷地内にあり
 × : Pas dans le site / 敷地内になし

Programme de projet / 計画

SDC	Type de SDC	BD	Type de BL	ELT	Clôture	Travaux à la charge de la partie malienne 相手国負担工事	
教室数	教室タイプ	校長室	トイレ	電気	フェンス	Branchement du réseau d'électricité 電気配線接続	Autres その他
4	2C X 1 2CD X 1	-	LA X 1	X	-	-	



KK-4 Djinadjabougou

Localisation / 位置情報

AE	CAP	Commune	Distance depuis le CAP	Accès et Remarques
			CAPからの距離	
Koulikoro	Kolokani	Ghihoyo	31 km	Route non bitumée, Site inaccessible par le camion 未舗装、大型車不可

Situation pédagogique / 運営状況

	Écoles	Élèves	Classes pédagogiques	Personnels	Communautaire	Double vacation	Multigrade	Remarques
	学校数	生徒数	クラス数	教員数(校長含)	コミュニティ学校	2部制	複式学級	
École primaire 小	1	102	3	3	○	-	○	Limitation de nombre d'élèves à l'inscription 入学制限あり
Collège 中	-	-	-	-	-	-	-	

Effectifs et nombre de classe (Août, 2010) / 生徒数, クラス数内訳(2010年8月)

	1 ère	2 ème	3 ème	4 ème	5 ème	6 ème	7 ème	8 ème	9 ème
Élèves / 生徒数	0	20	19	21	18	24	-	-	-
Classes pédagogiques / クラス数	0	1	1	1	1	1	-	-	-

Equipements existants / 既存施設

	SDC / 教室				BD	BL	ELT	Eau	Classes nécessaires	Salles manquantes
	Existante/ 既存	En construction/ 建設中	Utilisation Impossible/ 使用不可	Utilisation Possible/ 継続使用可能						
École primaire 小	3	0	3	0	0	×	×	×	3	3
Collège 中	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

○: Déjà équipé / 敷地内にあり
×: Pas dans le site / 敷地内になし

Programme de projet / 計画

SDC	Type de SDC	BD	Type de BL	ELT	Clôture	Travaux à la charge de la partie malienne 相手国負担工事	
教室数	教室タイプ	校長室	トイレ	電気	フェンス	Branchement du réseau d'électricité 電気配線接続	Autres その他
3	3CD X 1	-	LA X 1	X	-	-	-



KI-1 Dialakoni

Localisation / 位置情報

AE	CAP	Commune	Distance depuis le CAP	Accès et Remarques
			CAPからの距離	
Kita	Kita I	Bendougouba	28 km	Possible, 可能

Situation pédagogique / 運営状況

	Écoles	Élèves	Classes pédagogiques	Personnels	Communautaire	Double vacation	Multigrade	Remarques
	学校数	生徒数	クラス数	教員数(校長含)	コミュニティ学校	2部制	複式学級	備考
École primaire 小	1	121	3	3	○	-	○	
Collège 中	-	-	-	-	-	-	-	

Effectifs et nombre de classe (Août, 2010) / 生徒数, クラス数内訳(2010年8月)

	1 ère	2 ème	3 ème	4 ème	5 ème	6 ème	7 ème	8 ème	9 ème
Élèves / 生徒数	37	22	23	13	13	13	-	-	-
Classes pédagogiques / クラス数	1		1		1			-	-

Equipements existants / 既存施設

	SDC / 教室				BD	BL	ELT	Eau	Classes nécessaires	Salles manquantes
	Existante/ 既存	En construction/ 建設中	Utilisation Impossible/ 使用不可	Utilisation Possible/ 継続使用可能						
École primaire 小	3	2	1	4	1	○	×	○	3	-1
Collège 中	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

○ : Déjà équipé / 敷地内にあり
 × : Pas dans le site / 敷地内になし

Programme de projet / 計画

SDC	Type de SDC	BD	Type de BL	ELT	Clôture	Travaux à la charge de la partie malienne 相手国負担工事	
教室数	教室タイプ	校長室	トイレ	電気	フェンス	Branchement du réseau d'électricité 電気配線接続	Autres その他
-	-	-	-	-	-	-	



BG-2 Sourakabougou

Localisation / 位置情報

AE	CAP	Commune	Distance depuis le CAP	Accès et Remarques
			CAPからの距離	
Rive Gauche	Banconi	Commune I	dans Bamako	dans la ville, Route en mauvais état 都市部、悪路 Manque d'espace constructible, Terrain en dénivellement, Remblai nécessaire 面積小さい、敷地内高低差あり、盛土必要

Situation pédagogique / 運営状況

	Écoles	Élèves	Classes pédagogiques	Personnels	Communautaire	Double vacation	Multigrade	Remarques
	学校数	生徒数	クラス数	教員数(校長含)	コミュニティ学校	2部制	複式学級	
École primaire 小	2	1,048	13	15	-	-	-	Limitation de nombre d'élèves à l'inscription 入学制限あり
Collège 中	2	847	9	12	-	-	-	

Effectifs et nombre de classe (Août, 2010) / 生徒数, クラス数内訳(2010年8月)

	1 ère	2 ème	3 ème	4 ème	5 ème	6 ème	7 ème	8 ème	9 ème
Élèves / 生徒数	178	125	199	179	225	142	309	306	232
Classes pédagogiques / クラス数	2	2	2	2	2	3	3	3	3

Equipements existants / 既存施設

	SDC / 教室				BD	BL	ELT	Eau	Classes nécessaires	Salles manquantes
	Existante/ 既存	En construction/ 建設中	Utilisation Impossible/ 使用不可	Utilisation Possible/ 継続使用可能						
École primaire 小	13	0	0	13	2	○	×	○	20	7
Collège 中	9	3	0	12	2	○	×	○	-	-

○ : Déjà équipé / 敷地内にあり
× : Pas dans le site / 敷地内になし

Programme de projet / 計画

SDC	Type de SDC	BD	Type de BL	ELT	Clôture	Travaux à la charge de la partie malienne 相手国負担工事	
教室数	教室タイプ	校長室	トイレ	電気	フェンス	Branchement du réseau d'électricité 電気配線接続	Autres その他
-	-	-	-	-	-	-	-



BG-3 Hippodrome extension

Localisation / 位置情報

AE	CAP	Commune	Distance depuis le CAP	Accès et Remarques
			CAPからの距離	
Rive Gauche	Hippodrome	Commune II	dans Bamako	dans la ville, Route non bitumée 未舗装 Etablissement neuf, Terrain en dénivellement, Remblai nécessaire 新設校、敷地内高低差あり、盛土必要

Situation pédagogique / 運営状況

	Écoles	Élèves	Classes pédagogiques	Personnels	Communautaire	Double vacation	Multigrade	Remarques
	学校数	生徒数	クラス数	教員数(校長含)	コミュニティ学校	2部制	複式学級	
École primaire 小	1	-	-	-	-	-	-	
Collège 中	1	-	-	-	-	-	-	

Effectifs et nombre de classe (Août, 2010) / 生徒数, クラス数内訳(2010年8月)

	1 ère	2 ème	3 ème	4 ème	5 ème	6 ème	7 ème	8 ème	9 ème
Élèves / 生徒数	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Classes pédagogiques / クラス数	-	-	-	-	-	-	-	-	-

Equipements existants / 既存施設

	SDC / 教室				BD 校長室	BL トイレ	ELT 電気	Eau 水	Classes nécessaires 必要教室数	Salles manquantes 不足教室数
	Existante/ 既存	En construction/ 建設中	Utilisation Impossible/ 使用不可	Utilisation Possible/ 継続使用可能						
École primaire 小	0	6	0	6	0	×	×	×	-	-
Collège 中	0	3	0	3	0	×	×	×	-	-

○ : Déjà équipé / 敷地内にあり
× : Pas dans le site / 敷地内になし

Programme de projet / 計画

SDC	Type de SDC	BD	Type de BL	ELT	Clôture	Travaux à la charge de la partie malienne 相手国負担工事	
教室数	教室タイプ	校長室	トイレ	電気	フェンス	Branchement du réseau d'électricité 電気配線接続	Autres その他
-	-	-	-	-	-	-	



BG-4 Bougouba

Localisation / 位置情報

AE	CAP	Commune	Distance depuis le CAP	Accès et Remarques
			CAPからの距離	
Rive Gauche	Bozola	Commune II	dans Bamako	dans la ville, Nouveau site à côté de l'existant. Terrain en dénivellement. Remblais et déblais nécessaires. Nature de sol peu solide 都市部、隣接の新敷地、敷地内高低差あり、造成必要、軟弱地盤

Situation pédagogique / 運営状況

	Écoles	Élèves	Classes pédagogiques	Personnels	Communautaire	Double vacation	Multigrade	Remarques
	学校数	生徒数	クラス数	教員数(校長含)	コミュニティ学校	2部制	複式学級	
École primaire 小	3	1,372	20	20	-	-	-	
Collège 中	2	902	12	22	-	-	-	

Effectifs et nombre de classe (Août, 2010) / 生徒数, クラス数内訳 (2010年8月)

	1 ère	2 ème	3 ème	4 ème	5 ème	6 ème	7 ème	8 ème	9 ème
Élèves / 生徒数	167	223	196	222	328	236	368	254	280
Classes pédagogiques / クラス数	3	3	3	3	5	3	4	4	4

Equipements existants / 既存施設

	SDC / 教室				BD	BL	ELT	Eau	Classes nécessaires	Salles manquantes
	Existante/ 既存	En construction/ 建設中	Utilisation Impossible/ 使用不可	Utilisation Possible/ 継続使用可能						
École primaire 小	20	0	0	20	2	○	×	○	27	7
Collège 中	12	0	0	12	2	○	×	○	-	-

○ : Déjà équipé / 敷地内にあり
 × : Pas dans le site / 敷地内になし

Programme de projet / 計画

SDC	Type de SDC	BD	Type de BL	ELT	Clôture	Travaux à la charge de la partie malienne 相手国負担工事	
教室数	教室タイプ	校長室	トイレ	電気	フェンス	Branchement du réseau d'électricité 電気配線接続	Autres その他
6	2-6C X 1	1	LB X 2	△	○	-	Démolition de clôture existante (72m), Remblai (40cm, 896m ²) フェンス撤去 (72m)、盛土(40cm, 896m ²)



BD-1 Ecole de Sagoninko

Localisation / 位置情報

AE	CAP	Commune	Distance depuis le CAP	Accès et Remarques
			CAPからの距離	
Rive droite	Banankabougou	Commune VI	dans Bamako	Terrain en dénivellement, Remblais et déblais nécessaires 敷地内高低差あり、造成必要

Situation pédagogique / 運営状況

	Écoles	Élèves	Classes pédagogiques	Personnels	Communautaire	Double vacation	Multigrade	Remarques
	学校数	生徒数	クラス数	教員数(校長含)	コミュニティ学校	2部制	複式学級	
École primaire 小	1	109	4	4	○	-	○	
Collège 中	0	-	-	-	-	-	-	

Effectifs et nombre de classe (Août, 2010) / 生徒数, クラス数内訳(2010年8月)

	1 ère	2 ème	3 ème	4 ème	5 ème	6 ème	7 ème	8 ème	9 ème
Élèves / 生徒数	47	25	18	7	7	5	-	-	-
Classes pédagogiques / クラス数	1	1	1		1				

Equipements existants / 既存施設

	SDC / 教室				BD	BL	ELT	Eau	Classes nécessaires	Salles manquantes
	Existante/ 既存	En construction/ 建設中	Utilisation Impossible/ 使用不可	Utilisation Possible/ 継続使用可能						
École primaire 小	6	0	0	6	1	○	×	×	4	-2
Collège 中	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

○ : Déjà équipé / 敷地内にあり
× : Pas dans le site / 敷地内になし

Programme de projet / 計画

SDC	Type de SDC	BD	Type de BL	ELT	Clôture	Travaux à la charge de la partie malienne 相手国負担工事	
教室数	教室タイプ	校長室	トイレ	電気	フェンス	Branchement du réseau d'électricité 電気配線接続	Autres その他
-	-	-	-	-	-		



BD-6 Group Scolaire de Sabalibougou

Localisation / 位置情報

AE	CAP	Commune	Distance depuis le CAP	Accès et Remarques
			CAPからの距離	
Rive droite	Kalaban coura	Commune V	dans Bamako	dans la ville, Route non bitumée 都市部、未舗装 Nouveau site, Terrain en dénivellement, Remblai nécessaire 新敷地、敷地内高低差あり、造成必要

Situation pédagogique / 運営状況

	Écoles	Élèves	Classes pédagogiques	Personnels	Communautaire	Double vacation	Multigrade	Remarques
	学校数	生徒数	クラス数	教員数(校長含)	コミュニティ学校	2部制	複式学級	
École primaire 小	6+2	3,529	36	45	-	-	-	Limitation de nombre d'élèves à l'inscription, Il y a deux écoles avant l'ouverture 入学制限あり、未開校2校あり
Collège 中	4	2,335	23	42	-	○	-	

Effectifs et nombre de classe (Août, 2010) / 生徒数, クラス数内訳 (2010年8月)

	1 ère	2 ème	3 ème	4 ème	5 ème	6 ème	7 ème	8 ème	9 ème
Élèves / 生徒数	527	598	585	586	626	607	935	595	805
Classes pédagogiques / クラス数	6	6	6	6	6	6	9	6	8

Equipements existants / 既存施設

	SDC / 教室				BD	BL	ELT	Eau	Classes nécessaires	Salles manquantes
	Existante/ 既存	En construction/ 建設中	Utilisation Impossible/ 使用不可	Utilisation Possible/ 継続使用可能						
École primaire 小	42	0	0	42	4	○	×	○	70	28
Collège 中	19	6	0	25	4	○	×	○	-	-

○ : Déjà équipé / 敷地内にあり
× : Pas dans le site / 敷地内になし

Programme de projet / 計画

SDC	Type de SDC	BD	Type de BL	ELT	Clôture	Travaux à la charge de la partie malienne 相手国負担工事	
教室数	教室タイプ	校長室	トイレ	電気	フェンス	Branchement du réseau d'électricité 電気配線接続	Autres その他
-	-	-	-	-	-	-	-

